

# 埼玉県立近代美術館年報

平成29年度



ANNUAL REPORT 2017—THE MUSEUM OF MODERN ART, SAITAMA

# 埼玉県立近代美術館年報

平成29年度



ANNUAL REPORT 2017—THE MUSEUM OF MODERN ART, SAITAMA

## ■目次

埼玉県立近代美術館 ミッション・ステートメント	
及び戦略目標	3
施設	4
美術館誌	5
企画展	
川原慶賀展	6
遠藤利克展	13
駒井哲郎展	17
ディエゴ・リベラの時代	23
版画の景色	33
MOMAS コレクション	45
MOMAS コレクション [I]	45
MOMAS コレクション [II]	48
MOMAS コレクション [III]	50
MOMAS コレクション [IV]	54
サンデートーク	57
アーティスト・プロジェクト	58
収集事業	60
新収蔵作品一覧	61
美術資料貸出等一覧	120
特別利用	121
教育・普及事業	
美術館講座	
映像の可能性	122
一般団体対応	124
ファミリー鑑賞会	125
子どものためのプログラム	
MOMAS のとびら	126
夏休みの特別プログラム	128
ミュージアム・コラボレーション	129
企画展ワークシートの作成	130
学校との連携	131
博物館学実習	133

美術館ボランティア	
美術館サポーター	134
教育普及サポート・スタッフ	135
MOMAS 彫刻ボランティア	135
広聴・広報・刊行物	136
図書資料の収集と公開	141
椅子の美術館	141
ハイビジョン・コーナー	141
トピックス	
[1] 第5回座れる段ボールの椅子グランプリ	142
[2] 埼玉県立近代美術館 35周年記念	144
[3] とう・かたる一人と美術の出会いのなかで： 報告番外編	147
[4] SMF	150
埼玉県立近代美術館フレンド	151
貸館事業	152
入館者数一覧	154
名簿	
埼玉県立近代美術館協議会委員	155
埼玉県立近代美術館資料選考評価委員会委員	155
埼玉県立近代美術館利用審査会委員	155
埼玉県立近代美術館職員	155

---

---

## ■埼玉県立近代美術館

### ミッション・ステートメント及び戦略目標

埼玉県立近代美術館は世界の今を生きる全ての人のために存在します。

#### 1 美術と出会い、新たな考え方や価値を発見するための体験を提供します。

- ① 身近な視点から世界の今をみつめ、国境や言語を超えて共有される美術の素晴らしさを紹介します。
- ② 出会い・発見・感動をキーワードに、新たな視点に基づく展示や美術の楽しさを体感できるプログラムを提供します。
- ③ 継続的な収集活動を通して特色あるコレクションを形成し後世に伝えます。また館内外での効果的な活用を通じてその魅力を紹介し付加価値を高めていきます。
- ④ すべての美術館活動の基盤となる調査研究活動を重視します。

#### 2 人々が集い、参加し、交流するための基地となります。

- ① 魅力あるレストランやショップなど上質な空間とゆとりの時間を提供し、高齢者・障害者を含め誰もが利用しやすい環境を持った、居心地のよい美術館を目指します。
- ② 美術に関する情報センターの役割を果たします。
- ③ 美術を愛する人々の交流や自主的活動を支援します。

#### 3 未来を創る子どもたちの感性と創造力を育みます。

- ① 子どもたちとともに生き生きとした感性と創造力の素晴らしさを再発見していきます。
- ② 学校現場との連携を深め、学校による利用の促進を図ります。

#### 4 地域や県民とともに進化する美術館を目指します。

- ① 県民のニーズや時代の変化に対応して進化する美術館を目指します。美術館の情報を公開し改善に努めます。職員の意識改革を継続して行います。
- ② 美術館の持つあらゆる資源(人・作品・施設等)を有機的・効果的に活用し、新たな顧客層を開拓するとともに、美術館を支援してくださる方々の輪を広げます。
- ③ 北浦和公園の活用も含め、美術館がまちのにぎわいの創出や地域の活性化に寄与するように努めます。

## ■施設

敷地面積 35,177 m<sup>2</sup>

建築面積 2,238 m<sup>2</sup>

延床面積 8,577 m<sup>2</sup>

展示壁長 1,440m

建築高さ 17.8m

構造 地上3階、地下1階、鉄筋コンクリート造、  
一部鉄骨鉄筋コンクリート造

工期 昭和55年3月28日～昭和57年2月27日

設計 株式会社黒川紀章建築都市設計事務所

開館 昭和57年11月3日

黒川紀章設計の初の美術館である当館の建築上の特色を挙げると、建物全体がグリッド(格子)の立方体により構成されており、入口へのアプローチとして正面のエントランス・ポーチにグレーゾーン(内部と外部との中間領域)と呼ばれる鳥籠状の構造体が鳥のくちばしのように突き出ている。その四角い形の固さを破るように、ファサード(建物正面)には波状の曲面ガラスがはめこまれている。

各階に分かれた展示室の一体感を確保するため、建物中央に4層を貫く吹き抜けのセンター・ホールが設けられた。ここは天井から自然光を採り入れるとともに、中空にさまざまな展示物を吊り下げることが可能で、極めて特異な空間としてコンサートなどのイベントにも使われる。

2階の企画展示室は、前述の波状ガラスによるファサードの一部から、ギャラリーの中に直接外光が入ってくる。これは、密閉して一定不変の人工光線による状態にするという美術館構造の常識を打破する試みである。ここからは北浦和公園の美しい緑を目にすることができ、密閉されることで失われがちな美術館の中での人間性を回復するという意味でも注目される。

開館後の1985-86年には、田中米吉の作品《ドッキング》が外壁など建築と共生するように設置された。

## ■美術館誌

### 平成29(2017)年

- 4月8日 企画展「ロシア科学アカデミー図書館所蔵 川原慶賀の植物図譜」を開催(～5月21日)。
- 4月8日 「見沼100年構想の会」による緑のボランティアが北浦和公園を整備(以降毎月第2日曜日)。
- 4月22日 「MOMASコレクション[I]」を開催(～7月16日)。
- 5月18日 「ファミリー鑑賞会」を1階展示室で開催。
- 5月30日 「第67回県展 埼玉県美術展覧会」を開催(～6月21日)。
- 6月4日 ポリスコンサートを北浦和公園で開催。
- 6月16日 「第1回埼玉県立近代美術館フレンド理事会」を開催。
- 7月15日 企画展「遠藤利克 聖性の考古学」を開催(～8月31日)。  
レセプションに出品者などが出席。
- 7月22日 「MOMASコレクション[II]」を開催(～10月1日)。
- 7月27日 「第1回埼玉県立近代美術館利用審査会」を開催。
- 8月19日 「座れる段ボールの椅子グランプリ」表彰式を開催。
- 8月30日 「第1回埼玉県立近代美術館資料選考評価委員会」による審査
- 8月31日 「第1回埼玉県立近代美術館協議会」を開催。
- 9月12日 企画展「駒井哲郎 夢の散策者」を開催(～10月9日)。
- 10月7日 「アーティスト・プロジェクト #2.02 北野謙:光を集める」を開催(～12月10日)。
- 10月7日 「MOMASコレクション[III]」を開催(～12月24日)。  
瑛丸の「手」を公開。
- 10月21日 開館35周年記念展「ディエゴ・リベラの時代 メキシコの夢とともに」を開催(～12月10日)。レセプションに駐日メキシコ大使等出席。
- 10月25日 「ファミリー鑑賞会」を1階展示室で開催。
- 11月3日 開館35周年「開館記念大感謝祭」を開催。

11月7日 「ミュージアム・キャラバン」を所沢市立和田小学校で開催。講師として收藏作家高田洋一氏を派遣。

11月24日 「ミュージアム・キャラバン」を小鹿野町立小鹿野中学校で開催。講師として美術家井上尚子氏を派遣。(2月8日にも開催)

### 平成30(2018)年

- 1月6日 「MOMASコレクション[IV]」を開催(～4月15日)。
- 1月16日 企画展「版画の景色 現代版画センターの軌跡」を開催(～3月25日)。
- 2月6日 「第2回埼玉県立近代美術館利用審査会」を開催。
- 2月9日 「第2回埼玉県立近代美術館資料選考評価委員会」による審査。
- 3月2日 「第2回埼玉県立近代美術館協議会」を開催。
- 3月16日 「第2回埼玉県立近代美術館フレンド理事会」を開催。

## ■企画展

### ■ロシア科学アカデミー図書館所蔵 川原慶賀の植物図譜

The Botanical Illustrations of Kawahara Keiga from the Collection of the Russian Academy of Sciences Library

■会期：2017年4月8日（土）～5月21日（日）

■主催：埼玉県立近代美術館

■後援：駐日ロシア連邦大使館、ロシア連邦交流庁

■特別協力：ロシア科学アカデミー図書館、長崎歴史文化博物館

■協力：フィンエアー、フィンエアーカーゴ

■企画協力：アートインプレッション

■観覧料：一般1000円（800円）、大高生800円（640円）

■入場者数：7,763人

■広報印刷物：ポスターB2、ちらしA4／デザイン：山下雅士（スリーブワーク）

■担当学芸員：鳴原悠、大越久子



B2 ポスター



A4 ちらし

### ■開催趣旨

長崎の絵師、川原慶賀（かわはらけいが、1786-1860?）は江戸時代後期、日本人の立ち入りが厳しく制限されていた出島の出入りを許され、オランダ商館の求めに応じて、日本の様々な文物を描いた膨大な数の絵画を制作していた。

とくに慶賀は出島のオランダ商館の医師として来日したドイツ人の医師・博物学者、フィリップ・フランツ・フォン・シーボルト（1796-1866）と交流を深めた。日本の自然や生活文化、特に植物に対して強い関心を持ったシーボルトの要求に応じて西洋画法を習得した慶賀は、彼に随行し、長崎や江戸参府の途上で、植物の姿かたちを正確にうつした写生図を数多く描いた。シーボルトがヨーロッパに持ち帰った慶賀や他の絵師による植物図譜のうちおよそ

1,000点はシーボルトの死後ロシアに渡り、現在ロシア科学アカデミー図書館に収蔵されている。

慶賀の人物像を明らかにする資料は少なく、その多くの部分は謎に包まれているが、植物図譜をはじめ、長崎の風景や人々の暮らしを描いた作品は、この画家が鋭い観察眼と、見たものを生き生きとうつしとる高い技量を持っていたことを物語っている。

本展覧会では、ロシア科学アカデミー図書館が所蔵する川原慶賀の植物図譜から125点を紹介するとともに、国内に所蔵されている作品資料を通して、慶賀の眼が何を見つめ、どのようにうつしとっていたのかを辿った。

### ■カタログ

規格：18.6×25.1cm、156頁

編著者：アンナ・セミョーノヴァ、ラリーサ・カラムィシェヴァ、エヴドキヤ・ノヴォジーロヴァ（ロシア科学アカデミー図書館）／大場秀章（東京大学名誉教授・同大学総合研究博物館特招研究員）／鳴原悠、大越久子（埼玉県立近代美術館）／中村美幸（下関市立美術館）／五味俊晶、竹内有理（長崎歴史文化博物館）

編集：市川飛砂、林美穂（アートインプレッション）

露文英訳：ラリーサ・カラムィシェヴァ、エヴドキヤ・ノヴォジーロヴァ

英文和訳／和文英訳：クリストファー・スティヴンズ

英文和訳：藪本明代

露文和訳：鴻野わか菜（千葉大学文学部准教授）

デザイン制作：垣本正哉、河野素子（株式会社D\_CODE）

発行：アートインプレッション

内容：アンナ・セミョーノヴァ、ラリーサ・カラムィシェヴァ、エヴドキヤ・ノヴォジーロヴァ（ロシア科学アカデミー図書館）「川原慶賀の芸術と遺産」／大場秀章（東京大学名誉教授・同大学総合研究博物館特招研究員）「慶賀の植物図譜」／五味俊晶（長崎歴史文化博物館）「長崎の町絵師・川原慶賀」／図版・作品解説／鳴原悠（埼玉県立近代美術館）「殊に植物の画に巧みなり—慶賀の植物画制作とシーボルト」／中村美幸（下関市立美術館）「シーボルトの見た日本—『江戸参府紀行』から」／主要参考文献／出品リスト

価格：2,400円（税込）

### ■関連事業

- 講演会「川原慶賀の長崎歳時記」／講師：下妻みどり（ライター、『川原慶賀の「日本」画帳』編著者）／4月15日（土）／2階講堂／参加者：75名
- 講演会「川原慶賀の植物図譜」／講師：大場秀章（東京大学名誉教授）／4月23日（日）／2階講堂／参加

者：150名

- ・ミュージアム・コンサート「川嶋哲郎ソロ・ライブー  
ジャズ百花繚乱」／出演者：川嶋哲郎（サクソ、フ  
ルート）／4月22日（土）／地階センターホール／参  
加者：65名
- ・ミュージアム・コンサート「井上陽介ソロ・ライブー  
ジャズ百花繚乱」／出演者：井上陽介（ベース）／5  
月7日（日）／地階センターホール／参加者：85名
- ・担当学芸員によるギャラリー・トーク／4月29日（土・  
祝）嶋原悠、5月13日（土）大越久子／2階展示室／  
参加者：計78名

## ■広報記録

### <新聞>

- ・新井護「シーボルトに挿絵提供 浦和区の近代美術館  
川原慶賀の作品紹介」『埼玉新聞』2017年4月17日
- ・白石知子「日本洋画の黎明 長崎から(4) 川原慶賀  
風景・風俗 細密に」『読売新聞』九州版 2017年4  
月29日
- ・告知：『埼玉新聞』2017年4月3日／『朝日新聞』夕  
刊 2017年4月4日／『埼玉新聞』2017年4月5日／  
『東京新聞』2017年4月6日／『朝日新聞』夕刊 201  
7年4月11日／『毎日新聞』2017年4月14日／『毎日  
新聞』2017年4月28日／『毎日新聞』2017年5月19  
日

### <雑誌、ミニコミ誌等>

- ・「シーボルトに随行した絵師 江戸後期の貴重な写生  
画」『婦人公論』2017年3月28日号
- ・「幕末の植物画ざらり 埼玉近美で一時帰国展」『桐生  
タイムス』2017年4月15日
- ・野地耕一郎「見なお史 日本近代絵画 こんな画家が  
いた！第34回 川原慶賀 東西の絵画表現を手にし  
た「江戸の中の近代」画家」『一枚の繪』2017年5月  
号
- ・告知：『美術の窓』2017年2月号／『武州路』2017年  
3月号／『月刊美術』2017年4月号／『週刊読書人』  
2017年3月24日／『たまログ』2017年4月号／『小  
原流華花』2017年4月号／『Acore 大宮』2017年4月  
7日／『viva! amigo』2017年4月21日／『美連協ニ  
ュース』2017年5月1日／『定年時代』2017年5月号

### <テレビ、ラジオ>

- ・テレビ埼玉「テレ玉ニュース」2017年4月11日
- ・NHK Eテレ「日曜美術館 アートシーン」2017年4月  
30日

- ・BS-TBS「ぐるっと関東」2017年5月17日
- ・告知：「REDS WAVE」

### <WEB>

- ・坂本裕子「“図鑑”にとどまらない美しさ。「川原慶賀  
の植物図譜展」で超絶写実を堪能しよう。」PEN ONLINE、  
2017年5月16日
- ・告知：JDN、2017年3月30日

## ■担当後記

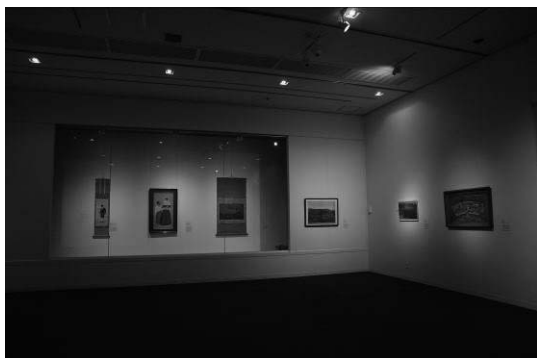
- ◆ 本展はロシア科学アカデミー図書館が所蔵する、シー  
ボルト旧蔵の植物図譜コレクションの内、その大部分  
を占めている川原慶賀の手による植物図譜を紹介する  
企画として立ち上がった。このコレクションは、1995  
年と2002年に日本でまとめて紹介されているが、本展  
では慶賀の落款が捺された作品に絞って125点を借用  
することとなった。この植物図譜を主軸におきつつ、  
「長崎の画匠」として活躍した慶賀の足跡を、以下の  
3章構成でたどった。  
第1章「異文化への眼」、第2章「長崎の画匠—川原慶  
賀」、第3章「植物をうつす」  
埼玉県立近代美術館の後、下関市立美術館、長崎歴史  
文化博物館に巡回した。
- ◆ 展覧会の中心となる植物図譜については、ロシア科学  
アカデミー側によって選定された作品を主軸に、日本  
側の意見も反映されてリストが作成された。また、植  
物図譜の作品名や、描かれている植物の現在の学名や  
科名、植物学的分類に基づく作品番号の順序について  
は、東京大学名誉教授・同大学総合研究博物館特招研  
究員の大場秀章氏に監修を賜った。大場氏には、展覧  
会図録にも最新の研究成果を反映させた論考を寄稿い  
ただいた。
- ◆ 本展覧会では、慶賀の作品資料を多数所蔵する長崎歴  
史文化博物館をはじめ、国内の美術館、個人の所蔵家  
から、初公開の作品を含む作品・資料をご出品いた  
だき、植物図譜以外の仕事、特に、長崎の町絵師とし  
ての仕事を紹介した。慶賀およびその工房の活動の実態  
については、未解明の部分が多く、今後の研究が待た  
れるが、江戸後期の人々の暮らしや長崎の歳時記、人  
生の諸相をいきいきと伝える貴重な作品群であることを、  
作品を通して実感した。
- ◆ 展覧会会期中には、ライター・下妻みどり氏と大場秀  
章氏をお招きして講演会を実施した。下妻氏には、慶  
賀による年中行事や人の一生の図からみる江戸後期の  
長崎の様子を豊富な図版と長崎在住ならではの視点で  
お話しいただいた。大場氏には、慶賀の植物図譜の魅



---

力と、江戸時代の植物画や植物学の興隆といった時代背景をお話いただき、いずれも盛況だった。

(鳴原悠)



展示風景



展示風景

## ■出品リスト

- ・作品データは以下の通り：①No.3-11を除く作品：出品番号、作者名、作品名、制作年、技法・材質等、所蔵先、②No.3-11：出品番号、作品名、現在の科、制作年、技法・材質等
- ・\*印の作品は前期展示（4月8日～5月1日）
- ・\*\*印の作品は後期展示（5月2日～5月21日）
- ・図録に掲載されている作品の一部は当館では展示されていない。本リストでは当館で展示された作品のみを抄出している。

## 第一章 異文化への眼

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質等	所蔵先
1-1**	川原香山	長崎港図	19世紀（江戸時代）	絹本着色	長崎歴史文化博物館
1-3*	川原慶賀	長崎港図	19世紀（江戸時代）	絹本着色	長崎歴史文化博物館
1-6**	川原慶賀	長崎湾眺望図（部分）	19世紀（江戸時代）	絹本着色	長崎歴史文化博物館
1-9*	川原慶賀	出島図	19世紀（江戸時代）	絹本着色	長崎歴史文化博物館
1-10**	川原慶賀	出島図	19世紀（江戸時代）	絹本着色	福岡市博物館
1-13	川原慶賀	蘭館紅毛芝居絵巻	1820（文政3）年頃	紙本着色	一般財団法人 黒船館
1-14*	川原慶賀	蘭人商館長図	19世紀（江戸時代）	紙本着色	歸空庵
1-15**	川原慶賀	ブロムホフ夫人図	19世紀（江戸時代）	紙本着色	長崎歴史文化博物館
1-17**	川原慶賀	西洋人物図	19世紀（江戸時代）	紙本着色	歸空庵
1-18*	川原慶賀	蘭人図	19世紀（江戸時代）	紙本着色	歸空庵
1-19*	田口盧谷	紅毛人夫婦散策図	19世紀（江戸時代）	紙本着色	歸空庵

## 第二章 長崎の画匠—川原慶賀

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質等	所蔵先
2-1	ヨハン・フデリッヒ・ファン・オーフェル＝ル＝フィッセル	『日本風俗備考』	1833年	印刷・紙、洋書	長崎歴史文化博物館
2-2	川原慶賀	人の一生「腹帯・出産」	19世紀（江戸時代）	絹本着色	長崎歴史文化博物館
2-3	川原慶賀	人の一生「宮参り」	19世紀（江戸時代）	絹本着色	長崎歴史文化博物館
2-4	川原慶賀	人の一生「お見合い（出会い）」	19世紀（江戸時代）	絹本着色	長崎歴史文化博物館
2-5	川原慶賀	人の一生「祝言の段取り」	19世紀（江戸時代）	絹本着色	長崎歴史文化博物館
2-6	川原慶賀	人の一生「結納」	19世紀（江戸時代）	絹本着色	長崎歴史文化博物館
2-7	川原慶賀	人の一生「祝言」	19世紀（江戸時代）	絹本着色	長崎歴史文化博物館
2-8	川原慶賀	人の一生「病臥」	19世紀（江戸時代）	絹本着色	長崎歴史文化博物館
2-9	川原慶賀	人の一生「死去」	19世紀（江戸時代）	絹本着色	長崎歴史文化博物館
2-10	川原慶賀	人の一生「葬列」	19世紀（江戸時代）	絹本着色	長崎歴史文化博物館
2-11	川原慶賀	人の一生「葬列の迎え」	19世紀（江戸時代）	絹本着色	長崎歴史文化博物館
2-12	川原慶賀	人の一生「墓穴掘り」	19世紀（江戸時代）	絹本着色	長崎歴史文化博物館
2-13	川原慶賀	人の一生「送り火」	19世紀（江戸時代）	絹本着色	長崎歴史文化博物館
2-14*	川原慶賀	年中行事絵「正月図」	19世紀（江戸時代）	絹本着色	長崎歴史文化博物館
2-15**	川原慶賀	年中行事絵「正月図」	19世紀（江戸時代）	紙本着色	長崎歴史文化博物館
2-16**	川原慶賀	年中行事絵「雛まつり図」	19世紀（江戸時代）	紙本着色	長崎歴史文化博物館
2-17*	川原慶賀	年中行事絵「雛祭り」	19世紀（江戸時代）	絹本着色	長崎歴史文化博物館
2-18*	川原慶賀	年中行事絵「花見 宮詣で」	19世紀（江戸時代）	絹本着色	長崎歴史文化博物館
2-19*	川原慶賀	長崎の年中行事 「子供中、陸ペーロン」	19世紀（江戸時代）	紙本着色	長崎歴史文化博物館
2-20*	川原慶賀	年中行事絵「諏訪社頭図」	19世紀（江戸時代）	絹本着色	長崎歴史文化博物館
2-21*	川原慶賀	年中行事絵「七夕図」	19世紀（江戸時代）	紙本着色	長崎歴史文化博物館
2-22**	川原慶賀	年中行事絵「七夕」	19世紀（江戸時代）	絹本着色	長崎歴史文化博物館
2-23**	川原慶賀	年中行事絵「面浮立」	19世紀（江戸時代）	絹本着色	長崎歴史文化博物館
2-24*	川原慶賀	年中行事絵「菊競 観菊会」	19世紀（江戸時代）	絹本着色	長崎歴史文化博物館
2-25**	川原慶賀	年中行事絵「観菊会」	19世紀（江戸時代）	絹本着色	長崎歴史文化博物館
2-26**	川原慶賀	年中行事絵「餅搗き図」	19世紀（江戸時代）	紙本着色	長崎歴史文化博物館
2-27**	川原慶賀	潮干狩図	19世紀（江戸時代）	絹本着色	長崎歴史文化博物館
2-28*	川原慶賀	職人尽くし「田おこし」	19世紀（江戸時代）	絹本着色	長崎歴史文化博物館
2-29*	川原慶賀	職人尽くし「田植え」	19世紀（江戸時代）	絹本着色	長崎歴史文化博物館
2-30*	川原慶賀	職人尽くし「田の水入れ」	19世紀（江戸時代）	絹本着色	長崎歴史文化博物館
2-31**	川原慶賀	布晒し図	19世紀（江戸時代）	絹本着色	長崎歴史文化博物館
2-32**	川原慶賀	万歳図	19世紀（江戸時代）	紙本着色	長崎歴史文化博物館
2-33*	川原慶賀	天神図	1831（天保2）年	絹本着色	歸空庵

2-34**	川原慶賀	勝寿軒画像	19世紀(江戸時代)	絹本着色	個人蔵
2-35**	川原慶賀	画像	19世紀(江戸時代)	絹本着色	個人蔵
2-36*	川原慶賀	絵像	1835(天保6)年	絹本着色	長崎歴史文化博物館
2-37*	川原慶賀	中山作三郎武徳画像	1849(嘉永2)年以降	絹本着色	シーボルト記念館
2-38**	川原慶賀	永島キク刀自絵像 <small>※長崎県指定有形文化財</small>	1860(万延元)年	絹本着色	長崎歴史文化博物館

### 第三章 植物をうつす

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質等	所蔵先
3-3*	川原慶賀	シーボルト像	19世紀(江戸時代)	紙本着色	歸空庵
3-5	フィリップ・フランツ・フォン・シーボルト	『日本』	1832~1851年	印刷・紙、洋書	長崎歴史文化博物館
3-6	テミンク、シュレーゲル著、 フィリップ・フランツ・フォン・シーボルト編	『日本動物誌 哺乳類』	1842~1845年	印刷・紙、洋書	長崎歴史文化博物館
3-7	ヨーゼフ・ゲアハルト・ツッカーリーニ、 フィリップ・フランツ・フォン・シーボルト	『日本植物誌』	1835~1870年	印刷・紙、洋書	長崎歴史文化博物館
3-8	フィリップ・フランツ・フォン・シーボルト他作成	シーボルト・コレクション植物標本	19世紀	押し葉標本	東京大学総合研究博物館
3-9	制作者不詳	押し葉帖	制作年不詳(江戸時代)	押し葉標本、冊子	東京大学総合研究博物館
3-10	制作者不詳	カルペパー型木製単眼顕微鏡	1800年代	木、ガラス、金属	浜野顕微鏡
3-11	川原慶賀	植物図譜(125点、別リスト参照)			
3-12	川原慶賀、 田口盧谷	『慶賀写真草』	1836(天保7)年	木版・紙、和本	長崎歴史文化博物館
3-13	川原慶賀、 田口盧谷	『草木花実写真図譜』	19世紀(明治初期)	木版・紙、和本	長崎歴史文化博物館
3-14	川原慶賀	《狩野家及南画家寄合画帖》より	1841(天保12)年頃	絹本着色	個人蔵

#### 3-11 川原慶賀『植物図譜』 所蔵先：ロシア科学アカデミー図書館

No.	作品名	現在の科	制作年	技法・材質等
3-11-1	ヒノキ	ヒノキ科	1824~1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-2	サラサレンゲ	モクレン科	1824~1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-3	シデコブシ	モクレン科	1824~1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-4	ドクダミ	ドクダミ科	1824~1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-5	ロウバイ	ロウバイ科	1824~1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-6	クスノキ	クスノキ科	1824~1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-7	セキショウ	ショウブ科	1824~1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-8	ムサシアブミ	サトイモ科	1824~1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-9	サトイモ	サトイモ科	1824~1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-10	リュウキュウハンゲ	サトイモ科	1824~1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-11	トチカガミ	トチカガミ科	1824~1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-12	ヤマノイモ	ヤマノイモ科	1824~1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-13	ヒメナベワリ	ビャクブ科	1824~1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-14	ホウチャクソウ	イヌサフラン科	1824~1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-15	サルトリイバラ	サルトリイバラ科	1824~1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-16	アマナ	ユリ科	1824~1828年	墨、彩色・紙
3-11-17	ハナショウブ	アヤメ科	1824~1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-18	アヤメ	アヤメ科	1824~1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-19	シャガ	アヤメ科	1824~1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-20	エヒメアヤメ	アヤメ科	1824~1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-21	イチハツ	アヤメ科	1824~1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-22	ベニカンゾウ	ススキノキ科	1824~1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-23	ミズギボウシ	キジカクシ科	1824~1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-24	トウギボウシ	キジカクシ科	1824~1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-25	トクダマ	キジカクシ科	1824~1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-26	ヤブミョウガ	ツユクサ科	1824~1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-27	ムラサキオモト	ツユクサ科	1824~1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-28	ダンドク	カンナ科	1824~1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-29	ミョウガ	ショウガ科	1824~1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-30	シホウチク	イネ科	1824~1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-31	フサザクラ	フサザクラ科	1824~1828年頃	墨、彩色・紙

3-11-32	ジロポウエンゴサク	ケシ科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-33	ムラサキケマン	ケシ科	1824～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-34	ケマンソウ	ケシ科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-35	アケビ	アケビ科	1824～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-36	ムベ	アケビ科	1824～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-37	イカリソウ	メギ科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-38	ヒイラギナンテン	メギ科	1824～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-39	フクジュソウ	キンポウゲ科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-40	オキナグサ	キンポウゲ科	1824～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-41	カザグルマ	キンポウゲ科	1824～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-42	タガラシ	キンポウゲ科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-43	キツネノボタン	キンポウゲ科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-44	ヒュウガミズキ	マンサク科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-45	トサミズキ	マンサク科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-46	アワモリショウマ	ユキノシタ科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-47	ユキノシタ	ユキノシタ科	1824～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-48	ジャケツイバラ	マメ科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-49	ササゲ	マメ科	1824～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-50	ヤマフジ	マメ科	1824～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-51	ザイフリボク	バラ科	1824～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-52	エドヒガン	バラ科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-53	サトザクラ	バラ科	1824～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-54	クサボケ	バラ科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-55	ピワ	バラ科	1824～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-56	ヤマブキ	バラ科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-57	ニワウメ	バラ科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-58	バクチノキ	バラ科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-59	ウメ	バラ科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-60	シャリンバイ	バラ科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-61	モッコウバラ	バラ科	1824～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-62	ノイバラ	バラ科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-63	ハマナス	バラ科	1824～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-64	シモツケ	バラ科	1824～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-65	ケンボナシ	クロウメモドキ科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-66	ツルコウゾ	クワ科	1824～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-67	ホソバイヌビワ	クワ科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-68	マグワ	クワ科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-69	スダジイ	ブナ科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-70	マテバジイ	ブナ科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-71	ヤマモモ	ヤマモモ科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-72	シロウリ	ウリ科	1824～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-73	トウガン	ウリ科	1824～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-74	ツルウメモドキ	ニシキギ科	1824～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-75	マサキ	ニシキギ科	1824～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-76	ニシキギ	ニシキギ科	1825～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-77	マユミ	ニシキギ科	1824～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-78	サワダツ	ニシキギ科	1824～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-79	アカメガシワ	トウダイグサ科	1824～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-80	クスドイゲ	ヤナギ科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-81	タチツボスミレ	スミレ科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-82	スミレ	スミレ科	1824～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-83	シクンシ	シクンシ科	1824～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-84	ハゼノキ	ウルシ科	1824～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-85	ウリカエデ	ムクロジ科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-86	ウンシュウミカン	ミカン科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-87	キシウウミカン	ミカン科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-88	ブシュカン	ミカン科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-89	フユザンショウ	ミカン科	1824～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-90	ジンチョウゲ	ジンチョウゲ科	1824～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-91	コガンピ	ジンチョウゲ科	1825～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙

3-11-92	ガンピ	ナデシコ科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-93	クサアジサイ	アジサイ科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-94	ガクウツギ	アジサイ科	1824～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-95	バイカアマチャ	アジサイ科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-96	モッコク	モッコク科	1824～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-97	モッコク	モッコク科	1824～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-98	ヤブコウジ	サクラソウ科	1824～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-99	マタタビ	マタタビ科	1824～1828年	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-100	イチヤクソウ	ツツジ科	1824～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-101	ツクシシャクナゲ	ツツジ科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-102	コンロンカ	アカネ科	1824～1828年	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-103	サツマイナモリ	アカネ科	1824～1828年	墨、彩色・紙
3-11-104	ツルリンドウ	リンドウ科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-105	イヨカズラ	キョウチクトウ科	1824～1828年頃	紙墨、彩色・紙
3-11-106	フナバラソウ	キョウチクトウ科	1824～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-107	レンギョウ	モクセイ科	1824～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-108	レンギョウ	モクセイ科	1825～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-109	トラノオスズカケ	オオバコ科	1824～1828年	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-110	エゴマ	シソ科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-111	サギゴケ	サギゴケ科	1824～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-112	トキワハゼ	サギゴケ科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-113	キリ	キリ科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-114	タラヨウ	モチノキ科	1824～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-115	サワギキョウ	キキョウ科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-116	モミジガサ	キク科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-117	ユウガギク	キク科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-118	ツワブキ	キク科	1824～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-119	サンシチソウ	キク科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-120	オミナエシ	スイカズラ科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-121	オトコエシ	スイカズラ科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-122	タニウツギ	スイカズラ科	1824～1828年頃	鉛筆、墨、彩色・紙
3-11-123	トベラ	トベラ科	1824～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-124	ウド	ウコギ科	1825～1828年頃	墨、彩色・紙
3-11-125	トガリアミガサタケ	アミガサタケ科	1824～1828年頃	墨、彩色・紙

## ■遠藤利克展—聖性の考古学—

ENDO Toshikatsu: The Archaeology of the Sacred

■会期：2017年7月15日（土）～8月31日（木）

■主催：埼玉県立近代美術館

■助成：アサヒグループ芸術文化財団、芸術文化振興基金

■特別協力：加藤開発株式会社

■協力：JR東日本大宮支社、FM NACK5

■観覧料：一般1,100円（880円）、大高生880円（710円）

■入場者数：9,981人

■広報印刷物：ポスターB2、ちらしA4／デザイン：山下雅士（スリープウオーク）

■担当学芸員：渋谷拓、大浦周



B2 ポスター

### ■開催趣旨

遠藤利克（1950-）は、現代日本を代表する県内在住の彫刻家である。遠藤は1960年代から70年代にかけて芸術の原理をラディカルに問い直したミニマル・アートや「もの派」の洗礼を受けつつも、それらの地平を越えることを課題として1980年代の現代美術シーンに関わっていく。美術における物語性の復権を掲げた遠藤の作品では、舟や桶、柩（ひつぎ）などのモチーフが古（いにしえ）の文化や神話的な観念を喚起する一方、水や火などのプリミティヴな要素が、人間の生命の根源にあるエロス（生の衝動）やタナトス（死の衝動）を呼び覚ます。身体感覚にダイレクトに働きかけてくる作品の圧倒的な大きさは、畏怖と恍惚、あるいは生と死が一体となった感覚へと観る者を導いていく。それは遠藤にとって、芸術を通じて「聖なるもの」に近づくことだといえる。

ドクメンタやヴェネツィア・ビエンナーレにも出品、北欧と英国で巡回展を行うなど、遠藤利克は国際的にも極めて評価が高い彫刻家であり、本展は実に26年ぶりに関東の美術館で開催される大規模な個展となった。「聖性」と「考古学」をキーワードに遠藤の仕事を整理しつつ、2000年以降に制作された作品に新作2点を加えた合計12点の出品作品と、彫刻家自身による緊張感ある展示構成により、思想的・物理的スケールが大きな遠藤利克の作品世界を紹介する機会とした。

### ■カタログ

規格：A4 変形（27.5×21.0 cm）、242 頁

執筆：遠藤利克（彫刻家）、建島哲（埼玉県立近代美術館長）、渋谷拓（埼玉県立近代美術館）

書誌編纂：鏑木あづさ

デザイン制作：星野哲也

編集・発行：現代企画室

内容：作品目録 / 【テキスト】建島哲「根源への想像力」 / 渋谷拓「遠藤利克—聖性の考古学」 / 遠藤利克用語集 / 遠藤利克（聞き手：小倉裕介（現代企画室））「逆流の作法—遠藤利克インタビュー」 / 展覧会歴 / 書誌 / 出品リスト  
価格：3,500円（展示記録集付）

### ■関連事業

- ・ スペシャル・トーク「アートにおける物語性について」 / 登壇：遠藤利克（彫刻家）、森啓輔（ヴァンジ淵刻庭園美術館学芸員）、建島哲（当館館長） / 7月23日（日）13時30分～16時30分 / 講堂 / 入場無料 / 定員80名（当日先着順） / 参加者：140名。
- ・ 映画『ストーカー』上映+アーティスト・トーク『空洞』の見立てとしての『ゾーン』 / 登壇：遠藤利克 / 8月20日（日）12時30分～16時 / 講堂 / アンドレイ・タルコフスキーの名作『ストーカー』（1979年 / ロシア）の上映後、アーティスト本人が自らの作品や思想との共鳴について語った / 入場無料 / 定員80名（当日先着順・整理券配布） / 参加者：125名。
- ・ 担当学芸員によるギャラリー・トーク / 7月22日（土）、8月19日（土）渋谷 拓 / 参加者：計85名。

### ■広報記録

<新聞>

- ・ 「生死描く巨大な造形」『埼玉新聞』2017年7月26日
- ・ 「評 美術 身体に響く濃密さ」『毎日新聞』2017年8月2日
- ・ 「量感と焼成—聖性帯びる 彫刻家・遠藤利克さん個展」『読売新聞』2017年8月10日

- ・「美術：遠藤利克展—聖性の考古学」『中日新聞』2017年8月11日
- ・「評　すごみに満ちた神話の体現」『朝日新聞』2017年8月15日
- ・「向き合う　応える　普遍性をまとう原初的な情念」『朝日新聞』2017年8月29日
- ・「この1年　美術『見栄え』『付度』を超えて」『毎日新聞』2017年12月13日
- ・「回顧 2017　美術　情報社会切実に見つめる」『朝日新聞』2017年12月19日
- ・「回顧 2017　アート　巨大彫刻、水玉…鬼才が圧倒企画展　光る学芸員の着眼力」『読売新聞』2017年12月21日
- ・酒井忠康「第59回毎日芸術賞　受賞者7人の業績」『毎日新聞』2018年1月1日
- ・「毎日芸術賞に有馬氏ら」『朝日新聞』2018年1月1日
- ・永田晶子「毎日芸術賞の人々　3　遠藤利克さん　彼岸に迫る空間」『毎日新聞』2018年1月10日
- ・「有馬朗人らさんから表彰　毎日芸術賞・千田是也賞」『毎日新聞』2018年1月26日
- ・告知：『毎日新聞』2017年6月9日／『毎日新聞』6月16日／『毎日新聞』6月23日／『毎日新聞』6月30日／『毎日新聞』7月7日／『朝日新聞』7月11日／『東京新聞』7月13日／『毎日新聞』7月14日／『埼玉新聞』7月19日／『毎日新聞』7月21日／『朝日新聞』7月25日／『毎日新聞』7月28日／『埼玉新聞』8月2日／『毎日新聞』8月4日／『朝日新聞』8月8日／『埼玉新聞』8月9日／『毎日新聞』8月18日／『朝日新聞』8月22日／『埼玉新聞』2017年8月23日／『毎日新聞』2017年8月25日

#### <雑誌、ミニコミ誌等>

- ・渋谷拓「畏れと歓喜の先にある感覚を目指して」『ソカロ』2017年6-7月号
- ・「遠藤利克展　火と水、生と死が織りなすかたち」『いけ花龍生』2017年7月1日
- ・「作品のインパクトに圧倒される」『HOT PEPPER』8月号　2017年7月28日
- ・「生命の根源となる、エロスとタナトス」『PEN』2017年8月1日
- ・「時代が失った聖なるもの」『東奥新聞』2017年8月8日
- ・「神話や物語の復権　埼玉で「遠藤利克展」」『熊本日日新聞』2017年8月9日
- ・「神話や物語の復権　「遠藤利克展」」『大阪日日新聞』

2017年8月10日

- ・「時代が失った「聖」表す　火や水で神話を復権　彫刻家・遠藤利克展」『高知新聞』2017年8月10日
- ・「神話や物語の復権　埼玉県立近代美術館・彫刻家「遠藤利克展」」『山形新聞』2017年8月11日
- ・「神話や物語の復権　「遠藤利克展」」『岐阜新聞』2017年8月12日
- ・「神話や物語の復権　埼玉で「遠藤利克展」」『福島新聞』2017年8月12日
- ・「神話や物語の復権示唆　長大な木舟・横たわる巨大円筒…埼玉　遠藤利克展—聖性の考古学」『愛媛新聞』2017年8月13日
- ・「神話や物語の復権」『徳島新聞』2017年8月13日
- ・宮田徹也「現実を突きつけた作品　遠藤利克展—聖性の考古学」『新かながわ』2017年8月13日
- ・「不可視が生む神話の復権」『山梨日日新聞』2017年8月17日
- ・「生であり死である主題　さいたままで31日まで　遠藤利克展—聖性の考古学」『茨城新聞』2017年8月21日
- ・畑中章弘「『舟』には誰を乗せ、どこへ行くのか　『遠藤利克展—聖性の考古学』」『美術手帖』10月号　2017年9月17日
- ・告知：『武州路7月号』6月20日／『たまログ浦和版』7月1日／『たまログ大宮・上尾版』7月1日／『定年時代』7月1日／『月刊ギャラリー』7月1日／『美術館びあ2017秋冬—2018』7月14日／『Acore大宮』7月14日／『新美術新聞』7月21日／『武蔵野くろす★と〜く』7月25日／『芸術新潮』7月25日／『プレーン』8月1日

#### <有料広告>

- ・『美術手帖7月号』2017年6月17日
- ・『美術手帖8月号』2017年7月17日

#### <テレビ、ラジオ>

- ・NHK「日曜美術館アートシーン」2017年7月30日

#### <WEB・有料出稿>

- ・CINRA NET　遠藤利克、杉原環樹（インタヴューア）「美術家・遠藤利克が表現する、日本人が忘れた芸術の本来の姿　『遠藤利克展—聖性の考古学』2017年8月14日

#### <WEB>

- ・告知：『アートアジェンダ』2017年6月1日／『share

art』6月2日、8日／『JDN』6月16日／『タイムアウト東京』6月22日／『インターネットミュージアム』6月27日／『Yahoo ロコ』6月29日／『J:COM ZAQ おでかマガイド』6月29日／『Biglobe 旅行』6月29日／『アパホテル』6月29日／『ニコンスポットサーチ』6月29日／『バナソニックおでか旅ガイド』6月29日／『朝日新聞デジタル』6月29日／『びあ』7月7日／『Acore 大宮』7月12日／『CINRA』7月13日／『Girls Artalk』7月13日／『Art-it』7月15日

## ■担当後記

- ◆ 本展は、東高現代美術館での個展「円環—加速する空洞」（1991年）以来26年ぶりに、関東圏の美術館で開催された遠藤氏の大規模な個展となった。構想の思想的スケールに加え、作品の物理的スケールも大きな遠藤氏の個展を企画するにあたり、予算面の制約から関東圏で集荷できる作品で展示構成することが条件となり、日本各地の美術館に収蔵されている代表作を集める代わりに、主に2000年代以降に制作された作家所蔵の作品を中心として、1990年代の代表作の一つ《泉》（東京都現代美術館蔵）に新作2点を加えた展示内容となった。作品のラインナップと、緩急のある、思わず息を呑むような素晴らしい展示構成は、いずれも作家自身によるものである。
- ◆ 作品をまとめてみることができる機会の少ない作家であるためか、作家や作品を知っている美術ファンから大規模な個展が待ち望まれていたことが、アンケートやSNSでの反応からうかがわれた。一方、平易ながらも内容の濃い作家インタビューを掲載したウェブサイト「CINRA NET」の記事を通じて遠藤氏の作品とを考えを知り、展覧会に訪れた来館者も一定数存在したと考えられる。こうした初見の鑑賞者にも大きく訴求し、満足してもらえる展示内容にすることができたように思う。
- ◆ 本展図録を主要作品目録として発行することができた。詳細な展覧会歴と充実した書誌情報も掲載し、以後の作家研究の基礎となるものとした。当館での取り扱いについては、アーティスト・トークの概要を収録した展示記録集付で販売したところ、大変好評で予定部数を大きく越える販売成績となった。
- ◆ 本展に連動するかたちで、1週間遅れでスタートしたMOMASコレクション第2期では、当館収蔵作品《泉—9個からなる》（1989年）を中心とする展示「遠藤利克—供犠の論理学」を設けた。《泉》（東京都現代美術館蔵）の貴重な焼成映像も上映して、遠藤氏の作品制作

において重要な焼成のプロセスを「供犠」の観点から検証した。企画展会場となった2F展示室BCDと地下センターコートに加え、1F展示室Aでも作品を展示することで、遠藤氏の作品世界を十分に堪能できる機会にできたように思う。

- ◆ 本展のために制作された新作2点は、加藤開発株式会社（寄居町）の敷地内で焼成（木で成形した構造物の表面を焼く）作業を実施した。日本を代表する現代美術家の展覧会の意義について深いご理解をいただき、作品制作のために惜みないご協力をいただいた同社の皆様に心より御礼を申し上げます。
- ◆ 2017年に開催された展覧会として、本展は大変高い評価を得ることができた。遠藤利克氏は、本展の業績により第59回毎日芸術賞を受賞した。また新聞紙面で毎年12月に掲載される美術分野の回顧記事において、主要3紙（読売、毎日、朝日）で本展は強い印象の残る展覧会として言及されたほか、美術批評家連盟のアンケートでは本展を2017年の印象に残る出来事としてあげた批評家も多かった。美術館の様々な事情、制約をご理解いただき、本展の実現のために全面的なご協力をいただいた遠藤利克氏に、この場を借りて改めての深い感謝を申し上げます。

（渋谷拓）



会場風景 遠藤利克《泉》（左手前）《空洞説—木の舟》（右奥）  
（撮影：加藤健）





【上】会場風景 遠藤利克《無題》(撮影：加藤健)



【右】会場風景 遠藤利克《空洞説—薬療師の舟》(撮影：加藤健)

## ■出品リスト

No.	作品名	制作年	技法・材質等	寸法	所蔵先
1	泉	1991年	木、タール、(火)	φ95×1926cm	東京都現代美術館蔵
2	Trieb—ナルチスの独房II	2000年	鉄、銅、ガラス、ポンプ、水	190×160×252.2cm	作家蔵
3	空洞説—木の舟	2009年	木、(火)	113×85×1100cm	作家蔵
4	Trieb—水路	2010年	木、鉄、タール、(火)	220×200×700cm	作家蔵
5	空洞説—沈む舟	2010年	鉛	22×150×23cm	作家蔵
6	空洞説—円環⇄壺	2012年	木、タール、(火)	φ370×110cm	作家蔵
7	空洞説(ドラム状の)—2013	2013年	木、鉄、速乾タール、(火)	φ458×240cm	作家蔵
8	空洞説—円い沼	2015年	木、樹脂、タール、(火)	φ376×145cm	作家蔵
9	寓話V—鉛の枢	2016年	木、鉛、(火)	100×345×100cm	作家蔵
10	Trieb—振動2017	2017年	水のインスタレーション	300×420×1750cm(サイズ可変)	作家蔵
11	無題	2017年	木、鉄、(火)	φ880×300cm	作家蔵
12	空洞説—薬療師の舟	2017年	木、鉄、水、(火)	108×790×100cm	作家蔵

## ■ 駒井哲郎 夢の散策者

Tetsuro Komai: A Flâneur in the Dream

■会期：2017年9月12日(火)～10月9日(月・祝)

■主催：埼玉県立近代美術館

■協力：JR 東日本大宮支社、FM NACK 5

■観覧料：一般1000円(800円)、大高生800円(640円)

■入場者数：3,904人

■広報印刷物：ちらしA4/デザイン：遠藤一成

■担当学芸員：吉岡知子、五味良子



A4 ちらし

## ■開催趣旨

東京の日本橋に生まれ、少年の頃から西洋の銅版画に魅了された駒井哲郎(1920-1976)。1950年代初めに清新な作風で一世を風靡し、戦後日本における銅版画の先駆者として、技法と表現の可能性を探索し続けた。「夢こそ現実であればよい」という願望を抱いていた駒井は、まるで夢と現実の狭間を散策するかのように、臉の裏に浮かぶ夢や幻想を、繊細な感性で現実の版に刻んでいった。また文学にも造詣が深く、詩人との協同作業により取り組んだ詩画集では、言葉との格闘を経て生まれた豊かなイメージが展開されている。

当館では、平成4年度より3回にわたって、ホダカ株式会社、株式会社マルキンジャパンからご寄贈いただいた101点の駒井作品を所蔵している。本展では、このコレクションを全点公開するとともに、近隣美術館や所蔵家から作品や資料をお借りし、詩画集や駒井の愛用品、影響を受けた美術家なども紹介しながら、初期から晩年までの駒井哲郎の足跡をたどった。

## ■関連事業

- ・講演会「駒井哲郎と書物の世界」/講師：堀江敏幸(作家)/9月16日(土)/2階講堂/参加者：94名

- ・担当学芸員によるギャラリー・トーク/9月18日(月・祝)、9月30日(土)/吉岡知子/参加者：計70名

## ■広報記録

### <新聞>

- ・宮川匡司「幻想性の背後に深い探求心「駒井哲郎」展」『日本経済新聞』2017年9月20日
- ・米山士郎「心の内面 詩的に描く 駒井哲郎の銅版画展」『埼玉新聞』2017年9月23日
- ・告知：『毎日新聞』2017年9月1日/『埼玉新聞』2017年9月6日/『東京新聞』2017年9月7日/『毎日新聞』2017年9月8日/『埼玉新聞』2017年9月13日/『朝日新聞』2017年9月19日夕刊/『埼玉新聞』2017年9月20日/『朝日新聞』2017年9月26日夕刊/『埼玉新聞』2017年9月27日/『東京新聞』2017年9月28日/『毎日新聞』2017年9月29日

### <雑誌、ミニコミ誌等>

- ・「埼玉県立近代美術館 銅版画家・駒井哲郎作品展」『シヨッパー』2017年9月1日
- ・告知：『美術展びあ 2017 秋冬』2017年7月14日/『たまログ』2017年9月1日/『新美術新聞』2017年9月1日/『月刊美術』2017年9月20日

### <テレビ・ラジオ>

- ・NHK さいたま 「日刊!さいたま〜ず」2017年9月20日
- ・テレビ埼玉「テレ玉ニュース」2017年10月6日

### <WEB>

- ・吉岡知子「企画展「駒井哲郎 夢の散策者」に寄せて—武田光司氏のコレクション」『ときの忘れものブログ』2017年9月9日
- ・告知：『朝日新聞デジタル』/『ART AgendA』/『ART NAVI』/『SAITAMA アート GUIDE 100×α』/『Tokyo Art Beat』/『Acore おおみや』/『インターネットミュージアム』/『BIGLOBE 旅行』/『J:COM ZAQ おでかけガイド』/『Nikon すぽっとサーチ』/『YAHOO!ロコ』/『アパホテル』/『KATYCOM』/『パナソニック おでかけ旅ガイド』

## ■担当後記

- ◆ 当館が所蔵する101点の駒井哲郎コレクションは、県内企業であるホダカ株式会社、株式会社マルキンジャパンの代表取締役を務めた武田光司氏(1938-2001)が生前に蒐集したものである。平成4年(1992)度に95

点を当館にご寄贈いただき、その後、平成11（1999）年度に4点、平成13（2001）年度に2点をご寄贈いただいて、現在に至っている。武田氏のコレクションは、初期から晩年までの駒井哲郎の軌跡をたどることができるものとして大変貴重であり、当館ではこれまでに1994年の企画展「駒井哲郎と現代版画家群像 果実の受胎」と、2002年12月から翌年1月にかけてのコレクション展「駒井哲郎の世界—黒と白の詩情」で、その全貌を紹介してきた。今回の展覧会は、およそ15年ぶりに武田氏のコレクションを全点公開する機会となった。

- ◆ 加えて本展では、近隣の美術館や所蔵家から作品や資料をお借りし、駒井が詩人と協同して制作した詩画集や、愛用した道具、プレス機などを展示した。またオディロン・ルドン、パウル・クレー、ジョアン・ミロ、恩地孝四郎、長谷川潔の5人を、駒井が影響を受けた美術家として紹介した。駒井が共鳴したこれらの美術家には、音楽や文学への深い造詣、夢や幻想といった意識下の世界に対する鋭敏な感性といった共通点が見出せる。駒井が敬愛した美術家を紹介することにより、駒井自身の特質をより鮮明に浮かび上がらせることができると考えた。
- ◆ 今回の展覧会では、予算の都合上、図録の作成がかなわなかったが、代わりに会場配布用の出品リストを充実したものにし、出品リストに会場パネルの各章解説全文を掲載し、デザイナーの遠藤一成氏に美しくレイアウトしていただいた。それでもアンケートには「図録を作成してほしい」という要望が多数寄せられ、駒井のように熱心な愛好者が多く、書物や文学と関わりが深い美術家の展覧会では、図録が求められていることがうかがえた。
- ◆ 会期中に作家の堀江敏幸氏をお招きして、駒井哲郎が手がけた本の装幀や雑誌の挿絵をテーマにご講演いただいた。学生の頃から装幀や挿絵によって駒井に親しんできたという堀江氏は、美術品としてではなく、身近に手に取って眺めてきた書物の中の駒井作品について、ご自身の思い出を交えながらお話くださった。

（吉岡知子）



展示風景



展示風景（駒井哲郎が愛用したプレス機）

## ■出品リスト

- ・ リストは、出品作品を各章ごとに掲載している。作品データは、原則として以下の順に記した。  
出品番号／作者名／作品名／制作年／技法・素材等／寸法（縦×横 cm）／所蔵
- ・ 作品番号は、会場の展示順とは必ずしも一致しない。
- ・ 制作年は、オリジナル作品の制作年を記し、後刷りについては、特定できる作品のみ年を記した。
- ・ 技法・素材等は、中林忠良氏、渡辺達正氏の技法調査に基づく『駒井哲郎 1920-1976』展カタログ（町田市立国際版画美術館、世田谷美術館ほか、東京新聞、2011年）を主に参考にした。
- ・ 当館が所蔵する駒井哲郎の作品は、すべてホダカ株式会社、株式会社マルキンジャパンからご寄贈いただいた。

## 第1章 夢の始まり 1935-1953

- 1 駒井哲郎／作品名不詳／1935年頃／エッチング／15.3×19.5／埼玉県立近代美術館蔵
- 2 駒井哲郎／丸の内風景／1938年／エッチング／9.0×5.2／埼玉県立近代美術館蔵
- 3 駒井哲郎／作品名不詳／1940年頃／リトグラフ／32.0×21.0／埼玉県立近代美術館蔵
- 4 駒井哲郎／足場／1942年／エッチング／15.7×19.6／埼玉県立近代美術館蔵
- 5 駒井哲郎／孤独な鳥／1948年／ソフトグランド・エッチング、メゾチント（線刻）／12.2×8.4／町田市立国際版画美術館蔵
- 6 駒井哲郎／夢の始まり／1949年／アクアチント、ドライポイント／14.5×17.0／埼玉県立近代美術館蔵
- 7 駒井哲郎／小さな幻影／1950年／サンドペーパーによるエッチング、エッチング／5.3×12.7／埼玉県立近代美術館蔵
- 8 駒井哲郎／夢の推移／1950年／メゾチント（線刻）／12.2×15.3／埼玉県立近代美術館蔵
- 9 駒井哲郎／消えかかる夢／1951年 \*1973年の刷り／メゾチント（線刻）、エッチング、エングレーヴィング、アクアチント／12.2×15.0／ときの忘れもの蔵
- 10 駒井哲郎／夢の終り／1951年／メゾチント（線刻）、エングレーヴィング、ドライポイント \*ルーレット／12.5×14.5／埼玉県立近代美術館蔵
- 11 駒井哲郎／東の間の幻影／1951年／サンドペーパーによるエッチング \*一部ルーレット／17.9×28.8／埼玉県立近代美術館蔵
- 12 駒井哲郎／海底の祭／1951年／メゾチント（線刻）、ソフトグランド・エッチング、ドライポイント／23.6×16.8／埼玉県立近代美術館蔵
- 13 駒井哲郎／人形と小動物／1951年／アクアチント、エッチング（雁皮刷）／17.6×10.1／埼玉県立近代美術館蔵
- 14 駒井哲郎／記号の静物／1951年／エッチング、ドライポイント、ソフトグランド・エッチング／9.2×8.1／埼玉県立近代美術館蔵
- 15 駒井哲郎 詩：ロオトリアモン 訳：青柳瑞穂／詩画集『マルドロオルの歌』/フロントピース「老いたる海」／1952年／書籍（木馬社、東京）/エッチング、アクアチント／27.2×19.6×3.1/16.9×12.3／うらわ美術館蔵
- 16 駒井哲郎／鱧とマルドロオル／1951年／アクアチント、エッチング／16.5×11.6／埼玉県立近代美術館蔵
- 17 駒井哲郎／私は汚らしい／1951年／エッチング、ソフトグランド・エッチング、ドライポイント、エングレーヴィング／16.8×12.0／埼玉県立近代美術館蔵
- 18 駒井哲郎／時間の迷路／1952年／アクアチント、サンドペーパーによるエッチング／23.9×22.0／埼玉県立近代美術館蔵
- 19 駒井哲郎／月のたまもの／1952年／サンドペーパーによるエッチング、アクアチント（雁皮刷）／9.9×29.9／埼玉県立近代美術館蔵
- 20 駒井哲郎／箱の中／1952年／メゾチント／17.2×21.0／町田市立国際版画美術館蔵
- 21 駒井哲郎／鬼火／1953年／サンドペーパーによるエッチング／12.9×10.4／埼玉県立近代美術館蔵
- 22 駒井哲郎／タベの街／1953年／ディープ・エッチ、アクアチント（カラー）／11.8×8.0／埼玉県立近代美術館蔵

## 第2章 夢のマチエール 1954-1966

- 23 駒井哲郎／仏国風景／1954年／エングレーヴィング（雁皮刷）／9.6×6.6／埼玉県立近代美術館蔵
- 24 駒井哲郎／廃墟／1954年／エッチング／16.7×12.3／町田市立国際版画美術館蔵
- 25 駒井哲郎／教会の横／1955年／エングレーヴィング、メゾチント（雁皮刷）／15.5×11.6／埼玉県立近代美術館蔵
- 26 駒井哲郎／芽生え／1955年／アクアチント、エングレーヴィング／15.5×28.0／ときの忘れもの蔵
- 27 駒井哲郎／ある空虚／1957年／エッチング（雁皮刷）／17.7×27.0／埼玉県立近代美術館蔵
- 28 駒井哲郎／樹木／1958年／サンドペーパーによるエッチング、エッチング／26.2×36.5／埼玉県立近代美術館蔵
- 29 駒井哲郎／森にある池／1958年／サンドペーパーによるエッチング、ドライポイント（雁皮刷）／23.2×21.1／埼玉県立近代美術館蔵
- 30 駒井哲郎／コミック II／1958年／アクアチント（カラー）／20.5×10.5／埼玉県立近代美術館蔵
- 31 駒井哲郎／庭の一隅／1958年／エングレーヴィング、エッチング／12.5×11.1／埼玉県立近代美術館蔵
- 32 駒井哲郎／庭の一隅（年賀状）／1958年／エングレーヴィング、エッチング／11.6×17.3／埼玉県立近代美術館蔵
- 33 駒井哲郎／調理場／1958年／エッチング、アクアチント（雁皮刷）／20.9×30.7／埼玉県立近代美術館蔵
- 34 駒井哲郎／三匹の小魚／1958年／エッチング、ドライポイント、サンドペーパーによるエッチング（雁皮刷）／15.3×23.3／埼玉県立近代美術館蔵
- 35 駒井哲郎／版画／1959年／エッチング、アクアチント（雁皮刷）／36.4×27.0／埼玉県立近代美術館蔵

- 36 駒井哲郎/13/1959年/アクアチント、エッチング、エングレーヴィング/26.2×35.5/埼玉県立近代美術館蔵
- 37 駒井哲郎/食卓I/1959年/ディープ・エッチ、アクアチント(カラー)/23.4×18.5/埼玉県立近代美術館蔵
- 38 駒井哲郎/食卓II/1959年/ディープ・エッチ、アクアチント(カラー)/26.9×19.1/埼玉県立近代美術館蔵
- 39 駒井哲郎/鳥と果実/1959年/リフトグラウンド・エッチング、アクアチント、エッチング、エングレーヴィング、エンボス/31.2×42.0/埼玉県立近代美術館蔵
- 40 駒井哲郎/果実の受胎/1959年/サンドペーパーによるエッチング、ドライポイント/26.2×35.8/埼玉県立近代美術館蔵
- 41 駒井哲郎/エチュード/1959年/リフトグラウンド・エッチング、アクアチント、エングレーヴィング \*連発ビュラン/26.3×36.1/埼玉県立近代美術館蔵
- 42 駒井哲郎/化石/1960年/エッチング、サンドペーパーによるエッチング、アクアチント/29.8×36.2/埼玉県立近代美術館蔵
- 43 駒井哲郎/阿呆/1960年/リフトグラウンド・エッチング、エングレーヴィング/29.9×24.8/埼玉県立近代美術館蔵
- 44 駒井哲郎 詩:安東次男/詩画集『からんどりえ』/1960年/書籍(書肆ユリイカ、東京)/27.3×21.8×3.8/うらわ美術館蔵
- 44-1 駒井哲郎/Juin「球根たち」/1960年/エッチング、サンドペーパーによるエッチング、エングレーヴィング/17.4×30.0/うらわ美術館蔵
- 44-2 駒井哲郎/Novembre「樹木」/1960年/リフトグラウンド・エッチング、エングレーヴィング/17.4×15.2/うらわ美術館蔵
- 45 駒井哲郎/葉/1960年/エッチング、リフトグラウンド・エッチング、エングレーヴィング/29.7×24.8/埼玉県立近代美術館蔵
- 46 駒井哲郎/黒い鼻/1960年/エッチング、サンドペーパーによるエッチング、エングレーヴィング、アクアチント/30.0×24.8/埼玉県立近代美術館蔵
- 47 駒井哲郎/個展案内状/1960年/エッチング/4.2×15.0/埼玉県立近代美術館蔵
- 48 駒井哲郎/手/1960年/リフトグラウンド・エッチング、アクアチント、エッチング/23.0×36.1/埼玉県立近代美術館蔵
- 49 駒井哲郎/読書する人/1960年頃/リフトグラウンド・エッチング、エッチング、エングレーヴィング(カラー)/26.5×39.4/埼玉県立近代美術館蔵
- 50 駒井哲郎/二つの球/1961年/メゾチント/9.1×13.0/埼玉県立近代美術館蔵
- 51 駒井哲郎/二つの球/1973年/メゾチント/9.1×13.0/埼玉県立近代美術館蔵
- 52 駒井哲郎/飛んでいる鳥と木の葉/1961年/サンドペーパーによるエッチング、エッチング/27.5×42.0/埼玉県立近代美術館蔵
- 53 駒井哲郎/妖(艶)/1961年/エッチング、リフトグラウンド・エッチング、ディープ・エッチ、エンボス(カラー) \*水性絵具/18.7×8.9/埼玉県立近代美術館蔵
- 54 駒井哲郎/暑中見舞はがき/1961年/エッチング/9.5×9.7/埼玉県立近代美術館蔵
- 55 駒井哲郎/蟹/1961年/ディープ・エッチ、アクアチント(カラー)/8.2×13.8/埼玉県立近代美術館蔵
- 56 駒井哲郎/貝/1962年/サンドペーパーによるエッチング、エッチング、ドライポイント/26.0×39.5/埼玉県立近代美術館蔵
- 57 駒井哲郎/貝/1962年頃/エッチング/6.4×10.6/埼玉県立近代美術館蔵
- 58 駒井哲郎/魚または毒/1962年/エッチング/26.0×36.2/埼玉県立近代美術館蔵
- 59 駒井哲郎/死んだ鳥の静物/1962年/エッチング、リフトグラウンド・エッチング、アクアチント/33.2×42.2/埼玉県立近代美術館蔵
- 60 駒井哲郎/鏡/1962年/リフトグラウンド・エッチング、アクアチント、エッチング、エングレーヴィング(カラー)/33.2×42.1/埼玉県立近代美術館蔵
- 61 駒井哲郎/逃げる人/1962年/リフトグラウンド・エッチング(カラー)/21.2×15.0/埼玉県立近代美術館蔵
- 62 駒井哲郎/小天使/1962年頃/アクアチント(カラー)/14.8×13.3/埼玉県立近代美術館蔵
- 63 駒井哲郎/からみあい/1963年/リフトグラウンド・エッチング、アクアチント、エンボス/30.3×41.8/埼玉県立近代美術館蔵
- 64 駒井哲郎/人形図/1965年/エッチング/12.2×10.2/埼玉県立近代美術館蔵
- 65 駒井哲郎/叢/1965年/エッチング、リフトグラウンド・エッチング/31.2×56.6/埼玉県立近代美術館蔵
- 66 駒井哲郎/花/1965年/アクアチント、手彩色/12.5×9.3/ときの忘れもの蔵
- 67 駒井哲郎/庭の一隅/1965年/リフトグラウンド・エッチング(カラー)/36.4×50.4/埼玉県立近代美術館蔵
- 68 駒井哲郎/大洪水/1965年/リフトグラウンド・エッチング/36.1×74.8/町田市立国際版画美術館蔵
- 69 駒井哲郎 詩:安東次男/詩画集『人それを読んで反歌という』/1966年/書籍(エスパース画廊、東京)/35.0×26.5×5.3/うらわ美術館蔵
- 69-1 駒井哲郎/PL.9「厨房にて」/1966年/リフトグラウンド・エッチング、エンボス/32.9×50.0/うらわ美術館蔵
- 69-2 駒井哲郎/PL.12「人それを読んで反歌という」/1966年/サンドペーパーによるエッチング/33.0×50.3/うらわ美術館蔵
- 70 駒井哲郎/詩画集『人それを読んで反歌という』表紙/1965年/リフトグラウンド・エッチング、アクアチント(カラー)/33.6×53.7/埼玉県立近代美術館蔵
- 71 駒井哲郎/詩画集『人それを読んで反歌という』PL.1「詩人の肖像」/1966年/エッチング、アクアチント/6.5×11.6/埼玉県立近代美術館蔵
- 72 駒井哲郎/詩画集『人それを読んで反歌という』PL.5「鎮魂歌」/1965年/エッチング/26.8×20.3/埼玉県立近代美術館蔵

- 73 駒井哲郎／詩画集『人それと呼んで反歌という』PL.12「人それと呼んで反歌という」／1965年／サンドペーパーによるエッチング／23.1×50.8／埼玉県立近代美術館蔵
- 74 駒井哲郎／橋／1966年／エッチング／17.4×19.5／埼玉県立近代美術館蔵
- 75 駒井哲郎／樹／1966年頃／エッチング／23.8×16.7／埼玉県立近代美術館蔵
- 76 駒井哲郎／人形／1966年頃／エッチング／14.5×10.0／埼玉県立近代美術館蔵

### 第3章 敬愛する美術家たち

- 77 恩地孝四郎／『飛行官能』／1934年／書籍（版画荘、東京）／27.5×20.0×1.3／うらわ美術館蔵
- 78 編集・表紙デザイン：恩地孝四郎／『書窓』1号／1935年／雑誌（アオイ書房、東京）／23.6×16.3×0.5／うらわ美術館蔵
- 79 編集・表紙デザイン：恩地孝四郎／『書窓』2号／1935年／雑誌（アオイ書房、東京）／23.6×16.3×0.5／うらわ美術館蔵
- 80 恩地孝四郎／『季節標』/魚／1935年／書籍（アオイ書房、東京）/木版／37.1×31.7×3.0/36.0×31.0／うらわ美術館蔵
- 81 恩地孝四郎／『博物志』／1942年／書籍（玄光社、東京）／27.0×19.5×1.7／うらわ美術館蔵
- 82 駒井哲郎／肖像（Portrait de Gilles de Rais）（『一木集』V）／1948年／メゾチント（線刻）、ソフトグランド・エッチング／11.3×7.6／町田市立国際版画美術館蔵
- 83 恩地孝四郎／Trivial Romance（取るに足らないロマンス）（『一木集』V）／1949年／マルチブロック／27.0×21.0／町田市立国際版画美術館蔵
- 84 『一木集』V 寄せ書き／1949年／墨／31.5×24.4／町田市立国際版画美術館蔵
- 85 『一木集』V 紙袋／1949年／墨／38.8×29.4／町田市立国際版画美術館蔵
- 86 駒井哲郎／ラジオ アクティヴィティ イン マイ ルーム（『一木集』VI）／1950年／メゾチント（線刻）、エッチング／9.8×8.3／町田市立国際版画美術館蔵
- 87 駒井哲郎／ラジオ アクティヴィティ イン マイ ルーム／1950年／メゾチント（線刻）、エッチング／9.8×8.3／埼玉県立近代美術館蔵
- 88 恩地孝四郎／リリック No.9 はるかな希い（『一木集』VI）／1950年／マルチブロック／32.0×22.0／町田市立国際版画美術館蔵
- 89 『一木集』VI 寄せ書き／1950年／墨／35.7×26.3／町田市立国際版画美術館蔵
- 90 駒井哲郎／恩地孝四郎頌／1974年／アクアチント、エッチング（雁皮刷）／20.8×9.9／埼玉県立近代美術館蔵
- 91 長谷川潔／南仏古村（ムーアン・サルトゥー）／1925年／メゾチント／15.1×38.6／町田市立国際版画美術館蔵
- 92 長谷川潔／二つのアネモネ／1934年／アクアチント／24.0×19.0／埼玉県立近代美術館蔵
- 93 駒井哲郎／R夫人肖像／1950年／アクアチント、エッチング \*背景のレースはモノタイプ／17.7×14.6／埼玉県立近代美術館蔵
- 94 オディロン・ルドン／エドモン・ピカール『陪審員』／1887年／リトグラフ／町田市立国際版画美術館蔵
- 94-1 オディロン・ルドン／彼の部屋の壁が開き、割れ目から死の首が投げ込まれた／1887年／リトグラフ／18.0×15.1／町田市立国際版画美術館蔵
- 94-2 オディロン・ルドン／ドルイド教の巫女のように豊かな髪をして、彼女は彼に劇的で荘厳な姿を現す／1887年／リトグラフ／19.2×14.3／町田市立国際版画美術館蔵
- 94-3 オディロン・ルドン／庶民階級出の卑しい男が、馬の首の下を通り抜けていった／1887年／リトグラフ／18.3×13.6／町田市立国際版画美術館蔵
- 94-4 オディロン・ルドン／聖ギュデュルの重々しい鐘が近くの塔で時を告げていた／1887年／リトグラフ／20.5×15.4／町田市立国際版画美術館蔵
- 94-5 オディロン・ルドン／いりくんだ樹々の枝が骸骨のような迷路をつくっている並木道の入口に、幽霊は滑らかで痩せ細った姿を現す／1887年／リトグラフ／15.5×9.8／町田市立国際版画美術館蔵
- 94-6 オディロン・ルドン／目にみえない、奇妙で、幻想的で、生まれる前のものたちからできている世界が、なぜ存在しないというのか？／1887年／リトグラフ／21.8×16.9／町田市立国際版画美術館蔵
- 94-7 オディロン・ルドン／幽霊の不吉な命令：汝はおまえ自身を殺さねばならない：は実行された、夢は死で終わる／1887年／リトグラフ／23.8×18.7／町田市立国際版画美術館蔵
- 95 パウル・クレー／古代風の二重肖像／1933年／糊絵具、鉛筆／32.0×20.0／埼玉県立近代美術館蔵
- 96 ジョアン・ミロ 詩：ポール・エリュアール／詩画集『あらゆる試練に耐えて』/挿画／1958年／書籍（ジェラルド・クラメール出版、ジュネーヴ）/木版／33.9×29.5×7.9/32.0×49.5／うらわ美術館蔵

### 第4章 夢の解放 1967-1975

- 97 駒井哲郎／『みづゑ』（1967年10月号）のための石版画／1967年／リトグラフ／39.1×25.3／ときの忘れもの蔵
- 98 駒井哲郎／賀状（1968年）／1967-68年／エッチング／6.4×8.5／埼玉県立近代美術館蔵
- 99 駒井哲郎／樹／1968年／エッチング／6.6×8.8／埼玉県立近代美術館蔵
- 100 駒井哲郎／魚のビエロ／1968年／エッチング／11.6×11.0／埼玉県立近代美術館蔵
- 101 駒井哲郎／海の中の静物／1968年／エッチング／12.6×8.1／埼玉県立近代美術館蔵
- 102 駒井哲郎／大樹を見上げる魚／1968年／エッチング／12.5×8.1／埼玉県立近代美術館蔵
- 103 駒井哲郎／小鳥たち／1967年／エッチング、エンボス／7.5×8.6／埼玉県立近代美術館蔵

- 104 駒井哲郎／静物／1968年／エッチング／35.8×35.0／埼玉県立近代美術館蔵
- 105 駒井哲郎／花々／1968年／エッチング、エングレーヴィング／15.0×10.0／埼玉県立近代美術館蔵
- 106 駒井哲郎／樹／1969年／エッチング（雁皮刷）／6.2×10.8／埼玉県立近代美術館蔵
- 107 駒井哲郎／星座／1969年／サンドペーパーによるエッチング（カラー）／25.9×17.1／埼玉県立近代美術館蔵
- 108 駒井哲郎 著：埴谷雄高／『闇のなかの黒い馬 夢についての九つの短編』／1971年／書籍（河出書房新社、東京）／39.4×30.5×8.2／うらわ美術館蔵
- 108-1 駒井哲郎／ゆがんだ室内／1970年／エッチング、エングレーヴィング／15.6×12.8／うらわ美術館蔵
- 108-2 駒井哲郎／闇のなかの黒い馬 II／1970年／アクアチント／21.5×12.0／うらわ美術館蔵
- 109 駒井哲郎／闇のなかの黒い馬 II／1970年／アクアチント／21.3×11.7／埼玉県立近代美術館蔵
- 110 駒井哲郎／拡がった闇の先端の顎のあたり、口ともしれぬ口のあたりを…／1969年／エッチング／21.8×12.2／埼玉県立近代美術館蔵
- 111 駒井哲郎／粗らかな剛毛と長い爪と太い指を備えた大きな掌が不意と左辺の上方に…／1970年／16.4×11.9／埼玉県立近代美術館蔵
- 112 駒井哲郎／ひとつの黒の構図がひとつの白の構図へ見る見る裡に転化して…／1970年／エッチング／16.4×12.0／埼玉県立近代美術館蔵
- 113 駒井哲郎／闇のなかの人／1970年／アクアチント／16.1×12.2／埼玉県立近代美術館蔵
- 114 駒井哲郎 詩：金子光晴／詩画集『よごれてみない一日』／挿画 3／1970年／書籍（彌生書房、東京）／ディープ・エッチ、凹凸版刷（カラー）／25.4×27.3×4.1／21.0×23.7／うらわ美術館蔵
- 115 駒井哲郎／室内／1970年／エッチング（雁皮刷）／18.4×13.3／埼玉県立近代美術館蔵
- 116 駒井哲郎／二樹／1970年／エッチング／24.4×17.0／埼玉県立近代美術館蔵
- 117 駒井哲郎／作品名不詳／1970年頃／アクアチント（カラー）／21.2×14.5／埼玉県立近代美術館蔵
- 118 駒井哲郎／森の中の空地（小）／1970年／エッチング／10.2×12.0／埼玉県立近代美術館蔵
- 119 駒井哲郎／風景／1971年／エッチング／10.1×11.9／埼玉県立近代美術館蔵
- 120 駒井哲郎／岩礁／1972年／エッチング、サンドペーパーによるエッチング／23.3×20.9／埼玉県立近代美術館蔵
- 121 駒井哲郎／静物／1973年／エッチング／14.8×14.8／埼玉県立近代美術館蔵
- 122 駒井哲郎／街／1973年／サンドペーパーによるエッチング／23.5×21.0／ときの忘れもの蔵
- 123 駒井哲郎／レースのある静物／1975年／サンドペーパーによるエッチング、アクアチント、ソフトグランド・エッチング（雁皮刷）／21.4×20.5／埼玉県立近代美術館蔵
- 124 駒井哲郎／Nature Morte（静物）／1975年／アクアチント、ソフトグランド・エッチング／17.6×14.4／埼玉県立近代美術館蔵
- 125 駒井哲郎／丘（〈日本の四季〉より 春）／1975年／エッチング／25.8×23.3／埼玉県立近代美術館蔵
- 126 駒井哲郎／岩礁（〈日本の四季〉より 夏）／1975年／エッチング（雁皮刷）／25.8×23.1／埼玉県立近代美術館蔵
- 127 駒井哲郎／樹木（〈日本の四季〉より 秋）／1975年／エッチング／25.8×24.0／埼玉県立近代美術館蔵
- 128 駒井哲郎／影（〈日本の四季〉より 冬）／1975年／エッチング（雁皮刷）／25.8×23.9／埼玉県立近代美術館蔵
- 129 駒井哲郎／ビンとコップなど／1975年／エッチング（雁皮刷）／21.7×20.6／埼玉県立近代美術館蔵
- 130 駒井哲郎／魚／制作年不詳／モノタイプ、エンボス（カラー）／33.0×42.0／埼玉県立近代美術館蔵
- 131 駒井哲郎／入口／制作年不詳／モノタイプ、エンボス（カラー）／33.2×42.0／埼玉県立近代美術館蔵
- 132 駒井哲郎／閉じた扉／制作年不詳／モノタイプ（カラー）／11.5×8.2／埼玉県立近代美術館蔵

## 第5章 夢が生まれた場所

- 133 駒井哲郎／帽子とビン／1975年／エッチング／21.5×21.0／町田市立国際版画美術館蔵
- 134 駒井哲郎が愛用したプレス機／1950年／町田市立国際版画美術館蔵

## 資料展示

- ・駒井哲郎が愛用した道具一式
- ・駒井哲郎写真資料一式
- ・佐藤朔「アトリエ訪問 駒井哲郎」『美術手帖』1951年4月号、雑誌、埼玉県立近代美術館蔵
- ・駒井哲郎「自信喪失の記」『藝術新潮』1956年3月号、雑誌、埼玉県立近代美術館蔵
- ・和田伊都夫「版画家の横顔 駒井哲郎」『美術手帖』1957年8月号、雑誌、埼玉県立近代美術館蔵
- ・宇佐見英治「明日を創る人・1 駒井哲郎」『藝術新潮』1959年1月号、雑誌、埼玉県立近代美術館蔵
- ・駒井哲郎「放浪の終焉〈芸術家のすまい・10〉」『藝術新潮』1960年10月号、雑誌、埼玉県立近代美術館蔵

## ■開館 35 周年記念展

### ディエゴ・リベラの時代

### メキシコの夢とともに

### Diego Rivera and His Contemporaries

■会期：2017年10月21日（土）～12月10日（日）

■主催：埼玉県立近代美術館、メキシコ文化省／メキシコ

国立芸術院（INBA）、読売新聞社、美術館連絡協議会

■後援：在日メキシコ大使館

■特別協力：名古屋市美術館

■特別協賛：ANA

■協賛：ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、

日本テレビ放送網

■協力：JR 東日本大宮支社、FM NACK 5

■観覧料：一般1200円（960円）、大高生960円（770円）

（ ）は団体20名以上の料金

■入場者数：10,382人

■広報印刷物：ポスターB2、ちらしA4／デザイン：大溝 裕  
（Glanz）

■担当学芸員：平野到、大越久子

## ■開催趣旨

メキシコの美術は革命後の1920-30年代に独自の展開を遂げて隆盛を極め、世界の注目を集めた。その歴史を語る上で欠かせない画家が、ディエゴ・リベラ（1886-1957）である。画才に恵まれたリベラは10歳の頃から美術学校に通い始め、1907年にヨーロッパに留学すると、キュビズムなどの最先端の画風を試み、ピカソとも交流した。

1921年に帰国すると、メキシコの社会の動きに眼を向け、公共空間に絵画を描く「メキシコ壁画運動」に積極的に携わる。また、メキシコ固有の題材を採り入れた風俗画や肖像画においても、優れた作品を数多く残した。

メキシコ国立芸術院（INBA）との共同企画によるこの展覧会では、初期から晩年にいたるリベラの画業を油彩画、素描、版画など約30点の作品でたどった。また、リベラの師でありメキシコ近代絵画を拓いたベラスコ、同時代のメキシコの様々な美術動向、リベラと関わりのあったレオナルド・フジタや北川民次ら日本人画家も紹介し、メキシコの近代美術が掲げた夢を振り返った。

## ■カタログ

規格：25.7×18.1cm、224頁

編集：埼玉県立近代美術館 [平野到、大越久子、大浦周、吉岡知子、石井富久]

学術協力：飯島みどり

翻訳：アダム・クリッチリー、飯島みどり、パメラ・ミキ・アソシエイツ

デザイン：大溝裕（Glanz）

発行：埼玉県立近代美術館

内容・構成：マグダレーナ・サバラ・ボナチュエラ「友情の閃光—ディエゴ・リベラと同時代の芸術家たち」、ドロレス・カルデナス・エイシェンヌ「日本のみなさまへ」、平野到「章解説=第1章:プロローグ、第2章:ヨーロッパ時代のディエゴ・リベラ、第3章:壁画へ、第4章:野外美術学校／美術教育／民衆芸術、第5章:メキシコの前衛—エストリデンティスモからi30-30!へ、第6章:ディエゴ・リベラをめぐる日本人画家、第7章:肖像—人間への眼差し、第8章:作家略歴、出品リスト・作品解説、参考文献

価格：2,500円（税込）



B2 ポスター

## ■関連事業

- ・ 講演会「メキシコの近代に生じた裂け目」／10月22日（日）／講師：マグダレーナ・サバラ・ボナチュエラ（メキシコ国立芸術院、本展共同企画者）、通訳：飯島みどり／講堂／参加者：45名
- ・ ミュージアムカレッジ「メキシコと20世紀美術」／講



堂

- ①10月28日(土)「企画展[ディエゴ・リベラの時代]について」:平野到(当館学芸員) /参加者:51名
- ②11月4日(土)「メキシコ革命の表象-エイゼンシュテインの映画<メキシコ万歳>と壁画運動をめぐって」:井口壽乃(埼玉大学教授) /参加者:58名
- ③11月11日(土)「キュビズムを超えて-リベラとピカソ」:田中正之(武蔵野美術大学教授) /参加者:41名
- ④12月2日(土)「ミューラル・アートの発展:メキシコ、日本、オーストラリア」:ザラ・パップジリア(埼玉大学准教授) /参加者:37名
- ・ ミュージアム・コンサート
  - ① 11月12日(日)「ラテンアメリカとヨーロッパのあいだで」出演:村治奏一(ギター) /地階センターホール/参加者:85名
  - ②12月10日(日)「ラテンアメリカと日本のあいだで」出演:笹久保伸(ギター)、青木大輔(サンポーニヤ) /地階センターホール/参加者:90名
- ・ 担当学芸員によるギャラリー・トーク/①11月18日(土)、平野到、② 11月25日(土)大越久子/参加者:① 30名、②32名

## ■広報記録

### <新聞>

- ・ 「Diego Rivera and His Contemporaries」『The Japan Times』2017年10月25日
- ・ 「力強い色彩 近代美術館 12月10日まで」『読売新聞』2017年10月26日
- ・ 渋谷和彦「ディエゴ・リベラの時代 小品から大壁画 メキシコの至宝」『産経新聞』2017年10月29日
- ・ 「画家リベラとメキシコの夢」『読売新聞』2017年10月30日
- ・ 「メキシコの巨匠 激動の時代物語る」『赤旗』2017年11月5日
- ・ 「メキシコ近代美術に出会う」『埼玉新聞』2017年11月8日
- ・ 森田睦「ディエゴ・リベラ 画業の足跡」『読売新聞』2017年11月16日
- ・ 永田晶子「ディエゴ・リベラ<裸婦とひまわり>」『毎日新聞』2017年11月20日夕刊
- ・ 平野到「ディエゴ・リベラの時代-メキシコの夢とともに 上」『読売新聞』2017年11月26日県内版
- ・ 平野到「ディエゴ・リベラの時代-メキシコの夢とともに 中」『読売新聞』2017年11月28日県内版
- ・ 大西若人「壁画作品につながる画業」『朝日新聞』2017

年11月28日夕刊

- ・ 大越久子「ディエゴ・リベラの時代-メキシコの夢とともに 下」『読売新聞』2017年11月30日県内版
- ・ 榎木野衣「ディエゴ・リベラの時代-メキシコの夢とともに」『東京新聞』2017年12月1日夕刊
- ・ 増田愛子「メキシコ壁画運動の旗手」『朝日新聞』2017年12月2日県内版
- ・ 告知『東京新聞』2017年10月18日/『朝日新聞』2017年10月24日/『埼玉新聞』2017年10月25日/『毎日新聞』2017年10月27日/『上毛新聞』2017年10月30日/『埼玉新聞』2017年11月1日/『毎日新聞』2017年11月3日/『朝日新聞』2017年11月7日/『産経新聞』2017年11月9日/『毎日新聞』2017年11月10日/『埼玉新聞』2017年11月15日/『朝日新聞』2017年11月22日/『東京新聞』2017年11月23日/『毎日新聞』2017年11月24日/『読売新聞』2017年11月27日/『朝日新聞』2017年11月28日/『毎日新聞』2017年12月1日/『朝日新聞』2017年12月5日/『埼玉新聞』2017年12月6日/『毎日新聞』2017年12月8日

### <雑誌・ミニコミ誌等>

- ・ 「ディエゴ・リベラの時代」『ギャラリー 10』2017年10月1日
- ・ 「ディエゴ・リベラの時代」『埼玉往来』2017年10月15日
- ・ 「ディエゴ・リベラの時代-メキシコの夢とともに」『定年時代』(埼玉版) 2017年11月6日
- ・ 平野到「ディエゴ・リベラのサンフラワー」『小原流 挿花』2017年11月1日
- ・ 「ディエゴ・リベラの時代」『フローリスト 12』2017年11月8日
- ・ 告知『新美術新聞』2017年9月1日/『地域創造レター』2017年9月25日/『たまログ浦和』2017年10月1日/『たまログ大宮上尾』2017年10月1日
- ・ 『さいたまグラフ』12月号、2017年11月30日/『美術手帖』12月号、2017年11月17日/告知『芸術新潮』12月号、2017年11月25日/告知『MOE①』2018年1月、2017年12月1日

### <WEB>

- ・ 「ディエゴ・リベラの時代 メキシコの夢とともに」『yahoo ロコ』2017年10月13日
- ・ 「ディエゴ・リベラの時代、メキシコ借用作品、関連作家等幅広い展示」『J:COM ZAQ おでかけガイド』2017年10月13日

- ・ 「ディエゴ・リベラの時代、メキシコ借用作品、関連作家等幅広い展示」『Biglobe 旅行』2017年10月13日
- ・ 「ディエゴ・リベラの時代、メキシコ借用作品、関連作家等幅広い展示」『アパホテル』2017年10月13日
- ・ 「ディエゴ・リベラの時代、メキシコ借用作品、関連作家等幅広い展示」『ニコンスポットサーチ』2017年10月13日
- ・ 「ディエゴ・リベラの時代、メキシコ借用作品、関連作家等幅広い展示」『パナソニックおでかけ旅ガイド』2017年10月13日
- ・ 「ディエゴ・リベラの時代、メキシコ借用作品、関連作家等幅広い展示」『朝日新聞デジタル』2017年10月13日
- ・ 「ディエゴ・リベラの時代、メキシコ借用作品、関連作家等幅広い展示」『日本旅行』2017年10月13日
- ・ 「ディエゴ・リベラの時代 メキシコの夢とともに」『美術手帖アートナビ』2017年10月24日
- ・ 「ディエゴ・リベラの時代 メキシコの夢とともに」『ケイティコム』2017年10月28日
- ・ 「ディエゴ・リベラの時代 メキシコの夢とともに」『ARTLOGUE』2017年11月9日
- ・ 「ディエゴ・リベラの時代 メキシコの夢とともに」『インターネットミュージアム』2017年11月16日
- ・ 「ディエゴ・リベラの時代 メキシコの夢とともに」『アーティストナビ』2017年11月16日

#### <テレビ>

- ・ テレビ埼玉「いまどきっ!」2017年10月28日
- ・ NHK「日曜美術館・アートシーン」2017年11月19日

#### ■担当後記

- ◆ 埼玉県がメキシコ州と姉妹州県を締結していることもあり、当館は1985年度には「メキシコの美術ー革命と情熱ー」を、1997年度には「メキシコ現代版画と日本」および「日系二世の画家 ルイス・ニシザワ展」を実施し、メキシコの美術を何度か紹介してきた。また、版画が中心であるが、ルフィーノ・タマヨなどのメキシコの美術家の作品も収蔵している。こういった経緯を踏まえ、開館35周年記念展として、メキシコ近代美術の最重要作家であるディエゴ・リベラに焦点を充てる展覧会を開催することになった。
- ◆ 開催にあたっては、本展がメキシコの国の事業として認定されたことによって、メキシコ文化省およびメキシコ国立芸術院（INBA）との共催という形式を取ることができた。この点は、調査、出品交渉、連絡事務調整、通関作業、リベラやカーロの著作権料免除など、

様々な面で有利に作用し、結果的には経費の節約に繋がった。その反面、全ての手続きや契約をメキシコ側のビュロクラティックなルールに沿って進める必要がある、その事務は煩雑で手間のかかる業務となった。

- ◆ メキシコに出張した際は、INBAの特別な計らいで、メキシコ市やベラクルスなどで数多くの関連作品や壁画を効率よく、調査することができた。INBAの協力があったため、借用先の美術館の館長や要人との交渉も非常にスムーズに進んだ。また、メキシコ滞在中に展覧会のコンセプトに関して、INBAのスタッフとディスカッションできたことは、出品作品の選定や展覧会構成を検討するうえで、多いに参考になった。INBAとの情報交換のなかで、日本にはなかなか伝わってこない、メキシコにおける最新の研究動向にも触れることができ、新たな視点や文脈を展覧会に盛り込むことが可能になった。

- ◆ リベラの展覧会を開催するにあたっては、幾つかの難題がついてまわる。ひとつは画業の中核となる壁画は、現物では決して紹介できない点である。もうひとつは、リベラはメキシコの国家遺産作家に指定されているため、借用条件が厳しい点である。すなわち、作品10点ごとにトラック一便（警備員付）、航空機一便、クーリエ一名が必須となる。そのため、リベラの多数の作品をメキシコから借用することは事実上、困難と言える。従って大回顧展とは異なる別のアイディアを模索し、リベラに関してはできるだけ主要な作品を厳選して回顧する一方、リベラを巡る前後左右の文脈の充実をはかった。こういった方針をとることによって、リベラの前史や同時代の動き、リベラと拮抗・対立する動向なども展覧会に盛り込むことが可能になった。メキシコの近代美術は、壁画運動や民族主義といった観点からやや短絡的に概説される傾向があった。本展はリベラを中心とした内容ではあるが、メキシコの近代美術の多様性を示すことによって、壁画運動やその中核にいた巨匠リベラを相対化していく試みであったと言えるかもしれない。

- ◆ 展覧会では、メキシコに滞在した北川民次、レオナルド・フジタについても取り上げ、リベラとの接点を探った。フジタに関しては、INBAの調査協力によって、メキシコ滞在中の新資料も紹介できた。これらの資料に関しては、より正確な事実を把握するために、今後も継続調査を進めていきたい。

(平野到)



第7章・会場風景



第8章・会場風景

## ■出品リスト

[凡例]

出品番号/作家名/題名/制作年/技法・素材/寸法 (cm) /所蔵先

\*印の作品は前期展示 (10/21-11/12)、\*\*印の作品は後期展示 (11/14-12/10)

出品作品等は都合により変更する場合があります。

### 1. プロローグ

- 1-1 ホセ・マリア・ベラスコ/テオティワカンの太陽のピラミッド/1878/油彩、カンヴァス/32.4×46.2/メキシコ国立美術館蔵
- 1-2 ホセ・マリア・ベラスコ/オリサバ山/1875/油彩、カンヴァス/34×44.5/メキシコ国立美術館蔵
- 1-3 ディエゴ・リベラ/農地/1904/油彩、カンヴァス/100.3×115.2/ディエゴ・リベラ生家美術館蔵
- 1-4 ディエゴ・リベラ/オリサバ山/1906/油彩、カンヴァス/23×35/ベラクルス州立美術館蔵
- 1-5 ホアキン・クラウセル/海の夕暮れ、赤い波/c.1910/油彩、カンヴァス/101×151/メキシコ国立美術館蔵
- 1-6 ホアキン・クラウセル/フエンテス・プロタンテス (人物入り) /制作年不詳/油彩、カンヴァス/76.5×121/メキシコ国立美術館蔵
- 1-7 フランシスコ・デ・ラ・トーレ/旅人/1910/油彩、カンヴァス/97×100/メキシコ国立美術館蔵
- 1-8 ヘラルド・ムリリョ (ドクトル・アトル) /山脈/1933/混合技法、麻・木材/107×145/メキシコ国立美術館蔵
- 1-9 著:ドクトル・アトル『メキシコの火山、第1巻、ポボカテペトル山の活動』写真:フーゴ・プレーメ「アメカメカから見たポボカテペトル山」「東から見たポボカテペトル山、プエブラ近郊」/1939/書籍/25×24.5/個人蔵
- 1-10 著:ドクトル・アトル『火山の誕生と成長ーパルクティオン山』図版:ドクトル・アトル《パルクティオン山の夜の外観》/スティーロ編集社、メキシコシティ/1950/書籍/32×24/個人蔵
- 1-11 ホセ・グアダルーペ・ポサダ/骸骨ドン・キホーテ/1890-1913 (1960年代の復刻) /金属版、紙/28×43.4/名古屋市美術館蔵/\*
- 1-12 ホセ・グアダルーペ・ポサダ/新聞各紙の骸骨/1890-1913 (1960年代の復刻) /金属版、紙/28 × 43.4/名古屋市美術館蔵/\*\*
- 1-13 ホセ・グアダルーペ・ポサダ/芸術の煉獄/1890-1913/活字合金版エンブレイヴィング、紙/60×40/名古屋市美術館蔵/\*\*
- 1-14 ホセ・グアダルーペ・ポサダ/もはや世界の終りにちがいない/1890-1913/金属版、紙/40×30/名古屋市美術館蔵/\*\*
- 1-15 ホセ・グアダルーペ・ポサダ/終末は近い/制作:1894/活字合金版エンブレイヴィング、紙/40×30/名古屋市美術館蔵/\*\*
- 1-16 ホセ・グアダルーペ・ポサダ/サン・ファン・デ・ロス・ラゴスの聖母/1902/活字合金版エンブレイヴィング、紙/40×30/名古屋市美術館蔵/\*
- 1-17 ホセ・グアダルーペ・ポサダ/グアナファトの大洪水とその真相/1905/亜鉛版エッチング、紙/30×20/名古屋市美術館蔵/\*
- 1-18 ホセ・グアダルーペ・ポサダ/骸骨出版人 (アントニオ・バネガス・アローヨ) /制作:1906/亜鉛版エッチング、紙/40×30/名古屋市美術館蔵/\*
- 1-19-1 ホセ・グアダルーペ・ポサダ/独立100周年の彗星 1910年1月18日/1910年/亜鉛版エッチング、紙/30×20/名古屋市美術館蔵/\*
- 1-19-2 ホセ・グアダルーペ・ポサダ/ハレー彗星と母なる地球の会話/1910/亜鉛版エッチング、紙/30×20/名古屋市美術館蔵/\*\*
- 1-20 ホセ・グアダルーペ・ポサダ/フランシスコ・マデロ氏の全国遊説/1911 (制作:1910-1912) /亜鉛版エッチング、紙/40×30/名古屋市美術館蔵/\*\*
- 1-21 ホセ・グアダルーペ・ポサダ/骸骨フランシスコ・マデロ/1912 (制作:1910) /亜鉛版エッチング、紙/40×30/名古屋市美術館蔵/\*\*
- 1-22 ホセ・グアダルーペ・ポサダ/骸骨エミリアーノ・サパタ/1912 (制作:1910-1912) /亜鉛版エッチング、紙/40×30/名古屋市美術館蔵/\*
- 1-23 ホセ・グアダルーペ・ポサダ/エミリアーノ・サパタの死/1913 (制作:1910-1912) /亜鉛版エッチング、紙/30×20/名古屋市美術館蔵/\*
- 1-24 ホセ・グアダルーペ・ポサダ/山形帽子をかぶった骸骨/1919/亜鉛版エッチング、紙/40×30/名古屋市美術館蔵/\*

### 2. ヨーロッパ時代のディエゴ・リベラ

- 2-1 ディエゴ・リベラ/レケイティオの教会/1907/油彩、カンヴァス/108×88/ディエゴ・リベラ生家美術館蔵
- 2-2 ディエゴ・リベラ/パリのノートル・ダム (霧にかすむノートル・ダム) /1909/油彩、カンヴァス/146×115.5/ディエゴ・リベラ生家美術館蔵
- 2-3 ディエゴ・リベラ/アンヘリーナ・ペロフの肖像/1909/油彩、カンヴァス/59×45/ベラクルス州立美術館蔵
- 2-4 ディエゴ・リベラ/ブルターニュの少女/1910/油彩、カンヴァス/100.5 × 80.5/ディエゴ・リベラ生家美術館蔵

- 2-5 ディエゴ・リベラ/カタルーニャの灼熱の大地/1911/油彩、カンヴァス/87×107/ベラクルス州立美術館蔵  
 2-6 ディエゴ・リベラ/木/1913/鉛筆・水彩、紙/33.5×25.5 /ディエゴ・リベラ生家美術館蔵  
 2-7 ディエゴ・リベラ/瓶のある静物/1914/鉛筆・グアッシュ・コラージュ、紙/35.5×19/ベラクルス州立美術館蔵  
 2-8 ディエゴ・リベラ/銃を持つ水兵(昼食をとる船乗り)/1914/油彩、カンヴァス/114×70/ディエゴ・リベラ生家美術館蔵  
 2-9 ディエゴ・リベラ/グラスと瓶のある静物/1915/テンペラ、紙/23×34.5/ベラクルス州立美術館蔵

### 3. 壁画へ

- 3-1 ディエゴ・リベラ/テワンテペクの沐浴/1923/油彩、カンヴァス/62.5 × 51.8/ディエゴ・リベラ生家美術館蔵  
 3-2 ディエゴ・リベラ/とうもろこしをひく女/1924/油彩、カンヴァス/90×117/メキシコ国立美術館蔵  
 3-3 ディエゴ・リベラ/ピノレ売り/1924/エンコースティック、カンヴァス/81.5×60.5/メキシコ国立美術館蔵  
 3-4 ディエゴ・リベラ/タコスを持つ子供/1932/リトグラフ、紙/44.5×31.8/名古屋市美術館蔵  
 3-5 ディエゴ・リベラ/夢/1932/リトグラフ、紙/42.5×30.5/名古屋市美術館蔵  
 3-6 ディエゴ・リベラ/大地の果実/1932/リトグラフ、紙/55.3×39.9/名古屋市美術館蔵  
 3-7 ディエゴ・リベラ/野外学校/1932/リトグラフ、紙/38.9×53.8/名古屋市美術館蔵  
 3-8 ディエゴ・リベラ/エミリアーノ・サパタ/1932/リトグラフ、紙/57.5×40.3/名古屋市美術館蔵  
 3-9 ディエゴ・リベラ/宗教の歴史 I (アステカ)/1950/油彩、カンヴァス/195×74/メキシコ国立近代美術館蔵  
 3-10 ティナ・モドッティ/メキシコ公教育省壁画:「世界のすべての富は大地からもたらされる」/1928/ゼラチンシルバープリント、紙/23.4×19.2/名古屋市美術館蔵/\*  
 3-11 ティナ・モドッティ/メキシコ公教育省壁画:脱穀/c.1928/ゼラチンシルバープリント、紙/21×14.5/名古屋市美術館蔵/\*  
 3-12 ティナ・モドッティ/メキシコ公教育省壁画:トラクター/c.1928/ゼラチンシルバープリント、紙/25.3×20.2/名古屋市美術館蔵/\*\*  
 3-13 ティナ・モドッティ/メキシコ公教育省壁画:統一戦線/c.1928/ゼラチンシルバープリント、紙/24.1×18.9/名古屋市美術館蔵/\*  
 3-14 ティナ・モドッティ/メキシコ公教育省壁画:抗議/1928/ゼラチンシルバープリント、紙/24.1×18.6/名古屋市美術館蔵/\*\*  
 3-15 ティナ・モドッティ/メキシコ公教育省壁画:エミリアーノ・サパタ(部分)/c.1928/ゼラチンシルバープリント、紙/25.3×20.3/名古屋市美術館蔵/\*\*  
 3-16 ティナ・モドッティ/メキシコ公教育省壁画:ABCの学習/脱穀/c.1928/ゼラチンシルバープリント、紙/25.2×20.1/名古屋市美術館蔵/\*  
 3-17 ティナ・モドッティ/メキシコ公教育省壁画:労働へ/c.1928/ゼラチンシルバープリント、紙/21×14.5/名古屋市美術館蔵/\*  
 3-18 ティナ・モドッティ/メキシコ公教育省壁画:労働組合/c.1928/ゼラチンシルバープリント、紙/25.3×20.3/名古屋市美術館蔵/\*\*  
 3-19 ティナ・モドッティ/メキシコ公教育省壁画:乱痴気騒ぎ一金持ちの夜(部分)/c.1928/ゼラチンシルバープリント、紙/20.3×25.3/名古屋市美術館蔵/\*  
 3-20 ティナ・モドッティ/メキシコ公教育省壁画:保障ー資本主義の残骸/c.1928/ゼラチンシルバープリント、紙/23.8×18.8/名古屋市美術館蔵/\*\*  
 3-21 ティナ・モドッティ/メキシコ公教育省壁画:雨(部分)/1928/ゼラチンシルバープリント、紙/25.3×20.2/名古屋市美術館蔵/\*  
 3-22 ティナ・モドッティ/メキシコ公教育省壁画:眠りー貧者の夜/c.1928/ゼラチンシルバープリント、紙/25.3×20.3/名古屋市美術館蔵/\*\*  
 3-23 ティナ・モドッティ/メキシコ公教育省壁画:大地の果実(部分)/1928/ゼラチンシルバープリント、紙/20.2×25.3/名古屋市美術館蔵/\*\*  
 3-24 『ディエゴ・リベラの作品』/図版:公教育省のフレスコ壁画「労働の中庭」ノイアー・ドイチャー出版社、ベルリン/1928/書籍/29×22.5/個人蔵  
 3-25 『ディエゴ・リベラのフレスコ壁画』ニューヨーク近代美術館/1933/コロタイプ、紙(全19枚)/31.8×26/アルトゥーロ・サウセド・コレクション  
 3-26 ダビッド・アルファロ・シケイロス/奴隷/1961/アクリル、板/86.4×64.8/名古屋市美術館蔵  
 3-27 ホセ・クレメンテ・オロスコ/家族/1926/リトグラフ、紙/26×42.5/名古屋市美術館蔵  
 3-28 ホセ・クレメンテ・オロスコ/修道士とインディオ/1926/リトグラフ、紙/31.6×26.5/名古屋市美術館蔵  
 3-29 ホセ・クレメンテ・オロスコ/レクイエム/1928/リトグラフ、紙/29.8×40/名古屋市美術館蔵  
 3-30 ホセ・クレメンテ・オロスコ/ブルケリア/1928/リトグラフ、紙/33×41.9/名古屋市美術館蔵  
 3-31 ホセ・クレメンテ・オロスコ/群衆/1935/リトグラフ、紙/34×43/名古屋市美術館蔵  
 3-32 ホセ・クレメンテ・オロスコ/示威行動/1935/リトグラフ、紙/32×43/名古屋市美術館蔵  
 3-33 マヌエル・アルバレス・ブラボ/ダビッド・アルファロ・シケイロス/1939-1940/ゼラチンシルバープリント、紙/25.4×20.3/名古屋市美術館蔵/\*\*  
 3-34 マヌエル・アルバレス・ブラボ/ホセ・クレメンテ・オロスコ/1939-1940(プリントは1987)/ゼラチンシルバープリント、紙/20.3×25.4/名古屋市美術館蔵/\*

#### 4. 野外美術学校／美術教育／民衆芸術

- 4-1 アルフレド・ラモス・マルティネス／少女とアジサイの風景／c. 1916／パステル、紙／90×209／メキシコ国立美術館蔵
- 4-2 フランシスコ・ディアス・デ・レオン／日本の文字／1926／木版、紙／6.5×6／アンドレス・ブライステン・コレクション
- 4-3 フランシスコ・ディアス・デ・レオン／チュルプスコの扉／1928／木版、紙／17.8×15.3／アンドレス・ブライステン・コレクション
- 4-4 フランシスコ・ディアス・デ・レオン／トラルパンの通り／1928／木版、紙／15.2×17.8／アンドレス・ブライステン・コレクション
- 4-5 北川民次／トラルパムにて／1928／油彩、カンヴァス／80.2×70.3／浜松市美術館蔵
- 4-6 北川民次／メキシコ水浴の図／1930／油彩、カンヴァス／78.6×68.5／名古屋市美術館蔵
- 4-7 北川民次／インディオの姉弟／1933／テンペラ、カンヴァスに貼った紙／80.4×69.9／浜松市美術館蔵
- 4-8 アマドール・ルーゴ／龍舌蘭とサボテンと樹／1939／テンペラ、カンヴァス／80.3×100.3／名古屋市美術館蔵
- 4-9 著：アドルフ・ベスト・マウガール／『素描の方法：メキシコ美術の伝統、再生、進化』教育省出版部、メキシコシティ／1923／書籍／22×15.5／個人蔵
- 4-10 エミリオ・アメロ／刺青のバレリーナ／1922／水彩、紙／35×30.5／アルトゥーロ・サウセド・コレクション
- 4-11 アブラーム・アンヘル／自画像／1923／油彩、厚紙／81×72.5／メキシコ国立美術館蔵
- 4-12 編：フランセス・トアー、ディエゴ・リベラ／『メキシカン・フォークウェイズ 特集：メキシコの小学生の絵画と素描』／1934年11月号／メキシコシティ／29×21.5／個人蔵

#### 5. メキシコの前衛—エストリデンティスモから i 30-30 !へ

- 5-1 著：マヌエル・マブレス・アルセ『都市：5編のボルシェビキ超詩』挿画：ジャン・シャルロ アンドレス・ボタスと息子たち編集社、メキシコシティ／1924／書籍／22.5×16／メキシコ国立美術館蔵
- 5-2-1 『セール』1923年1月 表紙：ガルシア・カヘーロ プエブラ／雑誌／32.4×23／メキシコ国立美術館蔵図書館／INBA
- 5-2-2 編：ヘルマン・リスト・アルスビデ『セール』／1923年2-3月／表紙：ジャン・シャルロ《マヌエル・マブレス・アルセの心理的肖像》1922／プエブラ／雑誌／32.4×23／メキシコ国立美術館蔵
- 5-3 著：マヌエル・マブレス・アルセ『禁じられた詩』図版：レオポルド・メンデス《マヌエル・マブレス・アルセの肖像》c. 1927 オリソンテ編集社、ベラクルス州ハラパ／1927／書籍／21.5×15／個人蔵
- 5-4 編：マヌエル・マブレス・アルセ、フェルミン・レプエルタス『イラディアドール』1号、1923年9月／表紙：フェルミン・レプエルタス《食堂》、裏表紙：たばこ会社「エル・プエン・トノ」の広告（推定：フェルミン・レプエルタスによる挿画）／雑誌／23.8×17.4／アルトゥーロ・サウセド・コレクション
- 5-5 キン・タニヤ（ルイス・キンタニージャ）『ラジオ』表紙：ロベルト・モンテネグロ 文化編集社、メキシコシティ／1924／書籍／23.5×17／個人蔵
- 5-6-1 『オリソンテ』1巻5号、1926年8月 表紙：ラモン・アルバ・デ・ラ・カナル オリソンテ編集社、ベラクルス州ハラパ／雑誌／29×21.5／メキシコ国立美術館蔵
- 5-6-2 『オリソンテ』1巻8号 1926年11月 図版：ディエゴ・リベラ《土地と解放、エミリアーノ・サパター農地革命の首領》／1923／オリソンテ編集社、ベラクルス州ハラパ／雑誌／29×21.5／メキシコ国立美術館蔵
- 5-7 著：ヘルマン・リスト・アルスビデ『エストリデンティスタ運動』挿画：ラモン・アルバ・デ・ラ・カナル《エストリデンティスタ運動》1926 オリソンテ編集社、ベラクルス州ハラパ／1926／書籍／21.5×15／個人蔵
- 5-8 ラモン・アルバ・デ・ラ・カナル／無題（砂糖きびの圧搾機）／1922／リノカット、紙／22×17／メキシコ国立美術館蔵
- 5-9 ラモン・アルバ・デ・ラ・カナル／都市／1925／木版、紙／40×35／アルバ・デ・ラ・カナル家コレクション
- 5-10 ラモン・アルバ・デ・ラ・カナル／磔／1926／インク、紙／20.5×14.6／アルバ・デ・ラ・カナル家コレクション
- 5-11 ラモン・アルバ・デ・ラ・カナル／エストリデンティスタのための建築／1926／木版、紙／20.5×19／アルバ・デ・ラ・カナル家コレクション
- 5-12 ラモン・アルバ・デ・ラ・カナル／エストリデントポリスのためのラジオ局／c. 1927／木版、紙／20.5×19.5／アルバ・デ・ラ・カナル家コレクション
- 5-13 フェルナンド・リアル／踊り手たち／1922／木版、紙／31.7×28／アンドレス・ブライステン・コレクション
- 5-14 フェルナンド・リアル／工場／c. 1928／木版、紙／28×28.2／アンドレス・ブライステン・コレクション
- 5-15 ガブリエル・フェルナンデス・レデスマ／ニューヨーク／1922／木版、紙／44×34／アンドレス・ブライステン・コレクション
- 5-16 ガブリエル・フェルナンデス・レデスマ／演説をする主導者／1927／木版、紙／43.6×34／アンドレス・ブライステン・コレクション
- 5-17 フェルミン・レプエルタス／無題（高圧線のある風景）／1924／水彩、紙／14.7×21.8／メキシコ国立美術館蔵
- 5-18 フェルミン・レプエルタス／抽象／c. 1930-1940／木版、紙／17.5×22.8／アンドレス・ブライステン・コレクション
- 5-19 フェルミン・レプエルタス／抽象のモチーフ／制作年不詳／リノカット、紙／24.7×18.9／アンドレス・ブライステン・コレクション
- 5-20 『社会的成熟の段階の革命』表紙：フェルミン・レプエルタスによるフォトモンタージュ 公教育省出版部、メキシコシティ／書籍／22×16.5／個人蔵
- 5-21 ティナ・モドッティ／小作人の集會、背後より／1926（プリント年不詳）／ゼラチンシルバープリント、紙／20.6×18.6／メキシコ国立美術館蔵

- 5-22 ティナ・モドッティ／アステカの赤子／c.1926-1927／ゼラチンシルバープリント、紙／23.1×18.5／名古屋市美術館蔵／\*
- 5-23 エドワード・ウェストン／錨をおろした船／ゼラチンシルバープリント、紙／24×19／メキシコ国立美術館蔵
- 5-24 再版：第1回i30-30！ マニフェスト、第3回i30-30！ マニフェスト、第5回i30-30！ マニフェスト テキストと印刷：フェルナンド・レアル／印刷物／80×50／名古屋市美術館蔵
- 5-25 フランシスコ・ディアス・デ・レオン／洗濯女たち／1930／木版、紙／17.3×12.9／アンドレス・ブライステン・コレクション
- 5-26 北川民次／「クアウテモックの拷問」(7月20日)、1930年メキシコ市民カレンダー／1929／印刷／23.5×16.5／名古屋市美術館蔵
- 5-27 北川民次／タスコの裸婦／1941／木版、紙／25×42／埼玉県立近代美術館蔵
- 5-28 北川民次／メキシコの浴み／c.1941／木版、紙／26×30.6／埼玉県立近代美術館蔵

## 6. ディエゴ・リベラをめぐる日本人画家

- 6-1 レオナルド・フジタ／ディエゴ・リベラの肖像／制作年不詳／インク、紙／40.4×51.4／グアダルーペ・リベラ・マリン・コレクション
- 6-2 レオナルド・フジタ／メキシコの家族(二人の男と少女)／1933／インク・水彩、紙／90.2×2×68.6／エイシェンヌ・クエバス・コレクション
- 6-3 レオナルド・フジタ／トダ・オラ食堂、テンダホン／1933／インク・水彩、紙／21.6×27.3／エイシェンヌ・クエバス・コレクション
- 6-4 レオナルド・フジタ／ルイ・エイシェンヌの肖像／1933／インク・水彩、紙／44.5×36.8／エイシェンヌ・クエバス・コレクション
- 6-5 撮影：レオナルド・フジタ(推定)／マドレーヌ・ルクーとルイ・エイシェンヌ(サン・アンヘル・インにあるリベラの家の前にて)／1933／写真／13.5×8.5／エイシェンヌ・クエバス・コレクション
- 6-6 撮影：レオナルド・フジタ(推定)／マドレーヌ・ルクー(ルイ・エイシェンヌへ贈られた写真)／1933／写真／12.7×17.3／エイシェンヌ・クエバス・コレクション
- 6-7 撮影：レオナルド・フジタ(推定)／マドレーヌ・ルクー(ルイ・エイシェンヌへ贈られた写真)／1933／写真／12.5×17.3／エイシェンヌ・クエバス・コレクション
- 6-8 撮影者不詳／レオナルド・フジタの肖像(グアダルーペ・マリンへ贈られた写真)／贈呈年：1933／ゼラチンシルバープリント、紙／16.5×11.5／フアン・ラファエル・コロネル・リベラ・コレクション
- 6-9 北川民次／赤い家とサボテン／1936／水彩・木炭、紙／61.5×49／個人蔵
- 6-10 イサム・ノグチ／ディエゴ・リベラの肖像／1936／混合技法、紙／28.3×21.5／フアン・ラファエル・コロネル・リベラ・コレクション

## 7. 肖像一人間への眼差し

- 7-1 マヌエル・アルバレス・ブラボ／ディエゴ・リベラ／1930-1940／ゼラチンシルバープリント、紙／25.4×20.3／名古屋市美術館蔵／\*
- 7-2 ディエゴ・リベラ／アマリア・カスティージョ・レドンの肖像／1927／鉛筆、紙／61.4×48.2／名古屋市美術館蔵
- 7-3 ディエゴ・リベラ／自画像／1930／リトグラフ、紙／44.9×32.8／名古屋市美術館蔵
- 7-4 ディエゴ・リベラ／ヘンリー・ノーウェップの肖像／1935／油彩、板／115.1×91.2／名古屋市美術館蔵
- 7-5 ディエゴ・リベラ／カルロス・ペジセルの肖像／1936／パステル、紙／41×47／ベラクルス州立美術館蔵
- 7-6 ディエゴ・リベラ／裸婦とひまわり／1946／油彩、カンヴァス・メゾナイト／151×120／ベラクルス州立美術館蔵
- 7-7 ディエゴ・リベラ／クカ・プスタマンテの肖像／1946／油彩、カンヴァス／157.2×122／メキシコ国立近代美術館蔵
- 7-8 ラモン・アルバ・デ・ラ・カナル／扇の婦人／1940／油彩、カンヴァス／65.2×59／アルバ・エルナンデス家コレクション
- 7-9 ダビッド・アルファロ・シケイロス／婦人像／1934／油彩、メゾナイト／152.7×78.7／名古屋市美術館蔵
- 7-10 マリア・イスキエルド／旅人の肖像(アンリ・ド・シャティヨン)／c.1940／油彩、カンヴァス／160×190／名古屋市美術館蔵
- 7-11 マリア・イスキエルド／マリア・アスンソロの肖像と巻貝／1942／油彩、カンヴァス／200×124.6／メキシコ国立美術館蔵
- 7-12 フリーダ・カーロ／ディエゴとフリーダ 1929-1944 (ディエゴと私 II)／1944／油彩、メゾナイト／13.5×8.5／個人蔵

## 8. 普遍性と多様性

- 8-1-1 『ファランヘ』1922年12月 表紙：アドルフォ・ベスト・マウガール、メキシコシティ／雑誌／24×19.5／個人蔵
- 8-1-2 『ファランヘ』1923年7月 表紙：マヌエル・ロドリゲス・ロサノ《労働者》、メキシコシティ／雑誌／24×19.5／個人蔵
- 8-1-3 『ファランヘ』1923年9月 表紙：ロベルト・モンテネグロ《イエス・キリスト》、メキシコシティ／雑誌／24×19.5／個人蔵
- 8-1-4 『ファランヘ』1923年10月 挿画：ミゲル・コバルピアス《カルロス・E・ゴンサレス》、メキシコシティ／雑誌／24×19.5／個人蔵
- 8-2-1 『コンテンポラネオス』1号 1928年6月 メキシコシティ／雑誌／23×16／個人蔵

- 8-2-2 『コンテンポラネオス』2号 1928年7月 図版：アウグスティン・ラソ、メキシコシティ／雑誌／23×16／個人蔵
- 8-2-3 『コンテンポラネオス』3号 1928年8月 図版：ジョルジョ・デ・キリコ、メキシコシティ／雑誌／23×16／個人蔵
- 8-2-4 『コンテンポラネオス』4号 1928年9月 図版：ルフィーノ・タマヨ、メキシコシティ／雑誌／23×16／個人蔵
- 8-2-5 『コンテンポラネオス』5号 1928年10月 メキシコシティ／雑誌／23×16／個人蔵
- 8-2-6 『コンテンポラネオス』8号 1929年1月 メキシコシティ／雑誌／23×16／個人蔵
- 8-2-7 『コンテンポラネオス』12号 1929年5月 メキシコシティ／雑誌／23×16／個人蔵
- 8-2-8 『コンテンポラネオス』16号 1929年9月／図版：マリア・イスキエルド、メキシコシティ／雑誌／23×16／個人蔵
- 8-2-9 『コンテンポラネオス』21号 1930年2月／図版：北川民次、メキシコシティ／雑誌／23×16／個人蔵
- 8-2-10 『コンテンポラネオス』23号 1930年4月／図版：サルバドール・ダリ、メキシコシティ／雑誌／23×16／個人蔵
- 8-2-11 『コンテンポラネオス』36号 1931年5月／特集：セルゲイ・エイゼンシュテイン、メキシコシティ／雑誌／23×16／個人蔵
- 8-3 アウグスティン・ラソ／美女と野獣／c.1932-1936／コラージュ／16.6×24.1／アンドレス・ブライステン・コレクション
- 8-4 アウグスティン・ラソ／カディスの救命ボート／c.1932-1936／コラージュ／16×22／アンドレス・ブライステン・コレクション
- 8-5 アウグスティン・ラソ／コロッセウムと馬／c.1932-1936／コラージュ／14.7×24／アンドレス・ブライステン・コレクション
- 8-6 マヌエル・ロドリゲス・ロサノ／革命／制作年不詳／油彩、カンヴァス／70.5×95.5／メキシコ国立美術館蔵
- 8-7 カルロス・オロスコ・ロメロ／窓辺にて／1950／油彩、カンヴァス／98×78.5／メキシコ国立美術館蔵
- 8-8 ルフィーノ・タマヨ／黒人の仮面（カーニバル）／1939／テンペラ、リンネル／44.8×60.4／名古屋市美術館蔵
- 8-9 ルフィーノ・タマヨ／乗り遅れた乗客／1946／油彩、カンヴァス／97.2×84／名古屋市美術館蔵
- 8-10 マヌエル・アルバレス・ブラボ／紙の波／1926-1927／ゼラチンシルバープリント、紙／20.3×25.4／名古屋市美術館蔵／\*
- 8-11 マヌエル・アルバレス・ブラボ／小便をする子供／1927／プラチナパラジウムプリント、紙／25×20／名古屋市美術館蔵／\*\*
- 8-12 マヌエル・アルバレス・ブラボ／アイスクリーム売りの二輪車について小さな馬（ネガ）／1927（プリントは1928）／プラチナパラジウムプリント、紙／20×25／名古屋市美術館蔵／\*\*
- 8-13 マヌエル・アルバレス・ブラボ／木馬／1928／ゼラチンシルバープリント、紙／35.6×27.9／名古屋市美術館蔵／\*\*
- 8-14 マヌエル・アルバレス・ブラボ／カボチャとカタツムリ／1928（プリントは1929）／プラチナパラジウムプリント、紙／25×20／名古屋市美術館蔵／\*
- 8-15 マヌエル・アルバレス・ブラボ／夢想／1931／ゼラチンシルバープリント、紙／25.4×20.3／名古屋市美術館蔵／\*\*
- 8-16 マヌエル・アルバレス・ブラボ／眼の寓話／1931／ゼラチンシルバープリント、紙／25.4×20.3／名古屋市美術館蔵／\*
- 8-17 マヌエル・アルバレス・ブラボ／洗濯女たちの気配／1932／ゼラチンシルバープリント、紙／25.4×20.3／名古屋市美術館蔵／\*\*
- 8-18 マヌエル・アルバレス・ブラボ／舞踏家たちの娘／1933／プラチナパラジウムプリント、紙／35×28／名古屋市美術館蔵／\*
- 8-19 マヌエル・アルバレス・ブラボ／ストライキ中の労働者、殺される／1934／ゼラチンシルバープリント、紙／15.4×20.3／名古屋市美術館蔵／\*
- 8-20 マヌエル・アルバレス・ブラボ／眠れる名声／1938-1939／ゼラチンシルバープリント、紙／20.3×25.4／名古屋市美術館蔵／\*
- 8-21 マヌエル・アルバレス・ブラボ／死後の肖像／1939／プラチナパラジウムプリント、紙／28×35／名古屋市美術館蔵／\*\*
- 8-22 マヌエル・アルバレス・ブラボ／世間は何と狭いことか／1942／ゼラチンシルバープリント、紙／20.3×25.4／名古屋市美術館蔵／\*
- 8-23 マヌエル・アルバレス・ブラボ／入口／1947／ゼラチンシルバープリント、紙／25.4×20.3／名古屋市美術館蔵／\*\*
- 8-24 マヌエル・アルバレス・ブラボ／フリーダ・カーロ／1930-1940／ゼラチンシルバープリント、紙／25.4×20.3／名古屋市美術館蔵／\*\*
- 8-25 マヌエル・アルバレス・ブラボ／アンドレ・ブルトン／1930-1940／ゼラチンシルバープリント、紙／25.4×20.3／名古屋市美術館蔵／\*
- 8-26 マヌエル・アルバレス・ブラボ／ルフィーノ・タマヨ／1939-1940（プリントは1987）／ゼラチンシルバープリント、紙／25.4×20.3／名古屋市美術館蔵／\*\*
- 8-27 ディエゴ・リベラ／戦後／1942／テンペラ、メゾナイト、194×121.3／ディエゴ・リベラ生家美術館蔵
- 8-28 ディエゴ・リベラ／聖アントニウスの誘惑／1947／油彩、カンヴァス／89.5×100／メキシコ国立美術館蔵
- 8-29 マリア・イスキエルド／巡礼者たち／1945／油彩、カンヴァス／60×75／名古屋市美術館蔵
- 8-30 マリア・イスキエルド／戸棚／1947／油彩、カンヴァス／102×85／アンドレス・ブライステン・コレクション
- 8-31 フアン・オゴルマン／カロリーナの肖像／1943／テンペラ、カンヴァス／72×49.5／マリアおよびマヌエル・レイエロ・コレクション
- 8-32 再版：『ミノトール』12-13号 1939年5月 スキラ社、パリ／雑誌／33×25／埼玉県立近代美術館蔵



---

---

## 参考資料

### 写真パネル

■ディエゴ・リベラ／壁画：創造(国立第一高等学校講堂、メキシコシティ)／1922-1923／Photography by Rafael Doniz ■  
ディエゴ・リベラ／宗教の歴史Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ／1950-57 ■ディエゴ・リベラ／日本版画のある静物／1909-10年頃 ■ディエゴ・  
リベラとフリーダ・カーロのアトリエ兼住居(メキシコ市サン・アンヘル)／設計：フアン・オゴルマン／竣工 1932年

### 雑誌、印刷物等

■北川民次／「メキシコの畫家」／『アトリエ』／1937年10月号／埼玉県立近代美術館蔵 ■北川民次／「話題の異色作家リ  
ヴェラを訪う」／『みづゑ』／1955年5月号／埼玉県立近代美術館蔵 ■北川民次／「リヴェラの水道壁画」／『美術手帖』  
／1955年7月号／埼玉県立近代美術館蔵 ■北川民次／「リヴェラの死」／『藝術新潮』／1958年1月号／埼玉県立近代美術  
館蔵 ■北川民次／「リヴェラの死をいたむ」／『みづゑ』／1958年2月号／埼玉県立近代美術館蔵 ■「メキシコ美術展 会  
場案内」／東京国立博物館(本館) 1955年9月11日～10月20日 読売新聞社／島田安彦コレクション ■「メキシコ美術展  
案内ちらし」／東京国立博物館(本館) 1955年9月11日～10月20日 読売新聞社／島田安彦コレクション ■著：ホアキン・  
メンデス・リバス『クアウテモック、悲劇』、挿画：ディエゴ・リベラ／1925年／個人蔵

### ディエゴ・リベラの壁画映像／Photography by Rafael Doniz

■ホテル・デル・プラド(メキシコシティ)《アラメダ公園での日曜の午後の夢》1947-48 ■公教育省(メキシコシティ) 1923-1928  
■国立宮殿(メキシコシティ)《メキシコの歴史：征服から未来へ》1929-35 ■チャピング農業学校(テスココ)《自然の力を  
人間によって制御し、大地を解放する》1926-27 ■旧コルテス宮殿(クエルナバカ)《溪谷を渡る》1930-31 ■国立芸術院(メ  
キシコシティ)《世界を制御する人》1934

## ■版画の景色—現代版画センターの軌跡

### A View of Prints: The Trajectory of the Gendai Hanga Center

■会期：2018年1月16日（火）～3月25日（日）

■主催：埼玉県立近代美術館

■協力：日本通運、JR 東日本大宮支社、FM NACK 5

■観覧料：一般1000円（800円）、大高生800円（640円）

（ ）は団体20名以上の料金

■入場者数：7,077人

■広報印刷物：ポスターB2（2種類）、ちらしA4仕上り変形（4種類）／デザイン：刈谷悠三十角田奈央+平川響子（neucitra）

■担当学芸員：梅津元、五味良子、嶋原悠



B2 ポスター

## ■開催趣旨

一度にたくさんの枚数を提供することのできる版画は、誰もが手に取ることのできる芸術として、1970年代から80年代にかけてひととき大きな期待を集めた。ひとりでも多くの人の手に版画を届けることを使命に、1974年から本格的に始動したのが「現代版画センター」である。

今でこそ美術市場の中で確固たる存在感を放つ現代版画だが、当時はまだ作家の自費出版が中心で、制作から販売

までのルートが確立されていなかった。そのような状況下で現代版画センターの活動の中核を担ったのが、全国に広まった50を超える支部や頒布会の会員たちであった。現代版画センターはリーズナブルな価格で会員に版画を提供、人々の交流の媒介となる「メディアとしての版画」の考えに共鳴した3,000人あまりのメンバーの力により、次々に新作が生み出され、各地で展覧会やオークションが開催された。

このようにして現代版画センターからは、実に多彩な作品が誕生することとなる。難波田龍起や鬮區といった、かねてより版画を手がけていた著名な作家に加え、現代美術家の関根伸夫や草間彌生、日本画家の加山又造、建築家の安藤忠雄や磯崎新、彫刻家の堀内正和などが参加、また海外作家としてアンディ・ウォーホルや映像作家のジョナス・メカスともコラボレーションが実現し、現在でも第一線を走るさまざまな分野のアーティストの手による版画作品が誕生した。少なからぬ作家たちにとって版画というジャンルでの制作は新たな表現への挑戦となり、700点を超す作品たちは現在でも色褪せない新鮮さを放つ。

またセンターの活動の軌跡を色濃く伝えるものとして、さかんに刊行された出版物が残されている。各種の案内や会報は、作品の情報や制作過程、イベントの紹介にとどまらず、作者自身や刷り師・評論家・コレクターなど、さまざまな立場の人々が稿を寄せ、刺激的な知的交流の場を築いた。今に残る大量の刊行物からは、「いま、自らの手で、新しい芸術のあり方を切り拓く」という会員たちの情熱が感じられる。今回の展覧会は、現代版画センターの全貌を初めて紹介する試みであった。

## ■カタログ

規格：25.9×18.5×2.0cm

編集・構成：埼玉県立近代美術館

資料提供・編集協力：ときの忘れもの

デザイン：刈谷悠三十角田奈央+平川響子（neucitra）

内容・構成：

- Text Book／再録：版画センターニュースより／現代版画センター・エディション作品 総目録／アンケート：現代版画センターについて（荒井由泰／貝田隆博／木下哲夫／栗原敦／指田純子／関根伸夫／西岡文彦／西田考作／堀浩哉／柳正彦／柳澤紀子）／現代版画センターニュース総目録／現代版画センター主要刊行物目録／現代版画センター刊行物一覧／梅津元「考え続けるために、[現代] 版画 [センター] について。」
- Visual Book／梅津元「版画の景色／形式」「現代版画センターの軌跡／奇跡」「メーカーとしての現代版画センター」／現代版画センター・エディション作品（図版）

／現代版画センター・コレクション作品（図版）／作家  
略歴／索引

- ・ Atlas／梅津元「時代の熱気を帯びた多面的な運動体 オ  
ーガナイザーとしての現代版画センター」／現代版画セ  
ンター | 組織運営年表／現代版画センター | 主要活動  
拠点分布図／現代版画センター | 個別事項年表

価格：2,200円（税込）



会場風景（撮影：タケミアートフォトス）



会場風景（撮影：タケミアートフォトス）

## ■関連事業

- ・ 担当学芸員によるギャラリー・トーク／① 1月27日  
（土）梅津元、② 3月10日（土）五味良子／参加者：  
① 24名、② 20名
- ・ トークイベント：「ウォーホルの版画ができるまで—現  
代版画センターの軌跡」／3月18日（日）／第一部：  
西岡文彦氏、梅津元、第二部：石田了一氏、西岡文彦  
氏／講堂／参加者：140名
- ・ 上映会「WALDEN」／3月2日（金）、3月3日（土）、3  
月4日（日）／上映作品：WALDEN（監督=ジョナス・メ  
カス、1969年、アメリカ、180分）、ブルーレイによる  
上映／講堂／参加者：合計44名

## ■広報記録

<新聞>

- ・ 「県立近代美術館（浦和区）<版画の景色 現代版画セ  
ンターの軌跡>『庶民に芸術を』足跡11年」埼玉日刊  
（版画展）、2018年1月17日
- ・ 永田晶子「評 美術 『版画の景色 現代版画センター  
の軌跡展』『志』追った運動」『毎日新聞』日刊、2018  
年2月7日
- ・ 小川雪「版画に込めた情熱と実験精神 『現代版画セン  
ターの軌跡』展 埼玉で」『朝日新聞』夕刊、2018年3  
月13日
- ・ 藤田一人「美術評 素朴さ 見直す」『毎日新聞』日刊、  
2018年3月2日
- ・ 五味良子「ぎゃらりいモール」『読売新聞』夕刊、2018  
年3月6日
- ・ 告知：『毎日新聞』2018年1月12日／『朝日新聞』2018  
年1月16日夕刊／『読売新聞』2018年1月16日夕刊  
／『東京新聞』2018年1月18日／『毎日新聞』2018  
年1月19日／『埼玉新聞』2018年1月24日／『毎日  
新聞』2018年1月26日／『毎日新聞』2018年2月2  
日／『朝日新聞』2018年2月6日夕刊／『読売新聞』  
2018年2月6日夕刊／『埼玉新聞』2018年2月7日／  
『朝日新聞』2018年2月13日夕刊／『読売新聞』2018  
年2月13日夕刊／『埼玉新聞』2018年2月14日／『毎  
日新聞』2018年2月16日／『埼玉新聞』2018年2月  
21日／『毎日新聞』2018年2月23日／『朝日新聞』  
2018年2月27日夕刊／『読売新聞』2018年2月27日  
夕刊／『埼玉新聞』2018年2月28日／『東京新聞』  
2018年3月1日／『東京新聞』2018年3月2日／『朝  
日新聞』2018年3月6日夕刊／『埼玉新聞』2018年3  
月7日／『読売新聞』2018年3月13日夕刊／『埼玉  
新聞』2018年3月14日／『毎日新聞』2018年3月16  
日

<雑誌、ミニコミ誌等>

- ・ 「版画の景色 現代版画センターの軌跡」『新美術新  
聞』、2017年9月1日
- ・ 「版画の景色 現代版画センターの軌跡」『芸術新潮』、  
2017年11月25日
- ・ 「版画の景色 現代版画センターの軌跡」『美術手帖』、  
2017年12月17日
- ・ 「版画の景色 現代版画センターの軌跡」『和楽』2・3  
月号、2018年1月1日
- ・ 「版画の景色 現代版画センターの軌跡」『たまログ浦  
和』、2018年1月1日

- ・「版画の景色 現代版画センターの軌跡」『たまログ浦和』、2018年1月1日
- ・「版画の景色 現代版画センターの軌跡」『たまログ大宮上尾』、2018年1月1日
- ・「版画の景色 現代版画センターの軌跡」『たまログ大宮上尾』、2018年1月1日
- ・「版画の景色 現代版画センターの軌跡」『Acore おおみや』、2018年1月5日
- ・「A View of the Prints: the Trajectory of the Gendai Hanga Center」『The Japan Times』、2018年1月10日
- ・「版画の景色 現代版画センターの軌跡」『ギャラリーガイドブック』vol. 322、2018年1月15日
- ・「版画の景色 現代版画センターの軌跡」『月刊美術』2月号、2018年1月20日
- ・「版画の景色 現代版画センターの軌跡」『美術館ぴあ』2018、2018年1月30日
- ・『住宅建築』4月号、2018年2月19日
- ・「版画の景色 現代版画センターの軌跡」『ビバ! アミーゴ』、2018年2月21日
- ・「運動体としての版画表現 時代を疾走した『現代版画センター』を検証する 3月25日まで埼玉県立近代美術館」『建築ジャーナル』3月号、2018年3月1日
- ・「新・学芸員の企画術 キュレーションの壺」『月刊ギャラリー』4月号、2018年3月1日
- ・『Seoul Art Guide』、2018年3月1日
- ・「版画の景色 現代版画センターの軌跡」『定年時代』3月号、2018年3月5日
- ・栗田秀法「版画の景色 現代版画センターの軌跡」『芸術批評誌 [リア]』42号、2018年10月31日

#### <WEB>

- ・「版画の景色 現代版画センターの軌跡」『アートアジェンダ』、2017年11月27日
- ・「版画の景色 現代版画センターの軌跡」『アートナビ』、2017年12月6日
- ・「版画の景色 現代版画センターの軌跡」『インターネットミュージアム』、2017年12月14日
- ・「版画の可能性を追求した10年間 『現代版画センター』の軌跡をたどる展覧会」『美術手帖』、2017年12月18日
- ・「版画の景色 現代版画センターの軌跡」『BIGLOBE 旅行』全国イベントカレンダー、2018年1月
- ・「版画の景色 現代版画センターの軌跡 ささまざまなアーティストとコラボ」『Nikon すぽっとサーチ』 イベント情報・Enjoy ニコン・ニコンイメージング、2018年1月
- ・「版画の景色 現代版画センターの軌跡 ささまざまなアーティストとコラボ」『j-com ZAQ おでかけガイド』、2018年1月
- ・「版画の景色 現代版画センターの軌跡」[埼玉県立近代美術館・展覧会] 『Yahoo! JAPAN ロコ』、2018年1月
- ・「版画の景色 現代版画センターの軌跡」『アパホテル | ビジネスホテル予約サイト』 イベント情報、2018年1月
- ・「版画の景色 現代版画センターの軌跡」『パナソニックおでかけ旅ガイド』 スポット詳細情報、2018年1月
- ・「版画の景色 現代版画センターの軌跡 ささまざまなアーティストとコラボ」『大東建託 イベント詳細・DK SELECT 進化する暮らし』、2018年1月
- ・「版画の景色 現代版画センターの軌跡」『朝日新聞デジタル』(イベント情報 - 地域)、2018年1月
- ・「版画の景色 現代版画センターの軌跡」『timeouttokyo』、2018年2月

#### <テレビ、ラジオ>

- ・NHK・FM 浦和「日刊! さいたまへず」2018年2月28日
- ・NHK「日曜美術館アートシーン」2018年3月4日
- ・テレ玉「イブニングニュース」2018年3月8日

#### ■担当後記

- ◆ この展覧会では、版画のさまざまな可能性を追求し、時代の最先端を切り拓いていった現代版画センターの全貌を紹介した。
- ◆ ときの忘れもの/有限会社ワタスキより280点を超す出品作の大半の提供を受けたことで、この展覧会が実現した。なお、作品と資料は会期終了後に寄贈され、当館の所蔵となった。
- ◆ 展示の構成としては、作家ごとのまとまりを設けながら、おおそ時代順に作品を並べつつ、平坦な印象にならないように、順路を定めず鑑賞者が自由に回遊できる空間を設けた。作品同士が呼応しあい、さまざまなジャンルの作家が互いに刺激を与え合った現代版画センターのあり方を体感してもらおうという試みであった。
- ◆ 展示室の3か所で映写した、往年の様子を伝える記録写真のスライドショーは、全国各地に展開した支部と3000人に及んだ会員により支えられた現代版画センターの活動の熱気を、克明に伝えるものとなり、好評を博した。
- ◆ 現代版画センターは、アーティストや批評家、コレクターなど、第一線で活躍する文化人が寄稿する種々の刊行物を発行していた。それらを展示室で実際に手に

---

---

取ることのできるコーナーは、人気を集め、じっくりと閲覧する来場者の姿が多く見られた。

- ◆ このように現代版画センターは、版画を制作・販売することとどまらず、出版、展示・イベント類の企画実施といったさまざまな活動を展開する「多面的な運動体」というべき存在であった。そうした現代版画センターの実像を反映する形で、カタログは性格の異なる3種類の冊子をケースにおさめるスタイルを採用した。ときの忘れもの／有限会社ワタヌキと関係者の多大な協力のもと、現代版画センターの活動を参照できる作品・刊行物の情報や、関係者のコメントを掲載することができた。デザインを担当した neucitra のアイデアにより、版画にも使われるシルクスクリーンの印刷をほどこしたカバーや、緻密かつ立体的な構成が展開し、1970-80年代の時代の空気と現代的な感覚が融合した完成度の高いデザインとなった。カタログは幅広い支持を集め、完売した。
- ◆ 関連イベントとして、現代版画センターの活動に参加した伝統版画家・西岡文彦氏と刷師・石田了一氏を招いたトークを開催した。西岡氏は現代版画センターの最初期の歩みを語り、石田氏はアンディ・ウォーホル本人が登場する秘蔵の映像を披露するなど貴重な証言の数々に、140名あまりの来場者で埋まった会場は熱気に包まれた。

(五味良子)

## ■出品リスト

- ・ 作品データは、原則として以下の順に記した。

出品番号/作家名/作品名/版画集名、シリーズ名等（該当する場合のみ）/制作年/エディション（限定部数）  
/技法・素材/作品寸法（cm）/刷師/現代版画センターエディション番号他/所蔵（表記のないものは、展覧会  
開催時・ときの忘れもの/有限会社ワタスキ蔵、現・埼玉県立近代美術館蔵）

- ・ \*印は前期のみ、\*\*印は後期のみでの展示である（前期：2018年1月16日-2月18日/後期：2月20日-3月25日）。
- ・ 版画作品で版種を記載する場合、支持体が〔紙のみ〕の場合は記載を省略した。

001. 鬚嘔/I love you/1974/11111/シルクスクリーン/53.0×34.0/岡部徳三/No.001  
001-2. 鬚嘔/[I love you]の別ヴァージョン/1974/シルクスクリーン/53.0×34.0/岡部徳三/(No.001)  
001-3. 鬚嘔/[I love you]の別ヴァージョン/1974/シルクスクリーン/53.0×34.0/岡部徳三/(No.001)  
001-4. 鬚嘔/[I love you]の別ヴァージョン/1974/シルクスクリーン/53.0×34.0/岡部徳三/(No.001)  
001-5. 鬚嘔/[I love you]の別ヴァージョン/1974/シルクスクリーン/53.0×34.0/岡部徳三/(No.001)  
001-6. 鬚嘔/[I love you]の別ヴァージョン/1974/シルクスクリーン/53.0×34.0/岡部徳三/(No.001)  
001-7. 鬚嘔/[I love you]の別ヴァージョン/1974/シルクスクリーン/53.0×34.0/岡部徳三/(No.001)  
002. 鬚嘔/虹の花/1974/200/シルクスクリーン/55.3×37.9/岡部徳三/No.008  
003. 鬚嘔/花の時間/「現代と声」企画作品/1977/150/シルクスクリーン/41.0×44.0/岡部徳三/No.177  
004. 鬚嘔/山水/「現代と声」企画作品/1977/150/シルクスクリーン/57.0×41.0/岡部徳三/No.178  
005. 鬚嘔/Magritte/「現代と声」企画作品/1977/150/シルクスクリーン/41.0×32.0/岡部徳三/No.179  
006. 鬚嘔/飛べ・比翼の鳥/1980/100/シルクスクリーン/50.0×95.0/岡部徳三/No.294  
007. 鬚嘔/会話・比翼の鳥/1980/100/シルクスクリーン/48.0×95.0/岡部徳三/No.295  
008. 鬚嘔/Pat/版画集『Pat-tap シリーズ』/1980/350/シルクスクリーン/35.0×25.0/岡部徳三/No.296  
009. 鬚嘔/Pat-tap/版画集『Pat-tap シリーズ』/1980/350/シルクスクリーン/35.0×25.0/岡部徳三/No.297  
010. 鬚嘔/Pat-pat-tap/版画集『Pat-tap シリーズ』/1980/350/シルクスクリーン/35.0×25.0/岡部徳三/No.298  
011. 鬚嘔/Pat-tap-pat-tap etc. /版画集『Pat-tap シリーズ』/1980/350/シルクスクリーン/35.0×25.0/岡部徳三/No.299  
012. 鬚嘔/大きな透明な木/1981/85/シルクスクリーン/77.0×134.5/岡部徳三/No.444  
013. 鬚嘔/1本のエッチングの線Ⅰ(アンソロジーⅠ)/銅版画集『1本のエッチングの線』/1981/85/エッチング、手彩色/30.0×37.0/山村兄弟版画工房(山村素夫・常夫)/No.446  
014. 鬚嘔/1本のエッチングの線Ⅱ(アンソロジーⅡ)/銅版画集『1本のエッチングの線』/1981/85/エッチング、手彩色/30.0×37.0/山村兄弟版画工房(山村素夫・常夫)/No.447  
015. 鬚嘔/1本のエッチングの線Ⅲ(プロフィールスⅠ)/銅版画集『1本のエッチングの線』/1981/85/エッチング/30.0×37.0/山村兄弟版画工房(山村素夫・常夫)/No.448  
016. 鬚嘔/1本のエッチングの線Ⅳ(プロフィールスⅡ)/銅版画集『1本のエッチングの線』/1981/85/銅版/30.0×37.0/山村兄弟版画工房(山村素夫・常夫)/No.449  
017. 鬚嘔/1本のエッチングの線Ⅴ(プロフィールスⅢ)/銅版画集『1本のエッチングの線』/1981/85/銅版/30.0×37.0/山村兄弟版画工房(山村素夫・常夫)/No.450  
018. 木村光佑/リレーションM/1973/200/ミクストメディア/47.5×61.0/No.003  
019. 高柳裕/魚座/1973/67/凸版/40.0×50.1/作家自刷り/No.004  
020. 高柳裕/獅子座/1974/33/凸版/50.2×40.1/作家自刷り/No.005  
021. 高柳裕/空からの贈りもの/1973/50/凸版/43.3×59.0/作家自刷り/No.010  
022. 木村利三郎/Washington sq. Fantastic/1974/200/シルクスクリーン/32.0×39.0/作家自刷り/No.0062  
023. 木村利三郎/57st. & 5th Ave. New York/1974/200/シルクスクリーン/39.0×32.0/作家自刷り/No.013  
024. 木村利三郎/シカゴ/1976/50/シルクスクリーン/53.5×41.0/作家自刷り/No.086  
025. 木村利三郎/サンフランシスコ/1976/50/シルクスクリーン/41.0×54.0/作家自刷り/No.087  
026. オノサト・トシノブ/Ce 1/1974/200/シルクスクリーン/22.0×27.0/岡部徳三/No.009  
027. オノサト・トシノブ/Ce 3/1974/500/シルクスクリーン/10.0×10.0/岡部徳三/No.035  
028. オノサト・トシノブ/GHC1(黄)/1974/1500/シルクスクリーン/10.0×10.0/岡部徳三/—  
029. オノサト・トシノブ/GHC2(青)/1974/1500/シルクスクリーン/10.0×10.0/岡部徳三/—  
030. オノサト・トシノブ/Ce T4/「現代と声」企画作品/1977/100/布に特色刷り/120.0×80.0/富士製旗/No.189  
031. オノサト・トシノブ/Ce T5/「現代と声」企画作品/1977/100/布に特色刷り/120.0×80.0/富士製旗/No.190  
032. オノサト・トシノブ/Ce 6/版画集『オノサト・トシノブ 1979』/1979/250/シルクスクリーン/20.0×20.0/岡部徳三/No.290  
033. オノサト・トシノブ/Ce 7/版画集『オノサト・トシノブ 1979』/1979/250/シルクスクリーン/20.0×20.0/岡部徳三/No.291  
034. オノサト・トシノブ/Ce 8/版画集『オノサト・トシノブ 1979』/1979/250/シルクスクリーン/20.0×20.0/岡部徳三/No.292  
035. オノサト・トシノブ/銀河/1981/150/シルクスクリーン/43.7×100.1/岡部徳三/—  
036. 小田襄/銀世界-一夢/1974/200/メタルリーフプリント/28.8×21.6/宮本海平/No.011  
037. 島州一/ボートの女/1974/100/シルクスクリーン/40.0×45.0/小峰プロセス/No.015

038. 島州一／愛／1974／100／シルクスクリーン／30.0×28.0／小峰プロセス／No. 016
039. 島州一／愛のジャンパー／1974／100／シルクスクリーン／33.0×28.0／小峰プロセス／No. 031
040. 島州一／ジーンズ／1974／50／布にシルクスクリーン／81.0×80.0／小峰プロセス／No. 040
041. 島州一／ゲバラ／1974／50／布にシルクスクリーン／69.0×99.0／小峰プロセス／No. 042
042. 島州一／筒／1974／800／オブジェ、ゼロックス、シルクスクリーン／φ 8.0×45.0／No. 062
043. 関根伸夫／絵空事一風船／1975／100／シルクスクリーン、手彩色／42.0×35.0／石田了一／No. 64
044. 関根伸夫／絵空事一鳥居／1975／75／シルクスクリーン／45.0×35.0／石田了一／No. 072
045. 関根伸夫／月をよぶ／1975／75／シルクスクリーン／53.0×35.0／石田了一／No. 073
046. 関根伸夫／おちるリンゴ／1975／75／シルクスクリーン／43.0×38.0／石田了一／No. 078
047. 関根伸夫／石をつる／1975／75／シルクスクリーン／58.0×38.0／石田了一／No. 081
048. 関根伸夫／抽象の影／1975／75／シルクスクリーン／50.0×37.0／石田了一／No. 084
049. 関根伸夫／絵空事一緑の風船／1975／100／シルクスクリーン、手彩色／42.0×35.0／石田了一／No. 085
050. 関根伸夫／自画像／1975／150／シルクスクリーン／36.0×22.0／石田了一／No. 094
051. 関根伸夫／雲をつく／1975／150／シルクスクリーン／35.5×26.5／石田了一／No. 095
052. 関根伸夫／Touch Red／1976／12／リトグラフ／52.5×77.5／版画工房 KEN／No. 145
053. 関根伸夫／Touch Black／1976／12／リトグラフ／50.5×77.2／版画工房 KEN／No. 146
054. 関根伸夫／Touch Blue／1976／12／リトグラフ／52.8×77.5／版画工房 KEN／No. 147
055. 関根伸夫／プロジェクト・クレムリン／「現代と声」企画作品／1977／100／銅版／61.6×48.5／赤川勲／No. 193
056. 関根伸夫／プロジェクト・ローマ／「現代と声」企画作品／1977／100／銅版／58.5×49.5／赤川勲／No. 194
057. 関根伸夫／プロジェクト・立ち木／「現代と声」企画作品／1977／100／銅版／56.5×43.5／赤川勲／No. 195
058. 関根伸夫／□のプロジェクト／「プリント・シンポジウム」より／1982／50／シルクスクリーン／49.0×39.0／池田亮二（美学校研修科）／No. 494
059. 関根伸夫／石のベクトル／1982／45／リトグラフ／90.0×63.0／高月仁／No. 510
060. 関根伸夫／三角の窓の project／1982／50／銅版／60.0×45.0／林グラフィックプレス／No. 514
061. 関根伸夫／大地の点／1982／30／ステンレス・レリーフ／35.0×31.5×2.0／No. 517
062. 関根伸夫／ピラミッドの頂き／1982／30／ステンレス／15.0×30.0×20.0／No. 518
063. 関根伸夫／三角の波の project／1982／50／銅版／60.0×45.0／林グラフィックプレス／No. 519
064. 関根伸夫／大地を渡る／1982／45／リトグラフ／55.8×39.0／高月仁／No. 565
- 065-1. 戸張孤雁／年賀状／『画譜』第 3 号特装版より／275／木版／10.0×15.3／五所菊雄／原版木より後摺り：1976 年／No. 104-1
- 065-2. 戸張孤雁／小品／『画譜』第 3 号特装版より／275／木版／9.0×13.5／五所菊雄／原版木より後摺り：1976 年／No. 104-2
066. 菅井汲／フェスティバル／1976／750／シルクスクリーン／20.0×15.0／石田了一／No. 106
067. 菅井汲／ヴァリエーション／1976／500／シルクスクリーン／10.0×10.0／石田了一／No. 107
068. 菅井汲／シグナル A／「シグナル」シリーズ／1976／150／シルクスクリーン／34.0×14.0／石田了一／No. 110
069. 菅井汲／シグナル B／「シグナル」シリーズ／1976／150／シルクスクリーン／31.5×23.0／石田了一／No. 111
070. 菅井汲／シグナル C／「シグナル」シリーズ／1976／150／シルクスクリーン／33.0×19.0／石田了一／No. 112
071. 菅井汲／シグナル D／「シグナル」シリーズ／1976／150／シルクスクリーン／31.5×22.0／石田了一／No. 113
072. 菅井汲／シグナル E／「シグナル」シリーズ／1976／150／シルクスクリーン／34.5×18.5／石田了一／No. 114
073. 菅井汲／シグナル F／「シグナル」シリーズ／1976／150／シルクスクリーン／33.0×23.5／石田了一／No. 115
074. 菅井汲／シグナル G／「シグナル」シリーズ／1976／150／シルクスクリーン／31.5×22.0／石田了一／No. 116
075. 菅井汲／ポートレート A／「ポートレート」シリーズ／1976／150／リトグラフ／36.0×27.5／M. M. G.（ミツムラグラフィック）／No. 120
076. 菅井汲／ポートレート B／「ポートレート」シリーズ／1976／150／リトグラフ／36.0×27.5／M. M. G.（ミツムラグラフィック）／No. 121
077. 菅井汲／ポートレート C／「ポートレート」シリーズ／1976／150／リトグラフ／36.0×27.5／M. M. G.（ミツムラグラフィック）／No. 122
078. 菅井汲／ポートレート D／「ポートレート」シリーズ／1976／150／リトグラフ／36.0×27.5／M. M. G.（ミツムラグラフィック）／No. 123
079. 菅井汲／ポートレート E／「ポートレート」シリーズ／1976／150／リトグラフ／36.0×27.5／M. M. G.（ミツムラグラフィック）／No. 124
080. 菅井汲／ポートレート F／「ポートレート」シリーズ／1976／150／リトグラフ／39.5×26.2／M. M. G.（ミツムラグラフィック）／No. 125
081. 菅井汲／ポートレート G／「ポートレート」シリーズ／1976／150／リトグラフ／25.5×39.5／M. M. G.（ミツムラグラフィック）／No. 126
082. 菅井汲／スクランブル A／「スクランブル」シリーズ／1976／150／凸版、シルクスクリーン／35.0×24.5／石田了一／No. 127
083. 菅井汲／スクランブル B／「スクランブル」シリーズ／1976／150／凸版、シルクスクリーン／24.5×35.0／石田了一／No. 128
084. 菅井汲／スクランブル C／「スクランブル」シリーズ／1976／150／凸版、シルクスクリーン／35.5×24.5／石田了一／No. 129
085. 菅井汲／スクランブル D／「スクランブル」シリーズ／1976／150／凸版、シルクスクリーン／35.5×25.0／石田了一／No. 130

086. 菅井汲／スクランブル E／「スクランブル」シリーズ／1976／150／凸版、シルクスクリーン／35.5×25.0／石田了一／No. 131
087. 菅井汲／スクランブル F／「スクランブル」シリーズ／1976／150／凸版、シルクスクリーン／36.0×25.0／石田了一／No. 132
088. 菅井汲／スクランブル G／「スクランブル」シリーズ／1976／150／凸版、シルクスクリーン／24.0×35.5／石田了一／No. 133
089. 菅井汲／星／『菅井汲版画集』／1976／200／シルクスクリーン／15.0×10.0／石田了一／No. 138
090. 菅井汲／球／『菅井汲版画集』／1976／200／シルクスクリーン／15.0×10.0／石田了一／No. 139
091. 菅井汲／道／『菅井汲版画集』／1976／200／シルクスクリーン／15.0×10.0／石田了一／No. 140
092. 菅井汲／赤い太陽／1976／150／アクリルにシルクスクリーン／10.0×7.0×2.0／石田了一／No. 141
093. 菅井汲／青い星／1976／75／アクリルにシルクスクリーン／10.0×7.0×2.0／石田了一
094. 菅井汲／色のカーニバル／1976／150／アクリル、色紙にシルクスクリーン／18.9×18.9／石田了一／No. 144
095. 菅井汲／GUEST I／版画集『GUEST 1980』／1980／150／シルクスクリーン／57.0×38.0／石田了一／No. 360
096. 菅井汲／GUEST II／版画集『GUEST 1980』／1980／150／シルクスクリーン／57.5×44.0／石田了一／No. 361
097. 菅井汲／GUEST III／版画集『GUEST 1980』／1980／150／シルクスクリーン／62.0×46.5／石田了一／No. 362
098. 菅井汲／GUEST IV／版画集『GUEST 1980』／1980／150／シルクスクリーン／60.0×46.5／石田了一／No. 363
099. 菅井汲／GUEST V／版画集『GUEST 1980』／1980／150／シルクスクリーン／57.5×33.0／石田了一／No. 364
100. 飯田善國／HAPPY BIRTHDAY／1976／750／シルクスクリーン／18.0×20.0／石田了一／No. 136
101. 詩：松永伍一 画：吉原英雄／詩画集『少年』／1977／85／No. 148
- 101-1. 吉原英雄／閉ざされた時間／1977／85／エッチング、アクアチント、メゾチント／18.0×14.0／作家自刷り
- 101-2. 吉原英雄／トルソー／1977／85／エッチング／15.1×19.4／作家自刷り
- 101-3. 吉原英雄／壁にはられたドローイングーレオナルド・ダ・ヴィンチ／1977／85／リトグラフ／28.3×21.2／作家自刷り
- 101-4. 吉原英雄／挑戦／1977／85／リトグラフ／24.9×18.0／作家自刷り
- 101-5. 吉原英雄／焦燥／1977／85／エッチング、アクアチント、メゾチント／16.8×13.7／作家自刷り
- 101-6. 吉原英雄／空白のページ／1977／85／リトグラフ／24.0×17.2／作家自刷り
102. 木村茂／森の道 I／1977／75／銅版／20.0×18.0／作家自刷り／No. 154
103. 木村茂／森の道 II／1977／75／銅版／20.0×18.1／作家自刷り／No. 155
104. 木村茂／森の道 III／1977／75／銅版／19.9×18.0／作家自刷り／No. 156
105. 元永定正／はははは／1977／500／シルクスクリーン／15.0×19.0／石田了一／No. 158
106. 元永定正／白い光が出ているみたい／「現代と声」企画作品／1977／100／シルクスクリーン／61.0×47.0／石田了一／No. 198
107. 元永定正／オレンジの中で／「現代と声」企画作品／1977／100／シルクスクリーン／47.0×61.0／石田了一／No. 199
108. 元永定正／いろいろ／「現代と声」企画作品／1977／100／シルクスクリーン／47.0×61.0／石田了一／No. 200
109. 元永定正／またぐ／1979／350／シルクスクリーン／27.5×22.0／石田了一／No. 302
110. 元永定正／ぎざぎざ／1979／150／シルクスクリーン／60.0×45.0／石田了一／No. 310
111. 元永定正／おれおれまがり／1979／150／シルクスクリーン／45.0×60.0／石田了一／No. 312
112. 元永定正／みぎひだり／1979／85／シルクスクリーン／95.0×43.0／石田了一／No. 317
113. 元永定正／さんかく／1979／85／シルクスクリーン／95.0×43.0／石田了一／No. 319
114. 元永定正／のびるしろ／『元永定正版画集 1981』／1981／150／シルクスクリーン／36.0×57.0／石田了一／No. 461
115. 元永定正／さんかく しかく ながいまる／『元永定正版画集 1981』／1981／150／シルクスクリーン／36.0×57.0／石田了一／No. 462
116. 元永定正／しろいせんのみめから／『元永定正版画集 1981』／1981／150／シルクスクリーン／55.0×38.0／石田了一／No. 463
117. 岡本信治郎／つばめ／1977／500／木版／18.4×11.2／彫り：塚口重光、刷り：五所菊雄／No. 159
118. 堀内正和／咬みあう二つの形／1977／75／シルクスクリーン／20.0×28.5／石田了一／No. 160
119. 堀内正和／三つの矩形／1977／75／シルクスクリーン／20.0×28.0／石田了一／No. 161
120. 堀内正和／かたむくカタチ／1982／75／シルクスクリーン／47.5×63.0／石田了一／No. 469
121. 難波田龍起／海の風／1977／35／銅版／18.0×27.9／木村 茂／No. 162
122. 難波田龍起／立ち話／1977／95／銅版／8.7×6.2／木村 茂／No. 163
123. 難波田龍起／海辺／1977／95／銅版／7.7×5.7／木村 茂／No. 164
124. 難波田龍起／聖堂のある風景／銅版画集『街と人』／1978／75／銅版（色）／21.0×12.0／山村兄弟版画工房（山村素夫・常夫）／No. 235
125. 難波田龍起／明るい町／銅版画集『街と人』／1978／75／銅版／20.0×15.0／山村兄弟版画工房（山村素夫・常夫）／No. 236
126. 難波田龍起／母と子／銅版画集『街と人』／1978／75／銅版／20.0×15.0／山村兄弟版画工房（山村素夫・常夫）／No. 237
127. 難波田龍起／郊外の家々／銅版画集『街と人』／1978／75／銅版／20.0×15.0／山村兄弟版画工房（山村素夫・常夫）／No. 238
128. 難波田龍起／幻の館／銅版画集『街と人』／1978／75／銅版（色）／21.0×12.0／山村兄弟版画工房（山村素夫・常夫）／No. 239
129. 難波田龍起／つどう人々／銅版画集『街と人』／1978／75／銅版／13.0×16.0／山村兄弟版画工房（山村素夫・常夫）／No. 240



130. 難波田龍起/人影/銅版画集『街と人』/1978/75/銅版(色)/21.0×12.0/山村兄弟版画工房(山村素夫・常夫) /No. 241
131. 難波田龍起/藻のささやき/銅版画集『海辺の詩』/1978/75/銅版(色)/21.0×12.0/山村兄弟版画工房(山村素夫・常夫) /No. 242
132. 難波田龍起/枯葉の舞い/銅版画集『海辺の詩』/1978/75/銅版(色)/21.0×12.0/山村兄弟版画工房(山村素夫・常夫) /No. 243
133. 難波田龍起/朝の散歩/銅版画集『海辺の詩』/1978/75/銅版(色)/21.0×12.0/山村兄弟版画工房(山村素夫・常夫) /No. 244
134. 難波田龍起/砂丘/銅版画集『海辺の詩』/1978/75/銅版(色)/20.0×15.0/山村兄弟版画工房(山村素夫・常夫) /No. 245
135. 難波田龍起/海の静物/銅版画集『海辺の詩』/1978/75/銅版(色)/20.0×15.0/山村兄弟版画工房(山村素夫・常夫) /No. 246
136. 難波田龍起/追憶/銅版画集『海辺の詩』/1978/75/銅版(色)/20.0×15.0/山村兄弟版画工房(山村素夫・常夫) /No. 247
137. 難波田龍起/かたらい/銅版画集『海辺の詩』/1978/75/銅版(色)/18.3×15.0/山村兄弟版画工房(山村素夫・常夫) /No. 248
138. 難波田龍起/古風な街/1978/75/銅版(色)/20.0×15.0/山村兄弟版画工房(山村素夫・常夫) /No. 251
139. 難波田龍起/昼と夜/1978/75/銅版(色)/20.0×15.0/山村兄弟版画工房(山村素夫・常夫) /No. 252
140. 難波田龍起/石の時間/1979/25/リトグラフ/60.0×100.0/森版画工房(森仁志) /No. 275
141. 難波田龍起/樹の波/1979/50/リトグラフ/39.5×55.0/森版画工房(森仁志) /No. 276
142. 磯崎新/空洞としての美術館Ⅰ/1977/5/シルクスクリーン、ドローイング、カンヴァス、パネル、木/110.0×480.0/石田了一/No. 165/群馬県立近代美術館寄託(特別出品)
143. 磯崎新/ヴィッラⅠ/「現代と声」企画作品/1977/100/シルクスクリーン/47.0×47.0/石田了一/No. 180
144. 磯崎新/ヴィッラⅡ/「現代と声」企画作品/1977/100/シルクスクリーン/62.0×47.0/石田了一/No. 181
145. 磯崎新/ヴィッラⅢ/「現代と声」企画作品/1977/100/シルクスクリーン/62.0×47.0/石田了一/No. 182
146. 磯崎新/内部風景Ⅰ ストン・ボロウ邸—ルートウィヒ・ウィトゲンシュタイン/1979/8/アルフォート/80.0×60.0 /No. 287
147. 磯崎新/内部風景Ⅱ カトルマル精神病院—アントナン・アルトー/1979/8/アルフォート/80.0×60.0/No. 288
148. 磯崎新/内部風景Ⅲ 増幅性の空間—アラタ・インザキ/1979/8/アルフォート/80.0×60.0 /No. 289
149. 磯崎新/OFFICE Ⅰ (BANK)/版画集『REDUCTION Vol. Ⅰ』/1983/75/シルクスクリーン/55.0×55.0/石田了一/No. 611
150. 磯崎新/LECTURE HALL—Ⅰ/版画集『REDUCTION Vol. Ⅰ』/1982/75/シルクスクリーン/55.0×55.0/石田了一/No. 612
- 151.\* 磯崎新/MUSEUM—Ⅰ/版画集『REDUCTION Vol. Ⅰ』/1983/75/シルクスクリーン/55.0×55.0/石田了一/No. 613
- 152.\*\* 磯崎新/MUSEUM—Ⅱ/版画集『REDUCTION Vol. Ⅰ』/1983/75/シルクスクリーン/55.0×55.0/石田了一/No. 614
- 153.\* 磯崎新/LIBRARY/版画集『REDUCTION Vol. Ⅰ』/1983/75/シルクスクリーン/55.0×55.0/石田了一/No. 615
- 154.\*\* 磯崎新/CLUB HOUSE/版画集『REDUCTION Vol. Ⅰ』/1983/75/シルクスクリーン/55.0×55.0/石田了一/No. 616
155. 磯崎新/OFFICE—Ⅱ/版画集『REDUCTION Vol. Ⅱ』/1983/75/シルクスクリーン/55.0×55.0/石田了一/No. 617
156. 磯崎新/CONVENTION CENTER/版画集『REDUCTION Vol. Ⅱ』/1983/75/シルクスクリーン/55.0×55.0/石田了一/No. 618
- 157.\*\* 磯崎新/TOWN HALL/版画集『REDUCTION Vol. Ⅱ』/1982/75/シルクスクリーン/55.0×55.0/石田了一/No. 619
- 158.\* 磯崎新/LECTURE HALL—Ⅱ/版画集『REDUCTION Vol. Ⅱ』/1982/75/シルクスクリーン/55.0×55.0/石田了一/No. 620
- 159.\* 磯崎新/GYMNASIUM/版画集『REDUCTION Vol. Ⅱ』/1983/75/シルクスクリーン/55.0×55.0/石田了一/No. 621
- 160.\*\* 磯崎新/CLINIC/版画集『REDUCTION Vol. Ⅱ』/1983/75/シルクスクリーン/55.0×55.0/石田了一/No. 622
161. 磯崎新/MOCA #1/1983/75/シルクスクリーン/46.5×98.0/石田了一/No. 628
162. 磯崎新/MOCA #2/1983/75/シルクスクリーン/46.5×46.5/石田了一/No. 629
163. 磯崎新/MOCA #3/1983/75/シルクスクリーン/46.5×46.5/石田了一/No. 630
164. 一原有徳/SEN/「現代と声」企画作品/1977/100/銅版/39.5×30.5/作家自刷り/No. 183
165. 一原有徳/DEY/「現代と声」企画作品/1977/100/銅版/41.4×29.8/作家自刷り/No. 184
166. 一原有徳/HOW 1/「現代と声」企画作品/1977/100/銅版/43.8×31.7/作家自刷り/No. 185
167. 小野具定/漁夫/「現代と声」企画作品/1977/100/銅版、雁皮刷り/41.0×54.6/赤川勲/No. 186
168. 小野具定/北の海/「現代と声」企画作品/1977/100/銅版、雁皮刷り/55.5×40.5/赤川勲/No. 187
169. 小野具定/加工場/「現代と声」企画作品/1977/100/銅版、雁皮刷り/41.0×55.2/赤川勲/No. 188
170. 加山又造/レースをまとう人魚/「現代と声」企画作品/1977/150/リトグラフ/36.0×54.2/フジ美術版画工房/No. 191
171. 野田哲也/Diary; Nov. 18th '76 (a) /「現代と声」企画作品/1977/100/木版、シルクスクリーン/47.2×36.8/作家自刷り/No. 196
172. 野田哲也/Diary; Jan. 15th '77 /「現代と声」企画作品/1977/100/木版、シルクスクリーン/35.7×50.8/作家自刷り/No. 197
173. 野田哲也/Diary; May 17th '83/1984/60/木版、シルクスクリーン/19.8×30.8/作家自刷り/No. 651
174. 大沢昌助/ひらく/1980/80/リトグラフ/83.5×65.5/森版画工房(森仁志) /No. 32
175. 大沢昌助/青の立像/石版画集『青の立像』/1980/100/リトグラフ/40.1×30.0/森版画工房(森仁志) /No. 345

176. 大沢昌助／紫の人物／石版画集『青の立像』／1980／100／リトグラフ／40.7×30.3／森版画工房（森仁志）／No. 346
177. 大沢昌助／黄色の中のかたち／石版画集『青の立像』／1980／100／リトグラフ／40.2×30.5／森版画工房（森仁志）／No. 347
178. 大沢昌助／目／石版画集『青の立像』／1980／100／リトグラフ／40.1×30.0／森版画工房（森仁志）／No. 348
179. 大沢昌助／夕景／石版画集『青の立像』／1980／100／リトグラフ／40.6×30.4／森版画工房（森仁志）／No. 349
180. 大沢昌助／さまよいの影 1／「さまよいの影」シリーズ／1981／28／エッチング、雁皮刷り／29.0×20.0／山村兄弟版画工房（山村素夫・常夫）／No. 401
181. 大沢昌助／さまよいの影 2／「さまよいの影」シリーズ／1981／28／エッチング、雁皮刷り／29.0×20.0／山村兄弟版画工房（山村素夫・常夫）／No. 402
182. 大沢昌助／さまよいの影 3／「さまよいの影」シリーズ／1981／28／エッチング、雁皮刷り／29.0×20.0／山村兄弟版画工房（山村素夫・常夫）／No. 403
183. 大沢昌助／さまよいの影 4／「さまよいの影」シリーズ／1981／28／エッチング、雁皮刷り／29.0×20.0／山村兄弟版画工房（山村素夫・常夫）／No. 404
184. 大沢昌助／さまよいの影 5／「さまよいの影」シリーズ／1981／28／エッチング、雁皮刷り／29.0×20.0／山村兄弟版画工房（山村素夫・常夫）／No. 405
185. 大沢昌助／机上の空論 黒／1982／10／リトグラフ／115.0×229.5／森版画工房（森仁志）／No. 504
186. 大沢昌助／机上の空論 赤／1982／10／リトグラフ／115.0×229.5／森版画工房（森仁志）／No. 505
187. 宮脇愛子／作品Ⅰ／銅版画集『宮脇愛子 1980』／1980／50／銅版／6.7×13.4／プリントハウス・OM／No. 325
188. 宮脇愛子／作品Ⅱ／銅版画集『宮脇愛子 1980』／1980／50／銅版／9.3×9.3／プリントハウス・OM／No. 326
189. 宮脇愛子／作品Ⅲ／銅版画集『宮脇愛子 1980』／1980／50／銅版／9.4×10.4／プリントハウス・OM／No. 327
190. 宮脇愛子／作品Ⅳ／銅版画集『宮脇愛子 1980』／1980／50／銅版／9.2×11.0／プリントハウス・OM／No. 328
191. 宮脇愛子／作品Ⅴ／銅版画集『宮脇愛子 1980』／1980／50／銅版／15.1×18.1／プリントハウス・OM／No. 329
192. 宮脇愛子／作品Ⅵ／銅版画集『宮脇愛子 1980』／1980／50／銅版／29.8×12.3／プリントハウス・OM／No. 330
193. 宮脇愛子／無題／1980／25／銅版／35.8×20.0／プリントハウス・OM／No. 331
194. 宮脇愛子／作品 74-A／1980／25／銅版／17.6×13.9／プリントハウス・OM／No. 357
195. 宮脇愛子／作品 74-B／1980／25／銅版／4.9×4.9／プリントハウス・OM／No. 358
196. 宮脇愛子／作品 77-A／1980／25／銅版／7.2×14.0／プリントハウス・OM／No. 359
197. 宮脇愛子／Golden Egg A／1982／50／ブロンズ／21.0×12.0×4.5／No. 508
198. 宮脇愛子／Golden Egg B／1982／50／ブロンズ／17.5×10.0×3.0／No. 509
199. 宮脇愛子／UTSUROHI k／版画集『UTSUROHI BLUE』／1984／20／シルクスクリーン／28.5×44.5／久利屋グラフィック／No. 687
200. 宮脇愛子／UTSUROHI l／版画集『UTSUROHI BLUE』／1984／20／シルクスクリーン／30.5×44.5／久利屋グラフィック／No. 688
201. 宮脇愛子／UTSUROHI m／版画集『UTSUROHI BLUE』／1984／20／シルクスクリーン／31.5×44.5／久利屋グラフィック／No. 689
202. 宮脇愛子／UTSUROHI n／版画集『UTSUROHI BLUE』／1984／20／シルクスクリーン／31.5×44.5／久利屋グラフィック／No. 6901
203. 宮脇愛子／UTSUROHI o／版画集『UTSUROHI BLUE』／1984／20／シルクスクリーン／31.5×44.5／久利屋グラフィック／No. 691
204. 山口勝弘／Cの関係／版画集『ANTHOLOGICAL PRINTS 1954-1981』／1981／50／シルクスクリーン／40.0×50.0／岡部徳三／No. 386
205. 山口勝弘／港／版画集『ANTHOLOGICAL PRINTS 1954-1981』／1981／50／シルクスクリーン／63.0×49.0／岡部徳三／No. 387
206. 山口勝弘／光の立方体／版画集『ANTHOLOGICAL PRINTS 1954-1981』／1981／50／シルクスクリーン／59.0×46.0／岡部徳三／No. 388
207. 山口勝弘／夜の進行／版画集『ANTHOLOGICAL PRINTS 1954-1981』／1981／50／シルクスクリーン／47.0×40.0／岡部徳三／No. 389
208. 山口勝弘／静かな昇天／版画集『ANTHOLOGICAL PRINTS 1954-1981』／1981／50／シルクスクリーン／54.5×36.0／岡部徳三／No. 390
209. 山口勝弘／赤い街／版画集『ANTHOLOGICAL PRINTS 1954-1981』／1981／50／シルクスクリーン／36.0×54.0／岡部徳三／No. 391
210. 山口勝弘／ペン／版画集『ANTHOLOGICAL PRINTS 1954-1981』／1981／50／シルクスクリーン／59.0×46.0／岡部徳三／No. 392
211. 山口勝弘／推力 No.2／版画集『ANTHOLOGICAL PRINTS 1954-1981』／1981／50／シルクスクリーン／45.0×59.5／岡部徳三／No. 393
212. 山口勝弘／万華鏡／版画集『ANTHOLOGICAL PRINTS 1954-1981』／1981／50／シルクスクリーン／59.0×46.0／岡部徳三／No. 394
213. 山口勝弘／Kinetic Fountain／版画集『ANTHOLOGICAL PRINTS 1954-1981』／1981／50／シルクスクリーン／49.0×63.0／岡部徳三／No. 395
214. 本田眞吾／SCHERZO No.1／版画集『SCHERZO 1981』／1981／200／シルクスクリーン、雁皮／28.0×22.0／石田了一／No. 424
215. 本田眞吾／SCHERZO No.2／版画集『SCHERZO 1981』／1981／200／シルクスクリーン、雁皮／28.0×22.0／石田了一／No. 425

216. 本田眞吾/SCHERZO No.3/版画集『SCHERZO 1981』/1981/200/シルクスクリーン、雁皮/28.0×22.0/石田一  
/No.426
217. 本田眞吾/SCHERZO No.4/版画集『SCHERZO 1981』/1981/200/シルクスクリーン、雁皮/28.0×22.0/石田一  
/No.427
218. 本田眞吾/SCHERZO No.5/版画集『SCHERZO 1981』/1981/200/シルクスクリーン、雁皮/28.0×22.0/石田一  
/No.428
219. 本田眞吾/EXTENSION No.31/1977/50/凸版/37.0×50.0/作家自刷り/No.441
220. 本田眞吾/EXTENSION No.32/1977/45/凸版/37.0×50.0/作家自刷り/No.442/
221. 内間安理/FOREST BYOBU (FRAGRANCE)/1981/120/木版/74.3×44.0/米田稔/No.460
222. 柏原えつとむ/Neutral Space/「プリント・シンポジウム」より/1982/50/シルクスクリーン/34.0×53.0/前田  
武史(美学校研修科)/No.495
223. 高橋雅之/BRIDGE-N/「プリント・シンポジウム」より/1982/50/シルクスクリーン/28.5×43.5/大滝次郎(美  
学校研修科)/No.496
224. 堀浩哉/公園/「プリント・シンポジウム」より/1982/50/シルクスクリーン/62.0×46.5/野々宮幸雄(美学校  
研修科)/No.497
225. 堀浩哉/熱風1/1984/150/シルクスクリーン/76.0×56.0/美学校研修科/No.719
226. 堀浩哉/熱風2/1984/150/シルクスクリーン/76.0×56.0/美学校研修科/No.720
227. 吉田克朗/work 117/「プリント・シンポジウム」より/1982/50/シルクスクリーン/42.0×56.0/宮川正臣(美  
学校研修科)/No.498
228. 松本 旻/配色(Chart-8)/「プリント・シンポジウム」より/1982/50/シルクスクリーン/37.0×57.0/伊丹裕  
(美学校研修科)/No.499
229. 澄川喜一/フェニックスの翼 A/1982/50/シルクスクリーン/50.5×30.0/岡部徳三/No.501
230. 澄川喜一/フェニックスの翼 B/1982/50/シルクスクリーン/51.0×26.5/岡部徳三/No.502
231. 草間彌生/南瓜/1982/50/シルクスクリーン/69.0×55.0/美学校研修科/No.523/所蔵:たけだ美術(特別出品)
232. 草間彌生/帽子-s/1982/50/シルクスクリーン/27.0×32.0/美学校研修科/No.527
233. 草間彌生/Infinity Nets/1958/1982/50/シルクスクリーン/27.0×31.5/美学校研修科/No.528
234. 柳澤紀子/時の移ろい-夏めく/版画集『時の移ろい』/1982/50/銅版、シルクスクリーン/36.5×48.0/  
山村兄弟版画工房(山村素夫・常夫)、岡部徳三/No.537
235. 柳澤紀子/時の移ろい-白昼/版画集『時の移ろい』/1982/50/銅版、シルクスクリーン/30.5×47.0/  
山村兄弟版画工房(山村素夫・常夫)、岡部徳三/No.538
236. 柳澤紀子/時の移ろい-残花/版画集『時の移ろい』/1982/50/銅版、シルクスクリーン/35.0×48.0/  
山村兄弟版画工房(山村素夫・常夫)、岡部徳三/No.539
- 237-244. 詩:岡田隆彦、画:柳澤紀子/『詩画集 海へ』/1984/70/本の外寸:34.8×29.2/No.643-650
237. 柳澤紀子/序/1984/70/銅版、手彩色/11.4×13.2/山村兄弟版画工房(山村素夫・常夫)/No.643
238. 柳澤紀子/I/1984/70/銅版、手彩色/10.5×14.0/山村兄弟版画工房(山村素夫・常夫)/No.644
239. 柳澤紀子/II/1984/70/銅版、手彩色/11.4×16.0/山村兄弟版画工房(山村素夫・常夫)/No.645
240. 柳澤紀子/III/1984/70/銅版、手彩色/10.8×12.0/山村兄弟版画工房(山村素夫・常夫)/No.646
241. 柳澤紀子/IV/1984/70/銅版、手彩色/9.2×15.2/山村兄弟版画工房(山村素夫・常夫)/No.647
242. 柳澤紀子/V/1984/70/銅版、手彩色/11.4×16.0/山村兄弟版画工房(山村素夫・常夫)/No.648
243. 柳澤紀子/VI/1984/70/銅版、手彩色/10.2×15.8/山村兄弟版画工房(山村素夫・常夫)/No.649
244. 柳澤紀子/VII/1984/70/銅版、手彩色/11.3×16.2/山村兄弟版画工房(山村素夫・常夫)/No.650
245. 藤江民/ざ行・い/1982/30/リトグラフ/80.0×57.0/作家自刷り/No.558
246. 藤江民/さざなみ I/1984/30/リトグラフ/85.0×62.0/作家自刷り/No.652
247. 藤江民/ふときこえたような/1984/30/リトグラフ/80.0×60.0/作家自刷り/No.653
248. 林芳史/筆触/1981/35/銅版/36.5×46.5/林グラフィックプレス/No.559
249. 舟越保武/若い女 A/『舟越保武石版画集』/1984/170/リトグラフ、雁皮刷り/51.0×39.0/森版画工房(森仁志)  
/No.596
250. 舟越保武/若い女 B/『舟越保武石版画集』/1984/170/リトグラフ、雁皮刷り/48.5×37.0/森版画工房(森仁志)  
/No.597
251. 舟越保武/聖クララ/『舟越保武石版画集』/1984/170/リトグラフ、雁皮刷り/51.0×42.0/森版画工房(森仁志)  
/No.598
252. アンディ・ウォーホル/K I K U 1/1983/300/シルクスクリーン/50.0×66.0/石田一/No.601
- 252-2. アンディ・ウォーホル/K I K U 1/1983/300/シルクスクリーン/50.0×66.0/石田一/No.601
253. アンディ・ウォーホル/K I K U 2/1983/300/シルクスクリーン/50.0×66.0/石田一/No.602
- 253-2. アンディ・ウォーホル/K I K U 2/1983/300/シルクスクリーン/50.0×66.0/石田一/No.602
254. アンディ・ウォーホル/K I K U 3/1983/300/シルクスクリーン/50.0×66.0/石田一/No.603
- 254-2. アンディ・ウォーホル/K I K U 3/1983/300/シルクスクリーン/50.0×66.0/石田一/No.603
255. アンディ・ウォーホル/オリジナル版画入りカタログ『アンディ・ウォーホル』より、KIKU/1983/シルクスクリー  
ン/21.0×28.0/石田一/No.604
256. 加藤清之/作品 '83-10/1983/40/陶オブジェ/18.0×20.0×13.0/No.640
257. 安藤忠雄/SCENE I / WALL/1984/150/シルクスクリーン/38.0×38.0/石田一/No.708
258. 安藤忠雄/SCENE II/CROSS/1984/150/シルクスクリーン/38.0×38.0/石田一/No.709
259. ジョナス・メカス/セルフ・ポートレイト、ラコステ(サド侯爵の城)の日蔭にて/1975、刷り:1983/75/シルク

- スクリーン/48.0×63.0/岡部徳三/ジョナス・メカス展実行委員会との共同エディション (ジョナス・メカス映画美術館建設賛助エディション)
260. ジョナス・メカス/モントークのピーター・ピアード/1974、刷り:1983/75/シルクスクリーン/37.5×51.0/岡部徳三/ジョナス・メカス展実行委員会との共同エディション (ジョナス・メカス映画美術館建設賛助エディション)
261. ジョナス・メカス/枝と葉の影を映し、雨滴に濡れた壁/刷り:1983/75/シルクスクリーン/48.0×63.0/岡部徳三/ジョナス・メカス展実行委員会との共同エディション (ジョナス・メカス映画美術館建設賛助エディション)
262. ジョナス・メカス/ウーナ・メカス 5才 猫とホリス (母) の前でヴァイオリンの稽古/1979、刷り:1983/75/シルクスクリーン/53.0×37.5/岡部徳三/ジョナス・メカス展実行委員会との共同エディション (ジョナス・メカス映画美術館建設賛助エディション)
263. ジョナス・メカス/京子 7 才の誕生日 (ヨーコ・オノの愛娘) /1970、刷り:1983/75/シルクスクリーン/36.5×24.0/岡部徳三/ジョナス・メカス展実行委員会との共同エディション (ジョナス・メカス映画美術館建設賛助エディション)
264. ジョナス・メカス/夜の街を走る車 マンハッタン/刷り:1983/75/シルクスクリーン/53.0×37.5/岡部徳三/ジョナス・メカス展実行委員会との共同エディション (ジョナス・メカス映画美術館建設賛助エディション)
265. ジョナス・メカス/ひなぎくを持ったケイト・マンハイム/1972、刷り:1983/75/シルクスクリーン/63.0×43.0/岡部徳三/ジョナス・メカス展実行委員会との共同エディション (ジョナス・メカス映画美術館建設賛助エディション)
266. 北川民次/狂女/1957/50/リトグラフ/22.6×18.3/現代版画センターコレクション作品
267. 北川民次/瀬戸の街/1961/60/リトグラフ/45.5×32.1/現代版画センターコレクション作品
268. 北川民次/眠るインディアン/1961/55/リトグラフ/29.8×37.9/現代版画センターコレクション作品
269. 北川民次/裸婦/1962/45/木版/25.7×38.5/現代版画センターコレクション作品
270. 北川民次/バッタの夢/1970/100/エッチング/21.0×33.5/現代版画センターコレクション作品
271. 瑛九/Q-Ei/作品 1 (work1 Yellow) /1950 年頃/木版/15.6×10.0/現代版画センターコレクション作品
272. 瑛九/Q-Ei/作品 2 (work2 Yellow and Green) /1950 年頃/木版/15.6×10.0/現代版画センターコレクション作品
273. 瑛九/Q-Ei/海辺の孤独/1957/35/リトグラフ/49.7×38.4/現代版画センターコレクション作品
274. 瑛九/Q-Ei/離陸/1957/リトグラフ/32.6×19.5/現代版画センターコレクション作品
275. 瑛九/Q-Ei/着陸/1957/20/リトグラフ/36.0×23.0/現代版画センターコレクション作品
276. 駒井哲郎/消えかかる夢/1951、刷り:1973/200/メゾチント (線刻)、エッチング、エンブレイヴィング、アクアチント/12.2×15.0/現代版画センターコレクション作品
277. 駒井哲郎/芽生え/1955/20/アクアチント、エンブレイヴィング/15.5×28.0/現代版画センターコレクション作品
278. 駒井哲郎/花/1965/100/アクアチント、手彩色/12.5×9.3/現代版画センターコレクション作品
279. 駒井哲郎/『みづゑ』(1967 年 10 月号) のための石版画/1967/15/リトグラフ/39.1×25.3/現代版画センターコレクション作品
280. 駒井哲郎/街/1973/サンドペーパーによるエッチング/23.5×21.0/現代版画センターコレクション作品

## 参考出品

- ・ジョナス・メカス/Self Portrait/1980/映像 (上映時間:約 20 分) /映像提供:ジョナス・メカス氏
- ・ジョナス・メカス/I Leave Chelsea Hotel/映像 (上映時間:約 4 分) /映像提供:ジョナス・メカス氏

## ポスター

- ・菅井汲全国展/1976 年
- ・'77 企画 現代と声/1977 年
- ・高橋悠治ピアノコンサート/1977 年
- ・現代版画への招待/1979 年
- ・第 3 回美学校シルクスクリーンプリントシンポジウム/1982 年
- ・第 3 回美学校シルクスクリーンプリントシンポジウム/1982 年
- ・アメリカ現代版画と写真展—ジョナス・メカスと 26 人の仲間たち/1983 年/デザイン:佐藤雅彦
- ・アンディ・ウォーホル展/1983 年
- ・アンディ・ウォーホル展/1983 年/デザイン:浪漫堂
- ・アンディ・ウォーホル展/1983 年
- ・アンディ・ウォーホル展/1983 年/デザイン:田名網敬一
- ・磯崎新展/1983 年/デザイン:浪漫堂
- ・巨大地下空間とウォーホル展/1983 年/デザイン:セラ・デザイン研究所
- ・元永定正いちにさんぼ展/1983 年/デザイン:浪漫堂

## 資料展示

- ・『画譜』第 3 号 (通常版) 発行日:1976 年 3 月 1 日、発行:現代版画センター
- ・『アンディ・ウォーホル展 1983~1984 カタログ』発行日:1983 年 6 月 7 日、編集:アンディ・ウォーホル展カタログ編集委員会
- (宮井陸郎、栗山豊、根本寿幸、田村洋子、綿貫不二夫)、発行:現代版画センター
- ・『ジョナス・メカス映画美術館建設賛助計画 オリジナル版画入りカタログ』発行日:1983 年 12 月 11 日、

---

企画：ジョナス・メカス展実行委員会、編集：ジョナス・メカス展カタログ編集室、発行：ジョナス・メカス展実行委員会

・『Ed 増刊／アンディ・ウォーホル』 発行日：1984年3月20日、編集・デザイン：星野治樹（水夢社）＋上野真示、発行：現代版画センター

・撮影：村井修／巨大地下空間とウォーホル展／会期：1983年7月24日-8月20日、主催・会場：大谷町屏風岩アートポイント（栃木県宇都宮市）／4点

・栗山豊収集アンディ・ウォーホル資料

・アンディ・ウォーホル展資料／資料提供：筑後画廊

・現代版画センターが発行した関連作家のカタログ、リーフレット類

Panorama（記録写真等スライド上映）

・Panorama A [展覧会]／上映時間：約7分

・Panorama B [オークション、イベント]／上映時間：約8分

・Panorama W [アンディ・ウォーホル展]／上映時間：約5分

## ■MOMASコレクション

MOMAS コレクション（埼玉県立近代美術館収蔵作品展）では、当館のコレクションの中核をなす埼玉ゆかりの美術家と彼らに影響を与えた国内外の優れた作品を、さまざまな角度から紹介している。

年間を4つの会期に分け、各回さらにいくつかのコーナーを設けて、ジャンルやテーマによる展示構成、作家の小特集、名品選など、さまざまな切り口で多様な作品を紹介できるようにしている。さらに収蔵作品に加えてテーマに相応しい寄託・借用作品も随時展示して企画性を高めている。このような姿勢を明確に提示するため、平成20年度よりこれまでの「常設展」に替わり「MOMAS コレクション」という名称を用いている。

平成28年度からは、展示室の区分を従来の3区分から原則2区分に変更した。1コーナーあたりの展示面積が拡張されたことによって、ジャンルを限定されない企画性の高い展示や大型作品のまとまった展示が可能となった。あわせて、西洋の近代絵画を中心に日本の近代絵画を交えながら、年間を通してコレクションのエッセンスを紹介する「セレクション」を設けている。

企画性の高い展示としては、第1期の「色を織り、光を綴る—斎藤豊作の絵画」「建皇哲×MOMAS コレクション」、第2期の「根岸に学ぶ—浅井忠の弟子たち」、第3期の「明治・大正の日本画—江森天寿を中心に」、第4期の「とう・かたる一人と美術の出会いの中で」などがあげられる。なかでも、県内の所蔵家から作品を借用して、37歳で早世した県ゆかりの日本画家・江森天寿の画業を検証した「明治・大正の日本画—江森天寿を中心に」、そして当館としては初めて、鑑賞教育の研究成果を大きく取り入れたMOMAS コレクションの展示となった「とう・かたる一人と美術の出会いの中で」は、特筆に値する。

その他、第2期では企画展と連動した「遠藤利克—供養の論理学」、第3期では平成29年度に取得した瑛九《手》（1957年）の公開、第4期では川越市立美術館の小村雪岱展に連動した「小特集：小村雪岱のイラストレーション」など、館内外の他の事業と絡めて収蔵作品を活用し、集客増を図った。

なお、会期中の5月18日、10月25日には、子育て中のご家族を応援するファミリー鑑賞会を開催して好評を博した。

## ■MOMASコレクション[ I ]

■会期：2017年4月22日（土）～7月16日（日）

■主催：埼玉県立近代美術館

■協力：JR 東日本大宮支社

■入場者数：8,035人

■広報印刷物：ポスター B1・B2/デザイン：川村格夫

■担当学芸員：渋谷拓、吉岡知子、嶋原悠、五味良子



B1・B2 ポスター

### ■常設展示室

#### 《セレクション：モネとカルオーとか》

当館の象徴であるモネの作品をはじめとする西洋近代絵画の名品に、日本の近代絵画を交えて紹介した。

作者名	作品名	制作年
ジャンバティスト・カミーユ・コロー	砂丘にて—ハーグの森の思い出	1869
ウジェヌ・ブーダン	ノルマンディーの風景	1854-1857
※登録美術品 丸沼芸術の森蔵		
カミーユ・ピサロ	エラニーの牛を追う娘	1884
クロード・モネ	ジヴェルニーの積みわら、夕日	1888-1889
ジョルジュ・ルオー	横向きのピエロ	1925頃
アンドレ・ドララン	浴女	1925
森田恒友	城址	1916
パブロ・ピカソ	静物	1944
モーリス・ユトリロ	歳で崩れたモンマルトルのサクレクール寺院	1919
田中保	キュビストA	1915
田中保	キュビストB	1915
レオナルド・フジタ	横たわる裸婦と猫	1931
岸田劉生	路傍初夏	1920
谷賀春江	コンポジション	1930頃
林倭衛	積藁	1935
橋本真之	作品115 運動膜（内的な水辺）	1978-1983

## 《色を織り、光を綴る—斎藤豊作の絵画》

県ゆかりの洋画家で、日本の近代美術に大きな足跡を残した斎藤豊作の画業を、新収蔵作品を交えてたどった。

作者名	作品名	制作年
斎藤豊作	山湖	1910 頃
斎藤豊作	流れ	1910 頃
	※特別出品 井原徹太氏蔵	
斎藤豊作	残れる光	1910 頃
	※特別出品 さいかつ農業協同組合蔵	
斎藤豊作	風景	1910 頃
	※特別出品 越谷市蔵	
斎藤豊作	フランス風景 I	1910 頃
斎藤豊作	フランス風景 II	1910 頃
斎藤豊作	フランス風景 III	1910 頃
斎藤豊作	初冬の朝	1914
斎藤豊作	読書する人	1915 頃
	※展示期間：6月6日（火）—7月16日（日）	
斎藤豊作	化粧する人	1915 頃
	※展示期間：4月22日（土）—6月4日（日）	
斎藤豊作	雨後の夕	1919
斎藤豊作	雪後の夕	1919
斎藤豊作	ヴェヌヴェルの松 I	1930 頃
斎藤豊作	ヴェヌヴェルの桃	1930 頃
斎藤豊作	小舟	制作年不詳
斎藤豊作	装飾画（しだれ柳に鯉）	制作年不詳
斎藤豊作	鯉（装飾画の下絵）	制作年不詳
（参考資料）	写真：斎藤豊作、カミュー、タモツ	1916

### ■担当後記

- ◆ 越谷に生まれた斎藤豊作（1880-1951）は、東京美術学校で油彩画を学んだ後、1906年にフランスに留学して点描表現を習得した。1912年に帰国すると、二科会の創立に参加し、優れた色彩感覚を発揮した点描作品によって「二科会の花」と評された。来日中のフランス人と結婚し、1920年に再渡仏した後は、サルト県にあるヴェヌヴェルの古城を購入して、同地で装飾的な大画面の作品を制作し、没するまで一度も帰国することはなかった。
- ◆ 当館では、県ゆかりの画家として豊作の作品を継続的に収集してきたが、平成28年度に、第1回二科展に出品された点描の代表作《初冬の朝》、および再渡仏後の装飾画の下絵と思われるパステル画《鯉（装飾画の下絵）》を新たにご寄贈いただいた。今回の展示では、この2点のお披露目も兼ねて、当館の収蔵作品に特別出品や写真資料を交えて、初期から晩年にいたるまでの豊作の画業を紹介した。
- ◆ 1回目のフランス滞在中、豊作は画家アンリ・マルタンの影響を受けて、詩情豊かな点描による風景画を手がけ、画業の中で最も充実した時期を過ごした。今回の展示では、この時期の作品を県内の所蔵先から特別出品として3点借用し、当館所蔵の4点とともに展示

した。帰国後の点描の代表作《初冬の朝》とあわせて、豊作の鋭敏な色彩感覚が発揮された作品を、ある程度まとまったかたちで紹介できたのではないかと思う。借用した《残れる光》（さいかつ農業協同組合蔵）は、展示の終了後、当館にご寄附いただけることとなった。

◆ 会期中に偶然、ヴェヌヴェルの古城の現居住者が来日し、当館を訪ねられた。ヴェヌヴェルの古城には、2005年に当館の学芸員であった金子百合子氏が、翌年開催の企画展「巴里憧憬—エコール・ド・パリと日本の画家たち」の調査のために訪ねており、現在の城主は当時を思い出して当館にご連絡をくださった。当日は金子氏もお招きして旧交を温めるとともに、現在のヴェヌヴェルについて城主にお話をうかがう貴重な機会となった。

（吉岡知子）

### 《院展の作家たち》

多くの画家を輩出してきた在野団体、日本美術院に参加した作家の作品を通して、近代日本画史の一端をたどった。

#### 前期展示（4月22日-6月4日）

作者名	作品名	制作年
橋本雅邦	浩月怒涛図	制作年不詳
寺崎廣業	李太白観瀑之図	制作年不詳
横山大観	帰牧	1913
下村観山	巖に鳥	1915-1916 頃
富田溪仙	糺の森	制作年不詳
今村紫紅	龍虎	1913
森田恒友	見下ろしたる港町	1916
倉田白羊	六月	1919
堅山南風	鷺	制作年不詳
田中青坪	離宮歴日	1983
関口正男	清浄光	1984
（参考資料）	日本美術院同人瀬戸内海旅行記念寄せ書き丸盆	1920

#### 後期展示（6月6日-7月16日）

作者名	作品名	制作年
橋本雅邦	鷹捕白鷺図	制作年不詳
横山大観	漁村曙	1940
下村観山	牧童	1911 頃
菱田春草	湖上釣舟	1900
森田恒友	見下ろしたる港町	1916
倉田白羊	六月	1919
前田青邨	紅梅	制作年不詳
大林千萬樹	編笠茶屋	制作年不詳
小茂田青樹	晩秋	制作年不詳
富取風堂	野の花	制作年不詳
速水御舟	夏の丹波路	1915
中島多茂都	残秋	制作年不詳
池田憲二	塔影	1969
郷倉和子	明	1987
（参考資料）	日本美術院同人瀬戸内海旅行記念寄せ書き丸盆	1920

## 《建島哲×MOMAS コレクション》

詩人／美術評論家としても活躍する館長・建島哲が、収蔵作品から敬愛する美術家・草間彌生氏の作品を選び、インスピレーションを受けて表現した詩句とあわせて作品を展示した。

作者名	作品名	制作年
草間彌生	集積	1951
草間彌生	Flower	1953
草間彌生	THE WOMAN	1953
草間彌生	T2	1953
草間彌生	Flower	1954
草間彌生	R. B. 4	1954
草間彌生	A. Q. INFINITY NETS	1960
草間彌生	脚立	1966
草間彌生	スーツケース	1966
草間彌生	青蛇の目をもつ花瓶	1975
草間彌生	生きものの巢	1975
草間彌生	Iida Art Editions 草間彌生モデル	2009

## ■ 1階ギャラリー（県展期間を除く）

作者名	作品名	制作年
エミール・アントワヌ・ブールデル	チリーの女	1921
シャルル・デスビオ	ピアンキーニ嬢	1929
オーギュスト・ロダン	ウスタッシュ・ド・サン=ピエールの頭像	1884-1886頃

## ■ 広報記録

### <新聞>

- ・ 「洋画家・斎藤豊作の画業たどる さいたまで展示」  
『朝日新聞』2017年7月9日
- ・ 告知：『埼玉新聞』2017年6月7日／『埼玉新聞』2017年6月14日

### <ミニコミ誌・雑誌等>

- ・ 告知：『武州路』2017年7月号

### <ラジオ>

- ・ 「MOMAS コレクション第1期」『REDS WAVE』2017年4月19日

### <WEB>

- ・ 告知：『Yahoo ロコ』4月27日／『J:COM ZAQ おでかけガイド』4月27日／『Biglobe 旅行』4月27日／『アパホテル』4月27日／『ニコンスポットサーチ』4月27日／『パナソニックおでかけ旅ガイド』4月27日／『朝日新聞デジタル』4月27日



左：「色を織り、光を綴る—斎藤豊作の絵画」 | 右：「院展の作家たち」の展示風景



「建島哲×MOMAS コレクション」の展示風景



■会期：2017年7月22日(土)～10月1日(日)

■主催：埼玉県立近代美術館

■協力：JR 東日本大宮支社

■入場者数：12,597人

■広報印刷物：ポスター B1・B2、フライヤー (作品図版

各100部、北浦和駅に掲出) /デザイン：川村格夫

■担当学芸員：嶋原悠、渋谷拓、前山裕司



B1・B2 ポスター

■1F 展示室A

《セレクション：シャガールとか田中保とか》

幻想的な作風で知られる画家・シャガールやフランスで活躍した県ゆかりの画家・田中保など、西洋近代絵画に日本近代の作品を交えて紹介した。

作者名	作品名	制作年
ジャン・バティスト・ガミーユ・コロ	イタリアの思い出	1863
ウジェーヌ・ドラクロワ	聖ステパノの遺骸を抱え起こす弟子たち	1860
	※登録美術品 丸沼芸術の森蔵	
ウジェーヌ・ブーダン	ノルマンディーの風景	1854-1857
	※登録美術品 丸沼芸術の森蔵	
クロード・モネ	ジヴェルニーの積みわら、夕日	1888-1889
オーギュスト・ルノワール	三人の浴女	1917-1919
アン・ド・トゥルーズ＝ロートレック	『ラ・レビュー・ブランシュ』誌 ポスター	1895
モーリス・ドニ	トレストリニエルの岩場	1920
パブロ・ピカソ	静物	1944
ジュール・パスキン	眠る裸女	1928
田中保	裸婦と画集	1920-1940
田中保	たそがれのノートル・ダム	1920-1940
マルク・シャガール	二つの花束	1925
キスリング	赤いテーブルの上の果実	1944
佐伯祐三	門と広告	1925
国吉康雄	ブランコの女	1936
柳原義達	鳩・B	1977

《遠藤利克—供犠の論理学》

国際的に活躍する彫刻家・遠藤利克の作品で重要な焼成のプロセスを、「供犠」の論理で検証した。企画展「遠藤利克展—聖性の考古学」との連動展示とした。

作者名	作品名	制作年
遠藤利克	泉—9個からなる	1989
遠藤利克	「泉—9個からなる」写真 I	1989
	(プリントは1993)	
遠藤利克	「泉—9個からなる」写真 II	1989
	(プリントは1993)	
遠藤利克	《泉》(1991年、東京都現代美術館蔵)の焼成映像	1991
	※特別出品 作家蔵	
遠藤利克	「寓話V—鉛の柩」のためのプラン	2016
	※特別出品 個人蔵	

■担当後記

- ◆ 本コーナーは、7月15日から開催した企画展「遠藤利克展—聖性の考古学」との連動展示として、県ゆかりの美術家・遠藤利克による収蔵作品《泉—9個からなる》(1989年)とその焼成時の写真作品(《「泉—9個からなる」写真I&II》)、および当館作品と関連する作品《泉》(1991年、東京都現代美術館蔵)の焼成時の貴重な動画などを展示した。
- ◆ この展示では、2Fおよびアトリウムを会場とする企画展とは異なったアプローチをとり、遠藤の作品制作において重要な焼成プロセスに注目した。木による造形物を焼いてそれを作品と成す、という遠藤のスタイルは1980年代に始まる。当時遠藤は、作品を焼くということ、死者を弔う文化的行為である「葬礼」に見立てて思考していた。遠藤は、ある文化のなかで生じた儀礼のことを、美術家が制作するものと同じように「作品」と考える。そして「葬礼」(とりわけ火葬)を、ある意味では人間の生と死が最も実存的な輝きを放つ瞬間と考え、焼成をそうした文化的行為になぞらえて理解した、といえる。
- ◆ 2000年代に入り、「木による造形物を焼く」ことの意味は、遠藤のなかでより明確になる。現在、遠藤はその意味を、生命を超越的存在に捧げる「供犠」という失われた古(いにしえ)の習俗と、そこに見いだされる論理になぞらえて理解している。供犠の本質は、その対象を消尽しつくすことによって逆説的にそれを聖化する、というロジックにある。パタイユによれば、「破壊の本質とは有用な仕事の連繫の内に留まりえたものを利得なしに蕩尽することである。供犠はそれが

聖別をするものを破壊する」(『呪われた部分』)。「供犠」の論理への移行は、供犠に潜む「有用なものを消尽・蕩尽する」という側面が、自らの作品制作の論理により適っている、と遠藤が現在考えていることを示している。「葬礼」の見立てから「供犠」の論理へ。「木による造形物を焼く」ことの意味づけの推移は、遠藤のなかで解釈に変化が生じた、というよりは自身にとっても曖昧なままにあった深い含意が、近年、より明確なイメージを結んで理解されたのだ、ということが出来るだろう。

- ◆ 連動した企画展「遠藤利克展—聖性の考古学」は26年ぶりの関東での開催となった大規模な遠藤の個展であったが、この展示によって、館内をほぼ遠藤作品で埋め尽くすにいたった。「遠藤利克展—聖性の考古学」の高い評価に、この展示が一役買ったように思われる。
- ◆ 遠藤利克氏には、貴重な映像を提供いただいたばかりか、企画展の展示作業後すぐに本コーナーの展示指導までいただいた。全力で当館の夏の展示にご尽力いただいたことに、記して心よりの深い感謝を申し上げます。

(渋谷拓)

### 《根岸に学ぶ—浅井忠の弟子たち》

倉田弟次郎、倉田白羊など、明治を代表する洋画家・浅井忠に学んだ画家たちの作品や資料を通して、近代洋画の草創期を探った。

作者名	作品名	制作年
浅井忠	物売り	制作年不詳
浅井忠	曳舟通り (複製)	1885
浅井忠	『自在面教科書』第三編	1903年2月
浅井忠	チベット模様 (『ほととぎす』第10巻3号表紙)	1906年12月1日 ※個人蔵
浅井忠	玉蜀黍 (『ほととぎす』第10巻3号)	1906年12月1日 ※個人蔵
黙語会	『黙語西洋画集』	1910年8月
黙語会	『黙語日本画集』	1909年7月
倉田弟次郎	農家庭先	1891
倉田弟次郎	鞆	1892
倉田弟次郎	曳舟通り	1892
倉田弟次郎	根岸田圃	1892
倉田弟次郎	農婦	1891
倉田弟次郎	街並み	制作年不詳
	※特別出品	竹本弘幸氏蔵
都鳥英喜	農家	1891
	※特別出品	竹本弘幸氏蔵
奥山恒五郎	大日本帝國義勇艦隊第二船梅香丸—等獎禮室前壁 (『建築世界』第3巻10号)	1909年10月号 ※個人蔵
奥山恒五郎	大日本帝國義勇艦隊第二船梅香丸—等獎禮室前壁 (『建築世界』第3巻12号)	1909年12月号 ※個人蔵
奥山恒五郎	日本郵船株式会社新造船熱田丸諸公室装飾 (掲載誌不明)	1909頃 ※個人蔵
奥山恒五郎	日本郵船株式会社新造船熱田丸諸公室装飾 (掲載誌不明)	1909頃 ※個人蔵

萩生田文太郎	品海の小春 (『諸名家スケッチ第一集 印象』)	1910 ※個人蔵
萩生田文太郎	野趣 (『東京写真研究会画集』第6輯)	1915
渡部審也	無人島大王 ロビンソン漂流記 (『世界お伽草子 第五編』)	1899 ※個人蔵
渡部審也	『明治天皇 御一代画史』	1912 ※個人蔵
渡部審也	戦地の水 (『中学世界』第7巻第11号)	1904年9月10日 ※個人蔵
木村光太郎	魯都の擾乱 (『日露戦争写真画報』第15巻)	1905年2月8日号 ※個人蔵
木村光太郎	敵艦隊大敗! 敵提督戦傷! (『日露戦争写真画報』第24巻)	1905年6月8日号 ※個人蔵
木村光太郎	大石橋兵突 (へいせん) (『日露戦争写真帖』第2集)	1904-1905 ※個人蔵
庄野宗之助	油売り	制作年不詳 ※個人蔵
庄野宗之助	鴨脚樹 (『ほととぎす』第9巻3号裏表紙)	1906年12月10日号 ※個人蔵
庄野宗之助	柿 (『ほととぎす』第10巻3号裏表紙)	1906年12月1日 ※個人蔵
倉田白羊	農婦	1897
倉田白羊	渋谷道玄坂下	1896
倉田白羊	天城山中	1897
石井柏亭	飯能天覧山	制作年不詳
高島信	第一回帝國議會開院式行幸 (複製)	1907
種ヶ島賢助	房州附近の景 (『日本美術畫報』5編第2)	1905年8月号 ※個人蔵

### ■広報記録

#### <新聞>

- ・ 「県立近代美術館 文化庁『登録美術品』に モネが影響 プーダン作品公開中」『産経新聞』2017年9月5日
- ・ 告知:『埼玉新聞』2017年8月23日/『埼玉新聞』2017年8月30日/『産経新聞』2017年9月5日/『読売新聞』2017年9月5日夕刊/『埼玉新聞』2017年9月13日/『埼玉新聞』2017年9月20日/『読売新聞』2017年9月26日夕刊

#### <ミニコミ誌、雑誌等>

- ・ 告知:『新美術新聞』2017年9月1日

#### <WEB>

- ・ 告知:『yahoo ロコ』2017年7月18日/『J:COM ZAQ おでかマガイド』2017年7月18日/『Biglobe 旅行』2017年7月18日/『アパホテル』2017年7月18日/『ニコンスポットサーチ』2017年7月18日/『パナソニックおでかマガイ』2017年7月18日/『朝日新聞デジタル』2017年7月18日

#### <テレビ>

- ・ 「近代美術館『MOMAS コレクション』」テレビ埼玉 2017年9月29日



「遠藤利克—供儀の論理学」の展示風景



「根岸に学ぶ—浅井忠の弟子たち」の展示風景

## ■MOMASコレクション[Ⅲ]

■会期：2017年10月7日（土）～12月24日（日）

■主催：埼玉県立近代美術館

■協力：JR 東日本大宮支社

■入場者数：10,008人

■広報印刷物：ポスター B1・B2、フライヤー（作品図版各100部、北浦和駅に掲出）／デザイン：川村格夫

■担当学芸員：前山裕司、鳴原悠、菖蒲澤佑



B1・B2 ポスター

## ■常設展示室

### 《セレクション：ピサロとか岸田劉生とか》

印象派のカミーユ・ピサロや、日本近代洋画を代表する岸田劉生の作品など、西洋近代絵画に日本近現代の作品を交えて紹介した。

作者名	作品名	制作年
ウジェーヌ・ブーダン	ノルマンディーの風景	1854-1857
	※登録美術品	丸沼芸術の森蔵
カミーユ・ピサロ	エラニーの牛を追う娘	1884
クロード・モネ	ルエルの眺め	1858
	※登録美術品	丸沼芸術の森蔵
クロード・モネ	ジヴェルニーの積みわら、夕日	1888-1889
モーリス・ドニ	トレストリニエルの岩場	1920
ジョルジュ・ルオー	横向きのピエロ	1925頃
斎藤豊作	残れる光	1910頃
	※寄託作品	さいかつ農業協同組合蔵
森田恒友	房州風景	1913
倉田白羊	山ふところ	1933

田中保	海の中の裸婦	1915-1920	江森天寿	梅雨の頃	1910-1911 頃
岸田劉生	路傍初夏	1920	江森天寿	紅薔薇	1912
瑛九	波のたむけれ (おどり)	1956			※特別出品 個人蔵
瑛九	手	1957	江森天寿	裾野の秋	1915
瑛九	作品 (78)	制作年不詳	江森天寿	鳳仙花	1916
野村仁	太陽7月	1985-1992			※特別出品 個人蔵
橋本真之	作品 115 運動膜 (内的な水辺)	1978-1983	江森天寿	まこも (水草三題の内)	1917
					※特別出品 個人蔵
			江森天寿	菊	1924
					※特別出品 個人蔵
			江森天寿	桃	制作年不詳
			奥原清湖	仙境群鶴	1905
			川端玉章	魚籃観音図	1910 頃
			渡辺省亭	水中遊鯉之図	制作年不詳
			川合玉堂	蓬萊暁色図	1918

## 《描かれたこどもの世界》

子どもを主題にした作品や子どもたちのための仕事など、子どもや物語の世界を憧憬した作家たちの作品を紹介した。

作者名	作品名	制作年
森田恒友	本を持つ少女	1908-1909
倉田白羊	飛行機自動車双六 武俠少年付録	1913
寺内萬治郎	童謡いろは歌留多 (金の星新年号ふろく)	1922
奥瀬英三	母と子	1922
ジョアン・ミロ	ジャグリングをする道化師	1980
古賀春江	コンポジション	1930 頃
ルフィーノ・タマヨ	鳥と子供	1976
山本日子士良	室内母子	1969
瑛九	子供たち	1953
瑛九	子供のプロフィール	1957
元永定正	みつつのかたちはしろいせん	1984
寺井力三郎	寝る子	1967
野田哲也	日記; 1979年8月2日	1979
立石大河亞 (タイガー立石)	Time elevator	1979
立石大河亞 (タイガー立石)	Peacock moon	1979
山本容子	Drink Me, Eat Me (不思議の国のアリス)	2008
山本容子	The Dream of Wonderland (不思議の国のアリス)	2008
寺内萬治郎ほか (絵)	『キンダーブック』第7輯第1編	1934
寺内萬治郎ほか (絵)	『キンダーブック』第7輯第4編	1934
表紙: 寺内萬治郎	『週刊少国民』第6巻第1号	1946
表紙: 山路真護	『良い子の友』第23巻第7号	1947
小川未明 (作)、 山路真護 (挿絵)	『月夜と目がめ』	1947
小川未明 (作)、 山路真護 (挿絵)、 恩地孝四郎 (装幀)	『赤い雲のかみた』	1949
浜田廣介 (作)、 山路真護 (挿絵)、 初山滋 (装幀)	『むく鳥のゆめ』	1951
小川未明 (作)、 山路真護 (挿絵)	『赤い船』	1956
谷川俊太郎 (作)、 元永定正 (絵)	『もこもこもこ』	2005 (初版: 1977年)
タイガー立石 (作・絵)	『とらのゆめ』	2008 (初版: 1984年)

## 後期展示 (11月14日-12月24日)

作者名	作品名	制作年
江森天寿	「草花」模写	1903
江森天寿	沈南蘋「百合花鴛鴦図」模写	1905
江森天寿	花の想	1906
江森天寿	葉鶏頭	1917
		※特別出品 個人蔵
江森天寿	秋趣	1917
江森天寿	梅月	1922
江森天寿	芭蕉	制作年不詳
		※特別出品 個人蔵
江森天寿	蕨	制作年不詳
		※特別出品 個人蔵
野口小蘗	茂林佳趣図	1913
野村文挙	近江八景 唐崎夜雨	1907 頃
江森天淵	茂林佳趣	制作年不詳
池上秀敏	鷺	制作年不詳
小村雪岱	秋海棠	1903
		※寄託作品 個人蔵
小茂田青樹	秋叢	1925-1926 頃

## 通期展示 (前後期で頁替、場面替を実施した)

作者名	作品名	制作年
江森天寿	水野年方筆三十六佳撰模写	1902
		※特別出品 個人蔵
江森天寿	有職故実 (東京美術学校課題)	1908-1909
		※特別出品 個人蔵
江森天寿	画帖	1901-1915 頃
		※特別出品 個人蔵
江森天寿	画帖	1913-1924 頃
		※特別出品 個人蔵
江森天寿	画帖	1923 頃
		※特別出品 個人蔵

## 《明治・大正の日本画—江森天寿を中心に》

写実的な花鳥画を得意とした深谷市出身の日本画家・江森天寿を中心に、自然を画題にした明治から大正期の日本画をご覧いただいた。

### 前期展示 (10月7日-11月12日)

作者名	作品名	制作年
江森天寿	沈南蘋「花鳥画」模写	1903
江森天寿	酒井抱一「秋七草図」模写	1903

## ■担当後記

◆ 江森天寿 (1887-1925) は、明治後期から大正期にかけて活動した深谷市出身の日本画家である。当館では平成26年度、天寿の父で自身も日本画家として活動していた江森天淵 (1857-1922) の門下のご遺族から、天淵と天寿の作品・資料をご寄贈いただき、既に収蔵している作品とあわせて天淵1点、天寿6点の作品を所蔵

している。この展示では、新収蔵作品を修復後初めて公開するとともに、個人蔵の作品をお借りして、天寿の画業を紹介した。

- ◆ 東京美術学校在学中から荒木寛敏が主宰する読画会に参加し、卒業後も写実を加味した花鳥画を中心に精力的に制作に取り組んでいた天寿の画風に転機が訪れるのは、大正期中頃である。《秋趣》のように、墨でとられた力強い輪郭によって緻密に描かれた沢山の草花を画面いっぱい装飾的に配する、大胆な構成の大作に取り組み、文展に《葉鶏頭》や《鳳仙花》を出品した。植物をうつした端正な写生画帖（特別出品、個人蔵）は、丹念な自然観察が本画へと結実する過程の一端を物語っている。
- ◆ また、新たに資料として収蔵した古画の模写も興味深い。酒井抱一など琳派や、沈南蘋、文人画など、今回展示できなかったものも含めて多岐にわたる作品が残されており、若いころからの画技の確かさをうかがうことができる。特別出品の青年期の作品とあわせて、明治期の日本画学習の様子を知る上でも非常に貴重なものである。
- ◆ 天寿は保守伝統派の流れをくみ、穏健な画風を貫きながらも、実験的な表現を探究していた画家に位置づけられると考えているが、その背景には、山水や花鳥といった伝統的な画題で新しい表現を模索しようとしていた多くの画家たちの奮闘がある。天寿の画風を育んだ時代背景を感じてもらおうべく、明治から大正期の日本画作品をあわせて紹介した。
- ◆ 作品をご寄贈いただいた方々、本展示にあたり貴重な作品をご出品いただいた所蔵者の方々に多大なご協力をいただいた。この場をお借りして心よりお礼申し上げます。読画会での活動、県北の美術との関わりなど、天寿とその周辺については引き続き調査をしていきたい。

(嶋原悠)

### 《近代浦和・文化の景色》

美術館が建つ浦和の地に文化的な土壌がはぐくまれた時代の空気を、旧制浦和高等学校、埼玉県女子師範学校などの学生たちの様子を伝える資料から探り、浦和画家の作品とともに紹介した。

作者名	作品名	制作年
寺内萬治郎	尾間木風景	1947頃
林倭衛	別所沼風景	1941-1944
高田誠	武蔵野	制作年不詳
高田誠	浦和風景	1929
渡邊武夫	むさしの冬	1962

新井邦雄	浦和郊外	1960
塗師祥一郎	雪後の武蔵野	2013

#### ※埼玉大学図書館より出品協力いただいた資料

旧制浦和高等学校 第11回同窓会	浦和高等学校全景 (卒業50周年記念文集「われらの昭和史」より複製)	1934 (書籍は1985)
旧制浦和高等学校創立50周年記念事業委員会/ 旧制浦和高等学校同窓会	瑤沙原誌	1973
旧制浦和高等学校創立55周年記念事業委員会/ 旧制浦和高等学校同窓会	瑤沙原誌2	1978
旧制浦和高等学校創立70周年記念事業委員会/ 旧制浦和高等学校同窓会	浦和開校当時の浦和駅プラットフォーム (浦和高等学校史より複製)	1921-1926
	かつての日の別所沼 (浦和高等学校史より複製)	1927-1934
	グラウンドより見る赤松の林 (浦和高等学校史より複製)	1927-1934
	昭和9年ごろの浦和「駅前」 (浦和高等学校史より複製)	1934頃
	北浦和駅の正面 (浦和高等学校史より複製)	1936頃
	浦和高等学校史	1992
浦高自治寮	十周年記念祭エハガキ	1932
浦高自治寮	第12回記念祭エハガキ	1934

#### ※埼玉大学教育学部より出品協力いただいた資料

埼玉県女子師範学校	卒業記念	1935
	卒業記念	1939
	卒業記念	1940
埼玉大学	昭和43年頃の北浦和駅 (埼玉大学卒業記念より複製)	1968頃
浦和文教堂発行	埼玉県師範学校 浦和と地方裁判所 浦和付近別所沼 浦和市街 〔浦和名所〕 埼玉県女子師範学校 (浦和文教堂発行絵葉書より複製)	明治末期～大正期 明治末期～大正期 明治末期～大正期 明治末期～大正期 明治末期～大正期

### ■担当後記

- ◆ 「近代浦和・文化の景色」は、浦和にゆかりがある作家の収蔵作品と、埼玉大学図書館・埼玉大学教育学部に残る埼玉県師範学校、埼玉県女子師範学校及び旧制浦和高等学校の資料とを、近代都市として発展する浦和に広がっていた「景色」を臨むというテーマで構成したものである。
- ◆ 浦和が小規模な宿場町から県庁所在地へと発展する際、出自を問わず優秀な人材を集め育成していた教育機関は重要な役割を担っていた。師範学校や旧制学校の資料には、そのような学校運営や教育課程が記録されているとともに、浦和に学び過ごす学徒の日常風景、その日常を過ごす浦和の街の発展が写真資料として残っている。一方、当館所蔵の浦和画家と呼ばれる作家たちの作品の中にも、都市化する一方で自然も残っていた浦和の景色を描いたものがある。美術、教育、文化、行政など、あらゆる分野の人々が刺激し合いながら変

化していったであろう浦和という土地について、その活気を感じ取られるよう、写真資料と作品を組み合わせで展示した。

- ◆ 展示期間中は、埼玉大学関係者や卒業生、北浦和公園に埼玉大学があった頃を知る人など、土地の記憶をもつ人々が来場し、思い出を語る場面があった。また、埼玉大学との連携による広報を行うことが出来た。本展時は、資料借用のみならず、埼玉大学図書館、埼玉大学教育学部から、多大なご協力を賜り成立したものである。美術資料と郷土資料の融合により地域に必然性のある文化としての美術を検討・提示することについて、その必要をより感じる事が出来た。

(菖蒲澤侑)



「近代浦和・文化の景色」の展示風景

### ■1階ギャラリー（アーティスト・プロジェクトの期間を除く）

作者名	作品名	制作年
エミール・アントワヌ・ブールデル	チリーの女	1921
シャルル・デスピオ	ピアンキーニ嬢	1929
オーギュスト・ロダン	ウスタッシュ・ド・サン・ビエールの頭像	1884-1886頃

### ■広報記録

<新聞>

- ・ 告知：『毎日新聞』2017年12月5日

<WEB>

- ・ 告知：『yahoo ロコ』2017年9月28日／『J:COM ZAQ おでかナビガイド』2017年9月28日／『Biglobe 旅行』2017年9月28日／『アバホテル』2017年9月28日／『ニコスポットサーチ』2017年9月28日／『パナソニックおでかナビ旅ガイド』2017年9月28日／『朝日新聞デジタル』2017年9月28日／『日本旅行』2017年9月28日



「明治・大正の日本画—江森天寿を中心に」の展示風景

## ■MOMASコレクション[IV]

■会期：2018年1月6日（土）～4月15日（日）

■主催：埼玉県立近代美術館

■協力：JR 東日本大宮支社

■入場者数：8,672人

■広報印刷物：ポスター B1・B2、フライヤー（作品図版各100部、北浦和駅に掲出）/デザイン：川村格夫

■担当学芸員：石井富久、菫浦澤侑、大越久子



B1・B2 ポスター

### ■常設展示室

#### 《セレクトション：ルノワールとかピカソとか》

印象派のルノワールや、キュビスムの画家ピカソの作品など、西洋近代絵画の名品を中心に当館が誇る収蔵作品を紹介した。

作者名	作品名	制作年
ジャン・バティスト・ガミーユ・コロウジェーヌ・ドラクロワ	砂丘にて—ハーグの森の思い出	1869
	聖ステパノの遺骸を抱え起こす弟子たち	1860
	※登録美術品 丸沼芸術の森蔵	
カミーユ・ピサロ	エラニーの牛を追う娘	1884
クロード・モネ	ルエルの眺め	1858
	※登録美術品 丸沼芸術の森蔵	
オーギュスト・ルノワール	三人の浴女	1917-1919
モーリス・ドニ	シャグマユリの聖母子	1925
キスリング	リタ・ヴァン・リアの肖像	1927
キスリング	赤いテーブルの上の果実	1944
パブロ・ピカソ	静物	1944
森田恒友	城址	1916
田中保	毛皮のコートをきて腰かけている女	1925-1930

古賀春江	コンポジション	1930頃
ポール・デルヴォー	森	1948
イヴ・タンギー	無題	1947
ロベルト・マッタ	本質の要素（『ホメロス四世（支点）』の9）	1983
ロベルト・マッタ	入口は出口にあり（『ホメロス四世（支点）』の10）	1983
橋本真之	作品 115 運動膜（内的な水辺）	1978-1983

### ■担当後記

- ◆ 本コーナーでは当館が所蔵する名品から、ルノワールとピカソを中心に据え、印象派とキュビスムという西洋近代における二つの大きな様式を意識するとともに、キスリングを代表とするエコール・ド・パリや、デルヴォーらが参加したシュルレアリスムの動向を交えて展示構成を行なった。
- ◆ 平成29年度最後のコレクション展のため、展示作品の選定にあたってはドニの《シャグマユリの聖母子》やキスリングの《リタ・ヴァン・リアの肖像》などといった、今年度当館で展示していない名品を積極的に出すようにした。なかでもデルヴォーの《森》は館外からの問合せも多く、その要望に応える形で、タンギーやマッタの版画作品とともにシュルレアリスムの動向としてご覧いただけるような展示とした。
- ◆ 展示作業の際に急遽作品をいくつか追加したため、当初の予定より密度の高い作品数となったが、年度の締めくくりを意識した「セレクトション」とすることができた。

（石井富久）

### 《とう・かたる—人と美術の出会いの中で》

作品と人々の間で起こる問いと語りにも焦点を当て、人と美術の出会いをテーマに展示を構成した。

作者名	作品名	制作年
ジョルジュ・ルオー	横向きのピエロ	1925頃
レオナルド・フジタ	横たわる裸婦と猫	1931
ジャン・アルプ	バラを食べるもの	1963
田中保	黒いドレスの腰かけている女	1920-1930
古川吉重	L8-4	1990
因藤壽	こんばんは	1951
元永定正	聖火	1964
元永定正	さんくるりさんかくすい	1983
木村直道	栄光への脱出	制作年不詳
上田薫	ジュリーにスプーン C	1990
福岡道雄	飛び石	1994
高柳裕	透明な記憶 II-A	1978
高柳裕	透明な記憶 II-C	1978
高柳裕	透明な記憶 II-E	1978
藤原吉志子	棘のある家	1991
奥山民枝	岬	1991
長はるこ	MOHAIR-5	1997
丸山直文	garden 3	2003

※寄託作品

## ■担当後記

- ◆ 本コーナーは、対話型鑑賞の一種と考えられる Visual Thinking Strategies の手法を参照しながら、作品鑑賞の支援についての実践と理論を基盤に企画したものである。作品についての問いとその問いに対する来場者の語りを作品情報（キャプション）とともに掲出し、ある定まった観点を意識しながら作品を鑑賞し、鑑賞して得た気づきや感想を言葉にして表現するという、対話型鑑賞のエッセンスを展示方法及び内容に反映させる試みとした。
- ◆ 展示作品は、担当者が延べ6年の当館における対話型鑑賞実践において実際に取り上げた作品を中心に、「写実的な作品」「人物を描いた作品」「物語りたくなる作品」「立体の作品」「シリーズの作品」「抽象的な作品」の6つのカテゴリーに分け構成し、各カテゴリーに問いを設定した。そのため、実際の対話型鑑賞におけるファシリテーターの発話と参加者のリアクションについての経験の蓄積をもって、各カテゴリーに適していると考えられる問いを設定することができた。経験にもとづいた問いの設定であるため客観性に欠ける部分がある一方、実感を伴う問いの設定は、収蔵作品という継続的且つ多角的な活用が可能なコンテンツを持ち、それを扱うコレクション展の枠組みを最大に活かす試みであったと言える。
- ◆ 展示室内で観覧者が作品と出会うとき、作品のどこを、どのように見て、何に気づき、何を感じているか、第三者が正確に把握することは難しい。本コーナーは、来場者と作品の出会いにおいて問いを介入させる点で、企画者の意図的な鑑賞体験を促している面がある。この点は、スタッフが参加者に関わる教育普及活動でも同様であり、展示事業と教育普及事業の目的や意義の違いをも示唆する企画になったと考える。

(菫浦澤侑)

## 《小特集：小村雪岱のイラストレーション》

情緒あふれる人物描写、小気味よい画面構成で人気が高い県ゆかりの画家・意匠家である小村雪岱の作品や資料を紹介した。

作者名	作品名	制作年
小村雪岱	青柳	1941 頃
小村雪岱	落葉	1941 頃
小村雪岱	おせん	1941 頃
小村雪岱	おせん	1941 頃
小村雪岱	おせん	1941 頃
小村雪岱	雪兔	1942
小村雪岱	深見草	1942
小村雪岱	筑波	1942 頃

小村雪岱	見立寒山拾得	制作年不詳
小村雪岱 (挿絵)	高木武編『増鏡』富山房刊	1930
		※島田安彦コレクション蔵
小村雪岱 (挿絵)	高木武編『徒然草』富山房刊	1930
		※島田安彦コレクション蔵
小村雪岱 (表紙)	『春泥』1937 (昭和12) 年80号	1937
		※島田安彦コレクション蔵
小村雪岱 (表紙)	パンフレット 『見立寒山拾得〜常盤津新曲〜』	1937
		※個人蔵
小村雪岱 (挿絵)	『Snow Maiden』(文:ラフカディオ・ハーン) 『TRAVEL IN JAPAN』(winter number 1935-6, vol.1, no.4)より	1935-6
		※島田安彦コレクション蔵
小村雪岱 (挿画)	『NIPPON』1935 (昭和10) 年2号	1935/2002
		※国際交流基金ライブラリー蔵 (複製版の展示)
小村雪岱 (表紙)	『NIPPON』1939 (昭和14) 年17号	1939
		※国際交流基金ライブラリー蔵
小村雪岱 (文と絵)	女を乗せた船—忘れ得ぬ女— (『オール読物』1936 (昭和11) 年12月号)	1936
		※岩城裕子コレクション蔵
小村雪岱 (文と絵)	観音堂 (『中央公論』1939 (昭和14) 年6月特大号)	1939
		※岩城裕子コレクション蔵
———	『藤の葉会御案内』(新装会パンフレット)	1935
レオナルド・フジタ	野辺/クローバー	1935
		※島田安彦コレクション蔵

## ■1階ギャラリー

作者名	作品名	制作年
エミール・アントワーン・ブルデル	チリーの女	1921
シャルル・デスピオ	ピアノキーン嬢	1929
オーギュスト・ロダン	ウスタッシュ・ド・サン=ピエールの頭像	1884-1886 頃

## ■広報記録

### <新聞>

- 告知：『毎日新聞』2018年1月5日／『毎日新聞』2018年1月12日／『埼玉新聞』2018年1月17日／『埼玉新聞』2018年2月21日／『埼玉新聞』2018年2月28日／『埼玉新聞』2018年3月7日／『埼玉新聞』2018年3月14日／『埼玉新聞』2018年3月28日

### <雑誌、ミニコミ誌>

- 告知：『美術館びあ2018』2018年1月30日／『HOTPEPPER 4月号』2018年3月30日

### <WEB>

- 告知：『yahoo ロコ』2017年12月22日／『J:COM ZAQ おでかけガイド』2017年12月22日／『Biglobe 旅行』2017年12月22日／『アパホテル』2017年12月22日



---

／『ニコンスポットサーチ』2017年12月22日／『パ  
ナソニックおでかけ旅ガイド』2017年12月22日／『朝  
日新聞デジタル』2017年12月22日／『大東建託』2017  
年12月22日／



「セレクション：ルノワールとかピカソとか」の展示風景



「とう・かたる一人と美術の出会いの中で」ギャラリー・トークの  
様子

## ■サンデー・トーク

年間で10回程度、日曜日の15時から常設展示室で開催しているプログラム。学芸員が開催中の「MOMAS コレクション」から1点を選び、作者と作品についてのエピソードを交えながら30分程度のトークを行うもの。平成29年度は、以下のように計11回実施した。参加者：計281名。

5月21日 モーリス・ユトリロ  
《旗で飾られたモンマルトルのサクレ=クール寺院》

担当学芸員：渋谷拓／参加者：38名

6月18日 草間彌生《Flower》

担当学芸員：五味良子／参加者：18名

7月16日 斎藤豊作《初冬の朝》

担当学芸員：吉岡知子／参加者：19名

8月13日 倉田弟次郎《根岸田圃》

担当学芸員：前山裕司／参加者：15名

9月17日 遠藤利克《「泉—9個からなる」写真I》

担当学芸員：梅津元／参加者：18名

10月15日 野村仁《太陽7月》

担当学芸員：大浦周／参加者：14名

11月26日

【開館35周年記念サンデー・トーク・スペシャル】

11：00— 江森天寿《秋趣》

担当学芸員：嶋原悠／25名

12：00— 瑛九《手》

担当学芸員：梅津元／25名

15：00— 橋本真之《果実の中の木もれ陽》

担当学芸員：渋谷拓／16名

16：00— 座れる椅子グランプリ 決勝進出作品

担当：菖蒲澤侑／25名

12月17日 元永定正《みつつのかたちはしろいせん》

担当学芸員：石井富久／参加者：20名

1月21日 因藤壽《こんばんは》

担当：菖蒲澤侑／参加者：12名

2月4日 イヴ・タンギー《無題》

担当学芸員：平野到／参加者：25名

3月11日 元永定正《聖火》

担当学芸員：石井富久／参加者：11名

## ■アーティスト・プロジェクト #2.02

### 北野謙：光を集める

■会期：2017年10月7日（土）～12月10日（日）

■主催：埼玉県立近代美術館

■協力：JR 東日本

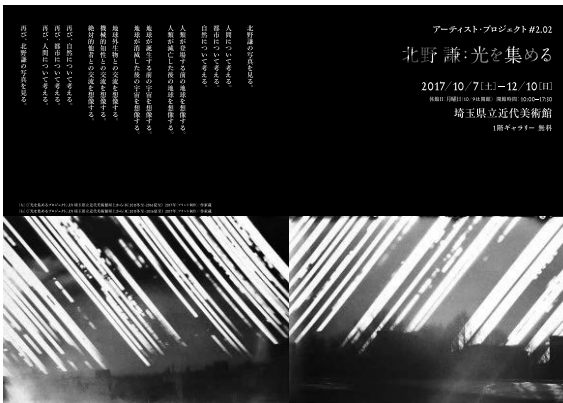
■出品協力：MEM Inc. 東京造形大学写真専攻領域

■観覧料：無料

■入場者数：9,330人

■広報印刷物：ちらしA4/デザイン：川村格夫

■担当学芸員：梅津元



#### ■開催趣旨

「アーティスト・プロジェクト #2.0」は、平成28年度（2016年度）に開始した新しいプログラムである。平成15年度（2003年度）に「MOMAS コレクション」（収蔵品展）の枠内で立ち上げた、収蔵作家による「アーティスト・プロジェクト」を、「MOMAS コレクション」から独立した企画へと発展させ、収蔵作家という制約にとらわれず、活躍中のアーティストを選出する。

第2回（#2.02）は、写真家の北野謙を迎え、「光を集める」と題する展示を開催した。北野は、「都市」「自然」「人間」をテーマに制作を展開してきた。近年、「都市」や「自然」に関するテーマは「地球」や「宇宙」へと広がり、〈光を集めるプロジェクト〉として展開されている。冬至と夏至を基準に、約半年間の太陽の軌跡が、地平線とともに、長時間露光によって一枚の写真におさめられる。すでに数十箇所にカメラを設置して撮影が実施され、当館の屋上にも、2015年冬至から2016年夏至まで、東側と西側にカメラが設置された。

太陽の軌跡が横方向に連続して明るく太い光の帯が見える箇所もあれば、太陽が出なかった時間を示すように、軌跡が漸続的な箇所や、光が少ない箇所もある。こうした写真を見ていると、光と時間の織りなす黙示録的な世界観、人間の存在が相対化される世界が表出しているような深い

感慨が得られる。

一方、「人間」に関するテーマは「新生児」へと広がり、この展示で初めて発表された、〈未来の他者〉という新作を生み出した。さらに、この展示では、「宇宙」と「新生児」という異なるベクトルを持つ二つの新作シリーズをつなぐように、「都市、自然、人間」をテーマとする1990年代の〈溶遊する都市〉シリーズからのセレクションをあわせて展示した。「写真」を、「近代」を、「人間」を、根源から問い直す、3つのシリーズによる展示が実現した。

#### ■関連事業

・アーティスト・トーク 11月5日（日）参加者47名

#### ■広報記録

##### <雑誌>

- ・『ぴあ』（告知）2017年10月20日号
- ・『美術の窓』（告知）2017年12月号
- ・『コマースシャルフォト』（レビュー）2018年1月号

##### <ウェブ>

- ・「朝日新聞デジタル」（告知）2017年9月28日
- ・「ニコンすぽっとサーチ」（告知）2017年9月28日
- ・「さいたまアートGUIDE」（告知）2017年9月28日
- ・「ジャパンデザインネット」（告知）2017年10月13日
- ・「IMA online」（告知）2017年10月19日
- ・「artscape」（レビュー・飯沢耕太郎）2018年1月15号

#### ■担当後記

◆ きっかけは、2015年初夏（今思えば「夏至」の頃だったのかもしれない）、MEM（北野氏が発表している都内のギャラリー）で交わした北野氏との会話だった。「光を集めるプロジェクト」の撮影場所を探している、当館にも協力してほしい、という内容だった。検討には時間がかかったが、安全面の確保と定期的な点検を条件に、半年間の撮影が許可され、2015年の冬、雪の降る中、屋上の東側と西側にカメラが設置された。週に一度の点検を続けているうちに、風雪に耐えるカメラの姿に、徐々に愛着が湧いてきた。

◆ 撮影の成功率は高くないとのことであったが、屋上での撮影によって、半年間の太陽の軌跡をおさめた2枚の画像が出現した。屋外で雨風にさらされたカメラとフィルムの物理的・物質的な限界の痕跡と不可分な光の軌跡は、時間の堆積と宇宙的な天体の運動を宿した、黙示録的な、あるいは、未来的な姿として、私たちの目の前に現れた。2017年の冬、MEMでも「光を集めるプロジェクト」による北野氏の個展が開催され、今回の企画が、長く続く「アーティスト」による「プロジ

エクト」のひとつの局面であることを実感した。様々な場面でご協力いただきました方々に、この場を借りて深くお礼申し上げます。

(梅津元)

## ■出品リスト

作品データは、シリーズごとに、以下の順で記載した。

タイトル

制作年／素材・技法／寸法

### [光を集めるプロジェクト]シリーズより

「光を集めるプロジェクト」より 清里フォトアートミュージアムから 山梨県北杜市 2016 冬至-2017 夏至  
2017 年／インクジェットプリント／674×1000mm

「光を集めるプロジェクト」より ニコンプラザ新宿から 東京都新宿区 2016 夏至-2016 冬至  
2017 年／インクジェットプリント／668×1000mm

「光を集めるプロジェクト」より 埼玉県立近代美術館屋上から (西) 2015 冬至-2016 夏至  
2017 年／インクジェットプリント／662×1000mm

「光を集めるプロジェクト」より 埼玉県立近代美術館屋上から (東) 2015 冬至-2016 夏至  
2017 年／インクジェットプリント／670×1000mm

「光を集めるプロジェクト」より 石灰の積出港 大分県津久見市 2015 冬至-2016 夏至  
2017 年／インクジェットプリント／675×1000mm

「光を集めるプロジェクト」より ダイヤモンドグリッド・東京 (反復) 2015 冬至-2016 夏至  
2017 年／インクジェットプリント／1000×645mm

### [溶游する都市] シリーズより

「溶游する都市」より 渋谷／東京 1991  
2009 年／ゼラチンシルバープリント／1340×1015mm

「溶游する都市」より 渋谷駅／東京 1992  
2009 年／ゼラチンシルバープリント／307×453mm

「溶游する都市」より 首都高速道夜景／浜松町／東京 1992

2009 年／ゼラチンシルバープリント／405×376mm

「溶游する都市」より 葛西臨海水族園／東京 1991

2009 年／ゼラチンシルバープリント／285×447mm

「溶游する都市」より 井の頭公園／東京 1997

2009 年／ゼラチンシルバープリント／365×443mm

### 「未来の他者」シリーズより

「未来の他者」シリーズより 新生児 solo no.1 2017 年  
2017 年／ゼラチンシルバープリント／1000×750mm

「未来の他者」シリーズより 新生児 layer no.2 2017 年  
2017 年／ゼラチンシルバープリント／1000×750mm

「未来の他者」シリーズより 新生児 solo no.2 2017 年  
2017 年／ゼラチンシルバープリント／1000×750mm

「未来の他者」シリーズより 新生児 layer no.1 2017 年  
2017 年／ゼラチンシルバープリント／1000×750mm

「未来の他者」シリーズより 新生児 solo no.3 2017 年  
2017 年／ゼラチンシルバープリント／1000×750mm



展示風景：「光を集めるプロジェクト」シリーズ



アーティスト・トークの様子

## ■収集事業

平成13年度以降、厳しい財政状況により年次の作品購入ができない状況が続いていたが、関係課所のご理解を得られたことにより、平成28年度末に、美術作品取得基金の残高を3億円に戻すことができた。優れた美術資料を適切に取得していく道が再び開けたことは、美術館としてこの数年間で特に喜ばしい大きな出来事である。

平成29年度は、県ゆかりの美術家・瑛九の油彩作品《手》を購入した。この作品で用いられている吹き付け技法は、最晩年の微細な点の集積による油彩画への展開を示唆するとともに、フォト・デッサン用と推測される型紙が用いられており、フォト・デッサンと油彩画の関連を示すものとなっている。当館にはこれまで収蔵が無かった作風の作品であることから、作家の制作活動を理解する上で大きな意義を持つ作品の収蔵となった。

寄贈としては、平成29年度に開催した企画展「版画の景色—現代版画センターの軌跡」に出品された278点の作品が収蔵された。これによって、1970年代から80年代の日本の現代版画の展開を示す重要な作品群がコレクションに加わることとなった。

寄託作品としては、過去の企画展やMOMASコレクションで借用した、斎藤豊作の滞欧期の油彩画や、倉田弟次郎と都鳥英喜による水彩画が新たに加わることとなった。今後、MOMASコレクション等で展示活用していきたい。

## ■平成29年度収集作品数と収蔵作品総数

平成30年3月31日現在

区分	平成29年度収集点数			収蔵作品 総数
	購入	寄贈	保管転換	
日本画	0	0	0	449
油彩画ほか	1	0	0	640
ドローイング	0	0	0	622
版画	0	273	0	1313
写真	0	1	0	205
平面その他	0	1	0	17
彫刻	0	4	0	197
立体その他	0	0	0	11
工芸	0	1	0	50
書	0	0	0	31
資料Ⅰ	0	0	0	140
資料Ⅱ	0	0	0	31
合計	1	280	0	3,706

## ■新収蔵作品一覧

1

瑛九 1911 (明治 44) - 1960 (昭和 35)

EI-KYU

手

Hand

昭和 32 年 油彩 (吹き付け)、板

1957 Oil sprayed on board

46.4×38.3cm

平成 29 年度購入

O-640



2

瑛九 1911 (明治 44) - 1960 (昭和 35)

EI-KYU

面影

Image

昭和 11 年 ゼラチン・シルバー・プリントに描画

1936 Drawing on gelatin silver print

29.0×22.6cm

作品裏面に夫人の署名あり

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

PH-205



3

瑛九 1911 (明治 44) - 1960 (昭和 35)

EI-KYU

声

Voice

昭和 12 年頃 コラージュ、紙

c.1937 Collage on paper

23.3×27.7cm

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

B-17



4

鬘嘸 1931 (昭和 6) -

Ay-O

Love letter

Love letter

昭和 49 年 セリグラフ、紙

1974 Serigraph on paper

53.0×34.0cm

左下にエディション「571/11111」、右下にサイン「ay-o」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※現代版画センター発表時のタイトルは 《I love you》

P-1043



5

鬘嘸 1931 (昭和 6) -

Ay-O

[Love letter] の別ヴァージョン

Another version of *Love letter*

昭和 49 年 セリグラフ、紙

1974 Serigraph on paper

53.0×34.0cm

右下にサイン「ay-o」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※《Love letter》の現代版画センター発表時のタイトルは 《I love you》

P-1044



6

鬘嘸 1931 (昭和6) -

Ay-O

[Love letter] の別ヴァージョン

Another version of *Love letter*

昭和49年 セリグラフ、紙

1974 Serigraph on paper

53.0×34.0cm

右下にサイン「ay-o」

平成29年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※《Love letter》の現代版画センター発表時のタイトルは 《I love you》

P-1045



7

鬘嘸 1931 (昭和6) -

Ay-O

[Love letter] の別ヴァージョン

Another version of *Love letter*

昭和49年 セリグラフ、紙

1974 Serigraph on paper

53.0×34.0cm

右下にサイン「ay-o」

平成29年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※《Love letter》の現代版画センター発表時のタイトルは 《I love you》

P-1046



8

鬘嘸 1931 (昭和6) -

Ay-O

[Love letter] の別ヴァージョン

Another version of *Love letter*

昭和49年 セリグラフ、紙

1974 Serigraph on paper

53.0×34.0cm

右下にサイン「ay-o」

平成29年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※《Love letter》の現代版画センター発表時のタイトルは 《I love you》

P-1047



9

鬘嘸 1931 (昭和6) -

Ay-O

[Love letter] の別ヴァージョン

Another version of *Love letter*

昭和49年 セリグラフ、紙

1974 Serigraph on paper

53.0×34.0cm

右下にサイン「ay-o」

平成29年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※《Love letter》の現代版画センター発表時のタイトルは 《I love you》

P-1048



10

鬘嘸 1931 (昭和6) -

Ay-O

[Love letter] の別ヴァージョン

Another version of *Love letter*

昭和49年 セリグラフ、紙

1974 Serigraph on paper

53.0×34.0cm

右下にサイン「ay-o」

平成29年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※《Love letter》の現代版画センター発表時のタイトルは 《I love you》

P-1049



11

鬘嘸 1931 (昭和6) -

Ay-O

Flower A

Flower A

昭和49年 セリグラフ、紙

1974 Serigraph on paper

51.0×37.0m

左下にエディション「74/200」、右下にサイン「ay-o」

平成29年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※現代版画センター発表時のタイトルは《虹の花》

P-1050



12

鬘嘸 1931 (昭和6) -

Ay-O

花の時間

Floral Time

昭和52年 セリグラフ、紙

1977 Serigraph on paper

41.0×44.0cm

左上にサイン「ay-o '77」、右下にエディション「1/150」

平成29年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※「現代と声」企画作品

P-1051



13

鬘嘸 1931 (昭和6) -

Ay-O

山水

Landscape

昭和52年 セリグラフ、紙

1977 Serigraph on paper

57.0×41.0cm

右下にサイン「ay-o '77」、エディション「1/150」

平成29年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※「現代と声」企画作品

P-1052



14

鬘嘸 1931 (昭和6) -

Ay-O

マグリット

Magritte

昭和52年 セリグラフ、紙

1977 Serigraph on paper

41.0×32.0cm

左下にエディション「1/150」、右下にサイン「ay-o '77」

平成29年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※「現代と声」企画作品、現代版画センター発表時のタイトルは《Magritte》

P-1053



15

鬘嘸 1931 (昭和6) -

Ay-O

飛べ・比翼の鳥

Fly- Pair of Birds

昭和55年 セリグラフ、紙

1980 Serigraph on paper

50.0×95.0cm

左下にエディション「56/100」、右下にサイン「ay-o '80」

平成29年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1054





16

齟齬 1931 (昭和6) -

Ay-O

会話・比翼の鳥

Conversation・Pair of Birds

昭和55年 セリグラフ、紙

1980 Serigraph on paper

48.0×95.0cm

左下にエディション「76/100」、サイン「ay-o '80」

平成29年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1055



17

齟齬 1931 (昭和6) -

Ay-O

Pat

Pat

昭和55年 セリグラフ、紙

1980 Serigraph on paper

35.0×25.0cm

左下にエディション「5/350」、右上にサイン「ay-o '80」

平成29年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『Pat-tap シリーズ』所収

P-1056



18

齟齬 1931 (昭和6) -

Ay-O

Pat-tap

Pat-tap

昭和55年 セリグラフ、紙

1980 Serigraph on paper

35.0×25.0cm

左下にエディション「5/360」、右上にサイン「ay-o '80」

平成29年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『Pat-tap シリーズ』所収

P-1057



19

齟齬 1931 (昭和6) -

Ay-O

Pat-pat-tap

Pat-pat-tap

昭和55年 セリグラフ、紙

1980 Serigraph on paper

35.0×25.0cm

左下にエディション「5/350」、右上にサイン「ay-o '80」

平成29年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『Pat-tap シリーズ』所収

P-1058



20

齟齬 1931 (昭和6) -

Ay-O

Pat-tap-pat-tap etc.

Pat-tap-pat-tap etc.

昭和55年 セリグラフ、紙

1980 Serigraph on paper

35.0×25.0cm

左下にエディション「5/350」、右上にサイン「ay-o '80」

平成29年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『Pat-tap シリーズ』所収

P-1059



21

鬚嘸 1931 (昭和 6) -

Ay-O

大きな透明な木

Big Transparent Tree

昭和 56 年 セリグラフ、紙

1981 Serigraph on paper

77.0×134.5cm

下部にエディション、サイン「23/85 ay-o '81」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1060



22

鬚嘸 1931 (昭和 6) -

Ay-O

1 本のエッチングの線 I (アンソロジー I)

One Etching Line I (Anthology I)

昭和 56 年 エッチング、手彩色、紙

1981 Etching, hand coloring on paper

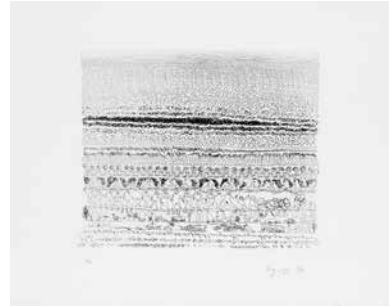
30.0×37.0cm

左下にエディション「44/85」、右下にサイン「ay-o '81」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※銅版画集『1 本のエッチングの線』所収

P-1061



23

鬚嘸 1931 (昭和 6) -

Ay-O

1 本のエッチングの線 II (アンソロジー II)

One Etching Line II (Anthology II)

昭和 56 年 エッチング、手彩色、紙

1981 Etching, hand coloring on paper

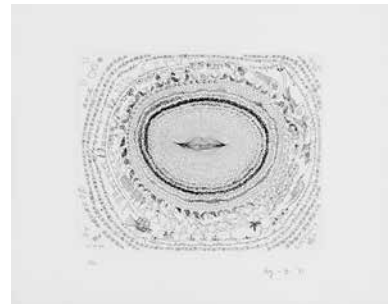
30.0×37.0cm

左下にエディション「35/85」、右下にサイン「ay-o '81」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※銅版画集『1 本のエッチングの線』所収

P-1062



24

鬚嘸 1931 (昭和 6) -

Ay-O

1 本のエッチングの線 III (プロフィールス I)

One Etching Line III (Profiles I)

昭和 56 年 エッチング、紙

1981 Etching on paper

30.0×37.0cm

左下にエディション「79/85」、右下にサイン「ay-o '81」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※銅版画集『1 本のエッチングの線』所収

P-1063



25

鬚嘸 1931 (昭和 6) -

Ay-O

1 本のエッチングの線 IV (プロフィールス II)

One Etching Line IV (Profiles II)

昭和 56 年 エッチング、紙

1981 Etching on paper

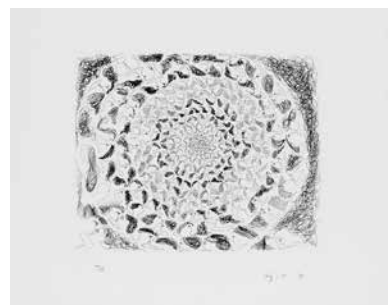
30.0×37.0cm

左下にエディション「79/85」、右下にサイン「ay-o '81」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※銅版画集『1 本のエッチングの線』所収

P-1064



26

薮嘸 1931 (昭和6) -

Ay-O

1本のエッチングの線V (プロフィールスIII)

One Etching Line V (Profiles III)

昭和56年 エッチング、紙

1981 Etching on paper

30.0×37.0cm

左下にエディション「35/85」、右下にサイン「ay-o '81」

平成29年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※銅版画集『1本のエッチングの線』所収

P-1065



27

安藤忠雄 1941 (昭和16) -

ANDO Tadao

SCENE I/WALL

SCENE I/WALL

昭和59年 セリグラフ、紙

1984 Serigraph on paper

38.0×38.0cm

左下にエディション「85/150」、右下にサイン「Ando」

平成29年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1066



28

安藤忠雄 1941 (昭和16) -

ANDO Tadao

SCENE II/CROSS

SCENE II/CROSS

昭和59年 セリグラフ、紙

1984 Serigraph on paper

38.0×38.0cm

左下にエディション「34/150」、右下にサイン「Ando」

平成29年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1067



29

飯田善國 1923 (大正12) - 2006 (平成18)

IIDA Yoshikuni

HAPPY BIRTHDAY

HAPPY BIRTHDAY

昭和51年 セリグラフ、紙

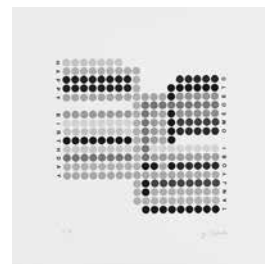
1976 Serigraph on paper

18.0×20.0cm

左下にエディション「A.P.」、右下にサイン「y. Iida」

平成29年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1068



30

磯崎新 1931 (昭和6) -

ISOZAKI Arata

ヴィッラ1

Villa 1

昭和52年 セリグラフ、紙

1977 Serigraph on paper

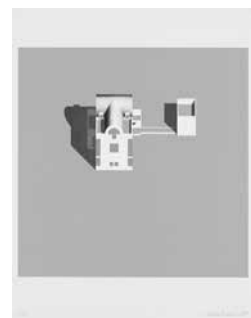
47.0×47.0cm

左下にエディション「1/100」、右下にサイン「Arata Isozaki '77」

平成29年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※「現代と声」企画作品

P-1069



31

磯崎新 1931 (昭和6) -

ISOZAKI Arata

ヴィッラ 2

Villa 2

昭和 52 年 セリグラフ、紙

1977 Serigraph on paper

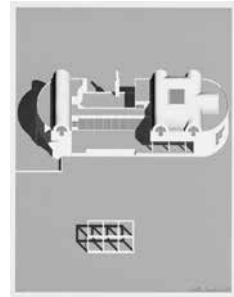
62.0×47.0cm

左下にエディション「1/100」、右下にサイン「Arata Isozaki '77」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※「現代と声」企画作品

P-1070



32

磯崎新 1931 (昭和6) -

ISOZAKI Arata

ヴィッラ 3

Villa 3

昭和 52 年 セリグラフ、紙

1977 Serigraph on paper

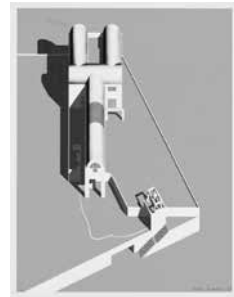
62.0×47.0cm

左下にエディション「1/100」、右下にサイン「Arata Isozaki '77」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※「現代と声」企画作品

P-1071



33

磯崎新 1931 (昭和6) -

ISOZAKI Arata

内部風景 I ストン・ボロウ邸—ルートウィッヒ・ウィトゲンシュタイン

Interior Landscape I, Stonborough House - Ludwig Wittgenstein

昭和 54 年 アルフォト

1979 Metalphoto

80.0×60.0cm

左下にエディション「E.A.」、右下にサイン「Arata Isozaki '79」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1072



34

磯崎新 1931 (昭和6) -

ISOZAKI Arata

内部風景 II カトルマル精神病院—アントナン・アルトー

Interior Landscape II, Quatremare Mental Hospital - Antonin Artaud

昭和 54 年 アルフォト

1979 Metalphoto

80.0×60.0cm

左下にエディション「E.A.」、右下にサイン「Arata Isozaki」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1073



35

磯崎新 1931 (昭和6) -

ISOZAKI Arata

内部風景 III 増幅性の空間—アラタ・イソザキ

Interior Landscape III, Space of Amplification - Arata Isozaki

昭和 54 年 アルフォト

1979 Metalphoto

80.0×60.0cm

左下にエディション「E.A.」、右下にサイン「Arata Isozaki」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1074



36

磯崎新 1931 (昭和6) -

ISOZAKI Arata  
OFFICE I (BANK)  
OFFICE I (BANK)

昭和58年 セリグラフ、紙

1983 Serigraph on paper

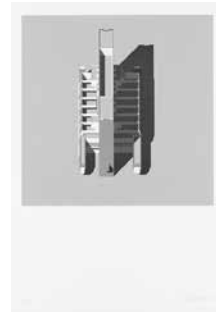
55.0×55.0cm

左下にエディション「23/75」、右下にサイン「ARATA ISOZAKI '83」

平成29年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『REDUCTION Vol.I』所収

P-1075



37

磯崎新 1931 (昭和6) -

ISOZAKI Arata  
LECTURE HALL-I  
LECTURE HALL-I

昭和57年 セリグラフ、紙

1982 Serigraph on paper

55.0×55.0cm

左下にエディション「23/75」、右下にサイン「ARATA ISOZAKI '82」

平成29年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『REDUCTION Vol.I』所収

P-1076



38

磯崎新 1931 (昭和6) -

ISOZAKI Arata  
MUSEUM -I  
MUSEUM -I

昭和58年 セリグラフ、紙

1983 Serigraph on paper

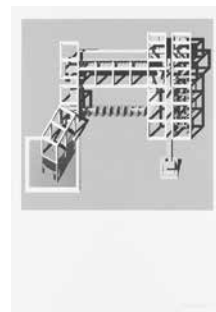
55.0×55.0cm

左下にエディション「23/75」、右下にサイン「ARATA ISOZAKI '83」

平成29年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『REDUCTION Vol.I』所収

P-1077



39

磯崎新 1931 (昭和6) -

ISOZAKI Arata  
MUSEUM -II  
MUSEUM -II

昭和58年 セリグラフ、紙

1983 Serigraph on paper

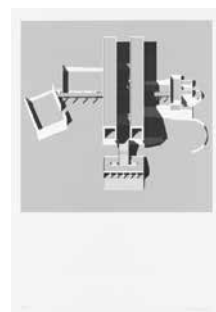
55.0×55.0cm

左下にエディション「23/75」、右下にサイン「ARATA ISOZAKI '83」

平成29年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『REDUCTION Vol.I』所収

P-1078



40

磯崎新 1931 (昭和6) -

ISOZAKI Arata  
LIBRARY  
LIBRARY

昭和58年 セリグラフ、紙

1983 Serigraph on paper

55.0×55.0cm

左下にエディション「23/75」、右下にサイン「ARATA ISOZAKI '83」

平成29年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『REDUCTION Vol.I』所収

P-1079



41

磯崎新 1931 (昭和6) -

ISOZAKI Arata

CLUB HOUSE

CLUB HOUSE

昭和58年 セリグラフ、紙

1983 Serigraph on paper

55.0×55.0cm

左下にエディション「23/75」、右下にサイン「ARATA ISOZAKI '83」

平成29年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『REDUCTION Vol.I』所収

P-1080



42

磯崎新 1931 (昭和6) -

ISOZAKI Arata

OFFICE -II

OFFICE -II

昭和58年 セリグラフ、紙

1983 Serigraph on paper

55.0×55.0cm

左下にエディション「23/75」、右下にサイン「ARATA ISOZAKI '83」

平成29年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『REDUCTION Vol.II』所収

P-1081



43

磯崎新 1931 (昭和6) -

ISOZAKI Arata

CONVENTION CENTER

CONVENTION CENTER

昭和58年 セリグラフ、紙

1983 Serigraph on paper

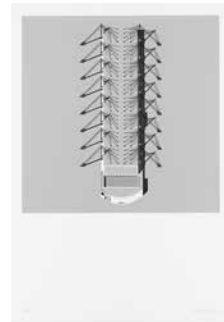
55.0×55.0cm

左下にエディション「23/75」、右下にサイン「ARATA ISOZAKI '83」

平成29年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『REDUCTION Vol.II』所収

P-1082



44

磯崎新 1931 (昭和6) -

ISOZAKI Arata

TOWN HALL

TOWN HALL

昭和58年 セリグラフ、紙

1983 Serigraph on paper

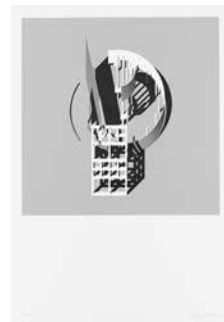
55.0×55.0cm

左下にエディション「23/75」、右下にサイン「ARATA ISOZAKI '83」

平成29年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『REDUCTION Vol.II』所収

P-1083



45

磯崎新 1931 (昭和6) -

ISOZAKI Arata

LECTURE HALL -II

LECTURE HALL -II

昭和57年 セリグラフ、紙

1982 Serigraph on paper

55.0×55.0cm

左下にエディション「23/75」、右下にサイン「ARATA ISOZAKI '82」

平成29年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『REDUCTION Vol.II』所収

P-1084



46

磯崎新 1931 (昭和6) -

ISOZAKI Arata

GYMNASIUM

GYMNASIUM

昭和58年 セリグラフ、紙

1983 Serigraph on paper

55.0×55.0cm

左下にエディション「23/75」、右下にサイン「ARATA ISOZAKI '83」

平成29年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『REDUCTION Vol.II』所収

P-1085



47

磯崎新 1931 (昭和6) -

ISOZAKI Arata

CLINIC

CLINIC

昭和58年 セリグラフ、紙

1983 Serigraph on paper

55.0×55.0cm

左下にエディション「23/75」、右下にサイン「ARATA ISOZAKI '83」

平成29年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『REDUCTION Vol.II』所収

P-1086



48

磯崎新 1931 (昭和6) -

ISOZAKI Arata

MOCA #1

MOCA #1

昭和58年 セリグラフ、紙

1983 Serigraph on paper

46.5×98.0cm

左下にエディション「14/75」、右下にサイン「ARATA ISOZAKI '83」

平成29年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1087



49

磯崎新 1931 (昭和6) -

ISOZAKI Arata

MOCA #2

MOCA #2

昭和58年 セリグラフ、紙

1983 Serigraph on paper

46.5×46.5cm

左下にエディション「34/75」、右下にサイン「ARATA ISOZAKI '83」

平成29年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1088



50

磯崎新 1931 (昭和6) -

ISOZAKI Arata

MOCA #3

MOCA #3

昭和58年 セリグラフ、紙

1983 Serigraph on paper

46.5×46.5cm

左下にエディション「34/75」、右下にサイン「ARATA ISOZAKI '83」

平成29年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1089



51

一原有徳 1910 (明治 43) - 2010 (平成 22)

ICHIHARA Arinori

SEN

SEN

昭和 52 年 アルミニウム版腐蝕、紙

1977 Copperplate (correded aluminum) print on paper

39.5×30.5 cm

左下にエディション、年記「1/100 1977」、中下にタイトル「SEN」、右下にサイン「I. Arinori」

平成 29 年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※「現代と声」企画作品

P-1090



52

一原有徳 1910 (明治 43) - 2010 (平成 22)

ICHIHARA Arinori

DEY

DEY

昭和 52 年 アルミニウム版腐蝕、紙

1977 Copperplate (correded aluminum) print on paper

41.4×29.8 cm

左下にエディション、年記「1/100 1977」、中下にタイトル「DEY」、右下にサイン「I. Arinori」

平成 29 年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※「現代と声」企画作品

P-1091



53

一原有徳 1910 (明治 43) - 2010 (平成 22)

ICHIHARA Arinori

HOW 1

HOW 1

昭和 52 年 アルミニウム版腐蝕、紙

1977 Copperplate (correded aluminum) print on paper

43.8×31.7 cm

左下にエディション、年記「1/100 1977」、中下にタイトル「HOW 1」、右下にサイン「I. Arinori」

平成 29 年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※「現代と声」企画作品

P-1092



54

内間安理 1921 (大正 10) - 2000 (平成 12)

UCHIMA Ansei

FOREST BYOBU (FRAGRANCE)

FOREST BYOBU (FRAGRANCE)

昭和 56 年 木版、紙

1981 Woodcut on paper

74.3×44.0cm

左下にタイトル「FOREST BYOBU (FRAGRANCE)」、

中下にエディション「1/120」、右下にサイン「A. uhima '81」

平成 29 年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1093



55

瑛九 1911 (明治 44) - 1960 (昭和 35)

EI-KYU

作品 1 (Work 1 Yellow)

Work 1 Yellow

昭和 25 年頃 木版、紙

c.1950 Woodcut on paper

15.6×10.0cm

下部に谷口都夫人による署名「瑛九作 谷口都」

平成 29 年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1094





56

瑛九 1911 (明治 44) - 1960 (昭和 35)

EI-KYU

作品 2 (Work 2 Yellow and Green)

Work 2 Yellow and Green

昭和 25 年頃 木版、紙

c.1950 Woodcut on paper

15.6×10.0cm

下部に谷口都夫人による署名「瑛九作 谷口都」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1095



57

瑛九 1911 (明治 44) - 1960 (昭和 35)

EI-KYU

海辺の孤独

Solitude at the Seaside

昭和 32 年 リトグラフ、紙

1957 Lithograph on paper

49.7×38.4cm

左下にエディション「20/35」、右下にサイン「Q Ei」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1096



58

瑛九 1911 (明治 44) - 1960 (昭和 35)

EI-KYU

離陸

Takeoff

昭和 32 年 リトグラフ、紙

1957 Lithograph on paper

32.6×19.5cm

左下にエディション「Epreuve d'artiste」、右下にサイン「Q Ei /57」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1097



59

瑛九 1911 (明治 44) - 1960 (昭和 35)

EI-KYU

着陸

Landing

昭和 32 年 リトグラフ、紙

1957 Lithograph on paper

36.0×23.0cm

左下にエディション「1/20」、右下にサイン「Q Ei/57」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1098



60

大沢昌助 1903 (明治 36) - 1997 (平成 9)

OSAWA Shosuke

ひらく

Opening

昭和 55 年 リトグラフ、紙

1980 Lithograph on paper

83.5×65.5cm

左下にエディション「2/80」、右下にサイン「S. Osawa」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1099



61

大沢昌助 1903 (明治 36) - 1997 (平成 9)

OSAWA Shosuke

青の立像

Blue Statue

昭和 55 年 リトグラフ、紙

1980 Lithograph on paper

40.1×30.0cm

左下にエディション「1/100」、右下にサイン「S. Osawa」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※石版画集『青の立像』所収

P-1100



62

大沢昌助 1903 (明治 36) - 1997 (平成 9)

OSAWA Shosuke

紫の人物

Violet Figure

昭和 55 年 リトグラフ、紙

1980 Lithograph on paper

40.0×30.2cm

左下にエディション「1/100」、右下にサイン「S. Osawa」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※石版画集『青の立像』所収

P-1101



63

大沢昌助 1903 (明治 36) - 1997 (平成 9)

OSAWA Shosuke

黄色の中のかたち

Shape in Yellow

昭和 55 年 リトグラフ、紙

1980 Lithograph on paper

40.2×30.5cm

左下にエディション「1/100」、右下にサイン「S. Osawa」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※石版画集『青の立像』所収

P-1102



64

大沢昌助 1903 (明治 36) - 1997 (平成 9)

OSAWA Shosuke

目

Eye

昭和 55 年 リトグラフ、紙

1980 Lithograph on paper

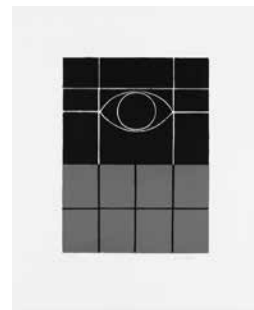
40.1×30.0cm

左下にエディション「1/100」、右下にサイン「S. Osawa」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※石版画集『青の立像』所収

P-1103



65

大沢昌助 1903 (明治 36) - 1997 (平成 9)

OSAWA Shosuke

夕景

Evening Scene

昭和 55 年 リトグラフ、紙

1980 Lithograph on paper

40.6×30.4cm

左下にエディション「1/100」、右下にサイン「S. Osawa」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※石版画集『青の立像』所収

P-1104



66

大沢昌助 1903 (明治 36) - 1997 (平成 9)

OSAWA Shosuke

さまよいの影 1

Shadow of Wandering 1

昭和 56 年 エッチング、紙

1981 Etching on paper

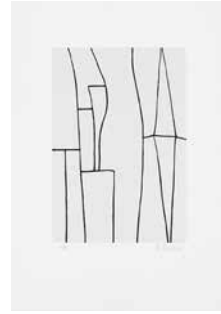
29.0×20.0cm

左下にエディション「4/28」、右下にサイン「S. Osawa」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※「さまよいの影」シリーズ

P-1105



67

大沢昌助 1903 (明治 36) - 1997 (平成 9)

OSAWA Shosuke

さまよいの影 2

Shadow of Wandering 2

昭和 56 年 エッチング、紙

1981 Etching on paper

29.0×20.0cm

左下にエディション「4/28」、右下にサイン「S. Osawa」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※「さまよいの影」シリーズ

P-1106



68

大沢昌助 1903 (明治 36) - 1997 (平成 9)

OSAWA Shosuke

さまよいの影 3

Shadow of Wandering 3

昭和 56 年 エッチング、紙

1981 Etching on paper

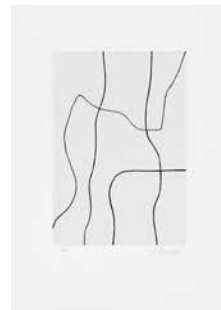
29.0×20.0cm

左下にエディション「4/28」、右下にサイン「S. Osawa」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※「さまよいの影」シリーズ

P-1107



69

大沢昌助 1903 (明治 36) - 1997 (平成 9)

OSAWA Shosuke

さまよいの影 4

Shadow of Wandering 4

昭和 56 年 エッチング、紙

1981 Etching on paper

29.0×20.0cm

左下にエディション「4/28」、右下にサイン「S. Osawa」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※「さまよいの影」シリーズ

P-1108



70

大沢昌助 1903 (明治 36) - 1997 (平成 9)

OSAWA Shosuke

さまよいの影 5

Shadow of Wandering 5

昭和 56 年 エッチング、紙

1981 Etching on paper

29.0×20.0cm

左下にエディション「4/28」、右下にサイン「S. Osawa」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※「さまよいの影」シリーズ

P-1109



71

大沢昌助 1903 (明治 36) - 1997 (平成 9)

OSAWA Shosuke

机上の空論 黒

Impractical Theory - Black

昭和 57 年 リトグラフ、紙

1982 Lithograph on paper

115.0×229.5cm

左下にエディション「5/10」、右下にサイン「S. Osawa」

平成 29 年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1110



72

大沢昌助 1903 (明治 36) - 1997 (平成 9)

OSAWA Shosuke

机上の空論 赤

Impractical Theory - Red

昭和 57 年 リトグラフ、紙

1982 Lithograph on paper

115.0×229.5cm

左下にエディション「6/10」、右下にサイン「S. Osawa」

平成 29 年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1111



73

岡本信治郎 1933 (昭和 8) -

OKAMOTO Shinjiro

つばめ

Swallow

昭和 52 年 木版、紙

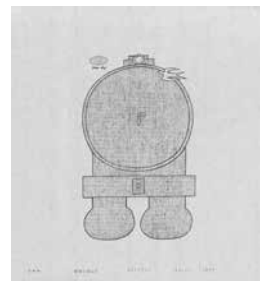
1977 Woodcut on paper

18.4×11.2cm

下部にタイトル等「つばめ 彫塚口 摺五所 250/500 オカモト 1977」

平成 29 年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1112



74

小田襄 1936 (昭和 11) - 2004 (平成 16)

ODA Jo

銀世界一夢

Silver World - Dream

昭和 49 年 メタルリーフプリント、紙

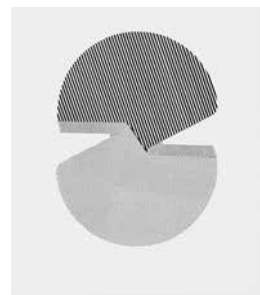
1974 Metal leaf print on paper

28.8×21.6cm

下部にエディション、サイン「6/200 jo. oda」

平成 29 年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1113



75

小野具定 1914 (大正 3) - 2000 (平成 12)

ONO Gutei

漁夫

Fisher

昭和 52 年 銅版、紙

1977 Copperplate print on paper

41.0×54.6cm

左下にエディション「1/100」、右下にサイン「77 具定」

平成 29 年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※「現代と声」企画作品

P-1114



76

小野具定 1914 (大正 3) - 2000 (平成 12)

ONO Gutei

北の海

Northern Ocean

昭和 52 年 銅版、紙

1977 Copperplate print on paper

55.5×40.5cm

左下にエディション「1/100」、右下にサイン「77 具定」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※「現代と声」企画作品

P-1115



77

小野具定 1914 (大正 3) - 2000 (平成 12)

ONO Gutei

加工場

Processing Plant

昭和 52 年 銅版、紙

1977 Copperplate print on paper

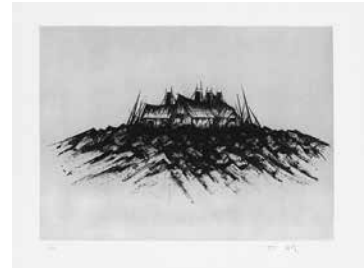
41.0×55.2cm

左下にエディション「1/100」、右下にサイン「77 具定」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※「現代と声」企画作品

P-1116



78

オノサト・トシノブ 1912 (大正元) - 1986 (昭和 61)

ONOSATO Toshinobu

Ce 1

Ce 1

昭和 49 年 セリグラフ、紙

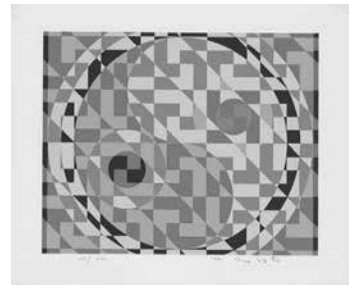
1974 Serigraph on paper

22.0×27.0cm

左下にエディション「115/200」、右下にサイン「74 Onosato」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1117



79

オノサト・トシノブ 1912 (大正元) - 1986 (昭和 61)

ONOSATO Toshinobu

Ce 3

Ce 3

昭和 49 年 セリグラフ、紙

1974 Serigraph on paper

10.0×10.0cm

左下にエディション「207/500」、右下にサイン「74 Onosato」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1118



80

オノサト・トシノブ 1912 (大正元) - 1986 (昭和 61)

ONOSATO Toshinobu

GHC1 (黄)

GHC1 (Yellow)

昭和 49 年 セリグラフ、紙

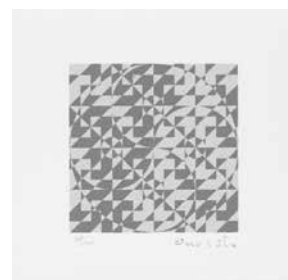
1974 Serigraph on paper

10.0×10.0cm

左下にエディション「308/1500」、右下にサイン「Onosato」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1119



81

オノサト・トシノブ 1912 (大正元) - 1986 (昭和 61)

ONOSATO Toshinobu

GHC2 (青)

GHC2 (Blue)

昭和 49 年 セリグラフ、紙

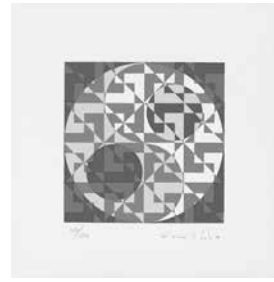
1974 Serigraph on paper

10.0×10.0cm

左下にエディション「327/1500」、右下にサイン「Onosato」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1120



82

オノサト・トシノブ 1912 (大正元) - 1986 (昭和 61)

ONOSATO Toshinobu

Ce T4

Ce T4

昭和 52 年 特色刷り、布

1977 Spot color printing on cloth

120.0×80.0cm

左下にエディション「78/100」、右下にサイン「77 Onosato」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※「現代と声」企画作品

P-1121



83

オノサト・トシノブ 1912 (大正元) - 1986 (昭和 61)

ONOSATO Toshinobu

Ce T5

Ce T5

昭和 52 年 特色刷り、布

1977 Spot color printing on cloth

120.0×80.0cm

左下にエディション「80/100」、右下にサイン「77 Onosato」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※「現代と声」企画作品

P-1122



84

オノサト・トシノブ 1912 (大正元) - 1986 (昭和 61)

ONOSATO Toshinobu

Ce 6

Ce 6

昭和 54 年 セリグラフ、紙

1979 Serigraph on paper

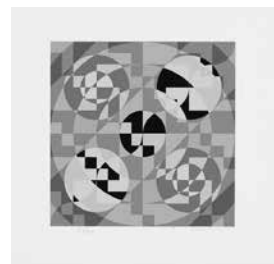
20.0×20.0cm

左下にエディション「1/250」、右下にサイン「79 Onosato」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『オノサト・トシノブ 1979』所収

P-1123



85

オノサト・トシノブ 1912 (大正元) - 1986 (昭和 61)

ONOSATO Toshinobu

Ce 7

Ce 7

昭和 54 年 セリグラフ、紙

1979 Serigraph on paper

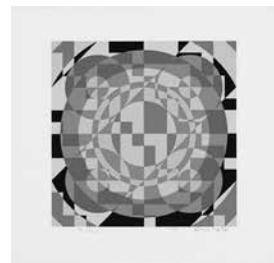
20.0×20.0cm

左下にエディション「4/250」、右下にサイン「79 Onosato」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『オノサト・トシノブ 1979』所収

P-1124



86

オノサト・トシノブ 1912 (大正元) - 1986 (昭和 61)

ONOSATO Toshinobu

Ce 8

Ce 8

昭和 54 年 セリグラフ、紙

1979 Serigraph on paper

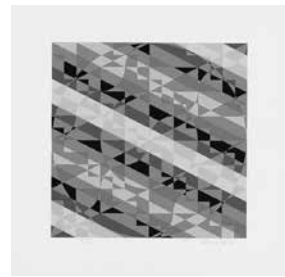
20.0×20.0cm

左下にエディション「4/250」、右下にサイン「'79 Onosato」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『オノサト・トシノブ 1979』所収

P-1125



87

オノサト・トシノブ 1912 (大正元) - 1986 (昭和 61)

ONOSATO Toshinobu

銀河

Galaxy

昭和 56 年 セリグラフ、紙

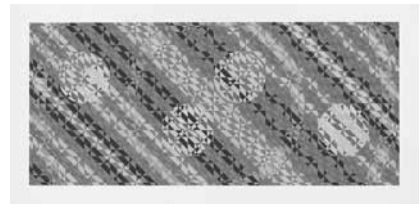
1981 Serigraph on paper

43.7×100.1cm

左下にエディション「66/150」、右下にサイン「'81 Onosato」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1126



88

柏原えつとむ 1941 (昭和 16) -

KASHIHARA Etsutomu

Neutral Space

Neutral Space

昭和 57 年 セリグラフ、紙

1982 Serigraph on paper

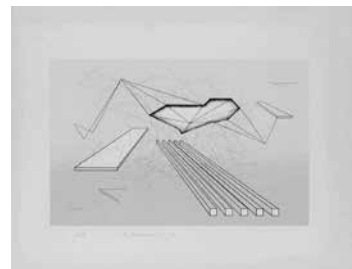
34.0×53.0cm

左下にエディション、サイン「39/50 E. Kashihara '82」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※美学校シルクスクリーンプリントシンポジウム作品

P-1127



89

加山又造 1927 (昭和 2) - 2004 (平成 16)

KAYAMA Matazo

レースをまとう人魚

Mermaid with Lace

昭和 52 年 リトグラフ、紙

1977 Lithograph on paper

36.0×54.2cm

左下にエディション「125/500」、右下にサイン「又造」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※「現代と声」企画作品

P-1128



90

北川民次 1894 (明治 27) - 1989 (平成元)

KITAGAWA Tamiji

狂女

Madwoman

昭和 32 年 リトグラフ、紙

1957 Lithograph on paper

22.6×18.3cm

左下にエディション「37/50」、右下にサイン「Tamiji」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1129



91

北川民次 1894 (明治 27) - 1989 (平成元)

KITAGAWA Tamiji

瀬戸の街

Town in Seto

昭和 36 年 リトグラフ、紙

1961 Lithograph on paper

45.5×32.1cm

左下にエディション「40/60」、右下にサイン「Tamiji」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1130



92

北川民次 1894 (明治 27) - 1989 (平成元)

KITAGAWA Tamiji

眠るインディアン

Sleeping Indian

昭和 36 年 リトグラフ、紙

1961 Lithograph on paper

29.8×37.9cm

左下にエディション「39/55」、右下にサイン「Tamiji」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1131



93

北川民次 1894 (明治 27) - 1989 (平成元)

KITAGAWA Tamiji

裸婦

Nude

昭和 37 年 木版、紙

1962 Woodcut on paper

25.7×38.5cm

左下にエディション「39/45」、右下にサイン「Tamiji」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1132



94

北川民次 1894 (明治 27) - 1989 (平成元)

KITAGAWA Tamiji

バッタの夢

Grasshopper's Dream

昭和 45 年 エッチング、紙

1970 Etching on paper

21.0×33.5cm

左下にエディション「67/100」、右下にサイン「Tamiji」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1133



95

木村光佑 1936 (昭和 11) -

KIMURA Kosuke

リレーション M

Relation M

昭和 48 年 ミクスト・メディア、紙

1973 Mixed media on paper

47.5×61.0cm

左下にエディション「160/200」、タイトル「RELATION (リレーション) —M」、

右下にサイン「Kosuke Kimura」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1134





96

木村茂 1929 (昭和 4) -

KIMURA Shigeru

森の道 I

Way of Forest I

昭和 52 年 エッチング、紙

1977 Etching on paper

20.0×18.0cm

左下にエディション「68/75」、右下にサイン「SHIGERU KIMURA」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1135



97

木村茂 1929 (昭和 4) -

KIMURA Shigeru

森の道 II

Way of Forest II

昭和 52 年 エッチング、紙

1977 Etching on paper

20.0×18.1cm

左下にエディション「74/75」、右下にサイン「SHIGERU KIMURA」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1136



98

木村茂 1929 (昭和 4) -

KIMURA Shigeru

森の道 III

Way of Forest III

昭和 52 年 エッチング、紙

1977 Etching on paper

19.9×18.0cm

左下にエディション「72/75」、右下にサイン「SHIGERU KIMURA」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1137



99

木村利三郎 1924 (大正 13) - 2014 (平成 26)

KIMURA Risaburo

Washington sq. Fantastic

Washington sq. Fantastic

昭和 49 年 セリグラフ、紙

1974 Serigraph on paper

32.0×39.0cm

左下にエディション、タイトル「a.p. 1/20 WASHINGTON SQ. FANTASTIC」、

右下にサイン「Risaburo Kimura」、年記「NEW YORK 1974」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1138



100

木村利三郎 1924 (大正 13) - 2014 (平成 26)

KIMURA Risaburo

57st. & 5th Ave. New York

57st. & 5th Ave. New York

昭和 49 年 セリグラフ、紙

1974 Serigraph on paper

39.0×32.0cm

左下にエディション「103/200」、タイトル「57 ST. & 5th AVE NEW YORK」、

右下にサイン「Risaburo Kimura」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1139



101

木村利三郎 1924 (大正 13) - 2014 (平成 26)

KIMURA Risaburo

シカゴ

Chicago

昭和 51 年 セリグラフ、紙

1976 Serigraph on paper

53.5×41.0cm

左下にエディション「6/50」、タイトル「CHICAGO」、

右下にサイン「Risaburo Kimura」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1140



102

木村利三郎 1924 (大正 13) - 2014 (平成 26)

KIMURA Risaburo

サンフランシスコ

San Francisco

昭和 51 年 セリグラフ、紙

1976 Serigraph on paper

41.0×54.0cm

左下にエディション「7/50」、タイトル「SAN FRANCISCO」、

右下にサイン「Risaburo Kimura」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1141



103

草間彌生 1929 (昭和 4) -

KUSAMA Yayoi

帽子-s

Hat-s

昭和 57 年 セリグラフ、紙

1982 Serigraph on paper

27.0×32.0cm

左下にエディション等「41/50 帽子 1982」、右下にサイン「yayoi kusama」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1142



104

草間彌生 1929 (昭和 4) -

KUSAMA Yayoi

Infinity Nets 1958

Infinity Nets 1958

昭和 57 年 セリグラフ、紙

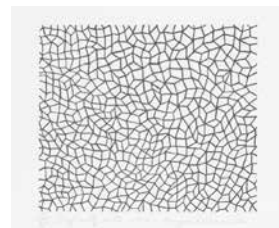
1982 Serigraph on paper

27.0×31.5cm

下部にエディション等「13/50 Infinity Nets 1958 yayoi kusama '82」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1143



105

駒井哲郎 1920 (大正 9) - 1976 (昭和 51)

KOMAI Tetsuro

消えかゝる夢

Fading Dream

昭和 26 年 (刷り: 昭和 48 年) メゾチント、エッチング、

エングレーヴィング、アクアチント、紙

1951 (printed in 1973) Mezzotint, etching, engraving and aquatint on paper

12.2×15.0cm

左下にエディション「9/200」、右下にサイン「Tetsuro Komai」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1144



106

駒井哲郎 1920 (大正9) - 1976 (昭和51)

KOMAI Tetsuro

芽生え

Germination

昭和30年 アクアチント、エングレーヴィング、紙

1955 Aquatint and engraving on paper

15.5×28.0cm

左下にエディション「E.A. VII/XX」、右下にサイン「Tetsuro Komai」

平成29年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1145



107

駒井哲郎 1920 (大正9) - 1976 (昭和51)

KOMAI Tetsuro

花

Flower

昭和40年 アクアチント、手彩色、紙

1965 Aquatint and hand coloring on paper

12.5×9.3cm

左下にエディション「86/100」、右下にサイン「Tetsuro Komai」

平成29年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1146



108

駒井哲郎 1920 (大正9) - 1976 (昭和51)

KOMAI Tetsuro

『みづゑ』(1967年10月号)のための石版画

Lithograph for *Mizue*, oct. 1967

昭和42年 リトグラフ、紙

1967 Lithograph on paper

39.1×25.3cm

左下にエディション「épr d'Artiste 9/15」、右下にサイン「Tetsuro Komai」

平成29年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1147



109

駒井哲郎 1920 (大正9) - 1976 (昭和51)

KOMAI Tetsuro

街

Town

昭和48年 サンドペーパーによるエッチング、紙

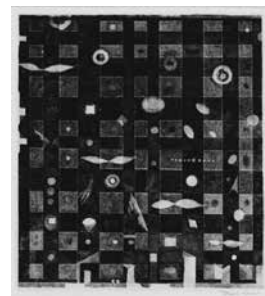
1973 Etching (sandpaper) on paper

23.5×21.0cm

右下にサイン「Tetsuro Komai」

平成29年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1148



110

島州一 1935 (昭和10) - 2018 (平成30)

SHIMA Kuniichi

ボートの女

Woman Rowing Boat

昭和49年 セリグラフ、紙

1974 Serigraph on paper

40.0×45.0cm

左下にエディション「1/100」、中下に年記「June 1974」、右下にサイン「K.Shima」

平成29年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1149



111  
島州一 1935 (昭和 10) - 2018 (平成 30)

SHIMA Kuniichi

愛

Love

昭和 49 年 セリグラフィ、紙

1974 Serigraph on paper

30.0×28.0cm

左下にエディション「98/100」、中下に年記「June 1974」、右下にサイン「K.Shima」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1150



112  
島州一 1935 (昭和 10) - 2018 (平成 30)

SHIMA Kuniichi

愛のジャンパー

Jacket of Love

昭和 49 年 セリグラフィ、紙

1974 Serigraph on paper

33.0×28.0cm

左下にエディション「96/100」、中下に年記「July 1974」、右下にサイン「K. Shima」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1151



113  
島州一 1935 (昭和 10) - 2018 (平成 30)

SHIMA Kuniichi

ジーンズ

Jeans

昭和 49 年 セリグラフィ、布

1974 Serigraph on cloth

81.0×80.0cm

左下にエディション「11/50」、右下にサイン「Sept. '74 K. Shima」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1152



114  
島州一 1935 (昭和 10) - 2018 (平成 30)

SHIMA Kuniichi

ゲバラ

Guevara

昭和 49 年 セリグラフィ、布

1974 Serigraph on cloth

69.0×99.0cm

左下にエディション「42/50」、右下にサイン「Sept. '74 K. Shima」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1153



115  
島州一 1935 (昭和 10) - 2018 (平成 30)

SHIMA Kuniichi

筒

Tube

昭和 49 年 ゼロックス、セリグラフィ、紙、オブジェ

1974 Xerography and serigraph on paper, objet

直径 8.0×45.0cm

サイン「74 K. Shima」、エディション「61/800」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1154



116

菅井汲 1919 (大正 8) - 1996 (平成 8)

SUGAI Kumi

フェスティバル

Festival

昭和 51 年 セリグラフ、紙

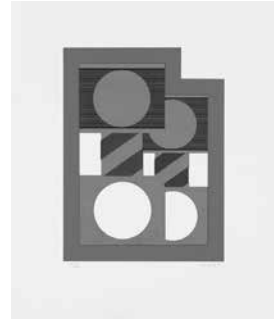
1976 Serigraph on paper

20.0×15.0cm

左下にエディション「4/750」、右下にサイン「SUGAI」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1155



117

菅井汲 1919 (大正 8) - 1996 (平成 8)

SUGAI Kumi

ヴァリエーション

Variation

昭和 51 年 セリグラフ、紙

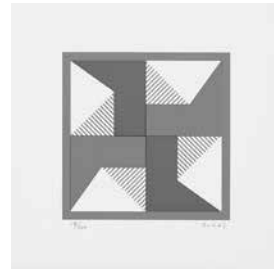
1976 Serigraph on paper

10.0×10.0cm

左下にエディション「18/500」、右下にサイン「SUGAI」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1156



118

菅井汲 1919 (大正 8) - 1996 (平成 8)

SUGAI Kumi

シグナル A

Signal A

昭和 51 年 セリグラフ、紙

1976 Serigraph on paper

34.0×14.0cm

左下にエディション「5/150」、右下にサイン「SUGAI」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1157



119

菅井汲 1919 (大正 8) - 1996 (平成 8)

SUGAI Kumi

シグナル B

Signal B

昭和 51 年 セリグラフ、紙

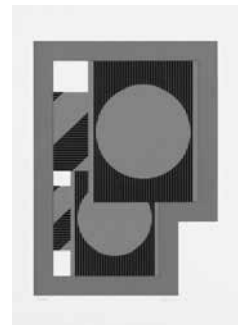
1976 Serigraph on paper

31.5×23.0cm

左下にエディション「5/150」、右下にサイン「SUGAI」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1158



120

菅井汲 1919 (大正 8) - 1996 (平成 8)

SUGAI Kumi

シグナル C

Signal C

昭和 51 年 セリグラフ、紙

1976 Serigraph on paper

33.0×19.0cm

左下にエディション「5/150」、右下にサイン「SUGAI」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1159



121

菅井汲 1919 (大正 8) - 1996 (平成 8)

SUGAI Kumi

シグナル D

Signal D

昭和 51 年 セリグラフ、紙

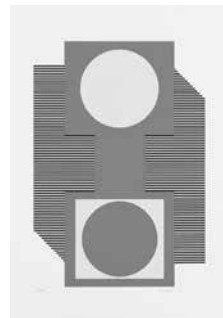
1976 Serigraph on paper

31.5×22.0cm

左下にエディション「5/150」、右下にサイン「SUGAI」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1160



122

菅井汲 1919 (大正 8) - 1996 (平成 8)

SUGAI Kumi

シグナル E

Signal E

昭和 51 年 セリグラフ、紙

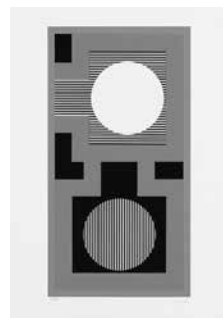
1976 Serigraph on paper

34.5×18.5cm

左下にエディション「5/150」、右下にサイン「SUGAI」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1161



123

菅井汲 1919 (大正 8) - 1996 (平成 8)

SUGAI Kumi

シグナル F

Signal F

昭和 51 年 セリグラフ、紙

1976 Serigraph on paper

33.0×23.5cm

左下にエディション「5/150」、右下にサイン「SUGAI」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1162



124

菅井汲 1919 (大正 8) - 1996 (平成 8)

SUGAI Kumi

シグナル G

Signal G

昭和 51 年 セリグラフ、紙

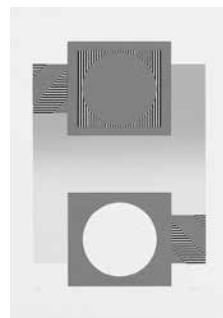
1976 Serigraph on paper

31.5×22.0cm

左下にエディション「5/150」、右下にサイン「SUGAI」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1163



125

菅井汲 1919 (大正 8) - 1996 (平成 8)

SUGAI Kumi

ポートレート A

Portrait A

昭和 51 年 リトグラフ、紙

1976 Lithograph on paper

36.0×27.5cm

左下にエディション「5/150」、右下にサイン「SUGAI」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1164



126

菅井汲 1919 (大正 8) - 1996 (平成 8)

SUGAI Kumi

ポर्टレート B

Portrait B

昭和 51 年 リトグラフ、紙

1976 Lithograph on paper

36.0×27.5cm

左下にエディション「5/150」、右下にサイン「SUGAI」

平成 29 年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1165



127

菅井汲 1919 (大正 8) - 1996 (平成 8)

SUGAI Kumi

ポर्टレート C

Portrait C

昭和 51 年 リトグラフ、紙

1976 Lithograph on paper

36.0×27.5cm

左下にエディション「5/150」、右下にサイン「SUGAI」

平成 29 年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1166



128

菅井汲 1919 (大正 8) - 1996 (平成 8)

SUGAI Kumi

ポर्टレート D

Portrait D

昭和 51 年 リトグラフ、紙

1976 Lithograph on paper

36.0×27.5cm

左下にエディション「5/150」、右下にサイン「SUGAI」

平成 29 年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1167



129

菅井汲 1919 (大正 8) - 1996 (平成 8)

SUGAI Kumi

ポर्टレート E

Portrait E

昭和 51 年 リトグラフ、紙

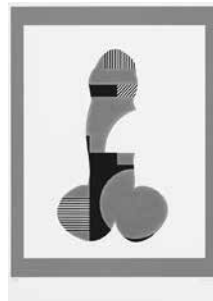
1976 Lithograph on paper

36.0×27.5cm

左下にエディション「5/150」、右下にサイン「SUGAI」

平成 29 年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1168



130

菅井汲 1919 (大正 8) - 1996 (平成 8)

SUGAI Kumi

ポर्टレート F

Portrait F

昭和 51 年 リトグラフ、紙

1976 Lithograph on paper

39.5×26.2cm

右下にエディション「5/150」、サイン「SUGAI」

平成 29 年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1169



131

菅井汲 1919 (大正 8) - 1996 (平成 8)

SUGAI Kumi

ポートレート G

Portrait G

昭和 51 年 リトグラフ、紙

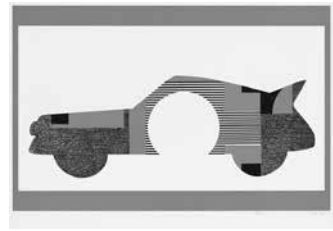
1976 Lithograph on paper

25.5×39.5cm

右下にエディション「5/150」、サイン「SUGAI」

平成 29 年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1170



132

菅井汲 1919 (大正 8) - 1996 (平成 8)

SUGAI Kumi

スクランブル A

Scramble A

昭和 51 年 凸版、セリグラフ、紙

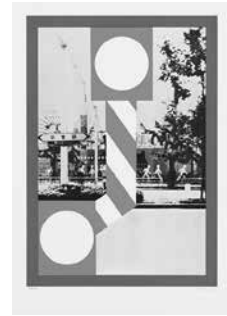
1976 Letterpress and serigraph on paper

35.0×24.5cm

左下にエディション「5/150」、右下にサイン「SUGAI」

平成 29 年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1171



133

菅井汲 1919 (大正 8) - 1996 (平成 8)

SUGAI Kumi

スクランブル B

Scramble B

昭和 51 年 凸版、セリグラフ、紙

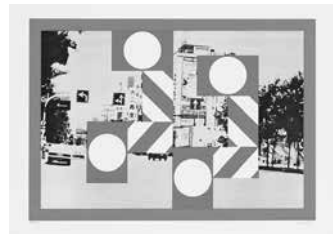
1976 Letterpress and serigraph on paper

24.5×35.0cm

左下にエディション「5/150」、右下にサイン「SUGAI」

平成 29 年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1172



134

菅井汲 1919 (大正 8) - 1996 (平成 8)

SUGAI Kumi

スクランブル C

Scramble C

昭和 51 年 凸版、セリグラフ、紙

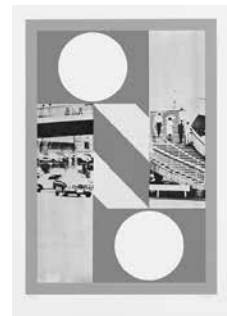
1976 Letterpress and serigraph on paper

35.5×24.5cm

左下にエディション「5/150」、右下にサイン「SUGAI」

平成 29 年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1173



135

菅井汲 1919 (大正 8) - 1996 (平成 8)

SUGAI Kumi

スクランブル D

Scramble D

昭和 51 年 凸版、セリグラフ、紙

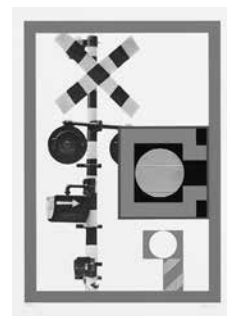
1976 Letterpress and serigraph on paper

35.5×25.0cm

左下にエディション「5/150」、右下にサイン「SUGAI」

平成 29 年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1174





136

菅井汲 1919 (大正 8) - 1996 (平成 8)

SUGAI Kumi

スクランブル E

Scramble E

昭和 51 年 凸版、セリグラフ、紙

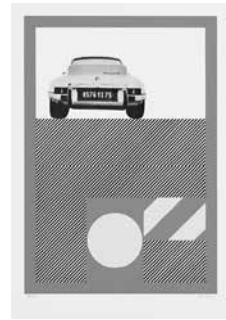
1976 Letterpress and serigraph on paper

35.5×25.0cm

左下にエディション「83/150」、右下にサイン「SUGAI」

平成 29 年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1175



137

菅井汲 1919 (大正 8) - 1996 (平成 8)

SUGAI Kumi

スクランブル F

Scramble F

昭和 51 年 凸版、セリグラフ、紙

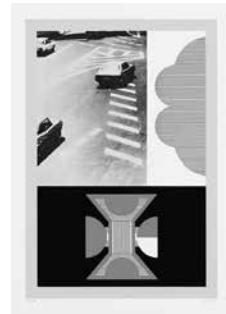
1976 Letterpress and serigraph on paper

36.0×25.0cm

左下にエディション「5/150」、右下にサイン「SUGAI」

平成 29 年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1176



138

菅井汲 1919 (大正 8) - 1996 (平成 8)

SUGAI Kumi

スクランブル G

Scramble G

昭和 51 年 凸版、セリグラフ、紙

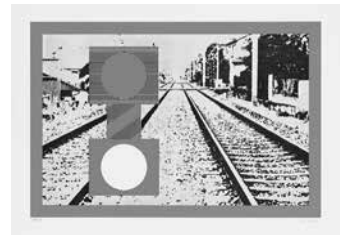
1976 Letterpress and serigraph on paper

24.0×35.5cm

左下にエディション「5/150」、右下にサイン「SUGAI」

平成 29 年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1177



139

菅井汲 1919 (大正 8) - 1996 (平成 8)

SUGAI Kumi

星

Star

昭和 51 年 セリグラフ、紙

1976 Serigraph on paper

15.0×10.0cm

左下にエディション「51/200」、中下にサイン「SUGAI」

平成 29 年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※『菅井汲版画集』所収

P-1178



140

菅井汲 1919 (大正 8) - 1996 (平成 8)

SUGAI Kumi

球

Ball

昭和 51 年 セリグラフ、紙

1976 Serigraph on paper

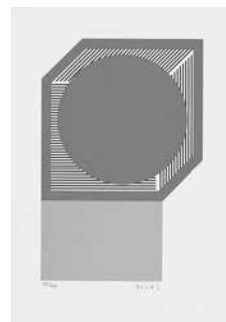
15.0×10.0cm

左下にエディション「51/200」、右下にサイン「SUGAI」

平成 29 年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※『菅井汲版画集』所収

P-1179



141  
菅井汲 1919 (大正 8) - 1996 (平成 8)

SUGAI Kumi

道

Road

昭和 51 年 セリグラフ、紙

1976 Serigraph on paper

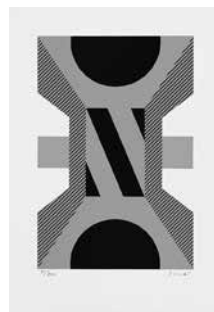
15.0×10.0cm

左下にエディション「51/200」、右下にサイン「SUGAI」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※『菅井汲版画集』所収

P-1180



142  
菅井汲 1919 (大正 8) - 1996 (平成 8)

SUGAI Kumi

赤い太陽

Red Sun

昭和 51 年 セリグラフ、アクリル

1976 Serigraph on acrylic

10.0×7.0×2.0cm

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1181



143  
菅井汲 1919 (大正 8) - 1996 (平成 8)

SUGAI Kumi

色のカーニバル

Carnival of Color

昭和 51 年 セリグラフ、アクリル、色紙

1976 Serigraph on acrylic and colored paper

18.9×18.9cm

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1182



144  
菅井汲 1919 (大正 8) - 1996 (平成 8)

SUGAI Kumi

青い星

Blue Star

昭和 51 年 セリグラフ、アクリル

1976 Serigraph on acrylic

10.0×7.0×2.0cm

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1183



145  
菅井汲 1919 (大正 8) - 1996 (平成 8)

SUGAI Kumi

GUEST I

GUEST I

昭和 55 年 セリグラフ、紙

1980 Serigraph on paper

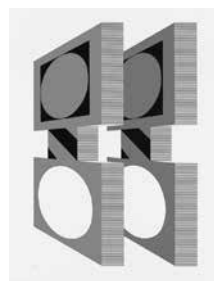
57.0×38.0cm

左下にエディション「27/150」、右下にサイン「SUGAI」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『GUEST 1980』所収

P-1184



146

菅井汲 1919 (大正 8) - 1996 (平成 8)

SUGAI Kumi

GUEST II

GUEST II

昭和 55 年 セリグラフ、紙

1980 Serigraph on paper

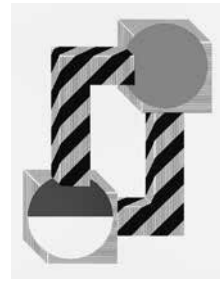
57.5×44.0cm

左下にエディション「27/150」、中下にサイン「SUGAI」

平成 29 年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『GUEST 1980』所収

P-1185



147

菅井汲 1919 (大正 8) - 1996 (平成 8)

SUGAI Kumi

GUEST III

GUEST III

昭和 55 年 セリグラフ、紙

1980 Serigraph on paper

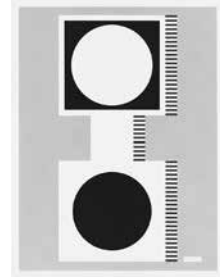
62.0×46.5cm

左下にエディション「27/150」、右下にサイン「SUGAI」

平成 29 年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『GUEST 1980』所収

P-1186



148

菅井汲 1919 (大正 8) - 1996 (平成 8)

SUGAI Kumi

GUEST IV

GUEST IV

昭和 55 年 セリグラフ、紙

1980 Serigraph on paper

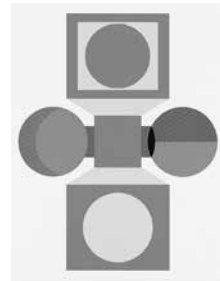
60.0×46.5cm

左下にエディション「27/150」、右下にサイン「SUGAI」

平成 29 年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『GUEST 1980』所収

P-1187



149

菅井汲 1919 (大正 8) - 1996 (平成 8)

SUGAI Kumi

GUEST V

GUEST V

昭和 55 年 セリグラフ、紙

1980 Serigraph on paper

57.5×33.0cm

左下にエディション「27/150」、右下にサイン「SUGAI」

平成 29 年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『GUEST 1980』所収

P-1188



150

澄川喜一 1931 (昭和 6) -

SUMIKAWA Kiichi

フェニックスの翼 A

Wing of Phoenix A

昭和 57 年 セリグラフ、紙

1982 Serigraph on paper

50.5×30.0cm

左下にエディション「41/50」、タイトル「フェニックスの翼」、

右下にサイン「K Sumikawa '82」

平成 29 年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1189



151

澄川喜一 1931 (昭和6) -

SUMIKAWA Kiichi

フェニックスの翼 B

Wing of Phoenix B

昭和57年 セリグラフ、紙

1982 Serigraph on paper

51.0×26.5cm

左下にエディション「27/50」、タイトル「フェニックスの翼」、

右下にサイン「K Sumikawa '82」

平成29年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1190



152

関根伸夫 1942 (昭和17) -

SEKINE Nobuo

絵空事一風船

Unreality - Balloon

昭和50年 セリグラフ、手彩色、紙

1975 Serigraph and hand coloring on paper

42.0×35.0cm

左下にエディション「32/100」、右下にサイン「N. SEKINE」

平成29年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1191



153

関根伸夫 1942 (昭和17) -

SEKINE Nobuo

絵空事一鳥居

Unreality - Sacred Arch

昭和50年 セリグラフ、紙

1975 Serigraph on paper

45.0×35.0cm

左下にエディション「8/75」、右下にサイン「N. SEKINE」

平成29年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1192



154

関根伸夫 1942 (昭和17) -

SEKINE Nobuo

月をよぶ

Calling Moon

昭和50年 セリグラフ、紙

1975 Serigraph on paper

53.0×35.0cm

左下にエディション「72/75」、右下にサイン「N. SEKINE」

平成29年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1193



155

関根伸夫 1942 (昭和17) -

SEKINE Nobuo

おちるリンゴ

Slipping Apple

昭和50年 セリグラフ、紙

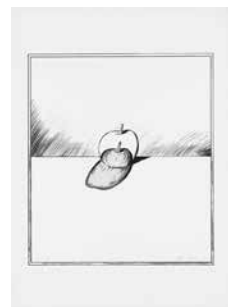
1975 Serigraph on paper

43.0×38.0cm

左下にエディション「32/75」、右下にサイン「N. SEKINE」

平成29年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1194



156

関根伸夫 1942 (昭和 17) -

SEKINE Nobuo

石をつる

Suspending Stone

昭和 50 年 セリグラフ、紙

1975 Serigraph on paper

58.0×38.0cm

左下にエディション「29/75」、右下にサイン「N. SEKINE」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1195



157

関根伸夫 1942 (昭和 17) -

SEKINE Nobuo

抽象の影

Abstract Shadow

昭和 50 年 セリグラフ、紙

1975 Serigraph on paper

50.0×37.0cm

左下にエディション「54/75」、右下にサイン「N. SEKINE」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1196



158

関根伸夫 1942 (昭和 17) -

SEKINE Nobuo

絵空事一緑の風船

Unreality - Green Balloon

昭和 50 年 セリグラフ、手彩色、紙

1975 Serigraph and hand coloring on paper

42.0×35.0cm

左下にエディション「43/100」、右下にサイン「N. SEKINE」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1197



159

関根伸夫 1942 (昭和 17) -

SEKINE Nobuo

自画像

Self-portrait

昭和 50 年 セリグラフ、紙

1975 Serigraph on paper

36.0×22.0cm

左下にエディション「30/150」、右下にサイン「N. SEKINE」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1198



160

関根伸夫 1942 (昭和 17) -

SEKINE Nobuo

雲をつく

Thrusting into Cloud

昭和 50 年 セリグラフ、紙

1975 Serigraph on paper

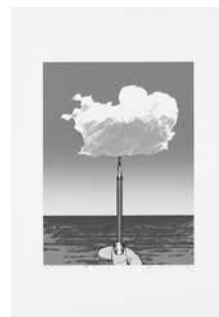
35.5×26.5cm

左下にエディション「105/150」、中下にタイトル「雲をつく」、

右下にサイン「N. SEKINE」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1199



161

関根伸夫 1942 (昭和 17) -

SEKINE Nobuo

Touch Red

Touch Red

昭和 51 年 リトグラフ、紙

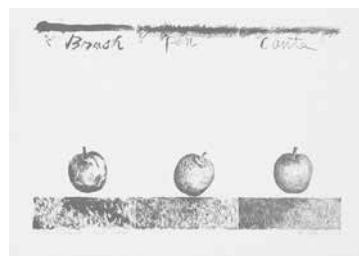
1976 Lithograph on paper

52.5×77.5cm

左下にエディション等「2/12 Touch-Red 1976」、右下にサイン「N. SEKINE」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1200



162

関根伸夫 1942 (昭和 17) -

SEKINE Nobuo

Touch Black

Touch Black

昭和 51 年 リトグラフ、紙

1976 Lithograph on paper

50.5×77.2cm

左下にエディション等「4/12 Touch-Black 1976」、右下にサイン「N. SEKINE」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1201



163

関根伸夫 1942 (昭和 17) -

SEKINE Nobuo

Touch Blue

Touch Blue

昭和 51 年 リトグラフ、紙

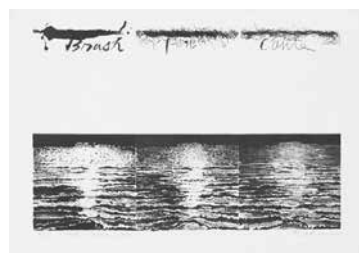
1976 Lithograph on paper

52.8×77.5cm

左下にエディション等「8/12 Touch-Blue 1976」、右下にサイン「N. SEKINE」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1202



164

関根伸夫 1942 (昭和 17) -

SEKINE Nobuo

プロジェクト・クレムリン

Project - the Kremlin

昭和 52 年 エッチング、紙

1977 Etching on paper

61.6×48.5cm

左下にエディション、タイトル「1/100 project-KREMLIN」、

右下にサイン「N. SEKINE '77」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※「現代と声」企画作品

P-1203



165

関根伸夫 1942 (昭和 17) -

SEKINE Nobuo

プロジェクト・ローマ

Project - Rome

昭和 52 年 エッチング、紙

1977 Etching on paper

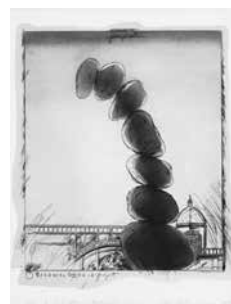
58.5×49.5cm

左下にエディション、タイトル「1/100 project-Roma」、右下にサイン「N. SEKINE '77」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※「現代と声」企画作品

P-1204



166

関根伸夫 1942 (昭和 17) -

SEKINE Nobuo

プロジェクト・立ち木

Project - Stanging Tree

昭和 52 年 エッチング、紙

1977 Etching on paper

56.5×43.5cm

左下にエディション、タイトル「1/100 project-立木」、右下にサイン「N. SEKINE '77」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※「現代と声」企画作品

P-1205



167

関根伸夫 1942 (昭和 17) -

SEKINE Nobuo

□のプロジェクト

Project of Square

昭和 57 年 セリグラフ、紙

1982 Serigraph on paper

49.0×39.0cm

左下にエディション、タイトル「30/50 □の project」、右下にサイン「N. SEKINE '82」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※美学校シルクスクリーンプリントシンポジウム作品

P-1206



168

関根伸夫 1942 (昭和 17) -

SEKINE Nobuo

石のベクトル

Vector of Stone

昭和 57 年 リトグラフ、紙

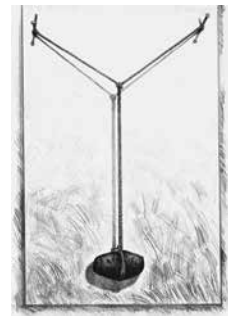
1982 Lithograph on paper

90.0×63.0cm

左上にエディション、タイトル「39/45 石のベクトル」、右上にサイン「N. SEKINE '82」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1207



169

関根伸夫 1942 (昭和 17) -

SEKINE Nobuo

三角の窓の project

Project of Triangular Window

昭和 57 年 銅版、紙

1982 Copperplate print on paper

60.0×45.0cm

左下にエディション、タイトル「45/50 三角の窓の project」、右下にサイン「N. SEKINE '82」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1208



170

関根伸夫 1942 (昭和 17) -

SEKINE Nobuo

三角の波の project

Project of Triangular Wave

昭和 57 年 銅版、紙

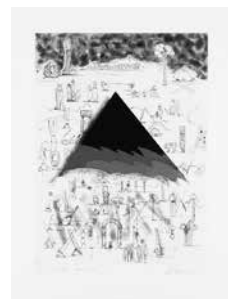
1982 Copperplate print on paper

60.0×45.0cm

左下にエディション、タイトル「15/50 三角の波の project」、右下にサイン「N. SEKINE '82」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1209



171  
関根伸夫 1942 (昭和 17) -  
SEKINE Nobuo

大地を観る

Looking at Earth

昭和 57 年 リトグラフ、紙

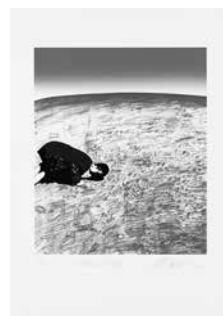
1982 Lithograph on paper

55.8×39.0cm

左下にエディション「10/275」、中下にタイトル「大地との対話」、右下にサイン「N. SEKINE」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1210



172  
高橋雅之 1947 (昭和 22) -  
TAKAHASHI Masayuki

BRIDGE-N

BRIDGE-N

昭和 57 年 セリグラフ、紙

1982 Serigraph on paper

28.5×43.5cm

左下にエディション「2/50」、中下にタイトル「BRIDGE-N」、右下サイン「'82 m. Takahashi」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※美学校シルクスクリーンプリントシンポジウム作品

P-1211



173  
高柳裕 1941 (昭和 16) -  
TAKAYANAGI Yutaka

魚座

Pisces

昭和 48 年 金属凸版、紙

1973 Metal letterpress on paper

40.0×50.1cm

左下にエディション「37/67」、中下にタイトル「pisces」、右下にサイン「yutaka Takayanagi '73」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1212



174  
高柳裕 1941 (昭和 16) -  
TAKAYANAGI Yutaka

獅子座

Leo

昭和 49 年 金属凸版、紙

1974 Metal letterpress on paper

50.2×40.1cm

左下にエディション「1/33」、中下にタイトル「Leo」、右下にサイン「Yutaka Takayanagi '74」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1213



175  
高柳裕 1941 (昭和 16) -  
TAKAYANAGI Yutaka

空からのおくりもの

Gift from Sky

昭和 48 年 金属凸版、紙

1973 Metal letterpress on paper

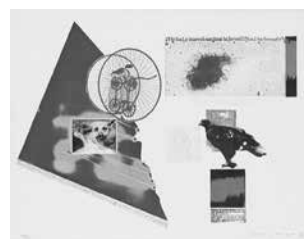
43.3×59.0cm

左下にエディション「10/50」、右下にサイン「y. Takayanagi '73」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※現代版画センター発表時のタイトルは《空からの贈りもの》

P-1214





176

戸張孤雁 1882 (明治15) - 1927 (昭和2)

TOBARI Kogan

年賀状

New Year's Card

制作年不詳 (原版本より後刷り: 昭和51年) 木版、紙

Date Unknown (printed in 1976) Woodcut on paper

10.0×15.3cm

台紙に貼付、台紙下部にタイトル等「戸張孤雁 木版小品 (1921年 年賀状) /

原版本より後摺り / 限定275部の内165番 / 摺り 五所菊雄 / 後摺り刊行

昭和51年6月30日 / 発行者 現代版画センター」

平成29年度有限会社ワタヌキ / ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1215



177

戸張孤雁 1882 (明治15) - 1927 (昭和2)

TOBARI Kogan

小品

Small Piece

制作年不詳 (原版本より後刷り: 昭和51年) 木版、紙

Date Unknown (printed in 1976) Woodcut on paper

9.0×13.5cm

台紙に貼付、台紙下部にタイトル等「戸張孤雁 木版小品 /

原版本より後摺り / 限定275部の内165番 / 摺り 五所菊雄 / 後摺り刊行 昭和51年6月30日 /

発行者 現代版画センター」

平成29年度有限会社ワタヌキ / ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1216



178

難波田龍起 1905 (明治38) - 1997 (平成9)

NAMBATA Tatsuoki

海の風

Ocean Wind

昭和52年 エッチング、紙

1977 Etching on paper

18.0×27.9cm

左下にエディション「4/35」、右下にサイン「77 Tatsuoki Nambata」

平成29年度有限会社ワタヌキ / ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1217



179

難波田龍起 1905 (明治38) - 1997 (平成9)

NAMBATA Tatsuoki

立ち話

Stand Talking

昭和52年 エッチング、紙

1977 Etching on paper

8.7×6.2cm

左下にエディション「47/95」、右下にサイン「77 Tatsuoki Nambata」

平成29年度有限会社ワタヌキ / ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1218



180

難波田龍起 1905 (明治38) - 1997 (平成9)

NAMBATA Tatsuoki

海辺

Beach

昭和52年 エッチング、紙

1977 Etching on paper

7.7×5.7cm

左下にエディション「4/95」、右下にサイン「77 Tatsuoki Nambata」

平成29年度有限会社ワタヌキ / ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1219



181

難波田龍起 1905 (明治 38) - 1997 (平成 9)

NAMBATA Tatsuoki

聖堂のある風景

Landscape with Shrine

昭和 53 年 エッチング、アクアチント、紙

1978 Etching and aquatint on paper

21.0×12.0cm

左下にエディション「10/75」、右下にサイン「Tatsuoki Nambata」

平成 29 年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※銅版画集『街と人』所収

P-1220



182

難波田龍起 1905 (明治 38) - 1997 (平成 9)

NAMBATA Tatsuoki

明るい町

Bright Town

昭和 53 年 エッチング、紙

1978 Etching on paper

20.0×15.0cm

左下にエディション「10/75」、右下にサイン「Tatsuoki Nambata」

平成 29 年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※銅版画集『街と人』所収

P-1221



183

難波田龍起 1905 (明治 38) - 1997 (平成 9)

NAMBATA Tatsuoki

母と子

Mother and Child

昭和 53 年 エッチング、紙

1978 Etching on paper

20.0×15.0cm

左下にエディション「10/75」、右下にサイン「Tatsuoki Nambata」

平成 29 年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※銅版画集『街と人』所収

P-1222



184

難波田龍起 1905 (明治 38) - 1997 (平成 9)

NAMBATA Tatsuoki

郊外の家々

Houses in the Suburb

昭和 53 年 エッチング、紙

1978 Etching on paper

20.0×15.0cm

左下にエディション「10/75」、右下にサイン「Tatsuoki Nambata」

平成 29 年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※銅版画集『街と人』所収

P-1223



185

難波田龍起 1905 (明治 38) - 1997 (平成 9)

NAMBATA Tatsuoki

幻の館

Illusional Mansions

昭和 53 年 エッチング、アクアチント、紙

1978 Etching and aquatint on paper

21.0×12.0cm

左下にエディション「10/75」、右下にサイン「Tatsuoki Nambata」

平成 29 年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※銅版画集『街と人』所収

P-1224



186

難波田龍起 1905 (明治 38) - 1997 (平成 9)

NAMBATA Tatsuoki

つどう人々

Gathering People

昭和 53 年 エッチング、紙

1978 Etching on paper

13.0×16.0cm

左下にエディション「10/75」、右下にサイン「Tatsuoki Nambata」

平成 29 年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※銅版画集『街と人』所収

P-1225



187

難波田龍起 1905 (明治 38) - 1997 (平成 9)

NAMBATA Tatsuoki

人影

Figure

昭和 53 年 エッチング、アクアチント、紙

1978 Etching and aquatint on paper

21.0×12.0cm

左下にエディション「10/75」、右下にサイン「Tatsuoki Nambata」

平成 29 年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※銅版画集『街と人』所収

P-1226



188

難波田龍起 1905 (明治 38) - 1997 (平成 9)

NAMBATA Tatsuoki

藻のささやき

Whisper of Seaweed

昭和 53 年 エッチング、アクアチント、紙

1978 Etching and aquatint on paper

21.0×12.0cm

左下にエディション「4/75」、右下にサイン「Tatsuoki Nambata」

平成 29 年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※銅版画集『海辺の詩』所収

P-1227



189

難波田龍起 1905 (明治 38) - 1997 (平成 9)

NAMBATA Tatsuoki

枯葉の舞い

Dead Leaves Fluttering

昭和 53 年 エッチング、アクアチント、紙

1978 Etching and aquatint on paper

21.0×12.0cm

左下にエディション「4/75」、右下にサイン「Tatsuoki Nambata」

平成 29 年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※銅版画集『海辺の詩』所収

P-1228



190

難波田龍起 1905 (明治 38) - 1997 (平成 9)

NAMBATA Tatsuoki

朝の散歩

Walk in the Morning

昭和 53 年 エッチング、アクアチント、紙

1978 Etching and aquatint on paper

21.0×12.0cm

左下にエディション「4/75」、右下にサイン「Tatsuoki Nambata」

平成 29 年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※銅版画集『海辺の詩』所収

P-1229



191

難波田龍起 1905 (明治 38) - 1997 (平成 9)

NAMBATA Tatsuoki

砂丘

Dune

昭和 53 年 エッチング、アクアチント、紙

1978 Etching and aquatint on paper

20.0×15.0cm

左下にエディション「4/75」、右下にサイン「Tatsuoki Nambata」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※銅版画集『海辺の詩』所収

P-1230



192

難波田龍起 1905 (明治 38) - 1997 (平成 9)

NAMBATA Tatsuoki

海の静物

Still Life in the Ocean

昭和 53 年 エッチング、アクアチント、紙

1978 Etching and aquatint on paper

20.0×15.0cm

左下にエディション「4/75」、右下にサイン「Tatsuoki Nambata」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※銅版画集『海辺の詩』所収

P-1231



193

難波田龍起 1905 (明治 38) - 1997 (平成 9)

NAMBATA Tatsuoki

追憶

Remembrance

昭和 53 年 エッチング、アクアチント、紙

1978 Etching and aquatint on paper

20.0×15.0cm

左下にエディション「4/75」、右下にサイン「Tatsuoki Nambata」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※銅版画集『海辺の詩』所収

P-1232



194

難波田龍起 1905 (明治 38) - 1997 (平成 9)

NAMBATA Tatsuoki

かたらい

Conversation

昭和 53 年 エッチング、アクアチント、紙

1978 Etching and aquatint on paper

18.3×15.0cm

左下にエディション「4/75」、右下にサイン「Tatsuoki Nambata」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※銅版画集『海辺の詩』所収

P-1233



195

難波田龍起 1905 (明治 38) - 1997 (平成 9)

NAMBATA Tatsuoki

古風な街

Antique Town

昭和 53 年 エッチング、アクアチント、紙

1978 Etching and aquatint on paper

19.5×14.8cm

左下にエディション「73/75」、右下にサイン「Tatsuoki Nambata」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1234



196

難波田龍起 1905 (明治 38) - 1997 (平成 9)

NAMBATA Tatsuoki

昼と夜

Day and Night

昭和 53 年 エッチング、アクアチント、紙

1978 Etching and aquatint on paper

20.0×15.0cm

左下にエディション「E.A.」、右下にサイン「Tatsuoki Nambata」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1235



197

難波田龍起 1905 (明治 38) - 1997 (平成 9)

NAMBATA Tatsuoki

石の時間

Time of Stone

昭和 54 年 リトグラフ、紙

1979 Lithograph on paper

60.0×100.0cm

左下にエディション「E.A.」、右下にサイン「Tatsuoki Nambata」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1236



198

難波田龍起 1905 (明治 38) - 1997 (平成 9)

NAMBATA Tatsuoki

樹の波

Wave of Tree

昭和 54 年 リトグラフ、紙

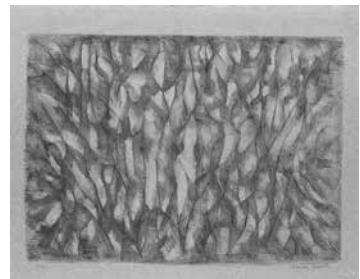
1979 Lithograph on paper

39.5×55.0cm

左下にエディション「28/50」、右下にサイン「Tatsuoki Nambata」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1237



199

野田哲也 1940 (昭和 15) -

NODA Tetsuya

Diary; Nov.18th '76 (a)

Diary; Nov.18th '76 (a)

昭和 52 年 木版、セリグラフ、紙

1977 Woodcut and serigraph on paper

47.2×36.8cm

左下にタイトル「Diary; Nov.18th '76 (a)」、右下にエディション、サイン「1/100 t.noda」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※「現代と声」企画作品

P-1238



200

野田哲也 1940 (昭和 15) -

NODA Tetsuya

Diary; Jan.15th '77

Diary; Jan.15th '77

昭和 52 年 木版、セリグラフ、紙

1977 Woodcut and serigraph on paper

35.7×50.8cm

左下にタイトル「Diary; Jan.15th '77」、右下にエディション、サイン「1/100 t.noda」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※「現代と声」企画作品

P-1239



201

野田哲也 1940 (昭和 15) -

NODA Tetsuya

Diary; May 17th '83

Diary; May 17th '83

昭和 59 年 木版、セリグラフ、紙

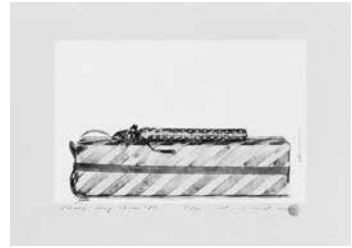
1984 Woodcut and serigraph on paper

19.8×30.8cm

左下にタイトル「Diary; May 17th '83」、右下にエディション、サイン「3/60 t.noda」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1240



202

林芳史 1943 (昭和 18) - 2001 (平成 13)

HAYASHI Yoshifumi

筆触

Handwriting Touch

昭和 56 年 銅版、紙

1981 Copperplate print on paper

36.5×46.5 cm

左下にエディション「12/35」、中下にタイトル「筆触」、右下にサイン「林 芳史」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1241



203

藤江民 1950 (昭和 25) -

FUJIE Tami

ざ行・い

Line Za; "I"

昭和 57 年 リトグラフ、紙

1982 Lithograph on paper

80.0×57.0 cm

左下にエディション「7/30」、タイトル「ざ行・い」、右下にサイン「Fujie '82」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1242



204

藤江民 1950 (昭和 25) -

FUJIE Tami

ふときこえたような

Seems Something was heard suddenly

昭和 58 年 リトグラフ、紙

1983 Lithograph on paper

80.0×60.0cm

左下にエディション「26/30」、右下にサイン「Fujie '83」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1243



205

藤江民 1950 (昭和 25) -

FUJIE Tami

さざなみ I

Ripple I

昭和 59 年 リトグラフ、紙

1984 Lithograph on paper

85.0×62.0cm

左下にエディション「20/30」、右下にサイン「Fujie '84」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1244



206

舟越保武 1912 (大正元) - 2002 (平成 14)

FUNAKOSHI Yasutake

若い女 A

Young Woman A

昭和 59 年 リトグラフ、紙

1984 Lithograph on paper

51.0×39.0cm

左下にエディション「91/170」、右下にサイン「yasutake 舟」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※『舟越保武石版画集』所収

P-1245



207

舟越保武 1912 (大正元) - 2002 (平成 14)

FUNAKOSHI Yasutake

若い女 B

Young Woman B

昭和 59 年 リトグラフ、紙

1984 Lithograph on paper

48.5×37.0cm

左下にエディション「120/170」、右下にサイン「yasutake 舟」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※『舟越保武石版画集』所収

P-1246



208

舟越保武 1912 (大正元) - 2002 (平成 14)

FUNAKOSHI Yasutake

聖クララ

St. Clare

昭和 59 年 リトグラフ、紙

1984 Lithograph on paper

51.0×42.0cm

左下にエディション「91/170」、右下にサイン「yasutake 舟」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※『舟越保武石版画集』所収

P-1247



209

堀浩哉 1947 (昭和 22) -

HORI Kosai

公園

Park

昭和 57 年 セリグラフ、紙

1982 Serigraph on paper

62.0×46.5cm

左下にエディション「17/50」、右下にサイン「Hori '82」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※美学校シルクスクリーンプリントシンポジウム作品

P-1248



210

堀浩哉 1947 (昭和 22) -

HORI Kosai

熱風 1

Hot Wind 1

昭和 59 年 セリグラフ、紙

1984 Serigraph on paper

76.0×56.0cm

左下にエディション「31/150」、右下にサイン「'84 Hori」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1249



211  
堀浩哉 1947 (昭和 22) -  
HORI Kosai  
熱風 2  
Hot Wind 2  
昭和 59 年 セリグラフ、紙  
1984 Serigraph on paper  
76.0×56.0cm  
左下にエディション「44/150」、右下にサイン「84 Hori」  
平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈  
P-1250



212  
堀内正和 1911 (明治 44) - 2001 (平成 13)  
HORIUCHI Masakazu  
咬みあう二つの形  
Two Shapes Biting Each Other  
昭和 52 年 セリグラフ、紙  
1977 Serigraph on paper  
20.0×28.5cm  
左下にエディション「70/75」、右下にサイン「Horiuchi」  
平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈  
P-1251



213  
堀内正和 1911 (明治 44) - 2001 (平成 13)  
HORIUCHI Masakazu  
三つの矩形  
Three Shapes  
昭和 52 年 セリグラフ、紙  
1977 Serigraph on paper  
20.0×28.0cm  
左下にエディション「5/75」、右下にサイン「Horiuchi」  
平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈  
P-1252



214  
堀内正和 1911 (明治 44) - 2001 (平成 13)  
HORIUCHI Masakazu  
かたむくカタチ  
Inclining Shapes  
昭和 57 年 セリグラフ、紙  
1982 Serigraph on paper  
47.5×63.0cm  
左下にエディション「18/75」、右下にサイン「Horiuchi」  
平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈  
P-1253



215  
本田眞吾 1944 (昭和 19) -  
HONDA Shingo  
EXTENSION No.31  
EXTENSION No.31  
昭和 52 年 凸版、紙  
1977 Letterpress on paper  
37.0×50.0cm  
右下にタイトル等「EXTENSION No.31 1/50 1977 SHINGO HONDA」  
平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈  
P-1254





216

本田真吾 1944 (昭和 19) -

HONDA Shingo

EXTENSION No.32

EXTENSION No.32

昭和 52 年 凸版、紙

1977 Letterpress on paper

37.0×50.0cm

左下にタイトル等「EXTENSION No.32 5/45 1977 SHINGO HONDA」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1255



217

本田真吾 1944 (昭和 19) -

HONDA Shingo

SCHERZO No.1

SCHERZO No.1

昭和 56 年 セリグラフ、紙

1981 Serigraph on paper

28.0×22.0cm

左下にエディション「25/200」、中下にタイトル「SCHERZO No.1」、右下にサイン「Shingo H」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『SCHERZO 1981』所収

P-1256



218

本田真吾 1944 (昭和 19) -

HONDA Shingo

SCHERZO No.2

SCHERZO No.2

昭和 56 年 セリグラフ、紙

1981 Serigraph on paper

28.0×22.0cm

左下にエディション「25/200」、中下にタイトル「SCHERZO No.2」、右下にサイン「Shingo H」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『SCHERZO 1981』所収

P-1257



219

本田真吾 1944 (昭和 19) -

HONDA Shingo

SCHERZO No.3

SCHERZO No.3

昭和 56 年 セリグラフ、紙

1981 Serigraph on paper

28.0×22.0cm

左下にエディション「25/200」、中下にタイトル「SCHERZO No.3」、右下にサイン「Shingo H」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『SCHERZO 1981』所収

P-1258



220

本田真吾 1944 (昭和 19) -

HONDA Shingo

SCHERZO No.4

SCHERZO No.4

昭和 56 年 セリグラフ、紙

1981 Serigraph on paper

28.0×22.0cm

左下にエディション「25/200」、中下にタイトル「SCHERZO No.4」、右下にサイン「Shingo H」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『SCHERZO 1981』所収

P-1259



221

本田真吾 1944 (昭和 19) -

HONDA Shingo

SCHERZO No.5

SCHERZO No.5

昭和 56 年 セリグラフ、紙

1981 Serigraph on paper

28.0×22.0cm

左下にエディション「25/200」、中下にタイトル「SCHERZO No.5」、右下にサイン「Shingo H」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『SCHERZO 1981』所収

P-1260



222

松本晃 1936 (昭和 11) -

MATSUMOTO Akira

配色 (Chart-8)

Coloration; Chart-8

昭和 57 年 セリグラフ、紙

1982 Serigraph on paper

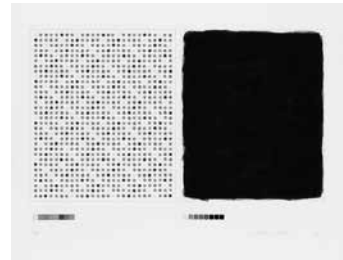
37.0×57.0cm

左下にエディション「1/50」、右下にサイン「a matsumoto '82」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※美学校シルクスクリーンプリントシンポジウム作品

P-1261



223

宮脇愛子 1929 (昭和 4) - 2014 (平成 26)

MIYAWAKI Aiko

作品 I

Work I

昭和 55 年 エッチング、紙

1980 Etching on paper

6.7×13.4cm

左下にエディション「34/50」、右下にサイン「Aiko」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※銅版画集『宮脇愛子 1980』所収

P-1262



224

宮脇愛子 1929 (昭和 4) - 2014 (平成 26)

作品 II

Work II

昭和 55 年 エッチング、紙

1980 Etching on paper

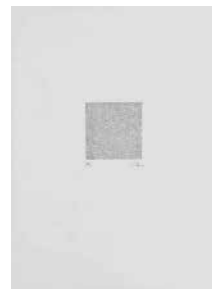
9.3×9.3cm

左下にエディション「34/50」、右下にサイン「Aiko」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※銅版画集『宮脇愛子 1980』所収

P-1263



225

宮脇愛子 1929 (昭和 4) - 2014 (平成 26)

MIYAWAKI Aiko

作品 III

Work III

昭和 55 年 エッチング、紙

1980 Etching on paper

9.4×10.4cm

左下にエディション「34/50」、右下にサイン「Aiko」

平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※銅版画集『宮脇愛子 1980』所収

P-1264



226

宮脇愛子 1929 (昭和4) - 2014 (平成26)

MIYAWAKI Aiko

作品 IV

Work IV

昭和55年 エッチング、紙

1980 Etching on paper

9.2×11.0cm

左下にエディション「34/50」、右下にサイン「Aiko」

平成29年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※銅版画集『宮脇愛子 1980』所収

P-1265



227

宮脇愛子 1929 (昭和4) - 2014 (平成26)

MIYAWAKI Aiko

作品 V

Work V

昭和55年 エッチング、紙

1980 Etching on paper

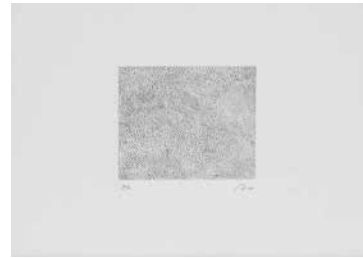
15.1×18.1cm

左下にエディション「34/50」、右下にサイン「Aiko」

平成29年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※銅版画集『宮脇愛子 1980』所収

P-1266



228

宮脇愛子 1929 (昭和4) - 2014 (平成26)

MIYAWAKI Aiko

作品 VI

Work VI

昭和55年 エッチング、紙

1980 Etching on paper

29.8×12.3cm

左下にエディション「34/50」、右下にサイン「Aiko」

平成29年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※銅版画集『宮脇愛子 1980』所収

P-1267



229

宮脇愛子 1929 (昭和4) - 2014 (平成26)

MIYAWAKI Aiko

無題

Untitled

昭和55年 エッチング、紙

1980 Etching on paper

35.8×20.0cm

左下にエディション「3/25」、右下にサイン「Aiko」

平成29年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1268



230

宮脇愛子 1929 (昭和4) - 2014 (平成26)

MIYAWAKI Aiko

作品 74-A

Work 74-A

昭和55年 エッチング、紙

1980 Etching on paper

17.6×13.9cm

左下にエディション「5/25」、右下にサイン「Aiko」

平成29年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1269



231

宮脇愛子 1929 (昭和4) - 2014 (平成26)

MIYAWAKI Aiko

作品 74-B

Work 74-B

昭和55年 エッチング、紙

1980 Etching on paper

4.9×4.9cm

左下にエディション「5/25」、右下にサイン「Aiko」

平成29年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1270



232

宮脇愛子 1929 (昭和4) - 2014 (平成26)

MIYAWAKI Aiko

作品 77-A

Work 77-A

昭和55年 エッチング、紙

1980 Etching on paper

7.2×14.0cm

左下にエディション「19/25」、右下にサイン「Aiko」

平成29年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1271



233

宮脇愛子 1929 (昭和4) - 2014 (平成26)

MIYAWAKI Aiko

UTSUROHI k

UTSUROHI k

昭和59年 セリグラフ、紙

1984 Serigraph on paper

28.5×44.5cm

左下にエディション「20/20」、右下にサイン「Aiko」

平成29年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『UTSUROHI BLUE』所収

P-1272



234

宮脇愛子 1929 (昭和4) - 2014 (平成26)

MIYAWAKI Aiko

UTSUROHI l

UTSUROHI l

昭和59年 セリグラフ、紙

1984 Serigraph on paper

30.5×44.5cm

左下にエディション「20/20」、右下にサイン「Aiko」

平成29年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『UTSUROHI BLUE』所収

P-1273



235

宮脇愛子 1929 (昭和4) - 2014 (平成26)

MIYAWAKI Aiko

UTSUROHI m

UTSUROHI m

昭和59年 セリグラフ、紙

1984 Serigraph on paper

31.5×44.5cm

左下にエディション「20/20」、右下にサイン「Aiko」

平成29年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『UTSUROHI BLUE』所収

P-1274



236

宮脇愛子 1929 (昭和4) - 2014 (平成26)

MIYAWAKI Aiko

UTSUROHI n

UTSUROHI n

昭和59年 セリグラフ、紙

1984 Serigraph on paper

31.5×44.5cm

左下にエディション「20/20」、右下にサイン「Aiko」

平成29年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『UTSUROHI BLUE』所収

P-1275



237

宮脇愛子 1929 (昭和4) - 2014 (平成26)

MIYAWAKI Aiko

UTSUROHI o

UTSUROHI o

昭和59年 セリグラフ、紙

1984 Serigraph on paper

31.5×44.5cm

左下にエディション「4/20」、右下にサイン「Aiko」

平成29年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『UTSUROHI BLUE』所収

P-1276



238

元永定正 1922 (大正11) - 2011 (平成23)

MOTONAGA Sadamasa

はははは

Ha Ha Ha Ha

昭和52年 セリグラフ、紙

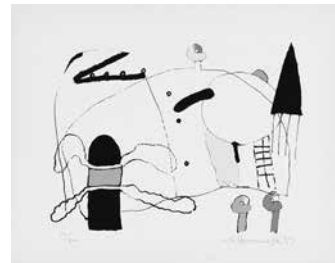
1977 Serigraph on paper

15.0×19.0cm

左下にエディション「10/500」、右下にサイン「s. motonaga '77」

平成29年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1277



239

元永定正 1922 (大正11) - 2011 (平成23)

MOTONAGA Sadamasa

しろいひかりがでてきているみたい

Seems White Light is Emerging

昭和52年 セリグラフ、紙

1977 Serigraph on paper

61.0×47.0cm

左下にエディション「A.P.」、右下にサイン「s. motonaga '77」

平成29年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※「現代と声」企画作品

P-1278



240

元永定正 1922 (大正11) - 2011 (平成23)

MOTONAGA Sadamasa

おれんじのなかで

In the Orange

昭和52年 セリグラフ、紙

1977 Serigraph on paper

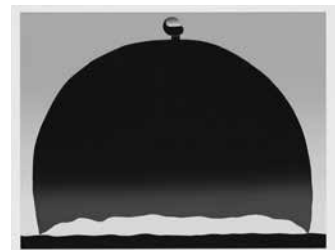
47.0×61.0cm

左下にエディション「1/100」、右下にサイン「s. motonaga '77」

平成29年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※「現代と声」企画作品

P-1279



241

元永定正 1922 (大正 11) - 2011 (平成 23)

MOTONAGA Sadamasa

いろいろ

IIRORO

昭和 52 年 セリグラフ、紙

1977 Serigraph on paper

47.0×61.0cm

左下にエディション「1/100」、右下にサイン「s. motonaga '77」

平成 29 年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※「現代と声」企画作品

P-1280



242

元永定正 1922 (大正 11) - 2011 (平成 23)

MOTONAGA Sadamasa

またぐ

Stride

昭和 54 年 セリグラフ、紙

1979 Serigraph on paper

27.5×22.0cm

左下にエディション「18/350」、右下にサイン「s. motonaga」

平成 29 年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1281



243

元永定正 1922 (大正 11) - 2011 (平成 23)

MOTONAGA Sadamasa

ぎざぎざ

Giza Giza

昭和 54 年 セリグラフ、紙

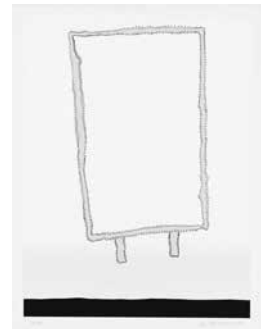
1979 Serigraph on paper

60.0×45.0cm

左下にエディション「92/150」、右下にサイン「s. motonaga」

平成 29 年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1282



244

元永定正 1922 (大正 11) - 2011 (平成 23)

MOTONAGA Sadamasa

おれおれまがり

Folding, Folding, Bending

昭和 54 年 セリグラフ、紙

1979 Serigraph on paper

45.0×60.0cm

左下にエディション「1/150」、右下にサイン「s. motonaga」

平成 29 年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1283



245

元永定正 1922 (大正 11) - 2011 (平成 23)

MOTONAGA Sadamasa

みぎひだり

Right, Left

昭和 54 年 セリグラフ、紙

1979 Serigraph on paper

95.0×43.0cm

左下にエディション「69/85」、右下にサイン「s. motonaga」

平成 29 年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1284



246

元永定正 1922 (大正 11) - 2011 (平成 23)

MOTONAGA Sadamasa

さんかく

Triangle

昭和 54 年 セリグラフ、紙

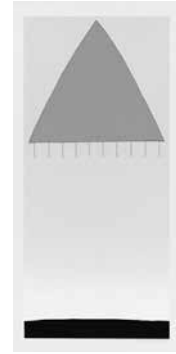
1979 Serigraph on paper

95.0×43.0cm

左下にエディション「57/85」、右下にサイン「s. motonaga」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1285



247

元永定正 1922 (大正 11) - 2011 (平成 23)

MOTONAGA Sadamasa

のびるしろ

Stretching White

昭和 56 年 セリグラフ、紙

1981 Serigraph on paper

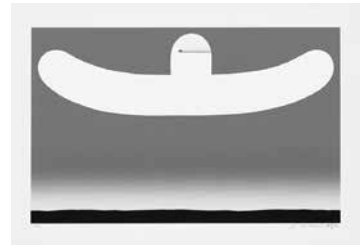
36.0×57.0cm

左下にエディション「28/150」、右下にサイン「s. motonaga」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※『元永定正版画集 1981』所収

P-1286



248

元永定正 1922 (大正 11) - 2011 (平成 23)

MOTONAGA Sadamasa

さんかくしかくながはいまる

Triangle, Square, Long Circle

昭和 56 年 セリグラフ、紙

1981 Serigraph on paper

36.0×57.0cm

左下にエディション「130/150」、右下にサイン「s. motonaga」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※『元永定正版画集 1981』所収

P-1287



249

元永定正 1922 (大正 11) - 2011 (平成 23)

MOTONAGA Sadamasa

しろいせんのみみめから

From the Meshes of White Lines

昭和 56 年 セリグラフ、紙

1981 Serigraph on paper

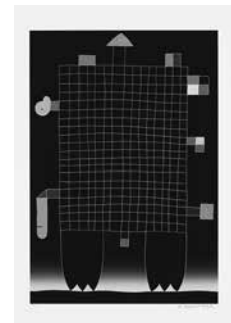
55.0×38.0cm

左下にエディション「18/150」、右下にサイン「s. motonaga」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※『元永定正版画集 1981』所収

P-1288



250

柳澤紀子 1940 (昭和 15) -

YANAGISAWA Noriko

時の移ろい—夏めく

Passing of Time - Summer

昭和 57 年 エッチング、アキュアチント、メゾチント、セリグラフ、紙

1982 Etching, aquatint, mezzotint and serigraph on paper

36.5×48.0cm

左下にエディション「33/50」、右下にサイン「82 noriko yanagisawa」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『時の移ろい』所収

P-1289



251

柳澤紀子 1940 (昭和 15) -

YANAGISAWA Noriko

時の移ろい—白昼

Passing of Time - Daylight

昭和 57 年 エッチング、アクアチント、メゾチント、セリグラフ、紙

1982 Etching, aquatint, mezzotint and serigraph on paper

30.5×47.0cm

左下にエディション「33/50」、右下にサイン「'82 noriko yanagisawa」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『時の移ろい』所収

P-1290



252

柳澤紀子 1940 (昭和 15) -

YANAGISAWA Noriko

時の移ろい—残花

Passing of Time - Remained Flower

昭和 57 年 エッチング、アクアチント、メゾチント、セリグラフ、紙

1982 Etching, aquatint, mezzotint and serigraph on paper

35.0×48.0cm

左下にエディション「33/50」、右下にサイン「'82 noriko yanagisawa」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『時の移ろい』所収

P-1291



253

柳澤紀子 1940 (昭和 15) -

YANAGISAWA Noriko

詩画集『海へ』

To the Ocean

昭和 59 年 エッチング、ルーレット、手彩色、紙

1984 Etching, Roulette and hand coloring on paper

34.8×29.2cm (本の外寸)

詩：岡田隆彦

P-1292

(1) 序

Introduction

11.4×13.2cm

下部にエディション、サイン「20/70 n.yanagisawa」

P-1292(1)



(2) I

I

10.5×14.0cm

下部にエディション、サイン「20/70 n.yanagisawa」

P-1292(2)





(3) II

II

11.4×16.0cm

下部にエディション、サイン「20/70 n.yanagisawa」

P-1292(3)



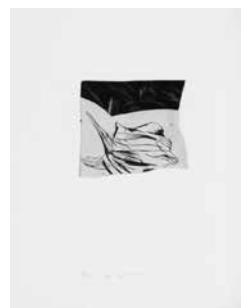
(4) III

III

10.8×12.0cm

下部にエディション、サイン「20/70 n.yanagisawa」

P-1292(4)



(5) IV

IV

9.2×15.2cm

下部にエディション、サイン「20/70 n.yanagisawa」

P-1292(5)



(6) V

V

11.4×16.0cm

下部にエディション、サイン「20/70 n.yanagisawa」

P-1292(6)



(7) VI

VI

10.2×15.8cm

下部にエディション、サイン「20/70 n.yanagisawa」

P-1292(7)



(8) VII

VII

11.3×16.2cm

下部にエディション、サイン「20/70 n.yanagisawa」

P-1292(8)



254

山口勝弘 1928 (昭和3) - 2018 (平成30)

YAMAGUCHI Katsuhiro

Cの關係

Relationship of C

昭和56年 セリグラフ、紙

1981 Serigraph on paper

40.0×50.0cm

左下にエディション「31/50」、右下にサイン「k.yamaguchi」

平成29年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『ANTHOLOGICAL PRINTS 1954-1981』所収

P-1293



255

山口勝弘 1928 (昭和3) - 2018 (平成30)

YAMAGUCHI Katsuhiro

港

Port

昭和56年 セリグラフ、紙

1981 Serigraph on paper

63.0×49.0cm

左下にエディション「31/50」、右下にサイン「k.yamaguchi」

平成29年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『ANTHOLOGICAL PRINTS 1954-1981』所収

P-1294



256

山口勝弘 1928 (昭和3) - 2018 (平成30)

YAMAGUCHI Katsuhiro

光の立方体

Cube of Light

昭和56年 セリグラフ、紙

1981 Serigraph on paper

59.0×46.0cm

左下にエディション「31/50」、右下にサイン「k.yamaguchi」

平成29年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『ANTHOLOGICAL PRINTS 1954-1981』所収

P-1295



257

山口勝弘 1928 (昭和3) - 2018 (平成30)

YAMAGUCHI Katsuhiro

夜の進行

Deep into the Night

昭和56年 セリグラフ、紙

1981 Serigraph on paper

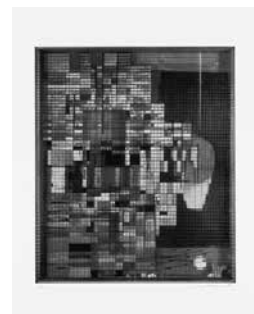
47.0×40.0cm

左下にエディション「31/50」、右下にサイン「k.yamaguchi」

平成29年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『ANTHOLOGICAL PRINTS 1954-1981』所収

P-1296



258

山口勝弘 1928 (昭和3) - 2018 (平成30)

YAMAGUCHI Katsuhiko

静かな昇天

Quiet Ascension

昭和56年 セリグラフ、紙

1981 Serigraph on paper

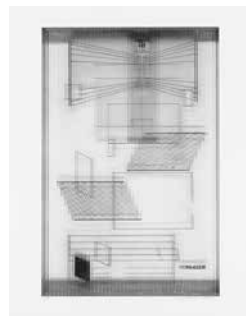
54.5×36.0cm

左下にエディション「31/50」、右下にサイン「k.yamaguchi」

平成29年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『ANTHOLOGICAL PRINTS 1954-1981』所収

P-1297



259

山口勝弘 1928 (昭和3) - 2018 (平成30)

YAMAGUCHI Katsuhiko

赤い街

Red Town

昭和56年 セリグラフ、紙

1981 Serigraph on paper

36.0×54.0cm

左下にエディション「31/50」、右下にサイン「k.yamaguchi」

平成29年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『ANTHOLOGICAL PRINTS 1954-1981』所収

P-1298



260

山口勝弘 1928 (昭和3) - 2018 (平成30)

YAMAGUCHI Katsuhiko

ペン

Pen

昭和56年 セリグラフ、紙

1981 Serigraph on paper

59.0×46.0cm

左下にエディション「31/50」、右下にサイン「k.yamaguchi」

平成29年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『ANTHOLOGICAL PRINTS 1954-1981』所収

P-1299



261

山口勝弘 1928 (昭和3) - 2018 (平成30)

YAMAGUCHI Katsuhiko

推力 No.2

Jet No.2

昭和56年 セリグラフ、紙

1981 Serigraph on paper

45.0×59.5cm

左下にエディション「31/50」、右下にサイン「k.yamaguchi」

平成29年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『ANTHOLOGICAL PRINTS 1954-1981』所収

P-1300



262

山口勝弘 1928 (昭和3) - 2018 (平成30)

YAMAGUCHI Katsuhiko

万華鏡

Kaleidoscope

昭和56年 セリグラフ、紙

1981 Serigraph on paper

59.0×46.0cm

左下にエディション「31/50」、右下にサイン「k.yamaguchi」

平成29年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『ANTHOLOGICAL PRINTS 1954-1981』所収

P-1301



263

山口勝弘 1928 (昭和3) - 2018 (平成30)

YAMAGUCHI Katsuhiko

Kinetic Fountain

Kinetic Fountain

昭和56年 セリグラフ、紙

1981 Serigraph on paper

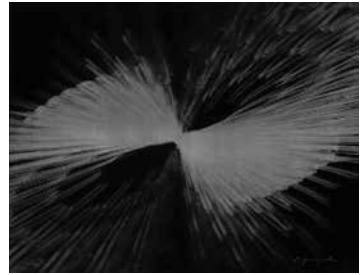
49.0×63.0cm

左下にエディション「31/50」、右下にサイン「k.yamaguchi」

平成29年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※版画集『ANTHOLOGICAL PRINTS 1954-1981』所収

P-1302



264

吉田克朗 1943 (昭和18) - 1999 (平成11)

YOSHIDA Katsurou

work 117

work 117

昭和57年 セリグラフ、紙

1982 Serigraph on paper

42.0×56.0cm

中下にタイトル「work 117」、右下にエディション、サイン「36/50 Katsuro Yoshida 1982」

平成29年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

※美学校シルクスクリーンプリントシンポジウム作品

P-1303



265

吉原英雄 1931 (昭和6) - 2007 (平成19)

YOSHIHARA Hideo

詩画集『少年』

Boy

昭和52年

1977

31.2×24.8×1.7cm (本の外寸)

平成29年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

詩：松永伍一

P-1304

(1) 閉ざされた時間

Clozed time

昭和52年 エッチング、アクアチント、メゾチント、紙

1977 Etching, aquatint and mezzotint on paper

18.0×14.0cm

左下にエディション「76/85」、右下にサイン「h.yoshihara」

P-1304(1)



(2) トルソー

Torso

昭和52年 エッチング、紙

1977 Etching on paper

15.1×19.4cm

左下にエディション「76/85」、右下にサイン「h.yoshihara」

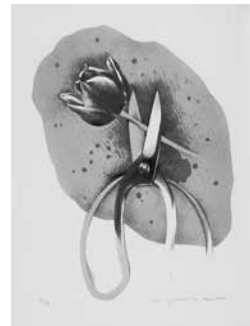
P-1304(2)



(3) 壁にはられたドローイングーレオナルド・ダ・ヴィンチ  
Drawing hung on the Wall - Leonardo da Vinci  
昭和 52 年 リトグラフ、紙  
1977 Lithograph on paper  
28.3×21.2cm  
左下にエディション「76/85」、右下にサイン「h.yoshihara」  
P-1304(3)



(4) 挑戦  
Challenge  
昭和 52 年 リトグラフ、紙  
1977 Lithograph on paper  
24.9×18.0cm  
左下にエディション「76/85」、右下にサイン「h.yoshihara」  
P-1304(4)



(5) 焦燥  
Fret  
昭和 52 年 エッチング、アクアチント、メゾチント、紙  
1977 Etching, aquatint and mezzotint on paper  
16.8×13.7cm  
左下にエディション「76/85」、右下にサイン「h.yoshihara」  
P-1304(5)



(6) 空白のページ  
Blank Page  
昭和 52 年 リトグラフ、紙  
1977 Lithograph on paper  
24.0×17.2cm  
左下にエディション「76/85」、右下にサイン「h.yoshihara」  
P-1304(6)



266  
ジョナス・メカス 1922 - 2019  
Jonas MEKAS  
セルフ・ポートレート、ラコステ (サド侯爵の城) の日蔭にて 1975  
Self-portrait in Shadow at Lacoste, the Castle of Marquis de Sade 1975  
1983 セリグラフ、紙  
1983 Serigraph on paper  
48.0×63.0cm  
左下にエディション「15/75」、右下にサイン「Jonas Mekas」  
平成 29 年度有限会社ワタヌキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈  
P-1305



267

ジョナス・メカス 1922 - 2019

Jonas MEKAS

モントーグのピーター・ビアード 1974

Peter Beard in Montauk 1974

1983 セリグラフ、紙

1983 Serigraph on paper

37.5×51.0cm

左下にエディション「26/75」、右下にサイン「Jonas Mekas」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1306



268

ジョナス・メカス 1922 - 2019

Jonas MEKAS

枝と葉の影を映し、雨滴に濡れた壁

A Wall with Raindrops and Shadows of Branches and Leaves

1983 セリグラフ、紙

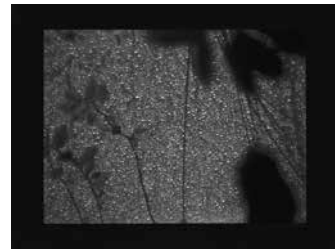
1983 Serigraph on paper

48.0×63.0cm

左下にエディション「17/75」、右下にサイン「Jonas Mekas」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1307



269

ジョナス・メカス 1922 - 2019

Jonas MEKAS

ウーナ・メカス 5 才 猫とホルス (母) の前でヴァイオリンの稽古 1979

Oona Mekas, Age 5, Practices Violin while the Cat and Hollis (Mother) 1979

1983 セリグラフ、紙

1983 Serigraph on paper

53.0×37.5cm

左下にエディション「32/75」、右下にサイン「Jonas Mekas」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1308



270

ジョナス・メカス 1922 - 2019

Jonas MEKAS

京子 7 才の誕生日 (ヨーコ・オノの愛娘) 1970

Kyoko's Seventh Birthday (Yoko Ono's Daughter) 1970

1983 セリグラフ、紙

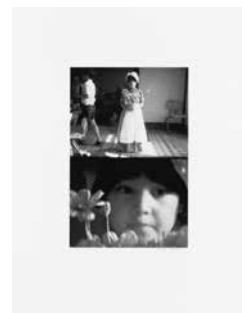
1983 Serigraph on paper

36.5×24.0cm

左下にエディション「3/75」、右下にサイン「Jonas Mekas」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1309



271

ジョナス・メカス 1922 - 2019

Jonas MEKAS

夜の街を走る車 マンハッタン

Cars in the Night Street, Manhattan

1983 セリグラフ、紙

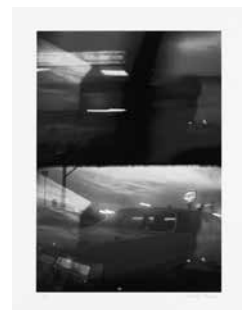
1983 Serigraph on paper

53.0×37.5cm

左下にエディション「9/75」、右下にサイン「Jonas Mekas」

平成 29 年度有限会社ワタスキノときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1310



272

ジョナス・メカス 1922 - 2019

Jonas MEKAS

ひなぎくを持ったケイト・マンハイム 1972

Kate Manheim with a Daisy 1972

1983 セリグラフ、紙

1983 Serigraph on paper

63.0×43.0cm

右下にサイン「Jonas Mekas」

平成 29 年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1311



273

アンディ・ウォーホル 1928 - 1987

Andy WARHOL

KIKU 1

KIKU 1

1983 セリグラフ、紙

1983 Serigraph on paper

50.0×66.0cm

平成 29 年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1312



274

アンディ・ウォーホル 1928 - 1987

Andy WARHOL

KIKU 2

KIKU 2

1983 セリグラフ、紙

1983 Serigraph on paper

50.0×66.0cm

平成 29 年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1313



275

アンディ・ウォーホル 1928 - 1987

Andy WARHOL

KIKU 3

KIKU 3

1983 セリグラフ、紙

1983 Serigraph on paper

50.0×66.0cm

平成 29 年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1314



276

アンディ・ウォーホル 1928 - 1987

Andy WARHOL

オリジナル版画入りカタログ『アンディ・ウォーホル』より、KIKU

KIKU from the Catalogue, *Andy Warhol*

1983 セリグラフ、紙

1983 Serigraph on paper

21.0×28.0cm

平成 29 年度有限会社ワタスキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

P-1315



277

加藤清之 1931 (昭和6) -

KATO Kiyoyuki

作品 '83-10

Work '83-10

昭和58年 陶

1983 Ceramic

18.0×20.0×13.0cm

平成29年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

A-50



278

関根伸夫 1942 (昭和17) -

SEKINE Nobuo

大地の点

Point of Ground

昭和57年 ステンレス

1982 Stainless

35.0×31.5×2.0cm

平成29年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

S-194



279

関根伸夫 1942 (昭和17) -

SEKINE Nobuo

ピラミッドの頂き

Top of Pyramid

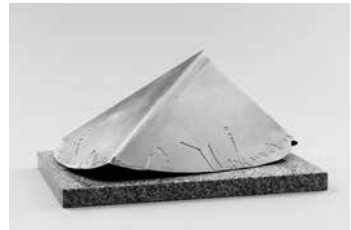
昭和57年 ステンレス

1982 Stainless

15.0×30.0×20.0cm

平成29年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

S-195



280

宮脇愛子 1929 (昭和4) - 2014 (平成26)

MIYAWAKI Aiko

Golden Egg A

Golden Egg A

昭和57年 ブロンズ

1982 Bronze

21.0×12.0×4.5cm

平成29年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

S-196



281

宮脇愛子 1929 (昭和4) - 2014 (平成26)

MIYAWAKI Aiko

Golden Egg B

Golden Egg B

昭和57年 ブロンズ

1982 Bronze

17.5×10.0×3.0cm

平成29年度有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏寄贈

S-197





## ■美術資料貸出等一覧

### ■美術作品の館外貸出

館外貸出点数： 16 件(展覧会) 66 点(点数)

作者名	作品名	展覧会名	会場	会期
レオナルド・フジタ	立てる裸婦	レオナルド・フジタとモデルたち	いわき市立美術館 新潟県立万代島美術館 秋田県立美術館	4/15-5/28 6/24-9/3 9/9-11/12
レオナルド・フジタ	横たわる裸婦	レオナルド・フジタとモデルたち	いわき市立美術館 新潟県立万代島美術館 秋田県立美術館	4/15-5/28 6/24-9/3 9/9-11/12
レオナルド・フジタ	二人の裸婦	レオナルド・フジタとモデルたち	いわき市立美術館 新潟県立万代島美術館 秋田県立美術館	4/15-5/28 6/24-9/3 9/9-11/12
藤田嗣治	横たわる裸婦と猫	レオナルド・フジタとモデルたち	秋田県立美術館	9/9-11/12
高松次郎	布の弛み	Jiro Takamatsu: The Temperature of Sculpture	Henry Moore Foundation	7/13-10/22
小茂田青樹	寒牡丹	小茂田青樹	島根県立美術館	7/14-8/28
小茂田青樹	麦踏	小茂田青樹	島根県立美術館	7/14-8/28
小茂田青樹	山兔	小茂田青樹	島根県立美術館	7/14-8/28
小茂田青樹	樹上猿	小茂田青樹	島根県立美術館	7/14-8/28
小茂田青樹	春の夜	小茂田青樹	島根県立美術館	7/14-8/28
小茂田青樹	鳴鶏	小茂田青樹	島根県立美術館	7/14-8/28
キスリング	リタ・ヴァン・リアの肖像	L I F E -楽園をもとめて	富山県美術館	8/26-11/5
モリス・ドニ	シャグマユリの聖母子	L I F E -楽園をもとめて	富山県美術館	8/26-11/5
鍋木清方	慶長風俗	没後 45 年 鍋木清方展	高松市美術館	9/9-10/15
本多天城	蓬萊山之図(寄託作品)	狩野芳崖と四天王 近代日本画、もうひとつの水脈	福井県立美術館 山梨県立美術館	9/15-10/22 11/3-12/17
本多天城	羅浮仙図(寄託作品)	狩野芳崖と四天王 近代日本画、もうひとつの水脈	福井県立美術館 山梨県立美術館	9/15-10/22 11/3-12/17
オーギュスト・ロダン	ウスタッシュ・ド・サン=ピエールの頭像	没後 30 年記念 高田博厚展	福井市美術館	9/16-11/5
エミール=アントワーン・ブールデル	チリーの女	没後 30 年記念 高田博厚展	福井市美術館	9/16-11/5
橋本雅邦	花鳥図	川原慶賀の植物図譜	長崎歴史文化博物館	10/7-11/26
横山大観	春雨 秋雨	川原慶賀の植物図譜	長崎歴史文化博物館	10/7-11/26
土田麦僊	甜瓜図	川原慶賀の植物図譜	長崎歴史文化博物館	10/7-11/26
瑛九	花	川原慶賀の植物図譜	長崎歴史文化博物館	10/7-11/26
丸木位里	紅梅	川原慶賀の植物図譜	長崎歴史文化博物館	10/7-11/26
武内鶴之助	アラシの夕	日本バステル畫事始め-武内鶴之助と矢崎千代二、二人の先駆者を中心に	目黒区美術館	10/14-11/26
武内鶴之助	静物	日本バステル畫事始め-武内鶴之助と矢崎千代二、二人の先駆者を中心に	目黒区美術館	10/14-11/26
斎藤豊作	読書する人	日本バステル畫事始め-武内鶴之助と矢崎千代二、二人の先駆者を中心に	目黒区美術館	10/14-11/26
斎藤豊作	春の山	日本バステル畫事始め-武内鶴之助と矢崎千代二、二人の先駆者を中心に	目黒区美術館	10/14-11/26
今村紫紅	龍虎	龍を描く一天地の気	茨城県天心記念五浦美術館	10/25-11/26
熊谷守一	裸	没後 40 年 熊谷守一 生きるよろこび	東京国立近代美術館	12/1-2018/3/21
熊谷守一	柴たく男	没後 40 年 熊谷守一 生きるよろこび	東京国立近代美術館	12/1-2018/3/21
小村雪岱	青柳	生誕 130 年小村雪岱「雪岱調」のできるまで	川越市立美術館	2018/1/20-3/11
小村雪岱	落葉	生誕 130 年小村雪岱「雪岱調」のできるまで	川越市立美術館	2018/1/20-3/11
小村雪岱	雪の朝	生誕 130 年小村雪岱「雪岱調」のできるまで	川越市立美術館	2018/1/20-3/11
小村雪岱	武者絵貼り交ぜ屏風	生誕 130 年小村雪岱「雪岱調」のできるまで	川越市立美術館	2018/1/20-3/11
小村雪岱	春告鳥(寄託作品)	生誕 130 年小村雪岱「雪岱調」のできるまで	川越市立美術館	2018/1/20-3/11
小村雪岱	美人立姿	生誕 130 年小村雪岱「雪岱調」のできるまで	川越市立美術館	2018/1/20-3/11
小村雪岱	見立寒山拾得	生誕 130 年小村雪岱「雪岱調」のできるまで	川越市立美術館	2018/1/20-3/11
小村雪岱	額田六福「呼子鳥」挿絵原画	生誕 130 年小村雪岱「雪岱調」のできるまで	川越市立美術館	2018/1/20-3/11
小村雪岱	白井喬二「藤三行状記」第 6 回挿絵原画	生誕 130 年小村雪岱「雪岱調」のできるまで	川越市立美術館	2018/1/20-3/11
小村雪岱	邦枝完二「お伝地獄」挿絵原画	生誕 130 年小村雪岱「雪岱調」のできるまで	川越市立美術館	2018/1/20-3/11
小村雪岱	邦枝完二「お伝地獄」挿絵原画	生誕 130 年小村雪岱「雪岱調」のできるまで	川越市立美術館	2018/1/20-3/11
小村雪岱	矢田挿雲「忠臣蔵」十二月十五日(48)挿絵原画	生誕 130 年小村雪岱「雪岱調」のできるまで	川越市立美術館	2018/1/20-3/11
小村雪岱	矢田挿雲「忠臣蔵」十二月十五日(59)挿絵原画	生誕 130 年小村雪岱「雪岱調」のできるまで	川越市立美術館	2018/1/20-3/11
小村雪岱	矢田挿雲「忠臣蔵」切腹(13)挿絵原画	生誕 130 年小村雪岱「雪岱調」のできるまで	川越市立美術館	2018/1/20-3/11
小村雪岱	矢田挿雲「忠臣蔵」切腹(19)挿絵原画	生誕 130 年小村雪岱「雪岱調」のできるまで	川越市立美術館	2018/1/20-3/11
小村雪岱	宮川曼魚「月夜の三馬」挿絵原画 6 点	生誕 130 年小村雪岱「雪岱調」のできるまで	川越市立美術館	2018/1/20-3/11
小村雪岱	矢田挿雲「義士余聞」わすれがたみ(27)挿絵原画	生誕 130 年小村雪岱「雪岱調」のできるまで	川越市立美術館	2018/1/20-3/11
小村雪岱	矢田挿雲「義士余聞」(8)挿絵原画	生誕 130 年小村雪岱「雪岱調」のできるまで	川越市立美術館	2018/1/20-3/11
小村雪岱	矢田挿雲「義士余聞」挿絵原画 3 図(寄託作品)	生誕 130 年小村雪岱「雪岱調」のできるまで	川越市立美術館	2018/1/20-3/11
小村雪岱	林房雄「西郷隆盛」第 4 回挿絵原画	生誕 130 年小村雪岱「雪岱調」のできるまで	川越市立美術館	2018/1/20-3/11
小村雪岱	林房雄「西郷隆盛」第 17 回挿絵原画	生誕 130 年小村雪岱「雪岱調」のできるまで	川越市立美術館	2018/1/20-3/11
小村雪岱	林房雄「西郷隆盛」第 22 回挿絵原画	生誕 130 年小村雪岱「雪岱調」のできるまで	川越市立美術館	2018/1/20-3/11
小村雪岱	林房雄「西郷隆盛」第 60 回挿絵原画	生誕 130 年小村雪岱「雪岱調」のできるまで	川越市立美術館	2018/1/20-3/11
小村雪岱	林房雄「西郷隆盛」第 78 回挿絵原画	生誕 130 年小村雪岱「雪岱調」のできるまで	川越市立美術館	2018/1/20-3/11
小村雪岱	林房雄「西郷隆盛」第 86 回挿絵原画	生誕 130 年小村雪岱「雪岱調」のできるまで	川越市立美術館	2018/1/20-3/11
小村雪岱	『おせん』宣伝ポスター	生誕 130 年小村雪岱「雪岱調」のできるまで	川越市立美術館	2018/1/20-3/11
岸田劉生	路傍初夏	横堀角次郎と仲間たち 草土社の細密画から、郷里赤城山の風景まで	アーツ前橋	2018/3/17-5/29

森田恒友	尾瀬沼風景	横堀角次郎と仲間たち	草土社の細密画から、郷里赤城山の風景まで	アーツ前橋	2018/3/17-5/29
森田恒友	緑野	横堀角次郎と仲間たち	草土社の細密画から、郷里赤城山の風景まで	アーツ前橋	2018/3/17-5/29
倉田白羊	山居の秋	横堀角次郎と仲間たち	草土社の細密画から、郷里赤城山の風景まで	アーツ前橋	2018/3/17-5/29
倉田白羊	柳の若芽	横堀角次郎と仲間たち	草土社の細密画から、郷里赤城山の風景まで	アーツ前橋	2018/3/17-5/29

## ■特別利用

写真原板貸出：18 件 26 点、 作品熟覧：2 件 2 点 作品撮影：3 件 17 点 作品模写：0 件

## ◆原板貸出

作家名	作品名	発行元等	媒体
小村雪岱	お傳地獄挿絵原画（刺青）	有限会社 和銅社	『あやしい美人画』
熊谷守一	柴たく人	株式会社 求龍堂	『熊谷守一カレンダー2018 年版』
小村雪岱	小村雪岱肖像（昭和11年11月平河町の自宅2階画室にて）	株式会社 ネクサス	テレビ東京系列放送「美の巨人たち」
小村雪岱	小村雪岱肖像（夫婦）	株式会社 ネクサス	テレビ東京系列放送「美の巨人たち」
小村雪岱	小村雪岱肖像（顔）	株式会社 ネクサス	テレビ東京系列放送「美の巨人たち」
小村雪岱	鶴寿千歳（舞台装置原画）	株式会社 ネクサス	テレビ東京系列放送「美の巨人たち」
小村雪岱	増補信長記（舞台装置原画）	株式会社 ネクサス	テレビ東京系列放送「美の巨人たち」
小村雪岱	小村雪岱肖像（新婚時代の夫婦）	株式会社 ネクサス	テレビ東京系列放送「美の巨人たち」
小村雪岱	青柳	株式会社 ネクサス	テレビ東京系列放送「美の巨人たち」
ポール・デルヴォー	森	日本経済新聞社	『日本経済新聞』8月13日号
佐藤太清	竹窗細雨	凸版印刷株式会社	トップカレンダー2019年版 「現代日本画集」、「現代日本の美術」
熊谷守一	ケン	株式会社 東京美術	『もっと知りたい熊谷守一 生涯と作品』
ラスロ・モホリナジ	フォトグラム	株式会社フィルムアート社	『キーワードで読む現代日本写真』
小村雪岱	星祭り	日本経済新聞社	『日本経済新聞』11月30日
倉田白羊	倉田白羊肖像写真	神川・山本鼎の会	「神川から出発した山本鼎運動展」展示パネル
斎藤豊作	斎藤豊作肖像写真	中央公論新社	『仙人と呼ばれた男—画家・熊谷守一の生涯』
寺内萬治郎	画家K君の像	うらわ美術館	うらわ美術館コレクション展示解説パネル
今村紫紅	龍虎	株式会社アート・ベンチャー・オフィス ショウ	「龍を描く」展ポストカード
小村雪岱	春告鳥（寄託）	川越市立美術館	「生誕130年 小村雪岱」展ポスター
クロード・モネ	ジュエルニーの積みむら、夕日	株式会社 青月社	『心に響く印象派画家の言葉 46』
クロード・モネ	ジュエルニーの積みむら、夕日	東京新聞	「モネ それからの100年」展 販売物
クロード・モネ	ジュエルニーの積みむら、夕日	開隆堂出版株式会社	『造形ジャーナル』
クロード・モネ	ジュエルニーの積みむら、夕日	日本文教出版株式会社	『図画工作5・6下』
小村雪岱	青柳	株式会社 新潮社	「芸術新潮」2018年5月号

## ◆作品撮影

作家名	作品名	発行元等	媒体
小村雪岱	青柳	株式会社 ネクサス	テレビ東京系列放送「美の巨人たち」
小村雪岱	落葉	株式会社 ネクサス	テレビ東京系列放送「美の巨人たち」
小村雪岱	雪の朝	株式会社 ネクサス	テレビ東京系列放送「美の巨人たち」
小村雪岱	見立寒山拾得	株式会社 ネクサス	テレビ東京系列放送「美の巨人たち」
小村雪岱	美人立姿	株式会社 ネクサス	テレビ東京系列放送「美の巨人たち」
小村雪岱	北野天神縁起絵巻（模写）	株式会社 ネクサス	テレビ東京系列放送「美の巨人たち」
小村雪岱	お傳地獄挿絵原画（刺青）	株式会社 ネクサス	テレビ東京系列放送「美の巨人たち」
小村雪岱	一本刀土俵入（序ノ一 取手の宿）舞台原画	株式会社 ネクサス	テレビ東京系列放送「美の巨人たち」
小村雪岱	『サンデー毎日』昭和8年6月号（寄託）	株式会社 ネクサス	テレビ東京系列放送「美の巨人たち」
小村雪岱	『サンデー毎日』昭和11年3月号（寄託）	株式会社 ネクサス	テレビ東京系列放送「美の巨人たち」
小村雪岱	『現代』昭和11年2月号（寄託）	株式会社 ネクサス	テレビ東京系列放送「美の巨人たち」
小村雪岱	『現代』昭和11年7月号（寄託）	株式会社 ネクサス	テレビ東京系列放送「美の巨人たち」
小村雪岱	『小村雪岱』1976年、形象社	株式会社 ネクサス	テレビ東京系列放送「美の巨人たち」
小村雪岱	『小村雪岱画集』1987年、国書刊行会	株式会社 ネクサス	テレビ東京系列放送「美の巨人たち」
小村雪岱	『アトリエ』昭和11年9月号	株式会社 ネクサス	テレビ東京系列放送「美の巨人たち」
黒川記章	中銀カプセルタワービル・住宅カプセル	株式会社 スパイスボックス	『newStory』8月19日
黒川記章	中銀カプセルタワービル・住宅カプセル	有限会社エディターズ・キャンブ	『今見るべき傑作モダン建築』

## ◆作品熟覧

作家名	作品名	発行元等	媒体
小村雪岱	雑誌資料（寄託）	個人	科学研究費研究調査
ポール・デルヴォー	森	日本経済新聞社	『日本経済新聞』8月13日号

## ■教育・普及事業

## ■美術館講座

## ■映像の可能性

### ■開催趣旨

「近現代建築探検ツアー」を引き継ぎ、新たな美術館講座「映像の可能性」を開催した。記念すべき第1回目の講座は、映像に造詣が深く、自らも映像作品の制作を手がける建築家の鈴木了二氏を講師に迎え、「建築と映像の交差点」をテーマに開催した。同氏には、前年度の美術館講座「近現代建築ツアー」最終回「建築の可能性」の講師をお願いしており、旧講座と新講座をつなぐ役割を期待した。鈴木氏の制作した映像作品の上映を交えながら、建築／映像という領域を横断しながら、刺激的な議論が交わされた。

### ■概要

日時：2017年10月8日(日)13:00～17:00

タイトル：建築と映像の交差点

第1部

[上映及びコメント]

鈴木了二氏の以下の映像作品を上映し、同氏にコメントをいただいた。モチーフとなった建築やプロジェクトについての説明、映像制作にあたってのプランやコンセプト、技術的側面についての説明など、貴重なお話を伺うことができ、映像への理解を深めることができた。

作品1：物質試行35「空地・空洞・空隙」(映画)

制作年：1996年／媒体：16mmフィルム／被写体：物質試行35「空地・空洞・空隙」(展覧会ギャラリー間 1994.7/1-31)／上映時間：16分

作品2a：FOLLY4 Melody Gardot ver.

2b：FOLLY4 Michel Legrand ver.

制作年：2015年／媒体：16mmフィルム、DVD／被写体：物質試行31「国際花と緑の博覧会」(ミノルタ・フォーリー)／上映時間：各1分48秒

作品3：Biblioteca Charles Mingus ver.

制作年：2015年／媒体：16mmフィルム、DVD／被写体：物質試行39「Biblioteca」(展覧会 ICC 1998.9/18-10/25)／上映時間：1分56秒

作品4：RING Chet Baker ver.

制作年：2015年／媒体：16mmフィルム、DVD／被写体：物質試行37「佐木島プロジェクト」(広島県三原市 1995年)／上映時間：3分18秒

作品5：WHITE ROTHKO

制作年：2012年／媒体：DVD／被写体：物質試行50「下田の住宅」／上映時間：13分

作品6：物質試行43「CAHIERS | 覚書」

制作年：2001年／媒体：CD-ROM、DVD／被写体：物質試行42「池田山の住宅」／上映時間：8分51秒／備考：『建築文化』2001年6月号の企画

第2部

[上映及びコメント]

第一部に続き、鈴木了二氏の以下の映像作品を上映し、同氏にコメントをいただいた。モチーフとなった展示についての説明、映像制作にあたってのプランやコンセプト、技術的側面についての説明に加え、共同作者との協力関係や撮影時のエピソードなど、貴重なお話を伺うことができた。共同作者を得て制作された、映画的な完成度が極めて高い作品2本について、深い鑑賞ができた。

作品7：物質試行52「DUBHOUSE」

制作年：2012年／媒体：35mmフィルム／被写体：物質試行51「DUBHOUSE」(展覧会「建築はどこにあるの？」東京国立近代美術館 2010.4/29-8/8)／上映時間：17分／制作協力者：七里圭

作品8：物質試行58「A RETURN OF BRUNO TAUT 2016」

制作年：2016年／媒体：Blu-ray／被写体：物質試行56「MUSEUM」(展覧会「ジャパン・アーキテクツ 1945-2010」金沢 21世紀美術館 2014.11/1-3/15)／上映時間：20分／制作協力者：三宅唱

[レクチャーおよびディスカッション]

第1部と第2部の上映をうけて、鈴木了二氏から、なぜ、映像の制作を手がけるようになったか、映像を制作することを通して考えていることはどのようなことか、建築と映像の関係とはいかなるものかについて、お話を伺った。また同氏の刺激的な著作をふまえて、「建築映画」とは何か、「マテリアル・サスペンス」とは何か、といった核心に迫る議論が展開された。また、担当学芸員が作成した「建築と映像の交差点」をふまえたマトリクスをベースに、同氏の映像作品の仮想的なマッピングについても議論し、建築と映像の関係から、映像の可能性について深く議論した。

講師：鈴木了二(建築家)

参加者：44名

## ■担当後記

- ◆ 昨年度、「近現代建築探検ツアー」の最終回において「建築の可能性」を提示するため、「建築の解体」が遂行された《絶対現場 1987》の記録による鑑賞を、建築の見学に匹敵するプログラムとして組み、講師に鈴木了二氏をお迎えした。見学、鑑賞、レクチャー、ディスカッションにより、近現代の建築が抱える課題をさまざまな視点から議論し、建築の可能性を問う未来志向のプログラムとして開催することができた。建築の見学後、見学した建築をモチーフとした同氏の映像を特別に上映していただいた。その経験から、建築から映像へと講座のテーマを引き継ぐことを考えた。
- ◆ 同氏の制作した映像を調査の段階で数多く見ることができたが、いずれも極めて刺激的であり、できるだけ多くの作品を上映するプログラムを組むことにした。そのため、上映後のレクチャーとディスカッションの時間が十分とはいえず、反省点となった。多大なご協力をいただいた鈴木了二氏に感謝申し上げますとともに、この講座の開催にあたり、様々な形でご協力いただいた方々に、この場を借りて深く感謝申し上げます。
- ◆ 講座のタイトル「建築と映像の交差点」は、後述する埼玉大学大学院生のインターンが、チラシ用に考えてくれたものであった。講座のテーマをよく表しており、鈴木了二氏が著作で表明している考え方も通じる魅力的なフレーズであったことから、講座のタイトルに採用した。さらに、当日、受講生に配布する資料を作成する際に、「建築と映像の交差点」を、実際の道路の交差点のような図面を書いてみることから、「建築」と「映像」の「衝突」「合流」「すれ違い」「立体交差」など、刺激的な思考が次々と生まれた。また、この交差点を、建築の軸と映像の軸からなるマトリクスとみなし、同氏の多様な映像作品をマッピングするアイデアが生まれ、レクチャーとディスカッションに反映することができた。
- ◆ 例年通り、埼玉大学大学院生のインターンが講座開に関わる業務に参加した。前期のインターンは、告知チラシ作成、当日配布する資料の作成などを担当した。開催時期が10月であったため、後期のインターンが配布資料を完成させ、当日の運営を担当した。多岐にわたる仕事に意欲的に参加することで、インターンにとっても、講師や受講生との交流を含め、公式に開催される事業に関わる仕事を体験したことは有意義であったと思われる。

(梅津元)



講座告知用チラシ (A4:表/裏)



当日の様子



コメント中の鈴木了二氏

## ■一般団体対応

平成27年度より、希望する一般団体（成人を中心とする2名～100名の団体、学校団体や子供中心の団体と区別）に対して、スライドや資料を用いて展覧会や美術館の案内を行っている。事前予約制で、企画展またはMOMASコレクション展を観覧するグループを対象とし、観覧する展覧会の見どころや作品解説、美術館全体の案内、屋外彫刻の解説など、希望に応じた内容・時間で対応している。展覧会観覧前にテーマや構成や見どころ等を聞くことで、「より関心をもった」「展覧会観覧がますます楽しみになった」という声が聞かれ、一定の成果があるものと考えられる。

また、主に公民館における一般団体対象の出張講座も受け付けている。当館所蔵作品を中心に美術史や美術鑑賞の基礎的な講義を行う。複製画やアートカードも活用しながら体験を交えて講義を行うと共に、所蔵作品の画像を活用することで、美術館になかなか来られない地域の方の美術についての興味や関心に応えとともに埼玉県のアート文化財への理解を促す取り組みとなっていく可能性がある。

## ■対応実績

平成29年度

対応数：27団体、656名（出張講座2件含む）

主な団体種：公民館、生涯学習グループ、大学生サークル、旅行会社ツアー、友人グループなど

## ■担当後記

- ◆ 事業開始から3年目を迎え、団体受け入れに関する事前の館内情報共有及び当日の受け入れ体制は整いつつある。来館する団体の規模及び希望に応じて、来館団体の動線・展示室内での安全確保及び鑑賞環境保全など、団体受け入れにおける基本的な配慮について事例を蓄積し、方法を精査しつつある。
- ◆ そこで今年度より、一般団体対応を「スライド・トーク」と呼称し、A4サイズの詳細なものと、カードサイズの簡易な事業案内を作成、配布した。詳細なチラシは、団体での来館時に出来る案内について10分・30分・1時間というように段階を分け、様々なニーズに対応していることを示すと共に、館外の施設へ向かいに行く講座についても掲載し、本事業の全体像を示している。また、気軽に持ち帰ることができるカードサイズの簡易な案内を総合案内に配架し、美術館をより楽しむ一方法としてスライド・トークを提案し再来館を促している。チラシやカードを見ての問い合わせが数件あった。
- ◆ 来館者のみならず、来館者になりうる人々に出会うことが出来る本事業が継続・深化していくことで、美術館利用者の拡大及び、利用方法の発展につながっていくと考える。

（菖蒲澤侑）

埼玉県立近代美術館 一般団体案内

### スライド・トークのご案内

企画展やMOMASコレクション展をご観覧のグループを対象に、展示室へ行く前に展覧会の見どころをご案内します。

聞いて 話して・・・じっくり楽しむ  
ご来館時間や目的にあわせて、作品鑑賞や館内見学の前  
に別室でのスライドによるご案内を行っています。

例えば・・・

- エントランスなどでちょっと話を聞いてみる：10分案内  
埼玉県立近代美術館の収蔵品の特徴、建築など+展覧会の大まかな内容
- 別室でじっくり聞いてみる：30分案内  
上記に加えて、展示作品や作風のくわしい解説、見どころ紹介 など
- もっと詳しく聞いて考えてみる：1時間案内  
収蔵品を中心とした美術史入門講座、日本画・印象派などのテーマ講座  
カードを用いた美術鑑賞ゲーム など

その他、出張講座も行っています。  
公民館の講座や地域のサークルなど、美術に関心のあるグループへ向けて  
当館収蔵品画像を中心とした出張美術入門講座も受け付けています。  
これまでの講座・・・印象派を中心とした、近代美術講座  
複製画を使った、明治以降の日本画講座など  
※大人や親子で楽しむ活動型の講座も承ります。ご相談ください。

実施日：開館日の火・金・土・日曜日  
実施時間：10:30～17:00 貴団体のご希望の時間  
○ ご案内は予約制です。  
○ 展示室とは別の部屋でのスライドによるご案内です。  
○ 開催中の企画展またはMOMASコレクション展をご観覧のグループが対象です。  
○ ご希望に合わせて、屋外彫刻や座れる椅子などの埼玉県立近代美術館の見どころもご案内します。  
○ 予約状況等によりご希望に添えない場合があります。  
○ お問い合わせ・ご予約はお電話（048-824-0110）教育・広報担当まで。

埼玉県立近代美術館 The Museum of Modern Art, Saitama  
〒338-8501 埼玉県さいたま市大宮区大宮3-1-1  
TEL: 048-824-0111 FAX: 048-824-0110  
http://www.gomf.or.jp/ www.momasa.or.jp  
MUSEUM OF MODERN ART, SAITAMA  
〒338-8501 埼玉県さいたま市大宮区大宮3-1-1  
TEL: 048-824-0111 FAX: 048-824-0110  
http://www.gomf.or.jp/ www.momasa.or.jp

スライド・トーク広報A4チラシ

埼玉県立近代美術館

### スライド・トーク

展示室へ行く前に、展覧会の見どころをご案内します。

聞いて 話して・・・じっくり楽しむ  
くわしくは裏面をご覧ください。

スライド・トーク広報カード（表）

実施日：開館日の火・金・土・日曜日  
実施時間：10:30～17:00のご希望の時間

- ご案内は予約制です。
- 展示室とは別の部屋でのスライドによるご案内です。
- 開催中の企画展またはMOMASコレクション展をご観覧のグループが対象です。
- ご希望に合わせて屋外彫刻や座れる椅子などの埼玉県立近代美術館の見どころもご案内します。
- 予約状況等によりご希望に添えない場合があります。
- お問い合わせ・ご予約はお電話 048-824-0110 教育・広報担当まで。

スライド・トーク広報カード（裏）

## ■ファミリー鑑賞会

赤ちゃんや小さいお子様連れのパパやママがゆっくり気兼ねなく美術館を楽しめるきっかけとなるよう、MOMAS コレクションをスタッフが案内する。また、飽きてしまいがちなお子様のために、スタッフが一緒に遊ぶコーナーを展示室内に設置している。

### ■開催実績

平成 29 年度

①5月18日(木) 11:00~12:00

参加者数: 19組40名

参加者の感想(抜粋)

- ・子どもと一緒に鑑賞できる機会がないので大変いい機会であった。また参加したい。

②10月25日(水) 11:00~12:00

参加者数: 5組10名

参加者の感想(抜粋)

- ・鑑賞することに集中する時間が持てて、うれしかった。

(参考) 平成 25 年度~平成 28 年度

平成 28 年度

①5月11日(水) 11:00~12:00

参加者数: 4組8名

②10月12日(水) 11:00~12:00

参加者数: 27組56名

平成 27 年度

①5月13日(水) 11:00~12:00

参加者数: 14組29名

②11月26日(木) 11:00~12:00

参加者数: 10組22名

平成 26 年度

①5月15日(木) 11:00~12:00

参加者数: 12組26名

平成 25 年度

①7月19日(金) 10:15~11:15

参加者数: 10組20名

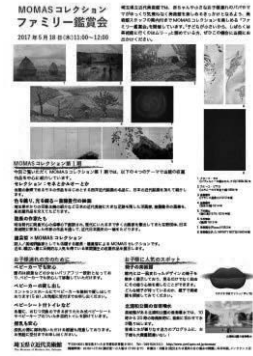
(平成 25・26 年度後期は大規模改修のため休館)

### ■担当後記

◆5年目を迎えたファミリー鑑賞会も、29年度は合計24組50名という多くの方々に参加いただけた。しかし、子供を連れての鑑賞をためらう方はまだまだ多い。今後も気兼ねなく鑑賞できる機会の提供を充実していきたい。



チラシ(平成29年5月18日/表・裏)



チラシ(平成29年10月25日/表・裏)



作品解説の様子



子どもの暇つぶしスペースの様子

## ■子どものためのプログラム

### ■アートフル∞プログラム「MOMASのとびら」

#### 0. 「MOMASのとびら」とは

2010年4月からスタートした教育普及プログラム。美術館という場所を舞台に、関わる人全て（参加者、美術館スタッフ、ボランティア）が一緒になって美術館での体験を共有することにより、一人ひとりの新しい次元の扉が開き、芸術文化を共に創造する機会が充実することを目的としている。

開催日は土曜日。美術館での“できごと”を楽しむというコンセプトで運営し、参加対象は、幼児（4才）から大人まで幅広く、参加人数は一回30名程度、作品鑑賞と制作が一体となった内容は毎回変化のあるプログラムを用意している。

#### 1. MOMASコレクション みる+つくる

MOMASコレクションや美術館の建物などをまわり、対話を楽しんで作品の鑑賞を行う。その後、鑑賞をもとにした簡単な制作を楽しむプログラムを実施した。対象枠：小・中学生

- ・「MOMAS探検隊！」4月15日／参加者：24名。
- ・「みつけて僕・私の場所」7月22日／参加者：25名。
- ・「観音様はどんな世界にいるのかな？」10月21日／参加者：26名。
- ・「みんなでつくる 石・竹・風のかたち」3月24日／参加者：33名。

#### 2. MOMASコレクション 親子クルーズ

MOMASコレクションや美術館の建物などを親子で鑑賞する。その後、鑑賞をもとにした簡単な制作を親子で楽しむプログラムを実施した。対象枠：小・中学生+親

- ・「1枚の板で椅子ができた！」6月24日／参加者：31名。
- ・「レッツゴー！〇〇の世界へ！」9月9日／参加者：31名。
- ・「風のかたち ～野面石 石積みのベンチ～」11月18日／参加者：29名。

#### 3. 企画展物語 みる+つくる

開催中の企画展の魅力や楽しむためのヒントをわかりやすく紹介するプログラム。鑑賞の後に簡単な制作を行うプログラムを実施した。対象枠：小・中学生。

- ・「自然のかたち わたしたちの眼」5月13日／参加者：25名。

- ・「みんなで大きな壁画を作ろう！」12月2日／参加者：24名。
- ・「写真と版画で夢の世界を広げよう！」3月10日／参加者：36名。

#### 4. 企画展物語 親子クルーズ

企画展を親子で楽しむプログラム。作品の魅力を紹介し、親子で鑑賞した後、簡単な制作を行うプログラムを実施した。対象枠：小・中学生+親。

- ・「葉っぱを観察してみよう！」4月29日／参加者：33名。
- ・『『夢の世界』を旅しよう！』10月7日／参加者：31名。
- ・「1つの版から無限の世界～版画の景色～」1月27日／参加者：30名。

#### 5. SMF みる+つくる

埼玉県内の様々な場所で展覧会やワークショップを行っているSMF（Saitama Muse Forum）に所属している方を招き、作品制作を楽しむプログラムを実施した。対象枠：小・中学生

- ・「光るたまごをつくろう！」9月23日／講師：みやうか（アーティスト）／参加者：30名。
- ・「からだであらわす あの気持ち この気持ち」2月10日／講師：愛智伸江、岡崎弓佳（ダンサー）／参加者：29名。
- ・「逆さま動画プロジェクト～美術作品とコラボして、美術館に展示しよう～」2月24日／講師：浅沼奨（映像クリエイター）／参加者：31名。

#### 6. み〜つけ！

美術館でのできごとを、体いっぱい楽しむプログラム。美術館や公園などの環境を生かし、発見をテーマに実施した。対象枠：幼児（4才～6才）とその親

- ・「つなげて遊ぼう！」6月3日／参加者：34名。
- ・「きらきら枢機卿に大変身！」7月8日／参加者：31名。
- ・「発見！北浦和公園に住む生き物たち」11月4日／参加者：33名。

#### 7. 工房

美術館ならではの制作を中心としたプログラム。子供から大人まで、互いに刺激されながら楽しく制作した。対象枠：小学生～一般。

- ・「素敵をギュギュっと詰め込んだ『アートドーム』」5月27日／参加者：30名。

- ・「絵にぴったりの額を作ろう！」6月17日／参加者：38名。
- ・「なりきり瑛九！シュシュシュあーちすと」12月16日／参加者：29名。
- ・「どこへ行く～イスと旅する365日～」1月20日／参加者：29名。

## 8. アート★ビンゴ

9つのクイズを解きながら、美術館を巡って気軽に楽しむ鑑賞プログラム。参加者は1階ロビーでビンゴ・シートを受け取り、館内外を巡りながらクイズを解く。最後にスタッフと一緒に答えを確認し、スタンプをもらう。想像力を問う問題にファンも多く、少人数でもグループ単位でも楽しめるプログラムである。対象枠：どなたでも／6月10日、11月11日、12月9日、1月13日／参加者：計199名。

## 9. 彫刻あらいぐま

屋外にある彫刻作品を洗浄するプログラム。参加者は洗浄のプロ（学芸員）やボランティア・スタッフに教えてもらいながら、彫刻作品を一生懸命洗浄する。また、洗浄前と後の彫刻の気持ちを考えるなど、スタッフと会話をしながら鑑賞も楽しむ。彫刻洗浄できる貴重な体験として人気のプログラムである。対象枠：小・中学生+親

「あらって見よう！彫刻作品」5月20日、9月30日／参加者：計51名。

## 10. わくわく鑑賞ツアー

スタッフと会話をしながら、美術館の作品を鑑賞して楽しむプログラム。参加者は1階ロビーからスタートし、館内外を巡りながらスタッフと対話をしながら2~3作品を鑑賞する。子供たちから大人まで、気軽に作品と関われる人気のプログラムである。対象枠：どなたでも／4月22日、7月29日、10月28日、12月23日／参加者：計110名。

## 11. サマー・アドベンチャー

夏休み限定の特別企画。普段なかなか足を運ばない遠方の方にも参加しやすく、美術にふれ、美術の価値を見出す機会を提供する、スペシャル・プログラムである。

- ・「イロイロ色水アドベンチャー」8月5日／講師：近藤愛子（アーティスト）／参加者：28名。
- ・「洗濯ばさみで絵を描こう！」「キラキラ★カチカチスプーンワールド」「カクカクつなげて遊ぼう！」8月12日／参加者：256名。
- ・「座れる段ボールの椅子大集合V」8月19日／講師：高須賀昌志（デザイナー・埼玉大学教授）／参加者：146名。

- ・「音楽に合わせて遊ぶ！描く！からだを使ったアートワーク～リズム&アートで遊ぼう！！」8月19日／講師：石賀直之（東京造形大学准教授・ミュージシャン）、松田光弘（ミュージシャン）、KAKUEI（ミュージシャン）／参加者：60名。
- ・「空洞の世界を楽しもう！」8月26日／参加者：20名。



リズムに乗って足で描こう！「音楽に合わせて遊ぶ！描く！からだを使ったアートワーク～リズム&アートで遊ぼう！！」

## 12. フリープログラム

誰でも参加できるプログラム。洗濯ばさみやストローを使って造形遊びをしたり、青空の下で風を感じて描いたり、ストローをカクカクつなげたりして楽しむ。対象枠：どなたでも

- ・「洗濯ばさみで絵を描こう！」4月8日／参加者52名。
- ・「カクカクつなげて遊ぼう！」「洗濯ばさみで絵を描こう！」7月15日／参加者126名。
- ・「洗濯ばさみで絵を描こう！」「キラキラ★カチカチスプーンワールド」10月14日／参加者38名。
- ・「洗濯ばさみで絵を描こう！」「風を描こう！」11月25日／参加者220名。



「洗濯ばさみで絵を描こう！」



### 13. もますまつり

ゴールデンウィークや県民の日に1日行うフリープログラムの拡大版。対象枠：どなたでも

- ・「洗濯ばさみで絵を描こう！」「風を描こう！」「キラキラ★カチカチスプーンワールド」5月5日、5月6日／参加者615名。
- ・「洗濯ばさみで絵を描こう！」「風を描こう！」「カクカクつなげて遊ぼう！」11月14日／参加者413名。

## ■夏休みの特別プログラム

### 1. 夏休みMOMASステーション

夏休みに美術館を訪れる子どもたちのサポートするコーナーを今年度も設置した。研修を受けた教育普及サポート・スタッフが相談員となり、館内の案内や「彫刻や作品を楽しむためのワークシート」、「展覧会を楽しむためのワークシート」などの資料を配布したり、美術館見学の宿題の相談に応じたりした。県内の中学生が作成した美術館紹介のレポート例を掲示したりして、子どものサポートを充実させた。7月21（金）～8月31日（木）の休館日以外の毎日／エントランス／対応数：計2,351名。

### 2. 鑑賞ツアー

夏休み期間中に3日間限定で30分のミニ・ツアーを行った。館職員と教育普及サポート・スタッフの有志がファシリテーターとなり、ツアーの運営にあたった。美術に興味のある人と一緒に美術館を巡ることで、美術の楽しみ方を体験的に学ぶことができる機会を提供することができた。／7月28日、8月4日、8月18日の3日間／対応数：計57名。



サポート・スタッフによる鑑賞ツアーの様子

## ■広報記録

### <雑誌、ミニコミ誌等>

- ・『たまログ』『もますまつり』5月1日
- ・『埼玉新聞日刊』『親子で芸術楽しもう 今日まで近代美術館『もますまつり』』5月6日
- ・『朝日新聞夕刊』『洗濯ばさみで絵@浦和』8月4日
- ・『朝日新聞日刊』『近代美術館で体験型の催し』8月9日
- ・『朝日新聞日刊』『手作りアートを親子で楽しむ 県立近代美術館でワークショップ』8月12日
- ・『たまログ』『もますまつり』11月1日

### <WEB>

- ・『yahoo ロコ』『MOMASまつり』4月27日
- ・『J:COM ZAQ おでかけガイド』『MOMASまつり』4月27日
- ・『Biglobe 旅行』『MOMASまつり』4月27日
- ・『アパホテル』『MOMASまつり』4月27日
- ・『ニコンスポットサーチ』『MOMASまつり』4月27日
- ・『パナソニックおでかけ旅ガイド』『MOMASまつり』4月27日
- ・『朝日新聞デジタル』『MOMASまつり』4月27日
- ・『yahoo ロコ』『サマー・アドベンチャー2017 フリープログラムDAY』6月13日
- ・『J:COM ZAQ おでかけガイド』『サマー・アドベンチャー2017 フリープログラムDAY』6月13日
- ・『Biglobe 旅行』『サマー・アドベンチャー2017 フリープログラムDAY』6月13日
- ・『アパホテル』『サマー・アドベンチャー2017 フリープログラムDAY』6月13日
- ・『ニコンスポットサーチ』『サマー・アドベンチャー2017 フリープログラムDAY』6月13日
- ・『パナソニックおでかけ旅ガイド』『サマー・アドベンチャー2017 フリープログラムDAY』6月13日
- ・『朝日新聞デジタル』『サマー・アドベンチャー2017 フリープログラムDAY』6月13日
- ・『リセマム (yahoo ニュース)』『埼玉県立近代美術館 子ども向けワークショップ (サマー・アドベンチャー2017)』6月23日

### <テレビ、ラジオ>

- ・『REDS WAVE』『MOMASまつり』4月19日

## ■担当後記

- ◆ 土曜日のワークショップ「MOMASのとびら」は、お陰さまで毎回多くの申込みがある。リピーターの多さ、新規開拓の目標がプログラム作りのモチベーションにもなり、今年度も埼玉近代美術館オリジナルのプログラムを実施した。鑑賞と制作が一体となったプログラムが魅力であり、近隣の地域、県民のみならず、美術館の楽しさや素敵なコレクションをもっと広めていきたいと願っている。そして、子供達が生きたアートにふれて楽しむ場となるよう、アーティストを招いたり、常に様々なアイデアを試みるプログラム作りを続けたい。

(笠原たまき)



埼玉大学の学生プログラムの様子：瑛九<手>の鑑賞をもとに

## ■ミュージアム・コラボレーション

埼玉大学と埼玉県立近代美術館が共同で子どものための事業を行うもので、主として土曜日の教育普及プログラム「MOMASのとびら」のスタッフとしてプログラムの企画・運営をしている。教員等を指す学生が積極的に企画することで、学生は、子供への接し方や授業の進め方等、現場での実践力を身につけることができる。美術館という社会教育施設での学びの在り方、学校での図工・美術の学び、社会や子供と図工美術のつながりなどを広く学ぶ場になっている。

## ■担当後記

- ◆ 「ミュージアム・コラボレーション」履修した学生たちは、年々人数が減るものの、メリットとして、新1年生から中心となって活躍する機会が増え、主体的に参加しようという意欲の高さがみられた。少数でのデメリットとしては、企画案が少なかったり、検討や試作を重ねるもよいアイデアがでなかったり苦戦する場面も見受けられた。美術館スタッフも加わり、粘り強く試作やリハーサルを繰り返すなどして、目標とするレベルを維持し、同時に作品鑑賞やプログラム作りにおけるポイント、子供に対する自分の接し方の指標など各自習得し、徐々にスキルアップできた。
- ◆ 全国的にみても、このように実践的な体験ができる講座がある大学は少ない。未来の教育現場を豊かにするためにも参加する学生の増加を期待したい。

(笠原たまき)



埼玉大学の学生プログラムの様子：瑛九<手>の鑑賞をもとに

## ■企画展ワークシートの作成

企画展の特徴をわかりやすく紹介するため、主にセルフガイド型のペーパー・アイテムを作成している。会場が無償配布するほか、学校団体や子どものためのプログラムなどでも幅広く活用している。県内全ての小・中学校、また必要に応じて高校、図書館、公民館にも配布する広報資料であり、また学校では、鑑賞学習の指導者側のツールとしても用いられ、来館前の事前学習に大いに役立つこともある。平成29年度は次の4種を作成した。

### ① 「川原慶賀の植物図鑑」／作成：矢花俊樹

表面

裏面



### ② 「遠藤利克展－聖性の考古学」／作成：菅浦澤侑

表面



裏面

### ③ 「ディエゴ・リベラの時代」／作成：笠原たまき

表面



裏面



### ④ 「版画の景色 現代版画センターの軌跡」／作成：児玉壮史

表面



表面



裏面



## ■学校との連携

### ■教員美術講座

- ・ 第1回教員美術講座「座れる段ボールの椅子を作るにはV」／6月10日(土)／講師：高須賀昌志氏(埼玉大学教授・デザイナー)／参加者：33名。
- ・ 第2回教員美術講座「楽しい、わいわい！子ども大人も造形遊び」／8月17日(木)／講師：大杉健氏(東京都府中市立若松小学校 図工美術専科教諭・武蔵野大学教育学部 非常勤講師)／参加者：21名。

### ■担当後記

#### <第1回「座れる段ボールの椅子をつくるにはV」>



第1回教員美術講座 活動の様子

- ◆ 「第5回 座れる段ボールの椅子グランプリ」を開催するにあたり、当グランプリの審査委員を務める埼玉大学教授 高須賀昌志氏を講師にお招きして、段ボールの特性や椅子のデザインについての本講座を開催した。年々各校が工夫を凝らし、出品作品のアイデアや技術レベルが高まる傾向にあり、初めての受講者だけでなく、再度受講する教員・生徒も現れるほどである。講義の後、実際にアイデアを形にしていくプロセスを、段ボールを使った創作体験を通して学んだ。講座の最後には、制作したダンボール椅子をプレゼンテーションし、高須賀氏から講評をいただく実りのある講座となった。

#### <第2回「楽しい、わいわい！子ども大人も造形あそび」>



第2回教員美術講座 活動の様子

- ◆ 東京都で小学校図工専科の教諭として務められ、武蔵野美術大学で非常勤講師も務めている大杉健氏をお招きし、豊富な実践の中から「造形あそび」の事例紹介、参加者も造形遊びの体験を通して、場や身近な材料や自然を生かした授業づくり役に役立つヒントをいただいた。造形遊びの体験では、参加者が児童のように瞳を輝かせ、心から楽しむ姿が印象的だった。

(笠原たまき)

#### ◆参加者の感想(抜粋)

- ・ 身の回りのものを使い、少しの工夫や見方の違いでこんなにも造形遊びができるとは思いませんでした。大人数で行うことにより、楽しく体験できました。(小学校教諭)
- ・ 「造形遊び」の意義や中学校の活動へのつながりもわかりやすく説明していただいて有意義でした。(中学校教諭)

### ■ミュージアム・キャラバン事業

県内の学校にアーティストと共に訪問し、授業の枠を広げ、鑑賞や創作体験をすることで小中学生に美術の楽しさや美術的な価値観・視点を伝えることを目的に本事業を実施した。

#### <「頭上の造形」高田洋一氏>

昨年度に引き続き、当館収蔵作家の高田洋一氏を講師に迎え、講師の作品の鑑賞も交えながら段ボールを材料にしたアート体験プログラム「頭上の造形」を提供した。

- ・ 11月7日(火) 開催校：所沢市立和田小学校 4年生/76名



11月7日 ミュージアム・キャラバンの様子

#### <「オレンジボックス」井上尚子氏>

井上尚子氏(現代美術家)を迎え、美術家としての生き方や考え方に触れたり、匂いをもとに自己を表現する創作体験を通して生徒の創造力を育んだ。

- ・ 11月24日(金)「くんくんボトル」校内や校庭の身近な場所の

匂いを集め、香りを共有したり匂いについて語り合う

・2月8日(木)「オレンジボックス」オレンジを分け食するところから、オレンジに自分を投影したりしながら作品に昇華する。

開催校：小鹿野町立小鹿野中学校 2年生/111名



12月8日 ミュージアム・キャラバンの様子

## ■担当後記

- ◆ 美術館から遠方の学校との連携を深める為に実施されている事業だが、学校側とアーティストには多大なるご尽力を賜り、今年も2校3プログラムの実施ができた。特に、実施にあたって、児童生徒の課題把握や授業の目標の設定には時間をかけ丁寧にディスカッションの場を設けたり連携の意義を常に考えたりしながら進めた。新たに課題はあるものの、未来を担う子供たちへ何を届けるかと課題意識は共有でき、美術館から学校へ、学校から地域の児童や保護者へもメッセージを発信できたと思う。今後さらに、実施できる良いプログラムを増やし、また、美術に疎遠な場所が県内から減る様に地域とつながっていききたい。(笠原たまき)

## ■その他の学校連携事業

学校との連携を図る活動として、以下の対応も行った。

### <学校団体の受け入れ>

美術作品の鑑賞を目的として来館した学校等の園児・児童・生徒・学生を対象に、対話による鑑賞をしながら展示室や屋外彫刻を案内した。さらに、別室にてグッドデザインの椅子の鑑賞体験学習をしたり、造形遊びワークショップ「洗濯ばさみで絵を描こう！」なども実施した。美術館では椅子の座り心地を体感したり、館内の雰囲気を感じたり、作品の魅力を感じ取ることができる。利用した学校のアンケートからは「面白かった！興味をもった」「もっと利用したい」と良好な結果がでている。また、『実際に本物を見せたい、美術にふれさせる機会をつくりたい』という教師の声もある中、来館できない学校も多い。バスの利用などアクセスのしやすさ、多くの団体が利用できるようにするための運営も検討していきたい。

／学校団体対応数：54団体、1902名



展示室での対話による鑑賞の様子

### <授業協力>

収蔵作品の複製画や鑑賞キットを使って鑑賞の授業を行った。美術館利用研究会が考案したプログラムを軸に、事前の先生との打ち合わせで生徒の実態やねらいに合わせて授業を計画していった。利用した学校の教師からは、「教師自身も勉強になり、夢中になった。」「鑑賞授業のやり方がわからなかったけど鑑賞に興味がわいた。」「普段と違う児童・生徒の発言が見られた。」など鑑賞授業を通して、自身の授業の見直しにもなり、児童・生徒にとっては美術館や作品、作家への興味をもたせるきっかけとなった。学校全体で年間指導計画に組み込むなどくり返し依頼される傾向が増えた。

／授業協力数：42校、111学級、3726名



小学校での鑑賞授業の様子

### <複製画等の貸し出し>

教師が授業で活用できるよう、美術館にある複製画や鑑賞キット、アートカードなどを貸し出した。パブロ・ピカソ《静物》、小茂田青樹《春の夜》、クロード・モネ《ジヴェルニーの積みわら 夕日》、マルク・シャガール《二つの花束》、岸田劉生《路傍初夏》、アートカードが活用された。教員向けの研修や公開授業で知ったり、利用している先生の実践を聞いたりして、問い合わせる先生

が増えている。その際には、授業の流れを実際に見せたり、美術館利用研究会が考案した授業例なども紹介したりしている。／貸出数：43件。

### <第5回 座れる段ボールの椅子グランプリ>

学校との連携強化と、創造力と創意工夫する力の育成を目的に、県内小・中学校、高等学校、特別支援学校の児童、生徒を対象に始まった本事業も5回となった。今回も、応募作品を審査し、夏休み期間に美術館の1階に展示した。作品の完成度が全体的に高く、段ボールの素材を生かした新たな表現方法もみられ、多くの来館者の目を楽しませると共に驚かせ好評を得ていた。今年度で、公募展は幕を閉じるが、身近な段ボールを素材として使った椅子や作品作りは県内各地でひき続き行われると予想される。

／29校、51グループ、369名が参加した。



ロビー展示の様子

<職場体験の受け入れ> 対応数：8校 23名  
(中学校7校 高校1校)

## ■博物館実習

「埼玉県博物館等の博物館実習生受入要項」に基づき、下記の14大学20名の実習生を受け入れ、全7日間の日程で実施した(青山学院大学、お茶の水女子大学、群馬県立女子大学、埼玉大学、実践女子大学、多摩美術大学、東京学芸大学、東京造形大学、東北芸術工科大学、東洋大学、日本女子大学、日本大学、武蔵大学、武蔵野美術大学)。

学芸員および担当職員による講義中心の合同実習を4日間、担当学芸員のもとテーマに応じた実務を行う個別実習を3日間行った。

## ■合同実習

講義、実技、講話などを中心に職員、学芸員が講師として指導した。

- ・7月25日(火) 開講式、オリエンテーション、館内外施設見学、学芸部の仕事について、管理の仕事について、美術資料の収集と保存について、MOMASコレクションについて、彫刻とその取り扱いについて
- ・7月26日(水) 彫刻のメンテナンス、広報と刊行物について、広報活動について、企画展の概要について、企画展の実務について
- ・7月27日(木) 図書とその取り扱いについて、企画展「遠藤利克展—聖性の考古学—」見学、日本画とその取り扱いについて、版画・写真とその取り扱いについて、
- ・7月28日(金) これからの美術館について、一般利用者との対話型鑑賞について、油彩画とその取り扱いについて、子どもとの鑑賞について、ワークショップ「MOMASのとびら」・大学連携について

## ■個別実習

例年通り、各実習生の研究テーマや関心領域に応じて学芸員が1~2名の実習生を担当し、実務の実習を行った。実習日は担当学芸員と実習生の相談により決定し、展示作業、発送、資料整理、ワークショップ運営、ワークシート作成などに実際に参加してもらった。原則として8月中に3日間の実習を行った。

## ■美術館ボランティア

### ■美術館サポーター

美術館サポーター（ガイド・ボランティア）は、各会期最初の火曜日から毎日、14時から30分程度、常設展示室で解説ガイドを行っている。その活動は美術館を代表するひとつの顔となりつつあり、各方面からの取材や関心も高く、来館者もリピーターが増え、美術館を身近なものにしてくれている。29年度の登録人数：35名（男性6名、女性29名）。

### ■研修日程

- 4月22日（土）館外研修 三菱一号館美術館
- 5月27日（土）「色を織り、光を綴る-齋藤豊作の絵画」  
吉岡学芸員
- 6月24日（土）特別講演「私の知る草間彌生氏」  
建島哲館長
- 7月22日（土）「根岸に学ぶ浅井忠の弟子たち」  
前山学芸員
- 8月26日（土）「遠藤利克について」渋谷学芸員
- 9月23日（土）「駒井哲郎氏について」吉岡学芸員
- 10月28日（土）企画展に関係したクロストーク  
飯島みどり（立教大）×平野学芸員
- 11月25日（土）「絵画の魅力ーナビ派から」梅津学芸員
- 12月23日（土）情報交換会、懇親会
- 1月27日（土）「とう・かたる一人と美術の出会い」  
菖蒲澤侑（教育・広報担当）
- 2月14日（土）館外研修 草間彌生美術館
- 3月24日（土）年間総括

### その他

- 5月18日（水）ファミリー鑑賞会：3名
- 10月1日（日）群馬県立美術館サポーター交流会：9名
- 10月25日（水）ファミリー鑑賞会：2名
- 11月5日（日）いつでもガイド：7名
- 11月28日（火）北浦和小学校団体対応：1名



ファミリー鑑賞会の様子

### ■担当後記

- ◆ 今年度も、美術館サポーターからの要望をもとに研修会を実施した。当館の学芸員による研修では、MOMASコレクションや企画展と連動させ、各学芸員の専門性や個性を発揮してもらうことを意図して実施した。館外研修では、当館収蔵作家でもある草間彌生美術館へ伺い、学芸員のお話を聞き、充実した研修となった。
- ◆ 運営面では、改めて活動の振り返りをする時間を設けた。サポーター結成当初のメンバーから、新人ボランティアまで揃っており、同じサポーター内でもキャリアの差から目標や悩みも大きく違う。モチベーションの維持、ガイドのプレッシャーなど、今回は、互いの意見を交換できたことでボランティア組織が結束し、今後も支え合いながら質の高いガイドを行えることを期待している。

（笠原たまき）

## ■教育普及サポート・スタッフ

当館の教育普及事業をサポートするボランティア・バンクとして、学生や教員、一般まで幅広く募集している。美術館への関心の高さとともに、バンク登録者にとっては社会貢献への位置づけとなっている。1年更新で、平成29年度の登録人数は86名。

### ■研修日程

有意義な研修にし、より実践に近いように研修内容を見直した。

#### ・新規スタッフ研修

美術館でのサポート・スタッフの役割と子どもの鑑賞活動について理解してもらい、美術館と子供たちのつなぎ役として研修を実施した。その中で、美術館の目的や収蔵作品について、平成29年度の活動内容と運営計画についてなどを講義した。／6月16日(金)、6月18日(日)

#### ・ガイドスタッフ特別研修

夏休み期間に展示中の作品を実際に見て、対話型の鑑賞の練習をした。／7月23日(日)



鑑賞ガイドツアーの様子

### ■担当後記

◆4月、埼玉大学、埼玉学園大学、東京家政大学、文教大学、武蔵野美術大学など、美術や教育の学科のある大学を中心に連携を図り、ガイダンスを行い参加を呼びかけ、多くの大学生スタッフに参加してもらった。意欲のある大学生スタッフを獲得でき、熱心な取り組みがみられた。継続スタッフの中からも、特別研修を受け、鑑賞ガイドツアーをしたいという希望者もみられ、夏休みの案内が一層充実した。サポート・スタッフの活躍の場を広げるとともに、質の高い対応が来館者に提供できるようにしたい。

(笠原たまき)

## ■MOMAS彫刻ボランティア

埼玉県立近代美術館（MOMAS）彫刻ボランティアは、2003年（平成15）に発足した。今年度から、土曜日開催の親向けワークショップ「MOMASのとびら」において、彫刻洗浄プログラムのボランティア講師を務めることを活動内容にしている。「MOMASのとびら」における洗浄プログラムの名称は、ボランティアの愛称である「彫刻あらいぐま」を引き継ぎ、彫刻の洗浄方法と屋外彫刻の意義などを教えている。登録者数9名。

### ■活動概要

・5月20日(土) / MOMASのとびらの彫刻洗浄プログラム「彫刻あらいぐま」で、ボランティア講師として指導

・9月30日(土) / MOMASのとびらの彫刻洗浄プログラム「彫刻あらいぐま」で、ボランティア講師として指導

(「子どものためのプログラム」127ページも併せて参照してください)



## ■広聴・広報・刊行物

### ■広聴

#### 1. アンケート調査

企画展、MOMAS コレクションともに、毎回会場出口でアンケート調査を実施し、来場者の声を聴いた。

- ・ 企画展調査：「ロシア科学アカデミー図書館所蔵 川原慶賀の植物図譜」4月8日～5月21日の39日間。回答数：297／「遠藤利克展－聖性の考古学」7月26日～8月31日の42日間。回答数：385／「駒井哲郎 夢の散策者」9月12日～10月9日の26日間。回答数：180／「開館35周年記念展 ディエゴ・リベラの時代 メキシコの夢とともに」11月15日～12月10日の26日間。回答数：239／「版画の景色 現代版画センターの軌跡」1月16日～3月25日の61日間。回答数：208
- ・ MOMAS コレクション調査：「Ⅰ」4月11日から5月3日の20日間。回答数：333／「Ⅱ」7月22日から8月19日の25日間。回答数：333／「Ⅲ」11月25日から1月16日の37日間。回答数325／「Ⅳ」1月23日から2月13日の19日間。回答数292。
- ・ 「美術館にひとこえを！」と名づけたアンケート用紙を1階ロビーに常備し、来館者の声を聴いた。質問や要望の内容によっては回答をさしあげている。また、美術館講座やMOMASの扉、ミュージアム・コンサートなどでもアンケートを実施した。

#### 2. その他

- ・ 当館への問い合わせ等はインターネットでも受け付けており、随時回答をさしあげている。
- ・ 近隣町内会や商店会の代表者の方たちと定期的に催しの情報交換をし、美術館に対する要望をうかがったり広報協力をお願いしたりする機会としている。

### ■広報

#### 1. 印刷物の作成・配布

- ・ 企画展毎に、それぞれのイメージに即したデザインによるB2ポスター、ちらし、ワークシート等を作成した。MOMAS コレクションでは昨年引き続き、イメージを統一したB1・B2ポスターを会期ごとに作成し、北浦和公園や館内各所に掲出した。こうしたポスター類や道案内は、JR東日本大宮支社のご協力を得て、最寄りのJR北浦和駅構内にも設置している。その他、美術館講座や学校向けの利用案内、ファミリー鑑賞会などは手づくりのちらしを作成した。

- ・ 以上の印刷物や広報紙ソカロ、ミュージアム・カレンダーを、関連機関、協力ポイント、近隣自治会や商店会、カフェ、県内の情報拠点や小・中・高・特別支援学校、全国美術館等に配布した。

#### 2. パブリシティ

- ・ 展覧会やイベント、教育・普及事業等について記者発表し、新聞・テレビ、雑誌、WEB等の各種メディアに掲載されるよう努めた。
- ・ 企画展では、会期初日に報道関係者や雑誌社、美術ブロガー等を招いた内覧会を開催した（オープニングレセプション開催の場合はレセプション前にプレスカンファレンスを実施した）。

#### 3. ホームページ

彩の国県立学校間ネットワークシステムのサーバ上でホームページを運用し、各種情報を発信した。

URL：<http://www.pref.spec.ed.jp/momas/>

情報項目：お知らせ(ニュース、ソカロ、スタッフ募集、プレスリリース)、利用案内(美術館概要、利用案内/交通案内、フロアガイド、一般展示室/講堂)、展覧会(企画展、MOMAS コレクション、年間スケジュール、一般展示室)、イベント(企画展関連イベント、MOMAS コレクション関連イベント、MOMASのとびら・カレンダー、イベント・カレンダー)、教育・普及事業(MOMASのとびら、学校と美術館、彫刻あらいぐま、近現代建築探検ツアー)、もっと楽しもう(収蔵品紹介、今日座れる椅子、資料閲覧室、北浦和公園・野外彫刻、ファミス、ミュージアム・ショップ、レストラン・ペペロネ)、リンク、サイトマップ、English、過去の展覧会図録の販売 など

年間ページビュー数：851,793

#### 4. ソーシャル・ネットワーキング・サービス

- ・ ツイッター公式アカウント(2011年7月～)では、美術館や北浦和公園の情報を1日1回程度ツイートしている。また、ツイッター上のイベント「ミュージアムウィーク」や「文化遺産ウィーク」に参加し、美術館の認知度の向上を図った。

URL：[https://twitter.com/momas\\_kouhou](https://twitter.com/momas_kouhou)

ツイート数：7,535、フォロワー数：17,839(3月末現在)

- ・ YouTube 公式アカウント(2014年1月～)では、展覧会の告知映像や展示風景、対談イベント、学芸員のギャラリートークの様子などを配信している。

URL：<https://www.youtube.com/user/momas.jp>

- ・ フェイスブック公式ページ(2014年7月～)では、展覧会や各種イベント、ワークショップの様子、北浦和公

園の情報など、幅広い情報発信を随時行っている。

URL : <https://www.facebook.com/momaspr>

いいね! 数 : 1,780(3月末現在)

## 5. その他

- ・ 県展開催期間限定で、MOMAS コレクション観覧料を半額にする割引サービスを実施した。
- ・ 与野本町ショッピングセンターのデジタルサイネージで、企画展やMOMAS コレクション等の情報を配信した。
- ・ 埼玉りそな銀行北浦和西口支店の協力により、店内デジタルサイネージによる企画展告知映像の配信および企画展ちらしの配架を行った。
- ・ グーグル社が提供する「Google Arts & Culture」に参加し、3月末現在、主要な収蔵作品の高精細画像99点(バイリンガルの解説付き)および館内・北浦和公園のストリートビューをWEB上で閲覧できる。
- ・ 近隣のディスクユニオン北浦和店と連携し、展覧会半券による割引サービスを行った。

## ■担当後記

- ◆ 広報紙『ソカロ』において、スピンオフとして拡大版『ソカロ&デラックス』やミニ版『ミカロ』、ロング版『ソカロング』など、数々のバリエーションを発行し広報活動を盛り上げた。また、開館35周年イベントの開催とあわせて積極的な広報を展開した。(飯島俊)
- ◆ 昨年度に続いて、秋に『ソカロ』拡大号を発行。歴代館長の名言集、主席学芸主幹が語る歴代館長、現役学芸員による座談会等による「学芸員開放計画」等、にぎやかな紙面を構成し、好評を博した。『ミュージアム・カレンダー』は、引き続き、川村格夫氏にデザインを依頼。裏面の付録『ソカロング』には、「組立式MOMAS」を組み込み、開館35周年記念イベントにあわせて制作したチラシに掲載した「ここはソカロニア、わたしはソカロイド。」を再録した。美術館の存在を知ってもらい、関心を寄せてもらうために、美術館ならではの印刷物の展開を探っている。(梅津元)

## ■広報記録

<埼玉県立近代美術館>

- ・ 「花見スポット7選 浦和エリア」『たまログ』2017年4月1日
- ・ 「近代美術館」『オブリ通信』2017年4月1日
- ・ 「浦和競馬場周辺おすすめスポット「近代美術館」」『地方競馬総合ガイドブック』2017年4月1日
- ・ 「ぐるっとパス2017」『朝日新聞』2017年4月4日(夕刊)

- ・ 「芸術選奨 創作の源 橋本さん近藤さん 知事に受賞報告」『埼玉新聞』2017年4月6日
- ・ 「今後の活動へ意欲語る 芸術選奨受賞の2人、知事表敬」『産経新聞』2017年4月6日
- ・ 「橋本真之氏知事表敬訪問」『J:COM』2017年4月6日
- ・ 「芸術選奨受賞 県ゆかりの橋本、近藤さん 知事を表敬訪問」『毎日新聞』2017年4月6日
- ・ 「鑑賞の作品 アプリで解説 県立近代美術館 22日から 英語にも対応」『日本経済新聞』2017年4月14日
- ・ 「県立近代美術館 無料アプリで展示解説 館内と北浦和公園、22日から」『産経新聞』2017年4月15日
- ・ 「2016年 美連協カタログ論文賞 美連協展部門「日本におけるキュビズムーピカソ・インパクト」」『美連協ニュース5月号』2017年5月1日
- ・ 「2016年 美連協大賞「原田直次郎展 西洋画は益々奨励すべし」」『美連協ニュース5月号』2017年5月1日
- ・ 「アートを歩く 身近な存在目指す 埼玉県立近代美術館」『毎日新聞』2017年5月19日
- ・ 「銅の造形 樹木と「増殖」20年」『朝日新聞』2017年6月11日
- ・ 「日本でピカソの作品が鑑賞できる美術館」『講談社青い鳥文庫』2017年6月15日
- ・ 「優れた近代アートを鑑賞、体感 埼玉県立近代美術館」『昭文社』2017年7月1日
- ・ 「小村雪岱」『東京美術』2017年6月30日
- ・ 「埼玉県立近代美術館」『おいしい大人の日帰り【首都圏版】』2017年7月15日
- ・ 「中銀カプセル」『夏木マリインスタグラム』2017年7月17日
- ・ 「中銀カプセル」『夏木マリフェイスブック』2017年7月17日
- ・ 「年間計画」『美術館びあ2017秋冬-2018』2017年7月14日
- ・ 「クロード・モネ『ジヴェルニーの積みわら、夕日』」『MANAGEMENT SQUARE』2017年8月1日
- ・ 「広がる無料アプリ 美術館・博物館 スマホが案内」『朝日新聞』2017年8月4日(夕刊)
- ・ 「近美の建畠さん 館長に 草間彌生美術館 都内に10月開館」『埼玉新聞』2017年8月12日
- ・ 「草間彌生美術館 開館へ 10月1日、東京・新宿に」『日本経済新聞』2017年8月12日
- ・ 「新宿に草間彌生美術館 10月1日開館」『毎日新聞』2017年8月12日
- ・ 「草間彌生美術館 新宿に今秋開館」『東京新聞』2017

年8月12日

- ・「11月」『2018 カレンダー 熊谷守一』2017年8月18日
- ・「夏の世の夢(上) シュルレアリスム ようこそ怪しい森の世界へ」『日本経済新聞』2017年8月13日
- ・「北浦和公園」『Hanako ママ』2017年9月8日
- ・「草間美術館(建皇館長)」『埼玉新聞』2017年9月27日
- ・「北浦和公園」『あんふあん埼玉版』2017年10月6日
- ・「近代美術館」『さいたま市広報紙 korekara』2017年10月20日
- ・「Topic 全国美術館会議 初の行動指針 理解広がらず危機感 「表現の自由 保証し支える」明記」『毎日新聞』2017年10月24日(夕刊)
- ・「近代美術館」『CanonFrontline』2017年11月25日
- ・「近代美術館」『JRパンフ「つながる。めぐる。川越さいたまお散歩trip」』2017年11月29日
- ・「近代美術館」『JRパンフ「つながる。めぐる。川越さいたまお散歩trip」』2017年11月29日
- ・「さいたまトーク 県立近代美術館長 建皇哲さん(70)に聞く 美術の収集 歴史形作る 休日ウキウキ出かける場に」『朝日新聞』2017年12月9日
- ・「いーむずの椅子」『mygoodies 2017-2018 winter』2017年12月10日
- ・「美術の取材法学ぶ 浦和区中学生ら「街巡り」本番レポート」『埼玉新聞』2018年1月29日
- ・「近美全般」『企画展だけじゃもったいない 日本の美術館めぐり』2018年1月30日
- ・「独自の美 大衆魅了 (小村雪岱『雪岱調』のできるまで) 川越市立美術館(川越)」『埼玉新聞』2018年1月31日
- ・「Vol.132 現代美術はおもしろい! 埼玉県立近代美術館 埼玉を代表するアートの砦」『散歩の達人 POCKET ぶらぶらミュージアム』2018年1月31日
- ・「川越出身 小村雪岱 画業たどる(川越市美小村雪岱展記事内)」『東京新聞』2018年2月16日
- ・「隊員御用達のお店」『MAMOR』2018年2月21日
- ・「花見スポット8選(北浦和公園)」『たまログ浦和3月号』2018年3月2日
- ・「花見スポット8選(北浦和公園)」『たまログ大宮・上尾3月号』2018年3月2日
- ・「埼玉県立近代美術館」『埼玉県信用保証協会 MONTHLY REPORT』2018年3月31日
- ・「埼玉県立近代美術館2」『埼玉県信用保証協会 MONTHLY REPORT』2018年3月31日
- ・「戦後美術をアーカイブ 「作品の不在」補う記録 海

外流出 危ぶむ声も」『日本経済新聞』2018年3月31日

## ■刊行物

平成27年度版年報、平成28年度版要覧、平成28年度版ミュージアム・カレンダー、広報紙ソカロ、美術館概要パンフレットを刊行した。年報、要覧はホームページでも閲覧できる。

## ■広報紙ソカロ

広報紙ソカロ(A3版2面・カラー印刷、2017年10-11月号『ZOCALO & Deluxe Vol.2』はA2版2面・カラー印刷)を、2か月毎(年6回、各13,000部)に編集・発行・配布した。

## ■2017年6-7月号(#84 5月31日発行)

- ・ 畏れと歓喜の先にある感覚を目指して 企画展「遠藤利克展—聖性の考古学」(渋谷拓)
- ・ さくねんのたまもの 平成28年度 新収蔵作品のご紹介(前山裕司)
- ・ 2017年度MOMASコレクション第1期スペシャル展示「建皇哲×MOMAS コレクション 草間彌生」(五味良子)
- ・ 開館35周年に向けて(梅津元)
- ・ ミュージアム・ショップおすすめ商品「エアリー・タックバッグ」(野溝円香)
- ・ MUSEUM NEWS 6-7



## ■2017年8-9月号(#85 7月31日発行)

- ・ 企画展「駒井哲郎 夢の散策者」(吉岡知子)
- ・ 埼玉県立近代美術館35周年企画第1弾! 「ベストデザイン椅子グランプリ 予選投票受付中!!」35周年メッセージも募集中です!!(菖蒲澤侑)
- ・ 美術館サポーターの新メンバーを紹介します(笠原たまき)
- ・ 「MOMASのとびら」夏休み特別版 サマー・アドベンチャー

ヤー2017 (笠原たまき)

- ・ MOMAS ステーション (笠原たまき)
- ・ ミュージアム・ショップおすすめ商品「フォールディングバッグ」(名古屋仁美)
- ・ MUSEUM NEWS 8-9



■2017年10-11月号『ZOCALO & Deluxe Vol. 2』(#86 9月30日発行)

- ・ 企画展「ディエゴ・リベラの時代 —メキシコの夢とともに」(平野到)
- ・ アーティスト・プロジェクト #2.02「北野謙：光を集める」(梅津元)
- ・ 11月は開館記念月間！！(飯島俊)
- ・ 開館35周年記念 美術館につとめてみたら…①「歴代館長について」(大越久子、聞き手：飯島俊)
- ・ 開館35周年記念 美術館につとめてみたら…②(梅津元、平野到、聞き手：菖蒲澤侑)
- ・ 開館35周年記念 美術館につとめてみたら…③(大浦周、渋谷拓、吉岡知子、聞き手：菖蒲澤侑)
- ・ ミュージアム・ショップおすすめ商品「ひびのこづえハンカチ」(曾根久美子)
- ・ MUSEUM NEWS 10-11



■2017年12月-2018年1月号(#87 11月30日発行)

- ・ 企画展「版画の景色 現代版画センターの軌跡」(梅津元、五味良子)
- ・ MOMAS コレクション第4期「とう・かたる一人と美術の出会いの中で」(菖蒲澤侑)
- ・ 開館35周年記念 美術館につとめてみたら…④(五味良子、嶋原悠、聞き手：菖蒲澤侑)
- ・ ミュージアム・ショップおすすめ商品「アラン・グレルのメッセージブック」(信山恵理子)
- ・ MUSEUM NEWS 12-1



■2018年2-3月号(#88 1月31日発行)

- ・ 特別寄稿：現代版画センター運動の傍らで —運動のはるかな精神について (栗原敦、梅津元、五味良子)
- ・ 開館35周年記念 美術館につとめてみたら？…⑤(飯島俊)
- ・ 開館35周年記念 美術館につとめてみたら…⑤「35周年企画を担当してみたら」(菖蒲澤侑)
- ・ ミュージアム・ショップおすすめ商品「暮らしを彩るいろわし おりがみ小箱」(宮前いづみ)
- ・ MUSEUM NEWS 2-3



### ■2018年4-5月号(#89 3月31日発行)

- ・ モダンアート裁縫?—フォンタナ、九州派から金村修まで (吉岡知子、聞き手: 梅津元)
- ・ 企画展「福岡市美術館コレクション展 モダンアート再訪!—ダリ、ウォーホルから草間彌生まで」(山口洋三、吉岡知子)
- ・ 転載: 『MICALO』2017年7月 #04、2017年8月 #05
- ・ リターン・オブ・ザ・リアル 遠藤利克氏 毎日芸術賞受賞 (梅津元、渋谷拓)
- ・ ミュージアム・ショップおすすめ商品「アイロンビーズ」(川上佳代)
- ・ MUSEUM NEWS 4-5



### ■広報紙ソカロのスピノフ

広報紙ソカロのスピノフとして、『MICALO』および『ZOCALONG』を編集・発行した。

### ■埼玉県立近代美術館ミニニュース『MICALO』

#### ■2017年7月 #04 (A5)

- ・ 『美術手帖』2017年7月号、115頁、広告欄に掲載
- ・ 企画展「遠藤利克展—聖性の考古学」告知
- ・ MOMAS コレクション展「遠藤利克—供儀の論理学」告知

- ・ 執筆: 梅津元、渋谷拓、前山裕司
- ・ 編集・デザイン: 飯島俊、梅津元

#### ■2017年8月 #05 (A5)

- ・ 『美術手帖』2017年8月号、97頁、広告欄に掲載
- ・ 企画展「遠藤利克展—聖性の考古学」告知
- ・ MOMAS コレクション展「遠藤利克—供儀の論理学」告知
- ・ 執筆: 大浦周、建島哲、平野到
- ・ 編集・デザイン: 飯島俊、梅津元

### ■埼玉県立近代美術館ロングタームニュース『ZOCALONG』

#### ■1982年11月-2018年3月 #02 (840mm×145mm: 蛇腹8つ折り)

- ・ 2018年度ミュージアム・カレンダー裏面に掲載 (付録) / デザイン: 川村格夫 (ten pieces)
- ・ 組立式MOMAS+ソカロイドの夢 [開館35周年記念大感謝祭に想いを馳せて……]
- ・ 執筆・編集: 梅津元、菖蒲澤侑

## ■図書資料の収集と公開

美術館活動を進める上で、必要な基礎的及び専門的資料を収集し、併せてこれを一般に公開することにより、県民が美術に親しみ、理解と鑑賞を深める機会を提供している。

### ■蔵書冊数一覧

・一般書

	分 類	平成 28 年度まで	平成 29 年度	計
購 入	A 美術総記	2,442	19	2,461
	B 日本美術	2,646	25	2,671
	C 西洋美術	3,130	10	3,140
	D 東洋			
	その他の美術	186	0	186
	E 図録	870	12	882
	F 埼玉資料	241	1	242
	G 関係諸学	784	3	787
	小 計	10,291	70	10,361
	受贈 (一般図書・他館図録)	31,589	825	32,414
合 計	41,880	895	42,775	

・美術雑誌(バックナンバーを除く)

購入 25 タイトル(うち洋雑誌 4 タイトル)

受贈 12 タイトル

計 37 タイトル

開室日数 298 日

利用者数 2,965 人

レファレンス受付件数 131

## ■椅子の美術館

約 70 種類所蔵している内外のグッド・デザインの椅子やアートな椅子を、入館者に自由に座って楽しんでもらった。これらの椅子は、企画展や MOMAS コレクションの展示替えに合わせて定期的に入れ替え、常時 20~30 脚程度を館内各所に配置しており、ホームページの「今日座れる椅子」で紹介している。

## ■ハイビジョン・コーナー

1 階エントランス・ホールの休憩コーナーでは、65 インチの大画面により、19 世紀以降の優れた美術作品等を、高精細な映像と音声で紹介した。また、随時、企画展、収蔵品、イス等の紹介映像を上映した。

## ■トピックス

### ■トピックス[1]

#### 第5回 座れる段ボールの椅子グランプリ

学校との連携強化と、創造力と創意工夫する力の育成を目的に、埼玉県内の小・中学校、高等学校、特別支援学校の児童、生徒を対象に本事業を開催した。段ボールのみを素材に、大人が座ることができる椅子を3人以上のグループで制作して応募するコンクール形式で実施し、29校、51グループ、369人が参加した。

8月9日(水) 当館講堂において建昌哲館長、埼玉大学教授・高須賀昌志氏、大越学芸主幹、梅津主任学芸員が審査を行い、以下の入賞作品と入選作品を決定した。

#### ① 総合グランプリ

市立浦和高校美術部

《Oil color's chair》

(さいたま市立浦和高等学校)



#### ② 総合準グランプリ

北本高校美術部

《ゆりリス》

(埼玉県立北本高等学校)



#### ③ 高等学校グランプリ

杉高美術部2年

《花蝶風月》

(埼玉県立杉戸高等学校)



#### ④ 中学校グランプリ

川島町立西中学校美術部3年女子

《海のイス》

(川島町立西中学校)



#### ⑤ 小学校・特別支援学校グランプリ

チームありあ vol. 2

《つまみぐいしたのだあれ?》

(埼玉県立上尾かしの木特別支援学校)



⑥ 中学校準グランプリ

新人19人

《のびろ！つながる若葉》

(所沢市立南陵中学校)



⑦ 中学校準グランプリ

2代目めしまん

《Whale chair》

(小川町立東中学校)



⑧ 小学校・特別支援学校準グランプリ

志木小 工作大好きグループ

《王様の馬》

(志木市立志木小学校)



8月19日(土)～8月27日(日)の期間、受賞作品、入選作品を館内に展示し、来館者に紹介するほか、8月19日(土)に受賞式を行うとともに作者によるプレゼンテーションを中心とした鑑賞会を行い、広くアピールした。



8月19日(土) サマー・アドベンチャー

“座れる段ボールの椅子大集合V” 鑑賞会風景

■広報記録

<雑誌・ミニコミ誌等>

- ・ 『リセマム(yahoo ニュース)』「埼玉県立近代美術館 子ども向けワークショップ(サマー・アドベンチャー)」  
6月23日

■担当後記

- ◆ 今年で5回目の開催となった「座れる段ボールの椅子グランプリ」では、作品のレベルは全体的に高くはあるが、回数を重ねることによりアイデアが出尽くした感があった。その中で、段ボールの素材そのものを活かした良い意味で地味な作品に審査員の評価が集まった。創意工夫あふれる作品が多数出品され、本グランプリが美術教育の充実に寄与していることが伺える。
- ◆ 今年度で終了となる本事業ではあるが、参加校の児童、生徒、教員からは、来年も出品したかったという声があがり、子ども達の絆を深めるよい取り組みとなった。次年度は、さらに学校連携を推し進めていけるような新たな事業を企画していく予定である。

(児玉壮史)



## ■トピックス [2]

### 埼玉県立近代美術館 35 周年企画

2017 年に 35 周年開館記念日を迎えるにあたり、数々の関連企画を実施した。

#### 1. ベストデザインの椅子グランプリ

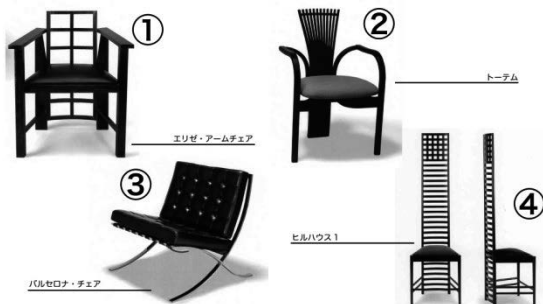
「椅子の美術館」とも呼ばれる当館にちなみ、所蔵の椅子の人気投票を実施した。

予選については、館内でのシールによる投票と当館 twitter 上でアンケートシステムによる投票を、下記日程で実施した。

【予選1：王様気分の椅子部門/7月1日(土)～16日(日)】

埼玉県立近代美術館 35周年企画  
**ベストデザインの椅子グランプリ**  
 予選1：王様気分の椅子部門 (7/1-7/16)

埼玉県立近代美術館



【予選2：個性派ぞろいの椅子部門/7月22日(土)～8月6日(日)】

埼玉県立近代美術館 35周年企画  
**ベストデザインの椅子グランプリ**  
 予選2：個性派揃いの椅子部門 (7/22-8/6)

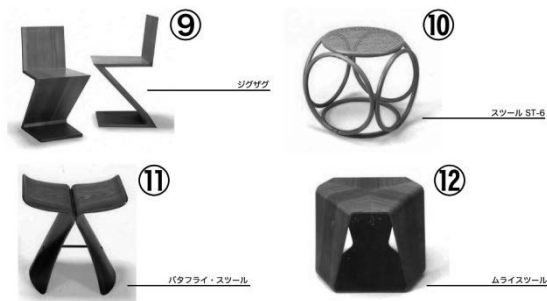
埼玉県立近代美術館



【予選3：モクメ部門/8月12日(土)～27日(日)】

埼玉県立近代美術館 35周年企画  
**ベストデザインの椅子グランプリ**  
 予選3：モクメ部門 (8/12-8/27)

埼玉県立近代美術館



【予選4：The 椅子?部門/9月2日(土)～17日(日)】

埼玉県立近代美術館 35周年企画  
**ベストデザインの椅子グランプリ**  
 予選4：The 椅子?部門 (9/2-9/17)

埼玉県立近代美術館

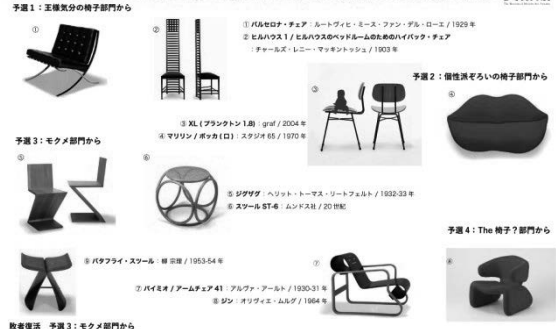


各部門上位2脚に敗者復活1脚を加えた計9脚について、館内投票で決勝投票を実施した。

【決勝：10月1日(日)～11月12日(日)】

35th ANNIVERSARY / MOMAS  
 開館35周年  
**ベストデザインの椅子グランプリ 決勝**

埼玉県立近代美術館



【結果発表：11月14日（火：県民の日）、展示：11月14日（火：県民の日）～12月10日（日）】

35th ANNIVERSARY / MOMAS  
開館35周年  
ベストデザインの椅子グランプリ 結果発表！

埼玉県立近代美術館

予選参加者数（累計）：4,821人  
館内投票数：3,503票（twitter票：1,318票）  
決勝参加者数（累計）：998人  
総参加者数（累計）：5,819人  
熱い応援、本当にありがとうございます！

グランプリ 得票数 209票  
マリリン / ボッカ（口）  
：スタジオ65 / 1970年



マリリンに似せた可愛らしいデザイン。口をモチーフにして、ずらりと並んでいるイスです。この椅子にすわってゆめを食いたい（5才）。マリリン一筆がんばれ！  
・固すぎず柔らかすぎず座り心地が良い。  
・小学生の頃（25年くらい前）から、めだちもずわりにも馴染みがあります！

準グランプリ 得票数 190票  
ジン  
：オリヴィエ・ムルグ / 1964年



ジンに似せた可愛らしいデザイン。口をモチーフにして、ずらりと並んでいるイスです。この椅子にすわってゆめを食いたい（5才）。マリリン一筆がんばれ！  
・固すぎず柔らかすぎず座り心地が良い。  
・小学生の頃（25年くらい前）から、めだちもずわりにも馴染みがあります！

3位 得票数 157票  
バルセロナ・チェア  
：ル・コルビュゼ / ファン・デル・ローエ / 1929年



バルセロナ・チェアに似せた可愛らしいデザイン。口をモチーフにして、ずらりと並んでいるイスです。この椅子にすわってゆめを食いたい（5才）。マリリン一筆がんばれ！  
・固すぎず柔らかすぎず座り心地が良い。  
・小学生の頃（25年くらい前）から、めだちもずわりにも馴染みがあります！

予選・決勝あわせて5,819人の方々に参加していただいた。企画が終了した現在でも椅子を探して館内をまわる家族連れや学生、子どもたちも多くみられ、「椅子の美術館」として定着するとともに、親しみやすい「椅子」という要素を前面に押し出すことで、これまで美術館と縁遠かったような層の来館にもつながったと考えられる。

## 2. 開館35周年メッセージ

35周年に合わせて美術館へのメッセージを募集するとともに、埼玉県立近代美術館での思い出、エピソードなどもあわせて集め、開館記念日に合わせて展示した。募集に際しては、館内のほか、twitter上でもハッシュタグにより募集を行った。

美術館を愛してくださる方々のあたたかいメッセージが秋のエントランスを彩った。

【募集：7月1日（土）～、展示：11月1日（水）～12月10日（日）】



## 3. 開館記念大感謝祭

開館記念日である11月3日（金・祝）には、2階講堂にて、下記8つのブース・コーナーを設置し「開館記念大感

謝祭」を実施した。

多くの方々にご参加いただき、誕生日を祝うことができた。

① 手づくりMOMAS「わたしがつくる MOMAS Kita-Urawa」  
ロゴマークを自由にアレンジして自分だけの「MOMAS Kita-Urawa」をつくった。



② MOMASの誕生日ケーキをつくろう  
美術館のロゴマークを模した立体物にみんなで飾りつけをして、35周年を記念するオブジェをつくった。

③ MOMASグッズアイデア募集  
美術館の収蔵品を題材にMOMASグッズを自由に考えた。

④ NOMINOICHI（のみのいち）  
過去の企画展チケットなどの掘り出し物を、各コーナー・ブースに参加することで入手できるチケットと交換する「蚤の市」を実施した。

⑤ 学芸員ブース  
美術館の疑問について学芸員がお答えした。また開館からの企画展図録を全て設置し、自由にご覧いただいた。

⑥ 「fam. s」ブース  
美術館友の会「fam. s」についての展示や会員登録を行った。

⑦ 開館35周年メッセージブース  
メッセージを寄せるコーナーを設置した。

⑧ 記念撮影エリア  
当館の象徴・モネの「ジヴェルニーの積みわら、夕日」の大パネルや揺り椅子、立て看板を設置し、自由に撮影していただいた。

## 4. いつでもガイド

11月3日（日）、美術館サポーターによるガイドの拡大版「いつでもガイド」を実施した。たくさんの方々にお楽しみいただいた。

## 5. サンデートーク・スペシャル

11月26日（日）、学芸員による「サンデートーク」の拡

大版を実施した。MOMAS コレクションだけでなく、北浦和公園の彫刻や、ベストデザインの椅子グランプリ出場の椅子など、趣向を変えた解説も行い、好評を得た。

## ■広報記録

### <新聞>

- ・ 角拓哉「あなたの The 椅子 投票を受付中 県立近代美術館」『朝日新聞朝刊』2017年9月4日
- ・ 小出菜津子「見て座って楽しもう ベストデザインの椅子グランプリ 県立近代美術館」『埼玉新聞朝刊』2016年10月4日

### <テレビ>

- ・ 「埼玉県立近代美術館 35 周年記念大感謝祭」『テレビ埼玉』11月3日
- ・ 「埼玉県立近代美術館 35 周年記念大感謝祭」『J:COM』11月3日
- ・ 「「椅子の美術館」埼玉県立近代美術館」『テレビ埼玉』11月28日

### <雑誌・ミニコミ誌等>

- ・ 「埼玉県立近代美術館 35 周年 ベストデザインの椅子グランプリ 決選投票受付中！」『ちいき新聞』10月27日

## ■担当後記

- ◆ 35周年という好機に数々のイベントを長期的に実施することで、埼玉県立近代美術館の知名度を向上させることができた。また計画的な記者発表や Twitter や Facebook を利用した告知により、新しい層への働きかけも実施できた。特に Twitter については、ベストデザインの椅子グランプリ内で、当館としてはじめてアンケートシステムを利用し、多くの反響をいただいた。今まで美術館と縁遠かった（と思われる）層にまで投票していただくことができた。
- ◆ これらのイベントの成果や反響を一過性にせず、今後も伝統を踏まえ変えられないところを持ちつつも新しい試みを行い、他の美術館とは一味もふた味も違った埼玉県立近代美術館としての発展すること、その中で埼玉県立近代美術館の深いファンを育て、増やしていくことが必要であろう。

(飯島俊)



## ■トピックス [3]

### とう・かたる一人と美術の出会いの中で：報告番外編

本企画は、当館での教育普及事業において展開してきた所蔵品を対象とする対話型鑑賞の実践及び研究を基盤とする所蔵品展である。本稿では、MOMAS コレクション展第IV期での概要の報告の番外編として、収蔵品を対象とする教育活動の可能性について論考する。

#### ■企画の背景：対話型鑑賞実践の分析

本企画は、これまで企画者が当館での教育普及事業において対話型鑑賞で取り上げた作品を中心に構成した。対話型鑑賞は、進行役が参加者に作品について問いかけ、参加者が語ることの繰り返しにより展開するギャラリー・トークの一種である。

企画者は、館主催のワークショップ「MOMAS のとびら」(過去にはMOMAS の扉、アートの森として実施)や、学校団体来館時での対応において、Visual Thinking Strategies の手法を参考にしながら対話型鑑賞を実践してきた。Visual Thinking Strategies は、進行役であるナビゲーターによる「作品の中で何が起きているか」「それは作品のどこから感じたのか」「他に発見はあるか」という内容の問いを基本とし、参加者の発言を受容し、言い換え、発言同士を関連付けることで、作品鑑賞を通して視覚情報から思考し思索する訓練をする手法である。

企画者の実践においては、例えば人物を描いた作品であれば、「男性か女性か」「緊張しているかリラックスしているか」「どこにいるのか」というような問いや、様々なものが描かれた作品であれば、「作品の中に何が描かれているか」というような見つけたものを挙げていく問い等、作品の特徴に応じて応えやすいと思われる問いを設定してきた。更にそれらの問いに対する語りにも必ず、「それは作品のどこからそのように感じたか」を問いかけて、参加者の回答を言い換えることを繰り返す。このことにより作品の観察と詳述を促すとともに、観察した内容に潜む参加者の解釈の自覚を促し、最後に、「作品の中で何が起きているか」を問うことで、作品の詳細な観察と部分の解釈に基づいて、参加者個々が作品をどのように解釈したか語ることを促すという実践を行ってきた。

#### ■企画の意図：実践から展示へ

本企画では、来場者と作品の出会いの中で生じる様々な発見や解釈、感情を出来るだけ無理なく記述することを狙いとし、上記のような対話型鑑賞実践を基盤として、観察と詳述を促す問いと解釈の自覚を促す問いを組み合わせ

提示した。また、来場者の記述を会場に掲出することで共有できる構造とし、来場者の多様な解釈を鑑賞者が規定する作品の価値をして示そうとした。

これまで対話型鑑賞実践で取り上げたことがある作品から、観察と詳述を促す問いの設定が適切であったと思われる作品を選び、「作品の中でどのような出来事が起きていると思いますか?」という解釈を促す問いと組み合わせ、6つのカテゴリーを設定した。作品情報キャプションとともに、各カテゴリーに設定した2つの問いを掲示。また会場内に問いに対する回答を付箋に記入できるテーブルを設け、定期的に企画者が付箋を回収、確認し、選択した回答を作品情報キャプション、問いと共に掲出した。(カテゴリーと各カテゴリーに設定した問い、展示作品は、MOMAS コレクション展第IV期での概要報告を参照。)

更に本企画では、会期中に2回、対話型鑑賞によるギャラリー・トークを開催した。自由参加形式で、企画者がファシリテーターとなり、展示作品のうち数点について対話型鑑賞を行った。本稿では、物語りたくなる作品：丸山直文《garden 3》(2003、寄託作品)に対する展示室での付箋に残された記述と、対話型鑑賞によるギャラリー・トークでの語りを検討し、収蔵品を対象とする教育活動の可能性について考察する。

#### ■展示室内付箋：

##### 丸山直文《garden 3》における問いと記述

問い	作品の中でどのような出来事が起きていると思いますか?	この後、どうなると思いますか?
記述	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 3人が家に帰る様子。</li><li>・ 三人がまよってはなればなれになって、がんばってさがしているんだと思う。</li><li>・ こどもたちがおかわれするところ</li><li>・ 人体の中に存在する悪と善。人の中にも人のような生物が。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 3人ともひっこしてバラバラになる</li><li>・ みんながなかよしくなってもりであるみているみたい</li><li>・ 幸せそうに見えるが・・・なぜか不安を感じる。すぐそばに迫っている様な・・・何か。</li><li>・ 全て黒いののにのみこまれる！！</li></ul>

※表記は付箋の通り

「作品の中でどのような出来事が起きていると思いますか?」という問いに対する記述は、「家に帰る」「まよって」「がんばってさがしている」等、作品に描かれていることを記述しているようで、実際は鑑賞者の解釈を含む記述が

見られる。ここから、「作品の中でどのような出来事が起きていると思いますか?」という問いと、先んじて作品の細部を観察するよう促す問いや、「それは作品のどこからそのように感じたか」という問いを組み合わせることにより、鑑賞者が作品の観察から解釈へと自然に移行する、即ち、無理なく根拠ある解釈を語ることが出来る可能性が見られた。

また、「この後、どうなると思いますか?」という問いに対する記述では、作品の内容から発想・連想した内容が書かれている。ここで「なかよし」「幸せそうに見える」という記述と、「バラバラになる」「不安を感じる」「黒いのこのみこまれる」という記述が見られたことから、平和であったり幸せであったりする展開と、不安や恐怖を感じる展開の二極で問い、それぞれの根拠を尋ねることで、より冷静に作品を観察し、根拠を整理した解釈が促されるのではないかと仮説を立てた。

## ■対話型鑑賞：

### 丸山直文《garden 3》における問いと語り

展示室内の付箋に残された記述を分析し、丸山直文《garden 3》について、①作品に描かれたものを記述する問いを投げかけ、その語りに潜む参加者の解釈の自覚を促すために、語った内容の根拠を問い直すこと。②場の議論を整理しながら作品の解釈を深めていくことが出来るよう、作品のこの後を問う際、平和であったり幸せであったりする展開と、不安や恐怖を感じる展開の二極で問うこと、の2点に留意し、対話型鑑賞によるギャラリー・トークを実施した。

色に特徴がある作品であることから色の印象を問うと、『さびしいかんじがする。こわい色に見える。』『さわやかな感じがする。』というような語りが起きた。そこで「作品のどこからそのように感じたのか」を問うと、根拠となった色彩の場所を示す展開となったため、鑑賞者が作品から得た印象の根拠を尋ねるために「どうしてそのように見えたのでしょうか?」と問うと、『どうしてと言われても・・・そう見るとしか言えない』という意見で対話が終わる場面があった。また、対話の中心になっていた作品中の緑の部分について、今後の展開にどのように関わるか尋ねたところ、『緑の部分は意志を持っている重要な存在』『いや、ただの影だろう。』というように意見の対立が見られた。そこから、この後の作品の展開について二極に分けて（ハッピー・エンドか、バッド・エンドか）を尋ねるも、それぞれが作品の印象を語るが、その印象を得た根拠を述べるまでに至らなかった。

## ■収蔵品を対象とする教育活動の可能性

美術館における教育活動の企画・実践者は、多くの場合、ワークショップやギャラリー・トークなどの対人的な事業に関わる。そこでは、企画者が実践を兼務し、記録専門に人員を割くことが困難であることや、そもそも美術館における教育活動の基底となる目標やカリキュラムが明確でないこと等から、実践の記録と反省、外部との共有がしづらく、1つ1つの実践を体系的に積み重ね検討することが難しい。個人の企画・実践者の経験の中に美術教育実践の経験が蓄積されることはあっても、それが他者や他機関と共有できる知見となる方法論は確立していない。例えば学校における図画工作科・美術科教育であれば、学習指導要領や各校のカリキュラム、児童生徒の発達などを基準あるいは規準とし、実践の成果や反省点を整理して共有し、次の実践に活かすという営みがある。

では、美術館における教育活動の成果や反省を知見として共有し蓄積する際の手がかりは何であり得るか。本企画を通して見られた可能性の1つが、収蔵品の存在である。本企画においては、展示での記述から作品が人の語りに及ぼす影響を検討したことで、対話型鑑賞によるギャラリー・トークにおいて実践者が参加者に介入する際の意図を明確にした上で、実践を行うことができた。更には、そもそも本企画自体が、延べ6年の当館における対話型鑑賞実践を基盤としているため、実践に基づき企画した収蔵品展から実践への知見を得て、実践に反映させるという往還が実現した。美術館は、収蔵品について膨大な関連資料を有し、日々の研究により新たな情報を得る環境が整っている。これは、美学美術史上の知見の蓄積のみならず、作品と人の出会いという広義の美術教育上の知見をも蓄積できる環境でもある。

また、美術館における教育活動の企画・実践者が、教育活動の意図や構造を明確に整理・自覚し実践を行うと共に、その意図に沿わない結果こそを成果として認識することが、美術館における教育活動を特徴づけると共に発展させる手がかりではないか。これは、前述した丸山直文《garden 3》についての対話型鑑賞実践において、意図したような語りではない展開が起きたことに由来する。丸山直文《garden 3》についての対話型鑑賞実践においては、作品の詳しい観察と観察した内容の詳述、及び観察から自然と立ち上がる根拠ある解釈の語りを意図し、展示室内付箋での記述も参照して対話型鑑賞の問いを立てた。しかし、参加者は作品の観察と詳述の後、作品の印象を語ることに留まり、根拠を持って作品の解釈を語ることにはならなかった。この要因が企画意図と教育活動の構造設定にあるとき、丸山直文《garden 3》は教育活動の一要素、教材として機能している。美学美術史上の作品の立ち位置や価値ではなく、教材

---

としての特徴を検討することが出来る。今回の場合、丸山直文《garden 3》の筆致や構図により、作品の細部と全体の印象が同時に鑑賞者にせまる特徴から、細部の観察に作品の解釈の根拠を求めるには適さず、逆に全体の印象からそのまま作品の解釈を語るよう促すことに適した作品であった可能性がある。このように、美術館における収蔵品を対象とする教育活動においては、企画・実践者が企画意図と教育活動の構造を明確に設定し自覚した上で、その意図に沿わない展開こそ成果として認識し、対象となった美術作品の「教材としての価値や特徴」に反映させ蓄積させることが出来る。

収蔵品は美術館を特徴づける唯一無二のものであるが、それを教材として認識したとき、美術館各館の教育活動の特徴づけるものとなると同時に、その美術館における教育活動の成果や反省を知見として共有し蓄積する際の手がかりとなりうるのではないだろうか。現在は試論に過ぎないが、機会を得て、実践の中で検討していきたい。

(菖蒲澤侑)

## ■トピックス [4]

### ■SMF との連携

文化庁のモデル事業・補助事業として、地域と共働したさまざまなアートプログラムやアウトリーチ活動を展開する事業を手がける中で、2013年に新体制で発足したサイトマミュージアムフォーラム (SMF / Saitama Muse Forum) ※。

事業名や枠組みは少しずつ変わってきたが、人間市博物館、うらわ美術館、川口市立アートギャラリー、川越市立美術館、埼玉県立近代美術館という県内の公立ミュージアム5館がゆるやかに連携して実行委員会をつくり、文化庁の支援を得る事業を数多く実施してきた。

そうした成果を生かして、連携美術館・博物館をキーステーションとしながら、連携美術館・博物館に限定されない活動や、さまざまなジャンルを超えた協働がSMFを母胎として生まれてきている。それらをどのように組織化して、地域連携の新たなモデルを構築するかが今後の課題となっている。

平成29年度は、このような長期的な目標を視野に入れて、今後の活動を見据えた活動が展開された。以下では、当館との連携事業を紹介する。

※ SMFの趣旨・これまでの活動等については、SMFホームページ<http://www.artplatform.jp> 参照。

### ■ SMF みる+つくる

当館が土曜日に開催している普及事業「MOMASのとびら」への協力を依頼し、以下のプログラムにワークショップの講師を派遣していただいた。

9月23日「光るたまごをつくろう！」

講師：みょうか (アーティスト)

参加者：30名

2月10日「からだであらわす あの気持ち この気持ち」

講師：愛智伸江、岡崎弓佳 (ダンサー)

参加者：29名

2月24日「逆さま動画プロジェクト～美術作品とコラボして、美術館に展示しよう～」

講師：浅沼奨 (映像クリエイター)

参加者：31名

※「MOMASのとびら」については、126頁を参照。

## ■ 宝船展

1月10日～1月14日

「宝舟展2018」

一般展示室

SMFと当館の共催事業

来場者：535名 (5日間)

SMF Press vol.32 February 2018 Page-1

MONO KOTO YUME  
TAKAKABUNE EXHIBITION 2018 @ MOMAS

2018年1月10日～14日  
埼玉県立近代美術館  
宝船展 一般展示室  
宝船展 2018 共催事業  
SMF 人間市博物館  
MOMAS 川口市立アートギャラリー  
川越市立美術館  
埼玉県立近代美術館

今年度は、宝船展の開催が、SMFと人間市博物館との連携の成果が配された。2018年度の宝船展は、SMFと人間市博物館の共催事業として、SMFと人間市博物館の連携の成果が配された。2018年度の宝船展は、SMFと人間市博物館の共催事業として、SMFと人間市博物館の連携の成果が配された。

宝船展 2018 共催事業 SMF 人間市博物館 MOMAS 川口市立アートギャラリー 川越市立美術館 埼玉県立近代美術館

http://www.artplatform.jp SMF

## ■埼玉県立近代美術館フレンド

埼玉県立近代美術館フレンドは、会員が美術館の情報を直接受け取ることで美術館活動に積極的に参加し、また会員相互の交流を深め、美術館活動を支援することを目的としている。略称：ファミス(fam.s=friends of art museum, saitama)

### ■会員数

504件(人) (平成30年3月31日現在)

内訳：一般会員327人、ペア会員53人、学生会員7人、家族会員58家族(204人)、賛助会員(個人)14人、賛助会員(法人)23団体、特別賛助会員22団体

### ■活動内容

#### 1. 企画委員会

- ① ファムス日帰り見学会  
「千葉美術館巡り」/5月24日(水)  
見学地：DIC 川村記念美術館、千葉市美術館、ホキ美術館/参加者：38名(うち会員33名)
- ② ファムス現地集合見学会  
「秋の両国探訪会」/11月11日(土)  
見学地：両国(すみだ北斎美術館、旧安田庭園、他)  
参加者：31名(全員会員)
- ③ ファムスコンサート  
「谷川賢作ピアノソロコンサート」/2月17日(土)  
開催場所：当館センターホール  
参加者：53名(ファミス会員限定)

#### 2. 広報委員会

- ① 『ファミス通信』第37号の発行(5月)
- ② 『ファミス通信』第38号の発行(11月)

#### 3. ミュージアム・ショップ運営委員会

- ① サマーセール開催/8月1(火)~8月31日(木)
- ② ショップレイアウトの変更

#### 4. 事務局

- ① 『平成28年度フレンド年報』の発行(7月)
- ② 会員募集キャンペーンの実施
- ③ 館内の広報強化
- ④ ツイッター開設
- ⑤ 会員限定ギャラリー・トークの実施

### ■担当後記

- ◆ 会員限定ギャラリー・トークを美術館の協力を得て、事務局と企画委員会の合同で、年3回実施した。通常の美術館の開館時間外に実施したことにより、ゆっくり作品を鑑賞することができ、会員の方から大変好評を得ることができた。次年度も様々な事業を開催し、美術館活動に貢献したい。

(事務局・野口恵子)

### ■埼玉県立近代美術館フレンド役員名簿

平成30年3月31日現在

氏名	現職等	備考
清水 武司	秩父地域利用者 写真家	会長
内田 和子	秩父地域利用者	副会長
丸山 晃	県西地域利用者 (株)埼玉新聞社 相談役	
小林 真	秩父地域利用者 デザイナー (株)コア 代表	広報委員
滝沢 布沙	県北地域利用者 染色家	
水野 晶子	県南地域利用者	ミュージアム・ショップ 運営委員長
金川 京子	県南地域利用者	広報委員長
遠藤 俊明	東部地域利用者	ミュージアム・ショップ 運営委員
依田 衣恵	県南地域利用者	企画委員
武島 裕	秩父地域利用者	
矢嶋 行雄	県南利用者 (株)テレビ埼玉常務取締役	
小口 良三	県南地域利用者	監事
田沼 利将	県南地域利用者 (公財)長島記念財団常務理事	監事



## ■ 貸館事業

当館地階には県内の美術団体や美術家の作品発表の場として、一般展示室1～4が設けられている。この一般展示室が、美術館の目的や運営方針にふさわしい利用に供されるよう利用申込みについて審査するため、埼玉県立近代美術館利用審査会が設置されている。また、講演会や集会などの会場として講堂を貸し出している。平成29年度の一般展示室の利用状況は次表のとおりで、団体展、グループ展、個展などの形態で、日本画、洋画、彫塑、現代美術、書、写真などさまざまな分野の作品が展示された。

## ■ 一般展示室利用状況

No.	展覧会名	開催期間 H29年度		開催 日数 (日)	利用室	分野	展示 点数 (点)	観覧 者数 (人)	一日平均 観覧者数 (人)
		自	至						
1	2017“U展”	4月4日	4月9日	6	1・3	水彩、油彩、ドローイング、版画、彫刻	110	1,007	167
2	春輝二人展 丹野よし子(染絵)和田育子(陶芸)	4月4日	4月9日	6	2	工芸、染絵	100	765	127
3	第19回彩美展	4月4日	4月9日	6	4	日本画、水彩、油彩	45	698	116
4	第13回群英埼玉支部展	4月11日	4月16日	6	2	日本画、水彩、油彩、彫刻、工芸ほか	69	537	89
5	自然写真の会“彩”(SSS)	4月11日	4月16日	6	3	写真	33	570	95
6	第25回溪水会展	4月11日	4月16日	6	4	日本画、水彩、油彩、書、水墨画ほか	63	594	99
7	第33回さいたま蘭秀100選展	4月18日	4月23日	6	1	書	70	847	141
8	第11回フォト・トルトゥーガ展	4月18日	4月23日	6	2	写真	98	838	139
9	第6回栗田ひさし・梨伽の絵画二人展	4月18日	4月23日	6	3	日本画、水彩、水墨画、墨彩画ほか	46	642	107
10	第11回彩ボタニカルアート展	4月18日	4月23日	6	4	水彩	44	681	113
11	浦和写真クラブ作品展『自然と風土』	4月25日	4月30日	6	2	写真	61	1,620	270
12	阿佐見昭彦日仏巡回写真展 “KIZUNA、”	4月25日	4月30日	6	3	写真	38	1,076	179
13	第41回埼玉女流工芸展	4月27日	4月30日	4	1	工芸	164	1,720	430
14	第21回埼玉二科展	5月2日	5月7日	6	1~4	油彩、彫刻、デザイン	141	2,021	336
15	第67回埼玉県美術展覧会(県展)	5月30日	6月21日	20	1~4	日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真	2,050	30,074	1,503
16	第36回埼玉県高等学校写真連盟写真展	6月28日	7月2日	5	1	写真	1,138	1,320	264
17	キヤノンフォトクラブ浦和第36回写真展「静&/or 動」	6月28日	7月2日	5	3	写真	38	609	121
18	19th 穴あきアート BANSEI EXHIBITION	6月28日	7月2日	5	4	インスタレーション	100	431	86
19	第16回埼玉独立展	7月4日	7月9日	6	1	水彩、油彩、ミクストメディア	69	643	107
20	第24回基の会展	7月4日	7月9日	6	2	油彩、アクリル	18	875	145
21	第30回白の会洋画展	7月4日	7月9日	6	3	油彩、パステル画	27	848	141
22	第10回こんとん水彩画展	7月4日	7月9日	6	4	水彩	40	780	130
23	あのひのかたち	7月11日	7月16日	6	4	油彩	69	367	61
24	第31回墨芳書道展(併催)小池大速作品展	7月12日	7月16日	5	1~3	書	147	1,391	278
25	第44回埼玉二紀展	7月18日	7月23日	6	1~4	油彩、彫刻	114	1,202	200
26	一般社団法人新構造埼玉展	7月25日	7月30日	6	1	水彩、油彩、ドローイング、版画ほか	118	1,215	202
27	加藤絵奈画展	7月25日	7月30日	6	4	水彩、油彩	33	711	118
28	武蔵野美術大学卒業生有志展	8月1日	8月6日	6	1	日本画、水彩、油彩、ドローイングほか	77	1,557	259
29	第27回旺女会埼玉支部展	8月1日	8月6日	6	3・4	水彩、油彩、日本画、アクリル、版画	65	906	151
30	第13回水彩連盟埼玉支部展	8月8日	8月13日	6	1	水彩	67	1,265	210
31	第51回埼玉平和美術展	8月15日	8月20日	6	1~4	日本画、水彩、油彩、ドローイングほか	312	2,097	349
32	第4回晨翔會書展	8月22日	8月27日	6	1	書	198	1,119	186
33	第31回 Photo Group WAVE 写真展	8月22日	8月27日	6	3	写真	72	744	124
34	ムサ美埼玉2017展	8月29日	9月3日	6	1	日本画、水彩、油彩、ドローイングほか	121	1,209	201
35	ヨシズミトシオ展	8月29日	9月10日	12	4	油彩、ドローイング、版画	38	1,765	147
36	第31回埼玉画元展	9月5日	9月10日	6	1	日本画、水彩、油彩、版画、アクリル	102	1,266	211
37	第26回工芸新樹会公募展	9月5日	9月10日	6	2	工芸	60	914	152
38	第9回フォト・サークル・オプト写真展	9月5日	9月10日	6	3	写真	118	1,018	169
39	第61回埼玉書道展	9月14日	9月17日	4	1~4	書	743	1,484	371
40	第34回埼玉県写真サロン	9月19日	9月24日	6	1	写真	563	1,207	201
41	第21回西遊会美術展	9月19日	9月24日	6	2	水彩、油彩、ドローイング、版画	62	506	84
42	第5回私の自然展	9月19日	9月24日	6	3	写真	55	767	127
43	第8回「自写自費」写真展 小中四平個展	9月19日	9月24日	6	4	写真	63	757	126
44	悠友展	9月26日	10月1日	6	2・3	水彩、油彩	48	750	125
45	ひととひと	9月26日	10月1日	6	4	油彩	49	641	106

## 一般展示室

- ・ 利用単位：1週間(月曜日の午後1時→翌週月曜日正午)。連続の場合は最長3週間。
- ・ 使用料(1週間につき)：  
一般展示室 1—234,360円、2—90,720円、3—52,920円、4—30,240円

## 講堂

- ・ 利用単位：1時間
- ・ 使用料：1時間あたり2,160円

No.	展覧会名	開催期間 H29年度		開催 日数 (日)	利用室	分野	展示 点数 (点)	観覧 者数 (人)	一日平均 観覧者数 (人)
		自	至						
46	第27回全国平成水墨画展	9月27日	10月1日	5	1	水墨画、墨彩画	108	890	178
47	第1美術協会埼玉支部展	10月3日	10月8日	6	1	日本画、水彩、油彩、版画、彫刻、工芸	140	1,320	220
48	第33回アート現字展	10月3日	10月8日	6	2	油彩、アクリル、コラージュ	32	776	129
49	第10回建美展	10月3日	10月8日	6	3	水彩、油彩	43	858	143
50	鈴木俱子個展	10月3日	10月8日	6	4	油彩、クロッキー	30	843	140
51	第51回埼玉三軌展	10月10日	10月15日	6	1	日本画、水彩、油彩	39	850	141
52	第8回埼玉植物画の会作品展	10月10日	10月15日	6	2	水彩	120	1,377	229
53	宮本千種染色作品展	10月10日	10月15日	6	3	工芸	60	709	118
54	第26回浅水会展	10月10日	10月15日	6	4	日本画、水彩、油彩、書、水墨画ほか	59	733	122
55	地平第18回展	10月17日	10月22日	6	1	日本画、水彩、油彩、ドローイングほか	68	547	91
56	第38回太平洋埼玉展	10月17日	10月22日	6	2~4	水彩、油彩、版画	90	845	140
57	第27回全日中展	10月24日	10月29日	6	1~3	日本画、水彩、書、水墨画	400	600	100
58	全日写進浦和支部写真展	10月24日	10月29日	6	4	写真	35	390	65
59	社団法人Z EN展	10月31日	11月5日	6	1	日本画、水彩、油彩、彫刻、工芸ほか	138	977	162
60	第17回美術協会純展、埼玉支部展	10月31日	11月5日	6	2	水彩、油彩、ペン画	49	583	97
61	第19回「保倉勝美の世界」展	10月31日	11月5日	6	4	ボスケット	166	571	95
62	第44回羊介会展	11月1日	11月5日	5	3	油彩	41	367	73
63	2017CAFネビュラ展	11月8日	11月19日	11	1~4	日本画、水彩、油彩、版画ほか	108	2,599	236
64	平成29年度第60回高校美術展覧会	11月22日	11月26日	5	1~4	日本画、水彩、油彩、ドローイングほか	1,000	4,044	808
65	2017チェリモヤ埼玉県立近代美術館展	11月28日	12月3日	6	1	日本画、水彩、油彩、ドローイングほか	30	755	125
66	透明水彩サークル楽友会第4回作品展	11月28日	12月3日	6	4	水彩	51	701	116
67	光画展	12月5日	12月10日	6	2	写真	43	683	113
68	第7回椿会作品展	12月5日	12月10日	6	4	創作人形	120	1,011	168
69	第3回埼玉県美術7-10会展「うらままでこゝろのめぐりあひ」	12月6日	12月10日	5	1	日本画、水彩、油彩、ドローイングほか	372	1,967	393
70	高校書道展	12月12日	12月17日	6	1~4	書	709	1,227	204
71	第51回全日本書道芸術展	12月19日	12月24日	6	1~2	書、墨象、篆刻、硬筆、ペン字ほか	250	569	94
72	SMP宝船展2018@MOMAS	1月10日	1月14日	5	1	現代アートほか	38	535	107
73	第21回凜の会展	1月16日	1月21日	6	1~4	油彩、彫刻、写真	149	873	145
74	第10回ラルゲット展	1月16日	1月21日	6	2	日本画、水彩、ドローイング、工芸	40	682	113
75	Masa稲葉幻想展、2	1月16日	1月21日	6	3	写真	35	861	143
76	第43回埼玉書連役員新春展	1月23日	1月28日	6	1~4	書	268	781	130
77	平成29年度埼玉県美術系高等学校作品展・卒業制作展	1月31日	2月4日	5	1~4	日本画、水彩、油彩、ドローイングほか	630	1,698	339
78	第41回埼玉国展	2月6日	2月11日	6	1	油彩、写真	61	918	153
79	第12回彩の会 女子美術大学同窓会埼玉支部作品展	2月6日	2月11日	6	2~4	日本画、水彩、油彩、ドローイングほか	92	1,030	171
80	第14回埼玉県ニューアート支部写真展	2月13日	2月18日	6	2	写真	91	1,092	152
81	個展、大久保和嶺	2月13日	2月18日	6	3	水墨画	25	445	182
82	第7回彩友会ボタニカルアート展	2月13日	2月18日	6	4	水彩	72	913	74
83	埼玉県児童生徒美術展 中央展	2月17日	2月18日	2	1	水彩、版画、彫刻、工芸	200	1,554	777
84	文教大学卒業制作展	2月20日	2月25日	6	1	日本画、油彩、彫刻、工芸	200	525	87
85	第39回野美展	2月20日	2月25日	6	2	日本画、水彩、油彩、ドローイングほか	57	700	116
86	飯塚寛文風景写真展「水色」	2月20日	2月25日	6	3	写真	18	353	58
87	ヨシズミトシオ展	2月20日	3月4日	12	4	油彩、ドローイング、版画、水墨画	32	1,210	100
88	埼玉大学教育学部美術専修4年卒業制作展	2月27日	3月4日	6	1~3	日本画、水彩、油彩、ドローイングほか	33	512	85
89	金子勝一個展	3月6日	3月11日	6	2	油彩	60	452	75
90	第41回埼玉現展	3月6日	3月11日	6	3~4	油彩、版画、写真、CG、デザイン	70	663	110
91	埼玉30人展	3月13日	3月18日	6	1	書	72	2,098	349
92	第17回写真サークル「観悠」作品展	3月13日	3月18日	6	3	写真	48	449	74
93	武蔵野写真	3月13日	3月18日	6	4	写真	30	514	85
94	第23回彩の国さいたまきりえ展	3月20日	3月25日	6	2	きりえ	104	1,260	210
95	第22回さきたま書展	3月20日	3月25日	6	3	書	50	456	76
96	彩の国写真倶楽部第14回展	3月20日	3月25日	6	4	写真	37	788	131
97	第46回主体美術武蔵野作家展	3月27日	4月1日	6	1	水彩、油彩、ドローイング	60	604	100
98	第9回関口健司展	3月27日	4月1日	6	2	水彩	70	343	57
99	大槻綾子染・書展	3月27日	4月1日	6	3	工芸、書	50	240	40
100	恒星館展「接ぎ木と実生」ありあるクリエーションズ	3月27日	4月1日	6	4	水彩、油彩、ドローイング、版画ほか	300	245	40

## ■入館状況

### ■平成 29 年度入館者数一覧

平成 30 年 3 月 31 日現在

	入館者数	展 示 事 業						
		MOMAS コレクション	企 画 展 示					
			川原慶賀の 植物図譜	遠藤利克展 聖性の考古 学	駒井哲郎展 夢の散策者	ディエゴ・リ ベラの時代 メキシコの 夢とともに	版画の景色 現代版画セ ンターの軌 跡	企画展計
開催期間	4/1(土) ～ 3/31(土)	4/1(土) ～ 3/31(土)	4/8(土) ～ 5/21(日)	7/15(土) ～ 8/31(木)	9/12(火) ～ 10/9(祝・月)	10/21(土) ～ 12/10(日)	1/16(火) ～ 3/25(日)	
(日) 日数	304	291	39	42	26	44	61	212
(人) 観覧者数 利用者数	235,300	38,952	7,763	9,981	3,904	10,382	7,077	39,107
(人) 1日当 たり平均	774	134	199	238	150	236	116	184
有 料	一般個人	19,100	3,994	3,385	1,818	4,624	2,974	16,795
	一般団体	1,774	127	250	139	227	116	859
	大高個人	1,313	118	414	127	185	218	1,062
	大高団体	47	0	2	2	38	0	42
	(人) 合計	22,234	4,239	4,051	2,086	5,074	3,308	18,758
(人) 無料	-	16,718	3,524	5,930	1,818	5,308	3,769	20,349

	普 及 事 業					貸館事業	
	企画展 関連	MOMAS コレクション 関連	教育・普及 関連	SMFアート 関連	資料閲覧室	一 般 展示室	埼玉県 美術展覧会
開催期間	4/15(土) ほか	4/8(土) ほか	4/8(土) ほか	4/1(土) ～ 3/31(土)	4/1(土) ～ 3/31(土)	4/1(土) ～ 3/31(土)	5/30(火) ～ 6/21(水)
(日) 日数	27	12	53	-	298	251	20
(人) 観覧者数 利用者数	1,680	309	3,502	-	2,965	93,566	30,074
(人) 1日当 たり平均	62	26	66	-	10	372	1,503
有 料	一般個人	-	-	-	-	-	-
	一般団体	-	-	-	-	-	-
	大高個人	-	-	-	-	-	-
	大高団体	-	-	-	-	-	-
(人) 合計	-	-	-	-	-	-	-
(人) 無料	-	-	-	-	-	-	-

月別入館者数													
月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
(人) 入館者数	19,785	20,234	32,121	15,938	23,051	18,651	16,582	24,238	15,171	11,406	16,738	21,385	235,300

## ■名簿

### ■埼玉県立近代美術館協議会委員

平成30年3月31日現在

選出区分	氏名	現職
学校教育関係者	梶川 牧子	埼玉県市町村教育委員会連合会会長 川越市教育委員会委員
	関根 隆之	埼玉県美術教育連盟連盟長 蓮田市立平野中学校校長
社会教育関係者	布施 知範	公益財団法人静岡県舞台芸術センター 団体職員
	松岡 滋	埼玉県美術家協会会長 洋画家
家庭教育関係者	小田倉 泉	埼玉大学准教授 さいたま市幼児教育推進委員
学識経験者	加藤 典子	加藤こどもの造形教室主宰
	小山 広毅	NHK さいたま放送局副局長
	田村 禮子	絵画教室主宰 水彩画家
	新倉 美佳	美術批評誌「MAPPING」事務局
	野中 味恵子	さいたま市民生児童委員
	帆足 亜紀	横浜トリエンナーレ組織委員会事務局 プロジェクト・マネージャー
	宮本 重雄	中央労働金庫常務理事 埼玉県本部担当

### ■埼玉県立近代美術館資料選考評価委員会委員

平成30年3月31日現在

氏名	現職	任期
滝沢 恭司	町田市立国際版画美術館 学芸統括係長	H29.6.7～H31.6.6
山本 和弘	栃木県立美術館 技幹兼学芸課長	H29.6.7～H31.6.6
野地 耕一郎	泉屋博古館分館長 兼学芸課長	H29.6.7～H31.6.6
山梨 俊夫	国立国際美術館長	H29.6.7～H31.6.6
金子 賢治	茨城県陶芸美術館長	H29.6.7～H31.6.6

### ■埼玉県立近代美術館利用審査会委員

平成30年3月31日現在

氏名	現職	任期
飯野 一朗	彫金作家 東京藝術大学名誉教授	29.1.15～31.1.14
栗崎 浩一路	書家 熊谷市美術家協会顧問	29.1.15～31.1.14
小澤 基弘	洋画家 埼玉大学教育学部教授	29.1.15～31.1.14
吉武 研司	洋画家 独立美術協会会員	29.1.15～31.1.14
内藤 五瑠	日本画家 日本美術院特待	29.1.15～31.1.14
林 喜一	写真家 全日本写真連盟理事	29.1.15～31.1.14
芋川 修	県教育局 生涯学習文化財課長	29.1.15～31.1.14

### ■埼玉県立近代美術館職員

平成30年3月31日現在

担当	職名	氏名	
総務・管理担当 総務担当	館長（非常勤）	建畠 哲	
	副館長	加藤 哲之	
	担当部長	田沼 康雄	
	担当課長	藤川 奈美子	
	主任	平岡 孝善	
	主事	斎藤 晃	
	管理担当	担当課長	川崎 剛志
		主任	神部 哲也
		主事	小久保 俊哉
		主事	瀧川 晃平
企画展・教育・広報、 常設展・収蔵品担当 企画展担当	主席学芸主幹	大越 久子	
	学芸主幹	平野 到	
	学芸員	吉岡 知子	
	学芸員	大浦 周	
	学芸員	五味 良子	
	教育・広報担当	主任学芸員	梅津 元
		担当課長	児玉 壮史
		担当課長	笠原 たまき
		主任	飯島 俊
	常設展・収蔵品担当	学芸員	石井 富久
嘱託（非常勤）		菖蒲澤 侑	
主任学芸員		渋谷 拓	
学芸員		鳴原 悠	
専門員兼学芸員 嘱託（非常勤）		前山 裕司 佐藤 詩織	

埼玉県立近代美術館年報[平成 29 年度]

発行：埼玉県立近代美術館

〒330-0061 さいたま市浦和区常盤 9-30-1

電話：048-824-0111(代)

平成 31 年 3 月 30 日

